世界史を受講する皆さんへ

みなさん，こんにちは。
村山秀太郎です。

世界史の受験勉強を登山に喩えるなら，このテキストの空欄を全て答えられるように（記述式の大学を志望するなら書けるように）なるのが登頂ということになります。

幸か不幸か，このテキストをゲットしたのですから，完全制覇を目標にしましょう。

ただし実際の登山と異なるのは，登頂しなくても，つまり100％覚えられなくても合格は可能であるということです。80％の暗記でもかなり有望です。

ただ，最初から80％を目指して暗記すると，60％しか覚えられません。

だから，100％を目指し覚えなさい。
八合目からの風景も綺麗ではありますが，頂上からの絶景と満足感，安心感には代えられません。

それから，このテキストは全国津々浦々，離島であろうが海外であろうが，簡単に入手可能であるということを忘れてはなりません。

他のサプリ生よりも少なく覚えたら，相対的に成績は下回るということになります。もはや，受験生の２人に１人がサプリ生の時代です。

選択式問題の意味不明の語句は，用語集で調べてください。

このテキスト登頂は，トップレベルをめざす世界史受験生にとってのノルマです。

健闘を祈ります。

あなたの熱烈サポーター
バロンドール - ムラヤマ⑩

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目　次

第１講　人類の起源・古代オリエント① ………………………… P４
第２講　古代オリエント② ………………………………… P９
第３講　古代ギリシア① ………………………………… P15
第４講　古代ギリシア② ………………………………… P21
第５講　共和政ローマ ………………………………… P25
第６講　帝政ローマとキリスト教の成立① ………………… P30
第７講　帝政ローマとキリスト教の成立② ………………… P38
第８講　インドの古代史 ………………………………… P41
第９講　中国文明の誕生～秦 ………………………………… P48
第10講　前漢・新・後漢 ………………………………… P52
第11講　魏晋南北朝 ………………………………… P57
第12講　隋～盛唐
第13講　中唐～宋 ………………………………… P62
第14講　イスラーム以前の東南アジアと遊牧民・朝鮮 ……… P71
第15講　初期イスラーム史 ………………………………… P76
第16講　イスラーム世界の分裂①
第17講　イスラーム世界の分裂② ………………………… P80
第18講　ゲルマン人の大移動・フランク王国とローマ教会 …… P87
第19講　ノルマン人・ビザンツ帝国・十字軍 ………………… P92
第20講　商業の復活・神聖ローマ帝国史 ………………… P99
第21講　中世イギリス・フランス史と百年戦争
1 フランス史（カペー朝） ………………………… P107
2 イギリス史（ケルト人～プランタジネット朝） ……… P109
第22講　モンゴル帝国と元 ………………………………… P112
第23講　明 ………………………………… P116
第24講　清とその周辺 ………………………………… P120
第25講　ティムール朝・サファヴィー朝・オスマン帝国 ……… P123

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第１講
人類の起源・古代オリエント①

　メソポタミアのメソは「間」ポタモスは「川」，だから右のティグリスと左のユーフラテス両河の間。つまり今の(1)〔　　〕ということになる。イラク共和国の首都(2)〔　　〕は(3)〔　　〕に沿っている。

【シュメール→アッカド】世界最古の農耕の遺跡(4)〔　　〕は北メソポタミアだ。5000 年前の最初の都市文明は民族系統不明の(5)〔　　〕人の都市で南メソポタミアにあった(6)〔　　〕だ。他が(7)〔　　〕，(8)〔　　〕で各都市国家には守護神がいた。(9)〔　　〕文明で(10)〔　　〕を使用し，(11)〔　　〕で所有権を示した。(12)〔　　〕が特色。崇拝のための人工の山(13)〔　　〕を造った。『(14)〔　　〕』が『旧約聖書』の巻頭の書『創世記』の「ノアの洪水」の話に影響したということだ。ジッグラトは「バベルの塔」の話に影響した。

　シュメールの次が(15)〔　　〕系(語族)の(16)〔　　〕で前 24 世紀に(17)〔　　〕世が**メソポタミアを統一**した。全盛期のナラーム＝シンは「全世界の王」と呼ばれた。次いでシュメール系の(18)〔　　〕が一次復活し，**現存最古のウルナンム法典**を残す。

【バビロン第１王朝＝古バビロニア】前 19 世紀に入ると，セム系の(19)〔　　〕人の(20)〔　　〕(古バビロニア)が(21)〔　　〕川沿いのバビロンを都とした。神は(22)〔　　〕。1902 年に(23)〔　　〕(現在のイラン)で発見された第６代の王による「(24)〔　　〕」は，「(25)〔　　〕」の**同害報復の復讐法で身分により異なる法を適用**した。この国は小アジアのインド＝ヨーロッパ語族の(26)〔　　〕により滅亡した。その後メソポタミアは北を(27)〔　　〕が南のバビロン付近を(28)〔　　〕王国が支配する。カッシートは(29)〔　　〕人に滅ぼされた。いずれも民族系統は不詳だ。ミタンニからティグリス川上流のアッシュール付近で自立するのが(30)〔　　〕王国だ。ついでだが，初めて馬の家畜化をしたのはミタンニ王国だ。ミタンニの住民の大半は(31)〔　　〕人だった。

解答

(1) イラク　(2) バグダッド　(3) ティグリス川　(4) ジャルモ　(5) シュメール
(6) ウル　(7) ウルク　(8) ラガシュ　(9) 青銅器　(10) 楔形文字
(11) 円筒印章　(12) 神権政治　(13) ジッグラト　(14) ギルガメシュ叙事詩
(15) セム　(16) アッカド　(17) サルゴン１　(18) ウル第３王朝　(19) アムル
(20) バビロン第１王朝　(21) ユーフラテス　(22) マルドゥク　(23) スサ
(24) ハンムラビ法典　(25) 目には目，歯には歯　(26) ヒッタイト　(27) ミタンニ王国
(28) カッシート　(29) エラム　(30) アッシリア　(31) フルリ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【ヒッタイト】ヒッタイト王国は(32)〔　　〕語族で小アジア((33)〔　　〕高原，現トルコ共和国)の(34)〔　　〕(**ハットゥシャシュ**)を中心に興り，**最初に**(35)〔　　〕**を使用した**という点が最重要。(36)〔　　〕(古バビロニア)を滅ぼしたが，前12世紀に(37)〔　　〕に滅ぼされた。

【アッシリア】さて，アッシリア王国だ。ヒッタイト滅亡後強国になる。(38)〔　　〕中流(39)〔　　〕から興ったが，(40)〔　　〕が覚えるべき都だ。(41)〔　　〕世はイスラエル王国を滅ぼしエサルハドンが(42)〔　　〕年にエジプトを征服し**全オリエントを初めて統一**した。(43)〔　　〕王は**ニネヴェに最古の図書館**を造った。メソポタミアからナイル川までつまり**「肥沃（ひよく）な三日月地帯」からエジプトまで支配した**ものの，残酷な統治と過酷な税は反乱を招き，(44)〔　　〕年にメディアと(45)〔　　〕の連合軍の前に滅んだ。

【四王国時代】そして四王国分立時代に入る。
小アジアの(46)〔　　〕は都が(47)〔　　〕で**最古の鋳造貨幣（ちゅうぞうかへい）をあみだした**(48)〔　　〕語族。クロイソス王の富で有名。イラン高原の(49)〔　　〕はインド＝ヨーロッパ語族で都は(50)〔　　〕。新バビロニア（(51)〔　　〕語族の(52)〔　　〕人）の(53)〔　　〕世はユダ王国のヘブライ人を強制連行した(前586～(54)〔　　〕年の(55)〔　　〕)。彼はホームシックにかかったメディアからきた王妃のために故郷に似た風景の(56)〔　　〕を造ってあげた。４王国の残る一つが(57)〔　　〕（都サイス）だ。

【アケメネス朝ペルシア】これら４王国のうち(58)〔　　〕から自立したのがペルシア湾に近いペルシス地方の(59)〔　　〕に興った(60)〔　　〕朝ペルシア（(61)〔　　〕～(62)〔　　〕年）だ。
(63)〔　　〕世の時に自立し４王国のうち(64)〔　　〕，(65)〔　　〕，(66)〔　　〕を滅ぼし(67)〔　　〕人を捕囚（ほしゅう）から解放した。だから「(68)〔　　〕」**キュロス２世**といわれる。第２代(69)〔　　〕世が**エジプト第26王朝を滅ぼし全オリエント統一を実現**した（(70)〔　　〕年)。

解答

(32) インド＝ヨーロッパ　(33) アナトリア　(34) ボアズキョイ　(35) 鉄製武器
(36) バビロン第１王朝　(37) 海の民　(38) ティグリス川　(39) アッシュール
(40) ニネヴェ　(41) サルゴン２　(42) 前671　(43) アッシュール＝バニパル
(44) 前612　(45) 新バビロニア(カルデア)　(46) リディア　(47) サルデス
(48) インド＝ヨーロッパ　(49) メディア　(50) エクバタナ　(51) セム
(52) カルデア　(53) ネブカドネザル２　(54) 前538　(55) バビロン捕囚
(56) 空中庭園　(57) エジプト第26王朝　(58) メディア　(59) スサ　(60) アケメネス
(61) 前550　(62) 前330　(63) キュロス２　(64) メディア　(65) リディア
(66) 新バビロニア　(67) ヘブライ　(68) 解放者　(69) カンビュセス２　(70) 前525

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第３代(71)〔　　〕世は, 東は(72)〔　　〕から東北はシル川とアム川がアラル海に注ぐ地域(73)〔　　〕, 南はエジプトの(74)〔　　〕から西は(75)〔　　〕北岸の(76)〔　　〕地方の範囲を版図とした。州（サトラ）に分け, 知事（(77)〔　　〕）を置きそれを(78)〔　　〕で監視した。(79)〔　　〕語を公用語とし, (80)〔　　〕**を整備し中央集権化**し，(81)〔　　〕から都(82)〔　　〕まで(83)〔　　〕を敷いた。また, 次の(84)〔　　〕世と二代でゾロアスター教の新都(85)〔　　〕を建設した。また, いわゆる(86)〔　　〕でエーゲ海に派兵した。最終的には最後の王(87)〔　　〕世が(88)〔　　〕に敗れ滅亡した（(89)〔　　〕年)。統治の特色は「(90)〔　　〕」がキーワード。**ヘブライ人にエルサレムへの帰還と神ヤハウェの神殿再興を許可し，フェニキア人の商業活動を奨励**したからだ。

【メソポタミア・イラン文化】宗教は現世的で**多神教**が特色。**太陰暦**・**60 進法**・**占星術**の起源。

ダレイオス１世の事績が(91)〔　　〕（(92)〔　　〕山脈）に刻まれ，(93)〔　　〕世紀の(94)〔　　〕人(95)〔　　〕が解読した。**クセルクセス１世を讃える**碑文が(96)〔　　〕で(97)〔　　〕人(98)〔　　〕**がペルシア語楔形文字を解読**。

ゾロアスターの生存年代は確定できない。ゾロアスター教は**拝火教**ともいわれ(99)〔　　〕（光明・善神）(100)〔　　〕（暗黒・悪神）の**善悪二元論**で**最後の審判，天使と悪魔の思想がユダヤ・キリスト教に影響**した。(101)〔　　〕で国教となり，経典(102)〔　　〕が編纂された。

解答

(71) ダレイオス１　(72) インダス川　(73) ソグディアナ　(74) ナイル川
(75) エーゲ海　(76) トラキア　(77) サトラップ　(78) 王の目・王の耳　(79) アラム
(80) 駅伝制　(81) サルデス　(82) スサ　(83) 王の道　(84) クセルクセス１
(85) ペルセポリス　(86) ペルシア戦争　(87) ダレイオス３　(88) アレクサンドロス大王
(89) 前 330　(90) 寛容　(91) ベヒストゥーン碑文　(92) ザグロス　(93) 19
(94) イギリス　(95) ローリンソン　(96) ペルセポリス碑文　(97) ドイツ
(98) グローテフェント　(99) アフラ＝マズダ　(100) アーリマン　(101) ササン朝
(102) アヴェスター

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【古代エジプト】「**エジプトはナイルの賜物**（たまもの）」これは紀元前5世紀のギリシアの歴史家 (103)〔　　〕の言葉だ。エジプトは閉鎖的な地形で比較的侵入を受けにくい (104)〔　　〕の世界だ。ナイル流域にあった集落 (105)〔　　〕を**上エジプト（上流）の王が統一**した。

前6世紀の (106)〔　　〕による征服まで26の王朝が続くのだが，第3～6王朝が**古王国**時代で都は下エジプトの (107)〔　　〕，第4王朝の時 (108)〔　　〕に (109)〔　　〕がつくられた。(110)〔　　〕王のものが最大，近くに (111)〔　　〕がある。ギザはナイル左岸にありカイロの対岸の町だ。

第11～12王朝の**中王国**時代の都は (112)〔　　〕(現 (113)〔　　〕)。町の守護神が (114)〔　　〕だから，太陽神ラーと結びつき (115)〔　　〕が多神教の頂点に立った。エジプトの王 (116)〔　　〕(「大きな家」の意）は太陽神ラーの化身だ。

(117)〔　　〕系の (118)〔　　〕の侵入で中王国は滅亡するが，ヒクソスを撃退し，第18～20王朝の**新王国**時代になる。(119)〔　　〕の時に領土は最大になり，**現スーダンにかけて広がるヌビア砂漠からシリアにかけて**を版図とした。テーベにはアモンの (120)〔　　〕を建てた。(121)〔　　〕は (122)〔　　〕の一神教にし自ら (123)〔　　〕と名乗り (124)〔　　〕に遷都した。実子の (125)〔　　〕は**アモン神に戻し中心もメンフィスやテーベに戻した。**

前13世紀の第19王朝の (126)〔　　〕は小アジアの (127)〔　　〕王国との (128)〔　　〕に勝ったと吹聴（ふいちょう）し記念碑として (129)〔　　〕をヌビア砂漠に造る。モーセに率いられたヘブライ人の「(130)〔　　〕」はこの頃と言われる。

異民族王朝の時代を経て前 (131)〔　　〕世紀前半にはエジプトは (132)〔　　〕に征服された。武断政治のアッシリアから第26王朝が (133)〔　　〕を都に独立するが，(134)〔　　〕年には (135)〔　　〕朝ペルシアの (136)〔　　〕により征服され以後約200年イラン人の支配を受けることになる。

解答

(103) ヘロドトス　(104) エジプト語族　(105) ノモス　(106) アケメネス朝ペルシア
(107) メンフィス　(108) ギザ　(109) 三大ピラミッド　(110) クフ
(111) スフィンクス　(112) テーベ　(113) ルクソール　(114) アモン
(115) アモン＝ラー　(116) ファラオ　(117) セム　(118) ヒクソス
(119) トトメス３世　(120) カルナーク神殿　(121) アメンホテプ４世　(122) アトン
(123) イクナートン　(124) テル＝エル＝アマルナ　(125) ツタンカーメン
(126) ラメス（ラムセス）２世　(127) ヒッタイト　(128) カデシュの戦い
(129) アブシンベル神殿　(130) 出エジプト　(131) 7　(132) アッシリア
(133) サイス　(134) 前525　(135) アケメネス　(136) カンビュセス２世

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第１講　テスト

1　ハンムラビ王が統治した王国はどの民族によるものか。
①　アラム人
②　アムル人
③　フェニキア人
④　カルデア人

2　ヒッタイト王国を滅ぼしたのは次のどれか。
①　海の民
②　シュメール人
③　アッシリア人
④　イラン人

3　アッシリア王国の都は。
①　バビロン
②　ダマスクス
③　バグダッド
④　ニネヴェ

4　アケメネス朝が各州に置いた知事はどれ。
①　駅伝制
②　王の目・王の耳
③　サトラップ
④　アヴェスター

5　アケメネス朝は，以下のどの国から独立したのか。
①　メディア
②　リディア
③　カルデア
④　ヘブライ

第１講　テスト解答
1　②　　2　①　　3　④　　4　③　　5　①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第２講
古代オリエント②

地中海東岸は歴史的にシリアと呼ばれる地域だ。現在はシリアの他にレバノン，ヨルダン，イスラエルという国がある。

【アラム人】古代史におけるこの地域の民族としては，まず(1)〔　　〕人を覚えよう。現シリアの首都(2)〔　　〕を中心に(3)〔　　〕に従事しアラム文字を生み出した。アラム語はアケメネス朝ペルシアの公用語となり，のちにイエス＝キリストも話していたという。アラム文字はイラン系のソグド文字，トルコ系の突厥（とっけつ）文字やウイグル文字，モンゴル系の契丹（きったん）文字，ツングース系の女真（じょしん）（満州（まんしゅう））文字に影響した。

【フェニキア人】地中海沿いには，(4)〔　　〕人が北から(5)〔　　〕を築いた。ベイルートは現(6)〔　　〕の首都。ティルスは北アフリカに(7)〔　　〕(現チュニジアの首都(8)〔　　〕)植民市を建設した。ポエニ（フェニキア）戦争で共和政ローマと戦ったカルタゴだ。カルタゴにはフェニキア人の宗教の名残がある。フェニキア人はインド洋からバルト海にかけて広範囲で交易に従事。(9)〔　　〕文字をもとにフェニキア文字を生み出し，これがアルファベットとなって(10)〔　　〕文字，エトルリア文字を経てラテン文字つまりローマ字となった。

レバノンは風光明媚（ふうこうめいび）で快適な国だ。狭い国土に多様な気候が混在する。レバノン国旗の表象レバノン杉の原木は現在数本を残すのみだ。フェニキア人ではないが現シリアの(11)〔　　〕もおさえておこう。

【ヘブライ人】パレスチナの先住民は(12)〔　　〕。神(13)〔　　〕から「乳と蜜の流れる(14)〔　　〕の沃野（よくや）」を約束されメソポタミアの(15)〔　　〕からユーフラテス川沿いに移動した(16)〔　　〕の一族は，先住民から「川向こうから来た人々＝(17)〔　　〕」と呼ばれた。

前13世紀にモーセはヘブライ人を「(18)〔　　〕」させた後に(19)〔　　〕でヤハウェから(20)〔　　〕を授かりヤハウェと契約関係に入る。そして今から約3000年前に(21)〔　　〕は(22)〔　　〕に都を定め，(23)〔　　〕を建設した(24)〔　　〕(フィリスティア人，パレスチナの語源)の巨人ゴリアテを石投げ機で打ち倒した。

解答

（１）アラム　（２）ダマスクス　（３）内陸交易（こうえき）　（４）フェニキア
（５）ビブロス，ベイルート，シドン，ティルス　（６）レバノン　（７）カルタゴ
（８）チュニス　（９）シナイ　(10) ギリシア　(11) ウガリット　(12) カナーン人
(13) ヤハウェ　(14) カナーン　(15) ウル　(16) アブラハム　(17) ヘブライ人
(18) 出（しゅつ）エジプト　(19) シナイ山　(20) 十戒（じっかい）　(21) ダビデ　(22) イェルサレム
(23) ガザ　(24) 海の民＝ペリシテ人

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

エルサレムにヤハウェの神殿を建立したのが，ダビデの子 (25)〔　　〕だ。ヘブライ王国の国土は現在の二倍に及び（現在のイスラエルは日本の四国ほどの広さ），**アラビアからシバの女王はソロモンの栄華を見に訪れた**。しかし統治の後半には妻を 1000 人持ちヤハウェの崇拝から離れ，結果ヘブライ王国は北の (26)〔　　〕と南の (27)〔　　〕に分裂。イスラエル王国は (28)〔　　〕年 (29)〔　　〕に，ユダ王国は (30)〔　　〕年に (31)〔　　〕のネブカドネザル２世により滅亡した。この時期に (32)〔　　〕が登場し**メシア（救世主（きゅうせいしゅ））の出現を予告しユダヤ教が熟成**した。

解答

(25) ソロモン　(26) イスラエル王国　(27) ユダ王国　(28) 前 722
(29) アッシリア王国　(30) 前 586　(31) 新バビロニア王国　(32) 預言者（よげんしゃ）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第２講　テスト①

1　以下のうち，フェニキア人が建設した都市でないもの。

①　カルタゴ

②　シドン

③　エルサレム

④　ティルス

2　旧約聖書の神は。

①　アモン

②　マルドゥク

③　アトン

④　ヤハウェ

3　バビロン捕囚が起こった世紀は。

①　前７世紀

②　前６世紀

③　前５世紀

④　前４世紀

第２講　テスト①解答

1　③　　2　④　　3　②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【パルティア】パルティア王国は現イランの(1)〔　　〕南東で(2)〔　　〕世紀に(3)〔　　〕系(4)〔　　〕人が(5)〔　　〕から自立した国だ。**建国者が**(6)〔　　〕**なので中国名は**(7)〔　　〕**である。**

東はインダス川から西はユーフラテス川にまで拡大し，ティグリス川沿いに新都(8)〔　　〕を建設した。だからセレウコス朝はセレウキアを放棄して地中海のアンティオキアに都を移すことになる。最初はギリシア語が公用語でヘレニズム文化の影響大だったが，後にペルシア文化が復興した。アラム文字表記からパフレヴィー文字表記にペルシア語が変化した。パルティアは(9)〔　　〕付近で（(10)〔　　〕の戦い）共和政ローマの第１回三頭政治のメンバー，(11)〔　　〕を戦死させた。しかし，(12)〔　　〕年にペルシス地方に興った(13)〔　　〕系イラン人のササン朝ペルシアにより滅亡した。

【ササン朝ペルシア】ササン朝の建国者は(14)〔　　〕で(15)〔　　〕**の復興を理念に掲げ，**(16)〔　　〕**を国教にした（教典は『**(17)〔　　〕**』）**。都は(18)〔　　〕，学芸の中心はグンディ＝シャープール。ギリシア・ローマの古典を翻訳し，イスラーム世界に伝えた。３世紀の(19)〔　　〕世は西にローマ帝国の軍人皇帝(20)〔　　〕を捕虜（ほりょ）にし（(21)〔　　〕の戦い，(22)〔　　〕年），東では西北インドの(23)〔　　〕を衰退させた。

６世紀の(24)〔　　〕世は西に**東ローマ（ビザンツ）帝国**の(25)〔　　〕と対決し，東では(26)〔　　〕と結んで(27)〔　　〕を攻撃した。

３世紀のバビロンでマニは**ゾロアスター教に**(28)〔　　〕**と**(29)〔　　〕**を融合し**(30)〔　　〕をつくるが，これはイスラーム化以前の(31)〔　　〕の国教だ。(32)〔　　〕**派キリスト教（唐代（とうだい）の**(33)〔　　〕**）**も信仰された。

法隆寺（ほうりゅうじ）の(34)〔　　〕や水差しなどにササン朝ペルシアの影響が反映されている。

ササン朝ペルシアは(35)〔　　〕年のザグロス山中の(36)〔　　〕の戦いで，(37)〔　　〕**時代の**(38)〔　　〕**人**(39)〔　　〕**教徒に敗れ滅亡した（**(40)〔　　〕年）。

解答

（１）カスピ海　（２）前３　（３）遊牧（ゆうぼく）　（４）イラン　（５）セレウコス朝シリア
（６）アルサケス　（７）安息（あんそく）　（８）クテシフォン　（９）ユーフラテス川
(10) カルラエ　(11) クラッスス　(12) 224　(13) 農耕　(14) アルダシール１世
(15) アケメネス朝　(16) ゾロアスター教　(17) アヴェスター　(18) クテシフォン
(19) シャープール１　(20) ヴァレリアヌス　(21) エデッサ　(22) 260
(23) クシャーナ朝　(24) ホスロー１　(25) ユスティニアヌス帝　(26) 突厥（とっけつ）
(27) エフタル　(28) キリスト教　(29) 仏教　(30) マニ教　(31) ウイグル
(32) ネストリウス　(33) 景教（けいきょう）　(34) 獅子狩文錦（ししかりもんきん）　(35) 642　(36) ニハーヴァンド
(37) 正統カリフ　(38) アラブ　(39) イスラーム　(40) 651

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第２講　テスト②

1　パルティアは中国で何と呼ばれたか。

①　大食

②　回鶻

③　安息

④　烏孫

2　パルティア王国が建国された世紀は。

①　前５世紀

②　前４世紀

③　前３世紀

④　前２世紀

3　ササン朝のシャープール１世がエデッサで捕虜にしたのは。

①　ローマ皇帝

②　東ローマ皇帝

③　西ローマ皇帝

④　神聖ローマ皇帝

4　ササン朝のホスロー１世が一緒にエフタルを滅ぼしたのは。

①　匈奴

②　鮮卑

③　柔然

④　突厥

5　極端な禁欲・平等主義であったゾロアスター教の異端は何か。

①　グノーシス派

②　マロン派

③　ミトラ教

④　マズダク教

6　バクトリア王国はスキタイ系遊牧民族の侵入で滅んだが，それはどれか。

①　サカ

②　ピュー

③　トハラ

④　ロマ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第２講　テスト②解答

1　③　　2　③　　3　①　　4　④　　5　④　　6　③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第３講
古代ギリシア①

【エーゲ文明】エーゲ文明は前半が前 20 世紀からの (1)〔　　〕, 後半が前 16 世紀からの (2)〔　　〕。

クレタ（ミノス）文明は**ギリシア人による文明ではない。民族系統不明**のクレタ人だ。

(3)〔　　〕について。イギリス人 (4)〔　　〕はクノッソスで見つかった文字を**クレタ人の文字である** (5)〔　　〕**（未解読）とクレタを征服したアカイア人（ギリシア人）の文字である** (6)〔　　〕**（イギリス人** (7)〔　　〕**が解読）とに分類**した。クノッソス宮殿には**城壁**（じょうへき）**がなく，海洋生物が写実的に明るく平和的に壺や壁に描かれて**いる。青いイルカの壁画がひときわ目立つ。

ミケーネはギリシア本土で**戦闘的**な発掘物が特色だ。大切なのは，**アカイア人つまりギリシア人による最初の文明**であること。他に (8)〔　　〕を覚えよう。(9)〔　　〕人 (10)〔　　〕が発掘した。ミケーネ文明は「海の民」により滅亡したというのが定説。

シュリーマンは (11)〔　　〕世紀のドイツ人で幼少時に (12)〔　　〕の『(13)〔　　〕』『(14)〔　　〕』**を読んでトロイア戦争に興味**を持った。老年期に入る時期に多言語を習得し，古ギリシア語の解る若い女性と結婚し，その助けで発掘に成功した。シュリーマンの著作は『(15)〔　　〕』。

【暗黒時代とポリスの形成】暗黒時代とは文字の記録の残らない時代という意味だ。しかし，ギリシア的なものが全て整った時期と言える。オリンポス 12 神，神話，神殿，ポリス…。

バルカン半島を南下したギリシア人の第 1 波が (16)〔　　〕人や**アテネ**をつくった (17)〔　　〕人や**テーベ**をつくった (18)〔　　〕人。第 2 波が**鉄器も持って南下**してきた (19)〔　　〕人。ドーリア人は**スパルタ**をつくった。**エーゲ海を北からアイオリス人，イオニア人，ドーリア人という配置で東へ渡った**。

アテネは有力者を中心にゆっくりと (20)〔　　〕(集まる) した**集住型**（しゅうじゅうがた）**ポリス（アッティカ地方型）**，スパルタは先住民のポリスを乗っ取った**征服型ポリス（ラコニア地方型）**ということになる。**だからスパルタ市民は皆が戦士。経済活動は周辺民** (21)〔　　〕と**被征服民** (22)〔　　〕**にやらせ軍事訓練に励んだ**。ヘイロータイの反乱に備えるためだ。これが元祖スパルタ教育だ。２人の王が支配するスパルタの伝説的立法者は (23)〔　　〕。厳格な軍国主義で**貴金属貨幣の流通は禁止する鎖国政策**。(24)〔　　〕半島ラコニア地方にありスパルタ人はラケダイモンを自称した。

解答

（1）クレタ文明　（2）ミケーネ文明　（3）クノッソス宮殿　（4）エヴァンズ
（5）線文字Ａ（せんもじ）　（6）線文字Ｂ　（7）ヴェントリス　（8）ティリンス　（9）ドイツ
（10）シュリーマン　（11）19　（12）ホメロス　（13）イリアス　（14）オデュッセイア
（15）古代への情熱　（16）アカイア　（17）イオニア　（18）アイオリス
（19）ドーリア　（20）シノイキスモス　（21）ペリオイコイ　（22）ヘイロータイ
（23）リュクルゴス　（24）ペロポネソス

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【海外植民市】ギリシア本土は**国土が石灰質**。まず (25)〔　　〕，次いで (26)〔　　〕が産物であり，**主食に供する小麦の産出に適さない**。だから，ギリシア人は**南フランスあたりの地中海からクリミヤ半島あたりの黒海北岸にまで植民市をつくりつつ広がり住んだ**。

フランス第２の都市 (27)〔　　〕（マッサリア），イタリアの都市 (28)〔　　〕（ネアポリス），(29)〔　　〕，(30)〔　　〕，トルコ第１の都市 (31)〔　　〕（ビザンティオン），(32)〔　　〕など。

その間に異国の言葉を意味不明の雑音と感じそれを発する異人（いじん）を (33)〔　　〕とみなす。その中でギリシア人のことは同胞（どうほう）つまり (34)〔　　〕，ギリシア人の国土を (35)〔　　〕と意識した。

【ポリス世界】ギリシア人の諸 (36)〔　　〕は都市と周辺の農村から成る。水源をめぐり**常に抗争する**。**統一へは向かわない各々が独立国家**だ。
ポリス同士はライバルだけど，同時にヘレネスとしての同胞意識もある。

ギリシア語・(37)〔　　〕（第１回オリンピック・(38)〔　　〕年を覚えよう。前８世紀からが本格的古代ギリシア史だから）・(39)〔　　〕による (40)〔　　〕**・同じ神を戴く** (41)〔　　〕**・ホメロスの物語を共有していること**など…が同胞意識を育んだ。

ポリスでは (42)〔　　〕が (43)〔　　〕（密集戦法）で**活躍するから，発言権が増し参政権が拡大，政治的に平等になる，つまり民主的になる**。また，**貨幣経済が深化すると社会が流動的になり再編成**される。オリエントの西の端，小アジア西部に位置するリディアの**鋳造貨幣の影響**もそのうち加わってくる。

信仰と防衛の中心の城山が (44)〔　　〕，裁判・民会・交易のための公共広場が (45)〔　　〕。市民は (46)〔　　〕という私有地を保有する農民で，租税（そぜい）はないが自弁の武器で従軍する義務がある。

【アテネの民主化】(47)〔　　〕→ (48)〔　　〕（(49)〔　　〕，(50)〔　　〕年）→ (51)〔　　〕（(52)〔　　〕，(53)〔　　〕年）→ (54)〔　　〕（(55)〔　　〕，(56)〔　　〕年）→民主政治の確立（(57)〔　　〕，(58)〔　　〕年）→民主政治の完成（(59)〔　　〕，(60)〔　　〕～ (61)〔　　〕年）→ (62)〔　　〕。

解答

(25) オリーブ　(26) ぶどう　(27) マルセイユ　(28) ナポリ
(29) タレントゥム　(30) シラクサ　(31) イスタンブル　(32) ミレトス
(33) バルバロイ　(34) ヘレネス　(35) ヘラス　(36) ポリス　(37) オリンピア祭典
(38) 前 776　(39) アポロン神　(40) デルフォイの神託　(41) 隣保（りんぽ）同盟
(42) 重装歩兵（じゅうそうほへい）　(43) ファランクス　(44) アクロポリス　(45) アゴラ
(46) クレーロス　(47) 王政　(48) 貴族政　(49) ドラコン　(50) 前 621
(51) 財産政治　(52) ソロン　(53) 前 594　(54) 僭主（せんしゅ）政治　(55) ペイシストラトス
(56) 前 561　(57) クレイステネス　(58) 前 508　(59) ペリクレス　(60) 前 443
(61) 429　(62) 衆愚（しゅうぐ）政治

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

アテネはシノイキスモス型だから有力者つまり王のもとに集住した，これが(63)〔　　〕。次に複数の貴族による統治，これが(64)〔　　〕。再編成された社会に対応するため(65)〔　　〕による立法。財産の所有にもバリエーションが生じ参政権を財産の額に応じ(66)〔　　〕は参政権を決めた。貨幣経済は借金と債務奴隷を生んだが，彼は重装歩兵を確保するために借金を棒引きした（**重荷おろし**）。貴族から土地を取り上げ貧民に分配する荒業をやってのけ人気を博し僭主つまり独裁者となったのが(67)〔　　〕。しかし息子ヒッピアスが暴君になったので，(68)〔　　〕は(69)〔　　〕で僭主出現を防止した。当時のアテネには陶器の破片は至るところに落ちていたらしい。それはオリーブオイルとワインが主産物だったから。彼はさらに**４部族制という血縁から 10 部族制という地縁に改変し貴族による政治独占も防止**した。また**将軍職**を設置した。こうして民主政治が確立した。

【ペルシア戦争】前５世紀にアテネが遭遇した世界大戦，それが歴史家(70)〔　　〕が描いた（アケメネス朝）ペルシア戦争（(71)〔　　〕～(72)〔　　〕年）だ。

騎馬民族(73)〔　　〕に圧迫されたアケメネス朝は経済的に困窮し，小アジア西部(74)〔　　〕地方の**ギリシア人諸都市に対し課税を強化**した。(75)〔　　〕を中心にギリシア人が反乱を起こすと**ミレトスの母市アテネがこれを支援**。それに対しアケメネス朝の(76)〔　　〕世がエーゲ海に派兵した。第２回ペルシア戦争の(77)〔　　〕（(78)〔　　〕年）では**ミルティアデスが指導しアテネの平民が重装歩兵として活躍**した。第３回ペルシア戦争では(79)〔　　〕で**スパルタ王レオニダスがペルシアに敗れ全滅**，また(80)〔　　〕世の派兵で**アテネのパルテノン神殿も焼失**し絶体絶命のピンチ。しかし，(81)〔　　〕（(82)〔　　〕年）では(83)〔　　〕指揮のもと**無産市民が三段櫂船の漕ぎ手として活躍し勝利，戦後の政治的地位を向上**させた。もっとも救国の英雄テミストクレスは傲慢になり，後に陶片追放になりアケメネス朝ペルシアに亡命する。

ペルシア戦争は翌年の(84)〔　　〕に再びアテネが勝利し，事実上決着がついた。この戦いの**前 479 年から前 429 年（ペリクレスの死）までの 50 年間が**(85)〔　　〕**の盟主としてのアテネ黄金時代**だ。

解答

（63）王政　（64）貴族政　（65）ドラコン　（66）ソロン　（67）ペイシストラトス
（68）クレイステネス　（69）オストラシズム（陶片追放）　（70）ヘロドトス
（71）前 500　（72）前 449　（73）スキタイ　（74）イオニア　（75）ミレトス
（76）ダレイオス１　（77）マラトンの戦い　（78）前 490　（79）テルモピレーの戦い
（80）クセルクセス１　（81）サラミスの海戦　（82）前 480　（83）テミストクレス
（84）プラタイアの戦い　（85）デロス同盟

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【アテネ黄金時代】ペルシアの再来に備え結成されたデロス同盟だが，その共同基金を流用し(86)〔　　〕は(87)〔　　〕様式の(88)〔　　〕を再建した。神殿再建は，友人(89)〔　　〕が監督し彼の作品**アテナ女神像**も安置された。

アテネ民主政治が完成した。

(90)〔　　〕が国権の最高機関で官職は(91)〔　　〕，しかし**将軍職だけは例外でペリクレスは何度も再任**され「事実上の独裁」だったと歴史家(92)〔　　〕は述べた。

現在の我々の時代の民主政治との相違点は，**①直接民主政であったこと，② 18 才以上の男子市民にのみ参政権つまり婦人参政権がなかったこと，③奴隷に参政権がなかったこと（**(93)〔　　〕な**どで生産奴隷として働く），の三点**だ。

【衆愚政治】

明治時代の偉人が民主主義と訳した英語の元々のギリシア語 **demokratia はデーモス（民衆）とクラトス（力・支配）の合成語**。実態は民衆制といったところだ。

仮に，場当たり的な言説（**デマゴギー**）を吐き散らかす煽動政治家（(94)〔　　〕）が登場し民衆を刺激しつつ操れば，愚かな道へと進んでゆく。

この時期(95)〔　　〕はデマゴーゴスの代表格アルキビアデスと付き合いがあったので煽動罪で自害を命じられ「**悪法もまた法なり**」と言って毒杯をあおいだ。

ペリクレスの死の２年前に(96)〔　　〕の盟主**スパルタ**との(97)〔　　〕が始まったが，スパルタが勝利した。（ペリクレスの戦没者葬送演説に自由や民主政治という言葉が登場する）

そのスパルタも(98)〔　　〕に(99)〔　　〕（(100)〔　　〕年）に負け（テーベの**エパメイノンダスの戦術**による）覇権はテーベに移る。しかしもはや重装歩兵による市民皆兵から**傭兵の時代へと時流は移り**，公共的空間としてのポリスも変質し，ギリシア世界を束ねる指導的な役割を担えるポリスはもはや存在しない時期に入っていた。

解答

(86) ペリクレス　(87) ドーリア　(88) パルテノン神殿　(89) フェイディアス
(90) 民会　(91) 抽選　(92) トゥキディデス　(93) ラウレイオン銀山
(94) デマゴーゴス　(95) ソクラテス　(96) ペロポネソス同盟　(97) ペロポネソス戦争
(98) テーベ　(99) レウクトラの戦い　(100) 前 371

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第3講　テスト

1　クノッソス宮殿を発掘したのは。

①　シュリーマン

②　シャンポリオン

③　ローリンソン

④　エヴァンズ

2　以下のうちギリシア人が建設したのでない都市は。

①　マルセイユ

②　ベイルート

③　ナポリ

④　イスタンブル

3　以下のうち，組合せの誤っているものは。

①　財産政治－ドラコン

②　民主政治－クレイステネス

③　僭主政治－ペイシストラトス

④　独裁政治－カエサル

4　アテネ黄金時代の人物として不適格なのは。

①　トゥキディデス

②　フェイディアス

③　ペリクレス

④　クレイステネス

5　以下のペルシア戦争のうち，最後に起きたのは。

①　マラトンの戦い

②　プラタイアの戦い

③　サラミスの戦い

④　テルモピレーの戦い

6　パルテノン神殿の建築様式は。

①　イオニア式

②　ロマネスク式

③　コリント式

④　ドーリア式

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　古代ギリシアの覇権の推移で正しいのは。

①　マケドニア→スパルタ→アテネ→テーベ

②　スパルタ→アテネ→テーベ→マケドニア

③　アテネ→テーベ→マケドニア→スパルタ

④　アテネ→スパルタ→テーベ→マケドニア

8　以下のうち，アテネと無関係の語句は。

①　ヘイロータイ

②　アクロポリス

③　ラウレイオン銀山

④　ソクラテス

9　アテネの在留外人を何と呼んだか。

①　クリティアス

②　メトイコイ

③　ディオニソス

④　ソフィスト

10　以下のうち，プラトンがアテネ郊外に創設した学園はどれか。

①　アカデメイア

②　リュケイオン

③　ムセイオン

④　エレクティオン

11　アテネ出身の軍人で歴史家だった人物で『アナバシス』を著したのは。

①　アナクシマンドロス

②　ヘラクレイトス

③　クセノフォン

④　ピタゴラス

12『女の平和』『雲』を著した喜劇作家は。

①　アイスキュロス

②　アリストファネス

③　エウリピデス

④　ソフォクレス

第３講　テスト解答

1　④	2　②	3　①	4　④	5　②	6　④
7　④	8　①	9　②	10　①	11　③	12　②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第４講
古代ギリシア②

【フィリッポス２世】マケドニアはギリシアの北の果て，ポリス世界からはバルバロイ視されていた。もっとも19世紀の発掘でドーリア人であることが確認されたが。

マケドニアは(1)〔　　〕の時に富国強兵した。目的はアケメネス朝ペルシア対策だ。金山銀山も所有した。マケドニアの強大化に対し，アテネの弁論家は**デモステネスら主戦論vsイソクラテスら和平論に分かれたが主戦論がとおり**マケドニアと戦った。(2)〔　　〕((3)〔　　〕年）だ。**マケドニアがアテネ・テーベに勝ち，スパルタを除く全ギリシアの盟主となった**（(4)〔　　〕＝ヘラス同盟)。いよいよ**マケドニア人の覇権の時代，ヘレニズム時代**の幕開けだ。

【アレクサンドロス大王】弱冠（じゃっかん）二十歳で帝位を継いだアレクサンドロス３世（大王）は，(5)〔　　〕海峡（かいきょう）を渡り東征を開始。緒戦のグラニコス川の戦いは辛勝（しんしょう）するものの(6)〔　　〕年の(7)〔　　〕でアケメネス朝ペルシアの最後の王(8)〔　　〕世を蹴散らす。その戦いの絵を確認せよ。

次いでアレクサンドロス大王は**地中海東岸を南下**，ティルスを埋め立てて攻略し(9)〔　　〕人，エルサレムを攻略し(10)〔　　〕人を支配した。エジプトに入るとメンフィスで**アモンの化身となって自らを神格化，東方的専制君主（せんせいくんしゅ）への道を歩み始める**。メソポタミア北部の(11)〔　　〕でダレイオス３世を再び破り(12)〔　　〕**に入城し神マルドゥクの化身（けしん）となり**自分の帝国の中心地とする。

【ペルセポリス炎上】(13)〔　　〕山脈を越えイランに入り，アケメネス朝の都(14)〔　　〕そして(15)〔　　〕を攻略，**ゾロアスター教の善神アフラ＝マズダの化身**となる。そして**ペルセポリスのクセルクセス１世の神殿に火を放つ**。

しかし彼の遠征はペルシア征服では終わらなかった。現イランを北上し(16)〔　　〕南東の(17)〔　　〕，(18)〔　　〕上流の(19)〔　　〕（現アフガニスタン)，シル川との間(20)〔　　〕（現ウズベキスタン）と旧ソ連を現中華人民共和国の方向へと迫る。(21)〔　　〕山脈を越え(22)〔　　〕峠を越えインドに入るが，インダス川上流には毛細血管の如くに川があり，結局それらを渡り切れず，インダス川そしてアラビア海に沿って移動しバビロンに戻った。こうして成立したのが**ヘレニズム文化圏**。東が(23)〔　　〕から西は(24)〔　　〕。帝国の都は(25)〔　　〕だ。

解答

（１）フィリッポス２世　（２）カイロネイアの戦い　（３）前338　（４）コリントス同盟
（５）ダーダネルス　（６）前333　（７）イッソスの戦い　（８）ダレイオス３
（９）フェニキア　(10)ユダヤ　(11)アルベラの戦い　(12)バビロン　(13)ザグロス
(14)スサ　(15)ペルセポリス　(16)カスピ海　(17)パルティア　(18)アム川
(19)バクトリア　(20)ソグディアナ　(21)ヒンドゥークシ　(22)カイバル
(23)インダス川　(24)マケドニア　(25)バビロン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【東西融合政策】アレクサンドロス大王といえば(26)〔　　〕。①**マケドニア男性とペルシア女性の通婚，②ペルシアの官僚制度の採用，③**(27)〔　　〕**を多数建設しギリシア文化を移植，④東方的専制君主体制の採用，⑤共通ギリシア語**(28)〔　　〕**の普及**など。

【ディアドコイ（後継者）戦争】アレクサンドロス大王は30代前半でバビロンにて急逝（きゅうせい），カッサンドロス，リシマコス，プトレマイオス，セレウコスの４人の(29)〔　　〕（後継者（こうけいしゃ））が受け継いだ。その中のセレウコスはインド侵入時の講和条約の証として(30)〔　　〕朝マガダ国の(31)〔　　〕から象をプレゼントされ，(32)〔　　〕年の(33)〔　　〕を優位に進め，結果ヘレニズム３国で最大となった。

ヘレニズム３国とは，(34)〔　　〕（都(35)〔　　〕），(36)〔　　〕（都(37)〔　　〕→(38)〔　　〕），(39)〔　　〕（都(40)〔　　〕）。アレクサンドリアこそヘレニズム文化の中心地で学術研究所(41)〔　　〕がつくられた。museumの元となる語だ。セレウコス朝がティグリス川にセレウキアを建設したのでユーフラテス川のバビロンが衰退（すいたい）した。

セレウコス朝シリアから自立するのが，現アフガニスタンの(42)〔　　〕（ギリシア系），現イランの(43)〔　　〕（(44)〔　　〕系），小アジア現トルコの(45)〔　　〕（**アッタロス朝，**(46)〔　　〕が発祥でヘレニズム文化の中心の一つ）の３つ。

解答

(26) 東西融合政策　(27) アレクサンドリア　(28) コイネー　(29) ディアドコイ
(30) マウリヤ　(31) チャンドラグプタ　(32) 前301　(33) イプソスの戦い
(34) アンティゴノス朝マケドニア　(35) ペラ　(36) セレウコス朝シリア
(37) セレウキア　(38) アンティオキア　(39) プトレマイオス朝エジプト
(40) アレクサンドリア　(41) ムセイオン　(42) バクトリア王国　(43) パルティア王国
(44) イラン　(45) ペルガモン王国　(46) 羊皮紙（ようひし）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第４講　テスト

1　マケドニアのフィリッポス２世がアテネ・テーベ連合軍を破った戦いは。
①　ニハーヴァンドの戦い
②　イッソスの戦い
③　カイロネイアの戦い
④　パーニーパットの戦い

2　アレクサンドロス大王の東方遠征はどの川まで。
①　ユーフラテス川
②　シル川
③　インダス川
④　ガンジス川

3　ヘレニズム３国に含まれないのは。
①　セレウコス朝
②　ササン朝
③　アンティゴノス朝
④　プトレマイオス朝

4　地球の周りの長さを測定したのは。
①　アリスタルコス
②　アルキメデス
③　エウクレイデス
④　エラトステネス

5　以下のうち，ヘレニズム時代と無関係のものは。
①　ラオコーン
②　サモトラケのニケ
③　アテナ女神像
④　瀕死のガリア人

6　ヘレニズム時代の人体解剖　動脈と静脈の区別と言えば。
①　エピクロス
②　ヘロフィロス
③　ヒッポクラテス
④　ゼノン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第４講　テスト解答

1　③　　2　③　　3　②　　4　④　　5　③　　6　②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第５講
共和政ローマ

【イタリア半島統一期】初代のローマ皇帝 (1)〔　　〕帝の時代の叙事詩 (2)〔　　〕の『(3)〔　　〕』や歴史書 (4)〔　　〕の『(5)〔　　〕』によると，(6)〔　　〕川沿いに双子の兄弟ロムルスとレムスが住みつき，(7)〔　　〕年（伝説）にローマの町が誕生した。(8)〔　　〕人もしくは (9)〔　　〕人が建てた町だ。

当初は北のトスカーナ地方を本拠とする (10)〔　　〕人に支配されていたが，(11)〔　　〕**年にエトルリア王を追放し，共和政ローマがスタート**した。

共和政というのは君主政の否定用語，共和政こそローマの本質だ。(12)〔　　〕において貴族((13)〔　　〕）が政権を担った。(14)〔　　〕は定員２名で任期１年，(15)〔　　〕は非常時のみ１名置かれ任期は (16)〔　　〕だった。

イタリア半島統一事業においてローマ市民が重装歩兵として活躍し始めると，(17)〔　　〕年の聖山（せいざん）事件をきっかけに (18)〔　　〕が設置され身分闘争がはじまった。(19)〔　　〕も置かれ，(20)〔　　〕年には成文法の (21)〔　　〕が制定される。(22)〔　　〕年の (23)〔　　〕で**執政官の一人が平民から選ばれ，かつ貴族の大土地所有が制限**されることになる。(24)〔　　〕年の (25)〔　　〕において，(26)〔　　〕となることになり，時代は民主的な共和主義の時代になる。

この時期，ローマは中部のラテン人の領域のみならず，北のエトルリア人，南のギリシア人を平定，(27)〔　　〕年には (28)〔　　〕人の都市 (29)〔　　〕を攻略しイタリア半島を統一した。ローマの半島支配を (30)〔　　〕と呼ぶが，これは**各都市の待遇に差をつけて団結を防ぐ方策**だ。この半島統一期にローマから南に向けて (31)〔　　〕が敷かれた（前 312 年）。

解答

（1）アウグストゥス　（2）ウェルギリウス　（3）アエネイス　（4）リウィウス
（5）ローマ建国史　（6）ティベレ　（7）前 753　（8）ラテン　（9）イタリア
（10）エトルリア　（11）前 509　（12）元老院（げんろういん）（セナトゥス）　（13）パトリキ
（14）執政官（しっせいかん）（コンスル）　（15）独裁官（ディクタトル）　（16）半年　（17）前 494
（18）護民官（ごみんかん）　（19）平民会　（20）前 450　（21）十二表法　（22）前 367
（23）リキニウス＝セクスティウス法　（24）前 287　（25）ホルテンシウス法
（26）平民会の決定が元老院の承認をへずに国法　（27）前 272　（28）ギリシア
（29）タレントゥム　（30）分割統治　（31）アッピア街道

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【ポエニ戦争】現レバノンの(32)〔　　〕を母市とする(33)〔　　〕（ポエニ）人の都市(34)〔　　〕との間に(35)〔　　〕をめぐり(36)〔　　〕が始まった。ローマが勝利し，シチリア島を獲得（かくとく）。ローマ初の海外領土つまり(37)〔　　〕となる。以後，属州はローマ(38)〔　　〕により治められ，(39)〔　　〕とともに支配した。後者はのちにローマ社会において新興成金階級（しんこうなりきんかいきゅう）である(40)〔　　〕を形成した。

イベリア半島（現スペイン）からカルタゴの将軍(41)〔　　〕がアルプスを越えローマを攻め，ローマの食料貯蔵所(42)〔　　〕で一時ローマを破るが，結局(43)〔　　〕((44)〔　　〕年）でローマが勝利し(45)〔　　〕もローマが勝った。第３回も(46)〔　　〕将軍の活躍でローマが勝利し，カルタゴは滅亡しローマの属州となる。ローマは**ハンニバルと同盟関係にあったアンティゴノス朝マケドニア**をすでに(47)〔　　〕年の(48)〔　　〕で負かしていたが，マケドニアも正式にローマの属州とした((49)〔　　〕年)。カルタゴ炎上を目撃したのが**政体循環（じゅんかん）論**の(50)〔　　〕でスキピオの友人だった。

【内乱の一世紀】「カルタゴの許可なしにはローマ人は地中海で手も洗えない」といわれた時代は過ぎ去った。こうして**ローマは西地中海の覇者（はしゃ）となり農業国から商業国へと変貌（へんぼう）**をとげる。(51)〔　　〕年には小アジアの(52)〔　　〕を属州化。この土地を貧民に分配すべく改革をはじめたのが，(53)〔　　〕で**リキニウス・セクスティウス法を復活させようとした**が失敗に終わった。内乱の一世紀は，グラックス兄弟の改革が始まった(54)〔　　〕年に始まった。

属州からの安い穀物（こくもつ）が流入し中小農民は没落，この時期奴隷による果樹栽培を主とする**奴隷**を使用した(55)〔　　〕という大農場経営が始まった。これがグラックス兄弟に改革を決意させた。没落（ぼつらく）農民は遊民（ゆうみん）化しローマの町に流入していた。彼らを「(56)〔　　〕」で操ったのが，富裕なパトリキと富裕な(57)〔　　〕（平民）により形成された(58)〔　　〕だ。遊民を**私兵化し軍制改革**をした(59)〔　　〕の**平民派**と(60)〔　　〕の(61)〔　　〕が対立した。スラが平定したのが，**イタリア半島内の同盟市がローマ市民権を要求した**(62)〔　　〕で，**結果として市民権が与えられた**。ローマの新興支配勢力は，娯楽とくに剣奴（けんど）の戦いを見せ物として提供し人気を得，自らの権力の基盤としていた。

解答

（32）ティルス　（33）フェニキア　（34）カルタゴ　（35）シチリア島
（36）第１回ポエニ戦争　（37）属州（プロヴィンキア）　（38）総督（そうとく）　（39）徴税請負人（ちょうぜいうけおいにん）
（40）騎士（きし）階級（エクイテス）　（41）ハンニバル　（42）カンネー　（43）ザマの戦い
（44）前 202　（45）第２回ポエニ戦争　（46）スキピオ　（47）前 168
（48）ピュドナの戦い　（49）前 146　（50）ポリビオス　（51）前 133　（52）ペルガモン
（53）グラックス兄弟　（54）前 133　（55）ラティフンディア　（56）パンとサーカス
（57）プレブス　（58）新貴族（ノビレス）　（59）マリウス　（60）スラ　（61）閥族（ばつぞく）派
（62）同盟市戦争

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【三頭政治】シチリア島では奴隷反乱が起きた。(63)〔　　〕～71年に剣奴(64)〔　　〕が反乱を指導した。この反乱を圧(あつ)したのが，(65)〔　　〕（**前**(66)〔　　〕**年に**(67)〔　　〕**を属州化しエルサレムをも支配**，地中海の海賊も征伐）と騎士階級の(68)〔　　〕で，二人は(69)〔　　〕とともに私的な同盟を結び(70)〔　　〕を行った。

クラッススは(71)〔　　〕に遠征し(72)〔　　〕**川付近**の(73)〔　　〕で戦死した。**属州**(74)〔　　〕**（現フランス）総督**カエサルは「賽(さい)は投げられた」と言い(75)〔　　〕川を渡り，元老院と組んだポンペイウスと対決，撃破した後エジプトまで追撃し，そこで(76)〔　　〕**朝の女王**(77)〔　　〕**と遭遇し結婚**，息子カエサリオンを連れてローマに凱旋(がいせん)した。ローマで(78)〔　　〕（軍司令官）を名乗ったカエサルは，さらには(79)〔　　〕（本来は任期半年）となり，エジプトの太陽暦をもとに(80)〔　　〕を定め，属州の徴税請負制度を廃止し，**元老院を軽視**しつつ権力を自らに集中させたので，共和政の危機を感じた元老院派の(81)〔　　〕らにより暗殺された。「ブルートゥス，おまえもか！」

次いでクレオパトラは**第２回三頭(さんとう)政治**のメンバーである(82)〔　　〕に接近そして結婚。(83)〔　　〕失脚後，この夫婦は三頭政治のもう一人のメンバーである(84)〔　　〕に(85)〔　　〕で敗れ（(86)〔　　〕年）翌年に自殺，こうして**プトレマイオス朝およびヘレニズム時代そして古代ローマ史における「内乱の一世紀」が幕を閉じた（**(87)〔　　〕年）。

解答

(63) 前73　(64) スパルタクス　(65) ポンペイウス　(66) 64
(67) セレウコス朝シリア　(68) クラッスス　(69) カエサル　(70) 第１回三頭政治
(71) パルティア　(72) ユーフラテス　(73) カルラエの戦い　(74) ガリア
(75) ルビコン　(76) プトレマイオス　(77) クレオパトラ　(78) インペラトル
(79) 終身独裁官　(80) ユリウス暦　(81) ブルートゥス　(82) アントニウス
(83) レピドゥス　(84) オクタウィアヌス　(85) アクティウムの海戦　(86) 前31
(87) 前30

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第５講　テスト

1　イタリア半島の先住民族は。
①　フェニキア人
②　ゲルマン人
③　マジャール人
④　エトルリア人

2　平民会の決定が元老院を経ずに国法になることになったのは。
①　十二表法
②　リキニウス・セクスティウス法
③　ホルテンシウス法
④　ローマ法大全

3　第１回ポエニ戦争で獲得し，ローマ初の海外領土（属州）になったのは。
①　エジプト
②　カルタゴ
③　シチリア島
④　マケドニア

4　イタリア半島内にないものは。
①　ガール水道橋
②　パンテオン
③　コロッセウム
④　アッピア街道

5　内乱の１世紀に起きたのでない事は。
①　同盟市戦争
②　スパルタクスの乱
③　ポエニ戦争
④　シリア，ユダヤの属州化

6　第１回三頭政治のメンバーでない人物は。
①　カエサル
②　クラッスス
③　レピドゥス
④　ポンペイウス

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　以下の地域のうち最後にローマの属州になったのは。

①　エジプト

②　シリア

③　マケドニア

④　カルタゴ

8　クレオパトラが敗れた海戦が起きた場所は。

①　エジプト沖

②　南イタリア

③　黒海

④　ギリシア西岸

9　ローマ帝国ができた年号は。

①　前 31

②　前 30

③　前 27

④　前 25

10　前 343 ～前 290 の対外戦争は。

①　ポントス戦争

②　ユグルタ戦争

③　サムニウム戦争

④　同盟市戦争

11　前４世紀の出来事を１つ選べ。

①　エトルリア人の王を戴いていた。

②　第２次ポエニ戦争を終えたところであった。

③　グラックス兄弟が改革を準備していた。

④　リキニウス＝セクスティウス法が制定された。

12　以下のうち，元老院派は。

①　キケロ

②　ギボン

③　ゼノン

④　ドロイゼン

第５講　テスト解答

1　④	2　③	3　③	4　①	5　③	6　③
7　①	8　④	9　③	10　③	11　④	12　①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第６講
帝政ローマとキリスト教の成立①

【１世紀ローマ帝国史】地中海最大の穀倉地帯であるエジプトの獲得を背景にオクタヴィアヌスは元老院から (1)〔　　〕の称号を与えられ，(2)〔　　〕と呼ばれる帝政を開始した。(3)〔　　〕年だ。この語は自らを (4)〔　　〕と名乗ったことに由来する。(5)〔　　〕年の (6)〔　　〕では (7)〔　　〕人に敗れ，以後 (8)〔　　〕がローマ帝国とゲルマン人の境となる。**『ゲルマニア』**は (9)〔　　〕の作品だ。

第２代皇帝ティベリウスの時，**イエス＝キリストがローマのユダヤ総督** (10)〔　　〕により (11)〔　　〕**で処刑されたが**，使徒たちのうち特に (12)〔　　〕によりキリスト教はローマ帝国内に広められた。第４代皇帝クラウディウス帝の妻アグリッピナの連れ子がネロだ。(13)〔　　〕年のローマの大火に起因する (14)〔　　〕によるキリスト教迫害によりパウロやペテロは殉死したとされる。(15)〔　　〕年にはイェルサレムがローマ帝国に征服され「(16)〔　　〕」と呼ばれる西の壁だけが現在残っている。79年に (17)〔　　〕が噴火し (18)〔　　〕の町が埋没した。**『博物誌』**の (19)〔　　〕が見に行って窒息死した。(20)〔　　〕年には円形競技場 (21)〔　　〕が完成。キリスト教徒はランチタイムの余興としてライオンに食い千切られた。キリスト教徒が隠れ活動した地下の隠れ家が (22)〔　　〕だ。

コロニア＝アグリッピナが (23)〔　　〕，**ルテティアが** (24)〔　　〕，**ロンディニウムが** (25)〔　　〕，**ヴィンドボナが** (26)〔　　〕。メディオラヌムが (27)〔　　〕。これらがローマ時代に発展した都市である。

【五賢帝時代】(28)〔　　〕年から (29)〔　　〕年までは**五賢帝時代**と呼ばれ，ローマ帝国の最盛期だ。(30)〔　　〕は**養子相続**を開始，次の**イスパニア出身**の (31)〔　　〕は (32)〔　　〕（現ルーマニア）を平定しローマ人を植民し**帝国領土は最大**となる。だからルーマニアは (33)〔　　〕で唯一 (34)〔　　〕系の国なのだ（たいていはスラヴ系）。(35)〔　　〕は**スコットランドに** (36)〔　　〕を築いた。また第２ユダヤ戦争の結果，ユダヤ人をイスラエルから (37)〔　　〕させたので，**イスラエルは** (38)〔　　〕**という呼称に**なった。(39)〔　　〕をへて，５人目の (40)〔　　〕（『(41)〔　　〕』を**ギリシア語** (42)〔　　〕

解答

（1）アウグストゥス　（2）プリンキパトゥス（元首政）　（3）前27
（4）プリンケプス（第一の市民）　（5）9　（6）トイトブルク森の戦い　（7）ゲルマン
（8）ライン川ドナウ川　（9）タキトゥス　（10）ポンテウス＝ピラトゥス
（11）イェルサレム　（12）パウロ　（13）64　（14）ネロ帝　（15）70　（16）嘆きの壁
（17）ウェスウィウス火山　（18）ポンペイ　（19）プリニウス　（20）80
（21）コロッセウム　（22）カタコンベ　（23）ケルン　（24）パリ　（25）ロンドン
（26）ウィーン　（27）ミラノ　（28）96　（29）180　（30）ネルウァ　（31）トラヤヌス
（32）ダキア　（33）バルカン半島　（34）ラテン　（35）ハドリアヌス　（36）長城
（37）離散（ディアスポラ）　（38）パレスチナ　（39）アントニヌス＝ピウス
（40）マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス　（41）自省録　（42）コイネー

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

で著す(43)〔　　〕の哲学者）までが五賢帝時代だ。『(44)〔　　〕**西域伝**（さいいきでん）』にでてくる「(45)〔　　〕」とは彼であると推察される。また，現ベトナムの(46)〔　　〕で発掘された金貨には彼の名が刻印されている。

２世紀がローマ帝国の最盛期だ。１～２世紀が(47)〔　　〕（ローマの平和）。パクスとはラテン語で「秩序」を意味する言葉だ。

【軍人皇帝時代（ぐんじんこうてい）】３世紀の(48)〔　　〕帝が最初の軍人皇帝だ。息子の(49)〔　　〕は(50)〔　　〕年の(51)〔　　〕**で全属州民にまでローマ市民権を広げた**ので，ローマ市民としての自尊心が欠落しはじめ，征服戦争の減少から質実剛健（しつじつごうけん）の気風も損なわれ，性道徳が低下し家族制度が崩壊，帝国の支配の基盤（きばん）が揺らぎはじめた。

【ディオクレティアヌス帝】(52)〔　　〕年に(53)〔　　〕が元老院の影響を排除し(54)〔　　〕を開始。また(55)〔　　〕（テトラルキア）を開始。自らは(56)〔　　〕で統治した。さらには(57)〔　　〕を強要し拒否した**キリスト教徒にたいする最後の大迫害**を行なった。

【コンスタンティヌス帝以降】帝国再統一にキリスト教勢力を活用，そのために(58)〔　　〕年の(59)〔　　〕で**キリスト教を公認した**のが(60)〔　　〕帝だ。(61)〔　　〕年の(62)〔　　〕では(63)〔　　〕の(64)〔　　〕派を正統，(65)〔　　〕派を異端（いたん）とした。(66)〔　　〕年には(67)〔　　〕に遷都し，(68)〔　　〕と改称（現(69)〔　　〕），332年には**小作人**(70)〔　　〕**に土地の移動を禁ずる法令を施行**（しこう）した。また(71)〔　　〕を流通させた。

その後，(72)〔　　〕帝は**ミトラ教**を採用し「**背教者**」となる。(73)〔　　〕年にはゲルマン人の(74)〔　　〕族が(75)〔　　〕川を渡り帝国領内に侵入，アドリアノープルの戦（378年）でヴァレンス帝は戦死する。

(76)〔　　〕年(77)〔　　〕帝は**キリスト教アタナシウス派を国教**とする。死後，帝国は分裂。長子アルカディウスと次子ホノリウスによりそれぞれ東ローマ（ビザンツ）帝国（(78)〔　　〕年～(79)〔　　〕年），西ローマ帝国（(80)〔　　〕年～(81)〔　　〕年）になった。

解答

(43) ストア派　(44) 後漢書（ごかんじょ）　(45) 大秦王安敦（だいしんおうあんとん）　(46) オケオ
(47) パクス＝ロマーナ　(48) セプティミウス＝セウェルス　(49) カラカラ　(50) 212
(51) アントニヌス法　(52) 284　(53) ディオクレティアヌス
(54) ドミナトゥス（専制君主政）　(55) 四帝分治制（していぶんちせい）　(56) ニコメディア　(57) 皇帝崇拝
(58) 313　(59) ミラノ勅令　(60) コンスタンティヌス　(61) 325
(62) ニケーア公会議　(63) 三位一体説（さんみいったい）　(64) アタナシウス　(65) アリウス　(66) 330
(67) ビザンティウム　(68) コンスタンティノープル　(69) イスタンブル
(70) コロヌス　(71) ソリドゥス金貨　(72) ユリアヌス　(73) 375
(74) 西ゴート　(75) ドナウ　(76) 392　(77) テオドシウス　(78) 395　(79) 1453
(80) 395　(81) 476

第６講　テスト①

1　ゲルマン人とローマ帝国の境界線は。

①　ライン川
②　ロワール川
③　ドニエプル川
④　セーヌ川

2　初めてキリスト教徒を迫害したローマ皇帝は。

①　ディオクレティアヌス
②　セネカ
③　ネロ
④　ヨハネ

3　五賢帝のうち，帝国領土最大はどの皇帝のとき。

①　トラヤヌス
②　ハドリアヌス
③　ユリアヌス
④　グラックス

4　五賢帝の五人目，マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝の作品はどれか。

①　随想録
②　自省録
③　集史
④　政体循環論

5　３世紀前半にローマ市民権を全属州民に拡大した皇帝は。

①　アウレリアヌス
②　ティベリウス
③　テオドシウス
④　カラカラ

6　キリスト教を公認したローマ皇帝は。

①　コンスタンティヌス
②　アントニヌス＝ピウス
③　アウグスティヌス
④　クラウディウス

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　キリスト教公認の勅令が発せられた都市は。

①　ローマ

②　アレクサンドリア

③　エルサレム

④　ミラノ

8　ニケーア公会議で正統とされたキリスト教の宗派。

①　アリウス派

②　アタナシウス派

③　ネストリウス派

④　エッセネ派

9　ニケーア公会議を開いた皇帝が遷都した都市の現在の名称は。

①　アンティオキア

②　イスタンブル

③　ウィーン

④　アヴィニョン

10　ソリドゥス金貨は東ローマ（ビザンツ）帝国では何と呼ばれたか。

①　ドラクマ金貨

②　ノミスマ金貨

③　ディナール金貨

④　クリロナ金貨

11　五賢帝時代が終わった年号は。

①　96

②　180

③　284

④　395

12　キリスト教がローマ帝国の国教となった年号は。

①　313

②　325

③　392

④　476

第６講　テスト①解答

1　①	2　③	3　①	4　②	5　④	6　①
7　④	8　②	9　②	10　②	11　②	12　③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)〔　　〕は『(2)〔　　〕』で勤労の尊さを説き,『(3)〔　　〕』に神々の系譜を著した。(4)〔　　〕はオリンピア競技会の優勝者を讃えた『競技祝勝歌』を残した。アナクレオンは酒や恋愛をテーマとした叙情詩人。(5)〔　　〕(**『アガメムノン』**)・(6)〔　　〕(**『オイディプス』**)(7)〔　　〕(**『メディア』**)がアテネの３大悲劇詩人。(8)〔　　〕はペロポネソス戦争に明け暮れる男たちに妻たちが性的ストライキをするという反戦劇『(9)〔　　〕』を著した。

(10)〔　　〕を中心とする(11)〔　　〕からおこった自然哲学者の最初が万物の根源を「水」と考えた(12)〔　　〕。「数」と考えたのが(13)〔　　〕,「火」と考え「**万物(ばんぶつ)は流転(るてん)する**」と述べたのが(14)〔　　〕,「**原子（アトム）**」と述べたのが(15)〔　　〕。(16)〔　　〕はペリクレスと親交をもち(17)〔　　〕様式の(18)〔　　〕の再建工事の総監督を務めた。その本尊(ほんぞん)で現存しない**アテナ女神像**は彼の作だ。

前５世紀に民主政最盛期のアテネで活躍した弁論・修辞の職業教師を(19)〔　　〕(「知恵ある者」)という。その代表が(20)〔　　〕で「**人間が万物の尺度**」と述べ,**普遍(ふへん)的客観的真理はないという相対主義・主観主義**を表明した。いや,ある！という立場をとったのが(21)〔　　〕で**知徳合一(ちとくごういつ)**を主張し,**問答法(もんどうほう)**という対話を通じて「無知の知」を自覚させる方法を実践した。ソクラテスの弟子の(22)〔　　〕は**イデア論**を展開して観念哲学を説き『(23)〔　　〕』で少数の哲人が統治する哲人政治を理想とし,アテネ郊外に学園(24)〔　　〕を建てた。そこでプラトンに学んだのが(25)〔　　〕だ。**マケドニアのフィリッポス２世に招かれて王子アレクサンドロスの教育係となり**,のちアテネに赴(おもむ)き学園(26)〔　　〕を建てた。「万学の祖」と呼ばれ中世ヨーロッパの哲学・神学に多大の影響を与えた。代表的著作は『(27)〔　　〕』。

解答

（１）ヘシオドス　（２）労働と日々　（３）神統記(しんとうき)　（４）ピンダロス
（５）アイスキュロス　（６）ソフォクレス　（７）エウリピデス　（８）アリストファネス
（９）女の平和　(10) ミレトス　(11) イオニア植民市　(12) タレス　(13) ピタゴラス
(14) ヘラクレイトス　(15) デモクリトス　(16) フェイディアス　(17) ドーリア
(18) パルテノン神殿　(19) ソフィスト　(20) プロタゴラス　(21) ソクラテス
(22) プラトン　(23) 国家　(24) アカデメイア　(25) アリストテレス
(26) リュケイオン　(27) 政治学

古典ラテン語で書かれた文学をラテン文化という。初代ローマ皇帝アウグストゥス帝時代が黄金時代だ。(28)〔　　〕は叙事詩『(29)〔　　〕』で英雄アエネアスのトロイア脱出からローマ建国までの冒険物語を描いた。(30)〔　　〕は『叙情詩集』の叙情詩人。(31)〔　　〕はアウグストゥス帝に流刑に処された叙情詩人で『転身譜（てんしんふ）』『愛の歌』が代表作。(32)〔　　〕はアウグストゥス帝の厚遇（こうぐう）をえて委嘱（いしょく）され『(33)〔　　〕』を著した。１～２世紀の(34)〔　　〕は『(35)〔　　〕』でゲルマン社会を**『年代記』**でネロの死までのローマの政治史を著した。同時期の(36)〔　　〕は『(37)〔　　〕』でギリシア＝ローマの英雄を比較評論した。

カエサルやアントニウスと対立して暗殺された雄弁家（ゆうべんか）が**『国家論』**の(38)〔　　〕。ストア派の哲学者で**ネロ帝の師**が(39)〔　　〕。(40)〔　　〕は『博物誌』を著したが**79年のヴェスヴィオス火山の噴火（ポンペイの町が埋没）に際し窒息死**した。紀元前後のギリシア人(41)〔　　〕はヨーロッパからインドまでの『地理誌』を著した。２世紀のギリシア人天文学者でアレクサンドリアで活躍し天動説を唱えた(42)〔　　〕は**『天文学大全』**を著した。２世紀のギリシア人医師(43)〔　　〕はマルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝の侍医（じい）を務めた。前５～４世紀の小アジアの「医学の父」(44)〔　　〕と間違えないこと。前２世紀の(45)〔　　〕はカルタゴ炎上を目撃し『歴史』で**政体循環史観**を示した。

解答

(28) ウェルギリウス　(29) アエネイス　(30) ホラティウス　(31) オヴィディウス
(32) リウィウス　(33) ローマ建国史　(34) タキトゥス　(35) ゲルマニア
(36) プルタルコス　(37) 対比列伝（たいひれつでん）　(38) キケロ　(39) セネカ　(40) プリニウス
(41) ストラボン　(42) プトレマイオス　(43) ガレノス　(44) ヒッポクラテス
(45) ポリビオス

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第６講　テスト②

1　ペルシア戦争の『歴史』を物語風に描いたのは。
① ソフォクレス
② トゥキディデス
③ アリストファネス
④ ヘロドトス

2　ペロポネソス戦争の『歴史』を科学的描写で描いたのは。
① ソフォクレス
② トゥキディデス
③ アリストファネス
④ ヘロドトス

3　ペロポネソス戦争に明け暮れる夫たちにたいし妻たちが性的ストライキをするという風刺物語を書いたのは。
① ソフォクレス
② トゥキディデス
③ アリストファネス
④ ヘロドトス

4　ローマ建国の冒険物語『アエネイス』の著者は。
① アルカディウス
② リウィウス
③ ホラティウス
④ ウェルギリウス

5　ト・ヘン（一者）からの流出を唱え，キリスト教神学に影響した新プラトン主義者は。
① トリボニアヌス
② ストラボン
③ エピクテトス
④ プロティノス

6　『物体の本性』でデモクリトスの原子論から唯物論を展開したのは。
① ルクレティウス
② ガレノス
③ オウィディウス
④ ホラティウス

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第６講　テスト②解答

1　④　　2　②　　3　③　　4　④　　5　④　　6　①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第７講
帝政ローマとキリスト教の成立②

A.D. とは Anno Domini「我らの主の御年」の略だ。

イエスは現イスラエルの首都イェルサレムの南郊ベツレヘムにユダヤ人の大工の息子として生まれた。ヨルダン川でヨハネから受浸(じゅしん)したのち奇跡を行なったが，モーセの十戒にある安息日を軽視し，**ユダヤ教の律法主義者**(1)〔　　〕や富裕な上層階級**サドカイ派**を批判した。そして**隣人愛**(2)〔　　〕を説いた。ユダヤ人はモーセやアケメネス朝のキュロス２世のように「解放」をもたらしてくれるメシアとしての役割をイエスに期待したが彼はただ「神の国は近づいた」と言うのみであった。

結局イエスはユダヤ人に訴えられローマ帝国のユダヤ総督(3)〔　　〕により磔(はりつけ)というローマの処刑(しょけい)方法で処刑された。ユダヤ人自らによる処刑なら石打であったにちがいない。

しかしイエスは復活した。(4)〔　　〕**を信じイエスこそメシア（ギリシア語でキリスト）だと証言したのが**(5)〔　　〕たちでありクリスチャンと呼ばれるようになる人々だ。『(6)〔　　〕』はヘレニズム時代の共通ギリシア語コイネーで書かれた。イエスの言行をまとめた４福音書(ふくいんしょ)，使徒たちの活動，パウロらの書簡(しょかん)（大半を占める），黙示録(もくしろく)という幻から成る。

４世紀になるとキリスト教がローマ皇帝(7)〔　　〕により公認され（(8)〔　　〕，(9)〔　　〕年），(10)〔　　〕により国教となった（(11)〔　　〕年）。(12)〔　　〕公会議（(13)〔　　〕年）では，イエスの人性を強調した(14)〔　　〕派が異端となった。(15)〔　　〕公会議（(16)〔　　〕年）では，**イエスの神性と人性を分け**マリアを人としてのイエスの母と見なし**マリアの神性を否定した**(17)〔　　〕派が異端となった。(18)〔　　〕公会議（(19)〔　　〕年）では，**イエスの人性が神性に吸収される**という(20)〔　　〕が異端となった。こうして正統信仰が確立した。単性論はエジプトのキリスト教(21)〔　　〕に影響し，現在のレバノンの**キリスト教マロン派**に引き継がれる。**これらの公会議が開かれた町はいずれも現在のトルコ共和国**。トルコ共和国はキリスト教揺籃(ようらん)の地だ。ニケーア公会議における教会代表は『**教会史**』を書いた(22)〔　　〕で，彼はローマ帝国を「神の国の地上の模像(もぞう)」だと持ち上げた。こうして(23)〔　　〕派の正統が三度確認され次第に普遍化（カトリック）した。**アタナシウス派は父なる神と子なるイエスと聖霊を一体化して神と見なす（**(24)〔　　〕**説）**。

解答

（１）パリサイ派　（２）アガペ　（３）ポンテウス＝ピラトゥス　（４）復活　（５）使徒
（６）新約聖書　（７）コンスタンティヌス　（８）ミラノ勅令　（９）313
(10) テオドシウス　(11) 392　(12) ニケーア　(13) 325　(14) アリウス
(15) エフェソス　(16) 431　(17) ネストリウス　(18) カルケドン　(19) 451
(20) 単性論　(21) コプト教　(22) エウセビオス　(23) アタナシウス　(24) 三位一体

第７講　テスト

1　「メシア」=「キリスト」この同義語の正しい組み合わせは。

①　ギリシア語，ラテン語

②　ヘブライ語，ラテン語

③　ラテン語，ギリシア語

④　ヘブライ語，ギリシア語

2　エフェソス公会議で異端となった宗派は。

①　キリスト単性説

②　アリウス派

③　コプト派

④　ネストリウス派

3　公会議が開催されたニケーアとエフェソスはいずれも現在のどの国か。

①　フランス

②　シリア

③　トルコ

④　イタリア

4　復活や天使を認めないユダヤ教の党派と分離派として律法を遵守する党派の組み合わせとして正しいもの。

①　カタリ派，サドカイ派

②　サドカイ派，パリサイ派

③　パリサイ派，カタリ派

④　パリサイ派，サドカイ派

5　後の王権神授説につながってゆく「神寵帝理念」を唱えたのは。

①　アタナシウス

②　アウグスティヌス

③　エウセビオス

④　トマス＝アクィナス

6　新約聖書巻末の書『黙示録』の筆者は。

①　ペテロ

②　マタイ

③　ヨハネ

④　パウロ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第７講　テスト解答

1	④	2	④	3	③	4	②	5	③	6	③

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第８講
インドの古代史

【インダス文明】青銅器文明のインダス文明の都市遺跡は，(1)〔　　〕がインダス川(2)〔　　〕（(3)〔　　〕地方）にあり(4)〔　　〕が(5)〔　　〕の(6)〔　　〕地方にある。**整然とした都市計画と排水設備**，公衆浴場か特色。象形(しょうけい)文字の**インダス文字**は**未解読**で，前1800年頃から衰退，滅亡の原因には諸説ある。

【ヴェーダ時代】先住民で皮膚(ひふ)の黒い(7)〔　　〕の世界に，(8)〔　　〕（高貴なるの意＝白い皮膚）を自称する民族が，**前1500年頃**に(9)〔　　〕を越えパンジャーブ地方に侵入した。前1000年頃にはガンジス川中下流域に移動しはじめる。この時期，インドは(10)〔　　〕時代にはいり定住農耕の国家群が形成された。そのうちで**コーサラ国**と**マガダ国**が強大化。**前500年頃**にかけてのアーリア人の移動期をアーリア人の自然の威力崇拝，神々への讃歌からヴェーダ時代と呼ぶ。主要な聖典が『(11)〔　　〕』だ。『サーマ＝ヴェーダ』『ヤジュル＝ヴェーダ』『アタルヴァ＝ヴェーダ』で４ヴェーダ。この時期，アーリア人とドラヴィダ人との混血が進むが皮膚の「色」による差別(12)〔　　〕が形成された。この差別を合理的に説明する宗教が(13)〔　　〕で，その基底をなすのが**ヴェーダ（知識）**ということになる。

アーリア人が(14)〔　　〕階級をドラヴィダ人が(15)〔　　〕と不可触賤民(せんみん)を構成した。

バラモン教の祭式万能(さいしきばんのう)の形式主義を哲学的に批判したのが(16)〔　　〕で，宇宙の根本本質である梵(ぼん)（ブラフマン）と人間の根本本質である我（アートマン）が一如(いちにょ)（一致）すれば(17)〔　　〕から(18)〔　　〕できると考える。

仏教の開祖(19)〔　　〕はヴァルナを否定し**八正道(はっしょうどう)の実践による輪廻からの解脱**を説いた。(20)〔　　〕で悟(さと)りに至り，(21)〔　　〕で初説法(せっぽう)を行なった。(22)〔　　〕**階級**に支持された。

ジャイナ教の開祖は(23)〔　　〕（尊称はマハーヴィーラ）でヴァルナを否定し**不殺生(ふせっしょう)による輪廻からの解脱**を説き，(24)〔　　〕**階級**に支持された。

『(25)〔　　〕』・『(26)〔　　〕』の二大叙事詩の原型が成立した。これらは後にヒンドゥー教の聖典となるが，サンスクリット文学として完成するのは，後４世紀にはじまる(27)〔　　〕朝の頃である。

解答

（１）モエンジョ＝ダーロ　（２）下流　（３）シンド　（４）ハラッパー　（５）中流
（６）パンジャーブ　（７）ドラヴィダ人　（８）アーリア　（９）カイバル峠　（10）鉄器
（11）リグ＝ヴェーダ　（12）ヴァルナ　（13）バラモン教
（14）バラモン，クシャトリア，ヴァイシャ　（15）シュードラ　（16）ウパニシャッド哲学
（17）輪廻(りんね)　（18）解脱(げだつ)　（19）ガウタマ＝シッダールタ　（20）ブッダガヤ
（21）サールナート　（22）クシャトリア　（23）ヴァルダマーナ　（24）ヴァイシャ
（25）マハーバーラタ　（26）ラーマーヤナ　（27）グプタ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【マウリヤ朝】アレクサンドロス大王がインドに侵入した時のマガダ国は**ナンダ朝**，その大王の武将**セレウコス**が侵入した時はマウリヤ朝の創始者 (28)〔　　〕の時代であり，ギリシア人の侵入にたいしインドは初めてマウリヤ朝で統一した（**前 317 年頃**）。都は (29)〔　　〕（現パトナ）。

前３世紀のマウリヤ朝の (30)〔　　〕は (31)〔　　〕征服時の大量殺戮を悔い (32)〔　　〕**（仏の理法）**を各地の (33)〔　　〕に刻み統治した。(34)〔　　〕仏教を保護し第 (35)〔　　〕回仏典結集をして，(36)〔　　〕に布教し，(37)〔　　〕に (38)〔　　〕を建てた。

マウリヤ朝は遊牧民サカ族の南下で衰退した。早くも (39)〔　　〕の観念はインド人により発見されていたが確立するのは６～７世紀である。

【サータヴァーハナ朝】サンスクリット語で「南」を意味する (40)〔　　〕**高原**に (41)〔　　〕系タミル族の (42)〔　　〕朝が成立した。ローマ帝国と後漢の間に位置し胡椒などを輸出する (43)〔　　〕貿易の結節点となった。(44)〔　　〕人商人の活動は『(45)〔　　〕』に詳しい。後にヒンドゥー教徒の生活規範になる『(46)〔　　〕』の原型ができた。

【クシャーナ朝】同時期つまり１世紀頃，(47)〔　　〕から独立した中央アジアの (48)〔　　〕がカイバル峠を越えてすぐの (49)〔　　〕（現パキスタンの**ペシャワール**）にクシャーナ朝を開いた。(50)〔　　〕の時だ。彼は (51)〔　　〕仏教を採用した。大乗理論は (52)〔　　〕によるもので，**菩薩像に手を合わせれば出家し修行しなくても輪廻から解脱できるという，許容範囲の広い「大きな乗り物」**というわけだ。(53)〔　　〕とその弟が４世紀に確立した (54)〔　　〕（すべての人々を救うことで自分も救済されたいとする行者）信仰が大乗仏教の基本。そして上座部を「(55)〔　　〕」として蔑視した。

そのようなわけで，(56)〔　　〕地方で仏像製作が始まった。仏像の相貌はカールした頭髪に高い鼻，ギリシア風の衣装つまり (57)〔　　〕的。それもそのはずインダス川上流はアレクサンドロス大王帝国→ (58)〔　　〕朝シリア→ (59)〔　　〕王国とギリシア人支配が続いた直後だから。(60)〔　　〕王国→トハラ族→ (61)〔　　〕と続き，大月氏国から自立したのが (62)〔　　〕だ。日本は (63)〔　　〕の国。だからガンダーラ地方とは縁が深い。

クシャーナ朝は (64)〔　　〕の (65)〔　　〕に攻撃された。

解答

(28) チャンドラグプタ　(29) パータリプトラ　(30) アショーカ王　(31) カリンガ
(32) ダルマ　(33) 石柱碑・磨崖碑　(34) 上座部（小乗）　(35) 3
(36) セイロン島（現スリランカ）　(37) サーンチー　(38) ストゥーパ（仏塔）
(39) ゼロ　(40) デカン　(41) ドラヴィダ　(42) サータヴァーハナ（アーンドラ）
(43) 季節風　(44) ギリシア　(45) エリュトゥラー海案内記　(46) マヌ法典
(47) 大月氏　(48) クシャーナ族　(49) プルシャプラ　(50) カニシカ王　(51) 大乗
(52) ナーガールジュナ（竜樹）　(53) アサンガ　(54) 菩薩　(55) 小乗
(56) ガンダーラ　(57) ヘレニズム　(58) セレウコス　(59) バクトリア
(60) バクトリア　(61) 大月氏国　(62) クシャーナ族　(63) 大乗仏教
(64) ササン朝ペルシア　(65) シャープール１世

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第８講　テスト①

1　アーリア人がカイバル峠を越え侵入した地域は。

①　カシミール地方

②　パンジャーブ地方

③　ベンガル地方

④　バクトリア地方

2　ジャイナ教の開祖は。

①　ガウタマ＝シッダールタ

②　ヴァルダマーナ

③　ウパニシャッド

④　ナーガールジュナ

3　大乗理論を大成させたのは。

①　ガウタマ＝シッダールタ

②　ヴァルダマーナ

③　ウパニシャッド

④　ナーガールジュナ

4　マウリヤ朝の都は。

①　プルシャプラ

②　パータリプトラ

③　ブッダガヤ

④　バンガロール

5　クシャーナ朝の都は。

①　プルシャプラ

②　パータリプトラ

③　ブッダガヤ

④　バンガロール

6　セイロン島に上座部仏教を伝えたのはどの君主の時代が最初か。

①　アショーカ王

②　カニシカ王

③　アサンガ

④　チャンドラグプタ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　ガンダーラの仏像の容貌には以下のどの文化圏の特徴が顕著に見られるか。

①　中国

②　ヘレニズム

③　日本

④　エジプト

8　世襲の職業・身分として閉鎖的に固定したものは。

①　ラージャン

②　クリシュナ

③　マトゥラー

④　ジャーティー

9　マウリヤ朝から独立を維持していたインド最南端の王朝は。

①　チョーラ朝

②　パーンディヤ朝

③　サータヴァーハナ朝

④　パッラヴァ朝

10　インドでインダス文字に次ぐ古い文字は。

①　パーリ文字

②　バーミアン文字

③　ブラフミー文字

④　ヒンドゥー文字

11　輪廻から解脱する方法ヨーガのうちの１つの方法は。

①　スーフィー

②　バクティ

③　カバラ

④　シャーマン

12　スリランカから東南アジアに普及した南伝仏教の教典は何語か。

①　ヒンディー語

②　サンスクリット語

③　パーリ語

④　タミル語

第８講　テスト①解答

1	②	2	②	3	④	4	②	5	①	6	①
7	②	8	④	9	②	10	③	11	②	12	③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【グプタ朝】(1)〔　　〕年にはじまる(2)〔　　〕朝マガダ国は，アーリア的なものサンスクリット的なものが完成した王朝，言い替えるなら**ヒンドゥーが完成した王朝**。インドのシェークスピアと言われる(3)〔　　〕の戯曲（ぎきょく）『(4)〔　　〕』がその代表格。

マガダ国だから都は(5)〔　　〕。(6)〔　　〕が興し，(7)〔　　〕（超日王）が最盛期で，東晋（とうしん）の僧，(8)〔　　〕（往路が陸路で帰路が海路，**『仏国記（ぶっこくき）』**）と会見した。ヒンドゥー教徒の生活規範『(9)〔　　〕』が完成，(10)〔　　〕（破壊神）(11)〔　　〕（維持神）**ブラフマー**（創造神）の３神が出揃（そろ）う。シヴァはアーリア人の雷（インドラ）とドラヴィダ人の男根崇拝, ブラフマーはウパニシャッド哲学のブラフマンに由来する。ヒンドゥーは教祖も統一の教義もない混合宗教だが，かといって多神教ではない。ただ１人の神について考える宗教だ。そのヒンドゥー教徒が皆等しく畏敬（いけい）の念を抱くもの，それが(12)〔　　〕の水。(13)〔　　〕し川の水に抱かれたい，と熱望する。代表的な沐浴場が(14)〔　　〕。ヒンドゥーが民間信仰になると，その一つの構成要素である仏教は教義研究の対象となる。グプタ朝期に(15)〔　　〕がつくられた。デカン高原には，(16)〔　　〕と(17)〔　　〕の石窟（せっくつ）がある。ヘレニズムの影響のない**純インド・グプタ様式**だ。グプタ朝は(18)〔　　〕に滅ぼされた。

【ヴァルダナ朝】７世紀には，(19)〔　　〕が(20)〔　　〕を開いた。都は(21)〔　　〕。(22)〔　　〕の僧の(23)〔　　〕は往復(24)〔　　〕路で訪印しハルシャ王と会見し，ナーランダー僧院に学び『(25)〔　　〕』を著した。唐の(26)〔　　〕に敬愛され，持ち帰った仏典は，(27)〔　　〕の(28)〔　　〕に保管された。仏教はヒンドゥーと混合して**密教化**する。仏教はベンガル地方の(29)〔　　〕によって12世紀頃まで保護されたが，13世紀の(30)〔　　〕の侵入で教団としてはインドから姿を消した。ハルシャ王の死後インドは分裂状態になる。分裂期をヒンドゥーの王子たちを意味する(31)〔　　〕時代と呼ぶ。この分裂時代の８世紀に(32)〔　　〕の僧の(33)〔　　〕は往復(34)〔　　〕路で訪印しナーランダー僧院に学び，途中，(35)〔　　〕**王国**の**スマトラ島**(36)〔　　〕に立ち寄り当地で『(37)〔　　〕』を著した。

解答

（１）320　（２）グプタ　（３）カーリダーサ　（４）シャクンタラー
（５）パータリプトラ　（６）チャンドラグプタ１世　（７）チャンドラグプタ２世
（８）法顕（ほっけん）　（９）マヌ法典　（10）シヴァ　（11）ヴィシュヌ　（12）ガンジス川
（13）沐浴（もくよく）　（14）ヴァラナシ　（15）ナーランダー僧院（学院）　（16）アジャンター
（17）エローラ　（18）エフタル　（19）ハルシャ＝ヴァルダナ　（20）ヴァルダナ朝
（21）カナウジ　（22）唐　（23）玄奘（げんじょう）　（24）陸　（25）大唐西域記（だいとうさいいきき）　（26）太宗（たいそう）
（27）長安　（28）大雁塔（だいがんとう）　（29）パーラ朝　（30）イスラーム　（31）ラージプート
（32）唐　（33）義浄（ぎじょう）　（34）海　（35）シュリーヴィジャヤ　（36）パレンバン
（37）南海寄帰内法伝（なんかいききないほうでん）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第８講　テスト②

1　戯曲『シャクンタラー』の作者は。

① マハーヴィーラ
② アサンガ
③ ラーマクリシュナ
④ カーリダーサ

2　ヒンドゥー教徒の生活規範は。

① マヌ法典
② アヴェスター
③ タルムード
④ ミシュナ

3　ハルシャ＝ヴァルダナと会見したのは。

① 法顕
② 玄奘
③ 義浄
④ 達磨

4　ハルシャ＝ヴァルダナを指す呼称は。

① 戒日王
② 超日王
③ 無著王
④ 世親王

5　グプタ朝を滅ぼしたのは。

① サカ
② トハラ
③ ウイグル
④ エフタル

6　デリー南方の遺跡でグプタ朝期にヒンドゥー化した純インド風の仏像があるのは。

① アジャンター
② エローラ
③ カジュラホ
④ マトゥラー

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第８講　テスト②解答

1　④　　2　①　　3　②　　4　①　　5　④　　6　④

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第９講
中国文明の誕生～秦

【黄河・長江文明】黄河文明は黄土地帯を中心とした(1)〔　　〕文明で，その前半が前40～20世紀に黄河中流域に栄えた(2)〔　　〕文化。1921年にスウェーデン人のアンダーソンが(3)〔　　〕省で発見した。住民は原シナ人で灰陶と西アジア伝来といわれている(4)〔　　〕を使用し，特に後者から**彩陶文化**ともいわれる。

前20～15世紀に黄河下流域に栄えたのが(5)〔　　〕文化で，(6)〔　　〕省**竜山鎮の城子崖**で発見された。仰韶文化を受けて，殷と周の文化の原型を形成，(7)〔　　〕と(8)〔　　〕を使用し，ろくろを使用した光沢のある薄手の精良土器を使用し，特に後者から**黒陶文化**といわれる。

長江つまり揚子江文明は，(9)〔　　〕遺跡が代表で日本に稲作を伝えたといわれている。

【殷】黄河中流域の中原地方に前16～11世紀の中国最古の王朝である(10)〔　　〕が栄える。記録の残る最古の王朝は(11)〔　　〕だが発掘された最古は殷だ。(12)〔　　〕邑が殷であるとみなされ(13)〔　　〕と名付けられた。(14)〔　　〕文化より一歩進んだ(15)〔　　〕文化だ。都市国家連合の形をとった王朝で家父長的氏族社会を基礎に**神権政治**を行った。占いのために亀甲，獣骨に刻んだ(16)〔　　〕をもっていた。これは20世紀に入る時期に(17)〔　　〕と(18)〔　　〕によって解読された。

【周】周は(19)〔　　〕省(20)〔　　〕盆地から興り殷を滅ぼして建国，首都が(21)〔　　〕であった時期を西周とよぶ。天命思想と(22)〔　　〕の考え方が成立。平和的方法を(23)〔　　〕，武力的方法は(24)〔　　〕という。封土を媒介とした(25)〔　　〕的主従関係で**血縁関係を重視**した。(26)〔　　〕によって宗族が統制されていた。

【春秋時代】(27)〔　　〕の侵入によって(28)〔　　〕年に周室は(29)〔　　〕に東遷した。以後を東周と呼ぶ。その前半が春秋時代，後半が戦国時代だ。前770年から(30)〔　　〕が(31)〔　　〕に三分した(32)〔　　〕年までを(33)〔　　〕の魯国の年代記『春秋』からとって春秋時代という。春秋の五覇が登場し，(34)〔　　〕の気風のなかで盟主を(35)〔　　〕と呼ぶ。

解答

（1）新石器　（2）仰韶　（3）河南　（4）彩陶　（5）竜山　（6）山東
（7）灰陶　（8）黒陶　（9）河姆渡　(10) 殷　(11) 夏　(12) 商　(13) 殷墟
(14) 竜山　(15) 青銅器　(16) 甲骨文字　(17) 王国維　(18) 羅振玉　(19) 陝西
(20) 渭水　(21) 鎬京　(22) 易姓革命　(23) 禅譲　(24) 放伐　(25) 封建
(26) 宗法　(27) 犬戎　(28) 前770　(29) 洛邑　(30) 晋　(31) 韓・魏・趙
(32) 前403　(33) 孔子　(34) 尊王攘夷　(35) 覇者

【戦国時代】晋の分裂により戦国時代にはいると，周王を無視して王を自称，(36)〔　　〕が戦国の七雄。その中で強大化したのが法家の (37)〔　　〕を用いて富国強兵に成功した (38)〔　　〕で，前256年に周を滅ぼし戦国時代を終結させ (39)〔　　〕年に中国を統一した。

周代には**鉄製農具が普及**した。(40)〔　　〕は牛犂耕による深耕と人工灌漑を可能にし**農業の生産性を向上**させる。**余剰生産物**は商工業を発達させ，交換の媒体としての**青銅貨幣**の使用が盛んになり大商人たちの国境排除要求も高まった。

諸子百家のうちまず仁と礼を説いたのが (41)〔　　〕，そして性善説が (42)〔　　〕，性悪説が荀子でこれらが儒家。(43)〔　　〕説を説いたのが (44)〔　　〕で墨家。無為自然を説いたのが (45)〔　　〕と (46)〔　　〕で併せて老荘思想で道家。秦と対決することを説く (47)〔　　〕策の (48)〔　　〕と，秦と連動することを説く (49)〔　　〕策の (50)〔　　〕は (51)〔　　〕。法による秩序を説く法家で信賞必罰を旨とし秦の (52)〔　　〕に仕えたのが (53)〔　　〕。**法家の理論を完成**させたのが (54)〔　　〕。秦王政つまり**始皇帝に宰相として仕え法家の理論を実践**したのが (55)〔　　〕だ。

【秦】秦の都は (56)〔　　〕。渭水をはさんで鎬京つまり長安の対岸。法家で思想統一され (57)〔　　〕が起こる。文字は (58)〔　　〕で統一，(59)〔　　〕で貨幣が統一。(60)〔　　〕制を採用し全国36郡（のち48郡）に中央から官史が派遣された。**中央官制は丞相（政務）・太尉（軍事）・御史大夫（監察）**。**富豪は咸陽に集められ**始皇帝は (61)〔　　〕に住んだ。匈奴討伐の将軍は (62)〔　　〕であり，**万里の長城**がオルドス地方との間で修築された。南方には (63)〔　　〕の３郡が置かれた。臆病な始皇帝は来世でも秦の兵隊に守ってもらおうと生き埋めにしようとした。さすがに諫められたので実在する兵隊の彫像と埋葬されることにした。これが (64)〔　　〕だ。

前209～208年に長城修復工事をきっかけに (65)〔　　〕の乱が起きた。信賞必罰の法治主義だから遅刻は斬首の刑だった。そのときの陳勝の言葉が**「王侯将相いずくぞ種あらんや」**。

解答

（36）楚・韓・秦・魏・趙・斉・燕　（37）商鞅　（38）秦　（39）前221　（40）鉄
（41）孔子　（42）孟子　（43）兼愛　（44）墨子　（45）老子　（46）荘子
（47）合従　（48）蘇秦　（49）連衡　（50）張儀　（51）縦横家　（52）孝公
（53）商鞅　（54）韓非　（55）李斯　（56）咸陽　（57）焚書坑儒　（58）篆書（小篆）
（59）半両銭　（60）郡県　（61）阿房宮　（62）蒙恬　（63）桂林・象郡・南海
（64）兵馬俑　（65）陳勝・呉広

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第９講　テスト

1　紀元前二千年以前のものと考えられている長江上流域の遺跡は。

①　河姆渡遺跡
②　三星堆遺跡
③　良渚遺跡
④　姜寨遺跡

2　春秋の五覇，晋から分かれてできたものとして不適当なのは。

①　韓
②　燕
③　魏
④　趙

3　黄河文明の仰韶文化が 1921 年にアンダーソンによって発見された場所は。

①　山東省
②　河北省
③　河南省
④　陝西省

4　竜山文化で使用されたのは，灰陶と何か。

①　彩陶
②　白陶
③　石陶
④　黒陶

5　以下のうち，西安付近の遺跡は。

①　殷墟
②　河姆渡遺跡
③　半坡遺跡
④　二里頭遺跡

6　以下の組み合わせで誤りのあるのは。

①　蟻鼻銭 ― 趙
②　刀銭 ― 斉・燕
③　布銭 ― 韓・魏
④　円銭 ― 周・秦

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第９講　テスト解答

1　②　　2　②　　3　③　　4　④　　5　③　　6　①

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第10講
前漢・新・後漢

陳勝・呉広の乱の中から頭角を現したのが(1)〔　　〕の項羽と(2)〔　　〕の劉邦で，(3)〔　　〕の冒頓単于と三つ巴の争いとなる。秦は前206年に滅んだ。(4)〔　　〕年の(5)〔　　〕の戦いで(6)〔　　〕つまり前漢の(7)〔　　〕が(8)〔　　〕を破って(9)〔　　〕を都に前漢を開くが，前200年の(10)〔　　〕の戦いで匈奴の(11)〔　　〕の捕虜になる。当初，前漢は**郡県制を敷く地域と地方分権の封建制を敷く地域を合わせる**(12)〔　　〕制をとった。6代(13)〔　　〕帝の封土削減政策に対して，(14)〔　　〕年に(15)〔　　〕の乱が起こるがこれを平定して実質郡県制に移行する。

【武帝の時代】7代目皇帝が武帝である。武帝は(16)〔　　〕に匈奴を征討させ**オルドス地方**を獲得し，さらには(17)〔　　〕など4郡を**河西回廊**に設置した。それには(18)〔　　〕を(19)〔　　〕川上流の(20)〔　　〕地方の(21)〔　　〕に派遣し匈奴を挟撃しようとしたことが関係する。張騫の西進に協力した遊牧民が(22)〔　　〕だ。さらに(23)〔　　〕を(24)〔　　〕川上流の(25)〔　　〕地方の(26)〔　　〕に派遣し(27)〔　　〕を獲得した。朝鮮半島には(28)〔　　〕郡など4郡を設置，また(29)〔　　〕を征服し9郡を置いた。そのうち3郡が現在のベトナム領。(30)〔　　〕（現ハノイ）と九真と(31)〔　　〕（現フエ）の三つ。

(32)〔　　〕の献策で儒学を官学とし(33)〔　　〕を設置した。五経がこの頃定まった。『(34)〔　　〕』『(35)〔　　〕』『(36)〔　　〕』『(37)〔　　〕』『(38)〔　　〕』の五つだ。推薦制の官吏任用法である(39)〔　　〕が実施されたが，**地方豪族の中央進出に拍車をかける**結果となった。また(40)〔　　〕の献策で(41)〔　　〕の経済政策や(42)〔　　〕のちに(43)〔　　〕の専売制が敷かれた。貨幣は(44)〔　　〕。

哀帝のときの(45)〔　　〕という豪族の大土地所有制限策は失敗，また前漢は概して皇后の一族である(46)〔　　〕が実権を握る時期であり，それに宦官も抗争に参入した。

【新】(47)〔　　〕年に外戚の(48)〔　　〕に乗っ取られ，王莽は新（8～23）という王朝を(49)〔　　〕を都に建てる。周の理想と儒教の原理主義的に傾いた支配に人心は離れ，(50)〔　　〕～27年の(51)〔　　〕で新は滅亡した。

解答

（1）楚　（2）漢　（3）匈奴　（4）前202　（5）垓下　（6）劉邦　（7）高祖
（8）項羽　（9）長安　(10) 白登山　(11) 冒頓単于　(12) 郡国　(13) 景
(14) 前154　(15) 呉楚七国　(16) 衛青・霍去病　(17) 敦煌　(18) 張騫
(19) アム　(20) バクトリア　(21) 大月氏　(22) 烏孫　(23) 李広利　(24) シル
(25) フェルガナ　(26) 大宛　(27) 汗血馬　(28) 楽浪　(29) 南越　(30) 交趾
(31) 日南　(32) 董仲舒　(33) 五経博士　(34) 詩経　(35) 書経　(36) 易経
(37) 礼記　(38) 春秋　(39) 郷挙里選　(40) 桑弘羊　(41) 均輸法・平準法
(42) 塩・鉄　(43) 酒　(44) 五銖銭　(45) 限田策　(46) 外戚　(47) 8
(48) 王莽　(49) 長安　(50) 18　(51) 赤眉の乱

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 10 講　テスト①

1　張騫を大月氏に派遣した皇帝は。

①　高祖(劉邦)

②　武帝

③　景帝

④　光武帝

2　新末の農民反乱は。

①　黄巾の乱

②　紅巾の乱

③　赤眉の乱

④　陳勝・呉広の乱

3　武帝が汗血馬を獲得するために李広利を遠征させたのは。

①　大秦

②　大宛

③　楽浪

④　大月氏

4　前漢の武帝が実質郡県制化し王領を分割相続させた制度は。

①　蔭位制

②　戸調制

③　郡国制

④　推恩制

5　前漢の武帝が鴨緑江中流に設置した郡で高句麗に滅ぼされたのは。

①　楽浪郡

②　真番郡

③　臨屯郡

④　玄菟郡

第 10 講　テスト①解答

1　②　　2　③　　3　②　　4　④　　5　④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

赤眉の乱の中から登場したのが南陽の豪族の(1)〔　　〕つまり後漢の(2)〔　　〕で，(3)〔　　〕年，(4)〔　　〕を首都として漢を再興した。ベトナムの独立を目指した(5)〔　　〕の反乱を鎮圧した。(6)〔　　〕年，倭奴国王に(7)〔　　〕を授けた（1784 年に福岡県志賀島で発見）ことが『(8)〔　　〕』にでてくる。ちなみに倭に関する最初の記述は『(9)〔　　〕』。

周辺諸国の君主が中国皇帝に(10)〔　　〕の使節を送り，中国皇帝が位階（王・諸侯などの称号）や返礼品を与えることで成立したのが(11)〔　　〕体制だ。邪馬台国の(12)〔　　〕は(13)〔　　〕に朝貢使節を送った。

後漢の最盛期は１世紀後半で，西域都護の(14)〔　　〕の活躍で領土を拡大した。班超の拠点は(15)〔　　〕。部下の(16)〔　　〕を大秦国に派遣しようとしたがパルティア付近で断念した。２世紀には官僚と宦官の権力争いが激化し，(17)〔　　〕年には宦官が儒者の官僚を弾圧する(18)〔　　〕という事件が起きた。この(19)〔　　〕年には(20)〔　　〕に(21)〔　　〕（マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝）の使者が来たと『(22)〔　　〕』にでてくる。

後漢末には疫病・飢饉・いなごの大量発生などの天災に見舞われ，治病を説く宗教が流行した。(23)〔　　〕の(24)〔　　〕と(25)〔　　〕の(26)〔　　〕がその代表で，張角を指導者として(27)〔　　〕年に(28)〔　　〕の乱が起き，その中から曹操，劉備，孫堅（孫権の父）が登場する。

【漢の文化】後漢の儒学は**経典の注釈**を主とする(29)〔　　〕で後漢の(30)〔　　〕が完成した。鄭玄は党錮の禁で一時拘束された人物だ。後漢の**許慎**が編纂した中国最古の辞典が『(31)〔　　〕』。前漢武帝までの歴史を(32)〔　　〕で編んだのが(33)〔　　〕の『(34)〔　　〕』，前漢高祖から王莽までを(35)〔　　〕で編んだのが(36)〔　　〕（西域都護の班超の兄）の『(37)〔　　〕』だ。また宦官の(38)〔　　〕が(39)〔　　〕を改良し(40)〔　　〕年に和帝に献上，のちに(41)〔　　〕年の唐代の(42)〔　　〕の戦いで(43)〔　　〕が(44)〔　　〕に敗れた際，イスラーム世界に伝わった。

解答

（1）劉秀　（2）光武帝　（3）25　（4）洛陽　（5）徴姉妹　（6）57
（7）漢委奴国王印　（8）後漢書東夷伝　（9）漢書地理志　（10）朝貢　（11）冊封
（12）卑弥呼　（13）魏　（14）班超　（15）亀茲（クチャ）　（16）甘英　（17）166
（18）党錮の禁　（19）166　（20）日南（フエ）　（21）大秦王安敦　（22）後漢書
（23）張角　（24）太平道　（25）張陵　（26）五斗米道（天師道）　（27）184
（28）黄巾　（29）訓詁学　（30）鄭玄　（31）説文解字　（32）紀伝体　（33）司馬遷
（34）史記　（35）紀伝体　（36）班固　（37）漢書　（38）蔡倫　（39）製紙法
（40）105　（41）751　（42）タラス河畔　（43）高仙芝　（44）アッバース朝

第10講　テスト②

1　後漢の都は。

①　長安
②　洛陽
③　洛邑
④　開封

2　黄巾の乱を起こした人物は。

①　張陵
②　寇謙之
③　阮福映
④　張角

3　黄巾の乱が起こったのは。

①　前202年
②　27年
③　前18年
④　184年

4　“シルクロード”と命名したドイツの地理学者は。

①　ミュラー
②　シュバインシュタイガー
③　リヒトホーフェン
④　リヒトシュタイナー

5　“さまよえる湖”ロプノール西岸に楼蘭(ろうらん)の遺跡を発見したスウェーデン探検家は。

①　ヘディン
②　スタイン
③　アンダーソン
④　グジョンセン

6　東トルキスタンを探検し，敦煌の仏画・仏典・古文書類を持ち帰ったハンガリー系イギリス人探検家は。

①　ヘディン
②　スタイン
③　アンダーソン
④　グジョンセン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 10 講　テスト②解答

1　②　　2　④　　3　④　　4　③　　5　①　　6　②

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 11 講
魏晋南北朝

【三国時代】(1)〔　　〕年後漢の献帝が魏の (2)〔　　〕の子 (3)〔　　〕に禅譲して滅亡，魏が (4)〔　　〕の支配者となる。漢の皇族であると自称した (5)〔　　〕は 221 年に (6)〔　　〕を都に (7)〔　　〕を建国，(8)〔　　〕を (9)〔　　〕で迎えた。後漢末の (10)〔　　〕年の (11)〔　　〕の戦いでは (12)〔　　〕の (13)〔　　〕と連合し曹操を破った諸葛亮も，(14)〔　　〕年の (15)〔　　〕の戦いで司馬懿（司馬仲達）との対戦中に陣没，結局蜀は魏により滅亡した。しかし魏は司馬懿の孫の (16)〔　　〕の晋に乗っ取られた。(17)〔　　〕年に晋が (18)〔　　〕（現 (19)〔　　〕）を首都とした呉を滅ぼして三国時代に終止符が打たれる。

【西晋】豪族の連合体であった晋つまり西晋に (20)〔　　〕の乱が起き，そのころ五胡の活動が盛んになりはじめる。五胡とはモンゴル系といわれる (21)〔　　〕と (22)〔　　〕，トルコ系かモンゴル系といわれる (23)〔　　〕，(24)〔　　〕系にちがいない (25)〔　　〕と (26)〔　　〕の五つ。そのうち，匈奴の (27)〔　　〕が (28)〔　　〕を建国した (29)〔　　〕年からを (30)〔　　〕と数える。

劉淵の子**劉聡**が洛陽を荒廃させたのが (31)〔　　〕の乱。これは中国の王朝の都が蛮族により荒廃した最初のケースだ。司馬一族の (32)〔　　〕は江南の (33)〔　　〕つまり現在の (34)〔　　〕に逃れ（(35)〔　　〕年晋の南渡），以後を東晋（(36)〔　　〕〜 (37)〔　　〕年）という。

【東晋】数十万人が江南に移住したので，東晋では (38)〔　　〕が進んだ。一方，五胡は華北に十六国を建国した。十六国をつくったのは五胡だけでなく**漢人の国も３つある**。

氐の**前秦**が (39)〔　　〕年の (40)〔　　〕の戦いで東晋に敗れ，北と南が別世界になる。

解答

（1）220　（2）曹操　（3）曹丕　（4）洛陽　（5）劉備　（6）成都　（7）蜀
（8）諸葛亮（諸葛孔明）　（9）三顧の礼　（10）208　（11）赤壁　（12）呉　（13）孫権
（14）234　（15）五丈原　（16）司馬炎　（17）280　（18）建業　（19）南京
（20）八王　（21）匈奴　（22）羯　（23）鮮卑　（24）チベット　（25）氐　（26）羌
（27）劉淵　（28）漢（前趙）　（29）304　（30）五胡十六国時代　（31）永嘉
（32）司馬睿　（33）建康　（34）南京　（35）316　（36）317　（37）420
（38）江南の開発　（39）383　（40）淝水

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【北魏】十六国のうち５つをつくったのが鮮卑族。(41)〔　　〕年に鮮卑族拓跋氏がつくったのが北魏だ。(42)〔　　〕((43)〔　　〕帝）が建国。(44)〔　　〕年に (45)〔　　〕が華北統一して五胡十六国時代（(46)〔　　〕～ (47)〔　　〕年）が終わる。

北魏の太武帝は (48)〔　　〕の (49)〔　　〕を (50)〔　　〕として国教化し，かわって仏教を弾圧した。（後漢の天師道（五斗米道）に葛洪の『抱朴子』などの (51)〔　　〕が結びつき新天師道となった。）これが中国史における仏教弾圧４大仏教弾圧「(52)〔　　〕」の最初のケースだ。北魏の太武帝，北周の武帝，唐の武宗，後周の世宗の４人。太武帝の死後仏教は解禁となり，その記念として首都 (53)〔　　〕には (54)〔　　〕風の (55)〔　　〕がつくられる。(56)〔　　〕は (57)〔　　〕年に (58)〔　　〕を施行，494 年には (59)〔　　〕に遷都する。**北魏においては奴婢や耕牛にも田が支給されそれらを所有する豪族の大土地所有が黙認**されるかたちとなった。(60)〔　　〕西郊につくられたのが (61)〔　　〕風の (62)〔　　〕だ。

遊牧民 (63)〔　　〕対策の北魏の辺境軍団を六鎮という。六鎮の乱の結果，北魏は (64)〔　　〕と (65)〔　　〕に分裂，それぞれが (66)〔　　〕，(67)〔　　〕となる。北周が北斉を滅ぼした。北周の外戚 (68)〔　　〕が隋を建国し南朝の陳を滅ぼし (69)〔　　〕年中国を統一する。

【南朝】東晋は (70)〔　　〕が建てた宋（劉宋）に滅ぼされ，(71)〔　　〕→ (72)〔　　〕→ (73)〔　　〕→ (74)〔　　〕（すべて都は (75)〔　　〕）と交替する。呉（都は建業）・東晋（都は建康）と合わせて六朝という。建業も建康も現在の (76)〔　　〕。

【諸制度】豪族の大土地所有を制限しつつ安定した税収を確保するための魏晋南北朝時代の各王朝が施行したものが，魏の (77)〔　　〕，西晋の (78)〔　　〕，南朝の東晋から宋にかけての (79)〔　　〕（華北からの移民に戸籍をつけ豪族の私有民になることを阻止），そして北魏以降の北朝の鮮卑系各王朝の均田制と戸籍調査･徴税，(80)〔　　〕実施を担当する (81)〔　　〕，西魏の宇文氏の (82)〔　　〕だ。**北魏の均田制は奴婢や耕牛にも，ということはそれらを所有する豪農には多くの土地が与えられたが，隋ではそれらには支給されず，唐にいたっては女子にも支給されなかった**（寡婦（未亡人）には支給された）。

解答

(41) 386　(42) 拓跋珪　(43) 道武　(44) 439　(45) 太武帝　(46) 304　(47) 439
(48) 寇謙之　(49) 新天師道　(50) 道教　(51) 神仙思想　(52) 三武一宗の法難
(53) 平城（大同）　(54) ガンダーラ　(55) 雲崗石窟　(56) 孝文帝　(57) 485
(58) 均田制　(59) 洛陽　(60) 洛陽　(61) 中国　(62) 竜門石窟　(63) 柔然
(64) 西魏　(65) 東魏　(66) 北周　(67) 北斉　(68) 楊堅　(69) 589　(70) 劉裕
(71) 宋　(72) 斉　(73) 梁　(74) 陳　(75) 建康　(76) 南京　(77) 屯田制
(78) 占田・課田法　(79) 土断法　(80) 均田制　(81) 三長制　(82) 府兵制

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

新たな官吏登用法が (83)〔　　〕の (84)〔　　〕。各地の中正官が地方の人材を９品等に評定して中央に報告，中央がそれに基づいてその人物を任官させるシステム。**豪族の子弟が上級官職を独占し** (85)〔　　〕を形成，「(86)〔　　〕」という状況になった。

【魏晋南北朝時代の文化】江南地域を中心とした文化を (87)〔　　〕という。文学においては (88)〔　　〕が流行した。(89)〔　　〕の (90)〔　　〕は「**帰去来辞**」で有名な自然詩人。宋の**謝霊運**は**山水詩人**。(91)〔　　〕の (92)〔　　〕は『(93)〔　　〕』を編んだ。**画聖**といえば「(94)〔　　〕」を描いた (95)〔　　〕の (96)〔　　〕，**書聖**といえば「**蘭亭序**」の (97)〔　　〕の (98)〔　　〕。儒教にかわって老荘思想が流行し，**虚無**的で超世俗的談義である (99)〔　　〕が上流階級で語られいわゆる (100)〔　　〕といわれた人たちが活躍した。

(101)〔　　〕時代の西域僧で霊能者の (102)〔　　〕は**洛陽**で布教した。仏図澄の中国人弟子が**道安**，その弟子が**慧遠**で**白蓮社**を組織し (103)〔　　〕へと発展した。仏典を漢訳した西域僧の (104)〔　　〕は**長安**で布教した。いずれも (105)〔　　〕出身だ。

北魏では**賈思勰**の『(106)〔　　〕』の農書や**酈道元**（『(107)〔　　〕』）の地理学など**産業の実用書**が特色。後漢の**張仲景**の医学書『**傷寒論**』を西晋の**王叔和**が整理した。(108)〔　　〕の僧 (109)〔　　〕は (110)〔　　〕時代のインドへ行き帰国し『(111)〔　　〕』を著した。インド僧の (112)〔　　〕は６世紀に海路来中し (113)〔　　〕の祖となった。晋では (114)〔　　〕の『**三国志**』が，南朝の宋では『**後漢書**』が編纂された。

解答

(83) 魏　(84) 九品官人法（九品中正）　(85) 門閥貴族
(86) 上品に寒門なく下品に勢族なし　(87) 六朝文化　(88) 四六駢儷体　(89) 東晋
(90) 陶淵明（陶潜）　(91) 梁　(92) 昭明太子　(93) 文選　(94) 女史箴図
(95) 東晋　(96) 顧愷之　(97) 東晋　(98) 王羲之　(99) 清談　(100) 竹林の七賢
(101) 五胡十六国　(102) 仏図澄　(103) 浄土宗　(104) 鳩摩羅什　(105) 亀茲
(106) 斉民要術　(107) 水経注　(108) 東晋　(109) 法顕　(110) グプタ朝
(111) 仏国記　(112) 達磨　(113) 禅宗　(114) 陳寿

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 11 講　テスト

1　西晋における一戸ごとに生産物を徴収する税制は。

①　土断法
②　占田・課田法
③　三長制
④　戸調式

2　司馬懿（司馬仲達）の名誉のために卑弥呼に授けられた称号は。

①　漢委奴国王
②　大秦王安敦
③　親魏倭王
④　天可汗

3　莫高窟（千仏洞）のある石窟寺院は。

①　雲崗
②　敦煌
③　竜門
④　景徳鎮

4　以下の組み合わせで誤っているのは。

①　晋 ― 司馬氏
②　北魏 ― 拓跋氏
③　西魏 ― 宇文氏
④　隋 ― 李氏

5　淝水の戦（383）の勝者は東晋の謝玄（謝霊運の一族）。では，敗者の苻堅はどこの国か。

①　前秦
②　前趙
③　後秦
④　後趙

6　後漢一代の紀伝体正史『後漢書』を南朝の宋で著したのは。

①　陳寿
②　范曄
③　賈思勰
④　酈道元

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 11 講　テスト解答

1　④　　2　③　　3　②　　4　④　　5　①　　6　②

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 12 講　隋～盛唐
第 13 講　中唐～宋

【隋】(1)〔　　〕年に隋を建国した (2)〔　　〕つまり隋の (3)〔　　〕は (4)〔　　〕年に南朝の (5)〔　　〕を滅ぼし中国を統一した。都は (6)〔　　〕といわれた (7)〔　　〕，現在の (8)〔　　〕。律令制の骨格を整え，**均田制・府兵制による兵農一致の原則を確立**しつつ (9)〔　　〕制により税収を確保，また (10)〔　　〕を実施し，魏以降の九品中正による「上品に寒門なく下品に勢族なし」といわれた門閥貴族による官職の独占を防止しようとした。遊牧民の (11)〔　　〕を討伐したので東西に分裂した。２代目の (12)〔　　〕は鮮卑系の (13)〔　　〕を破って西域に進出した。黄河～淮水～長江を結ぶ**大運河建設**という費用のかさむ事業に明け暮れ人民は重税に苦しんだ。政治の中心の華北と経済の中心の江南が結ばれるきっかけとはなったが。また三度にわたる (14)〔　　〕遠征にも失敗した。

隋は (15)〔　　〕年に親族の (16)〔　　〕によって滅亡，これが山西を本拠地とした唐の建国で都は隋に引き続き (17)〔　　〕であった。

【初唐】(18)〔　　〕が唐の太宗でその治世を (19)〔　　〕と呼ぶ。太宗と部下の問答集が『(20)〔　　〕』。(21)〔　　〕（刑法）(22)〔　　〕（行政法・民法）(23)〔　　〕（補充改正）(24)〔　　〕（施行細則）を整備した。**三省六部一台の中央官制**を確立した。(25)〔　　〕では詔勅の草案が**起草**され，(26)〔　　〕では詔勅が**審議**され，(27)〔　　〕のもとにある (28)〔　　〕の (29)〔　　〕で詔勅が**施行**された。

ただし**門下省は門閥貴族の子弟の牙城**で，彼らには詔勅にたいする拒否権があった。科挙合格者数は年間十数人だったから，実際の役人は貴族の世襲（(30)〔　　〕）だった。官吏の監察機関が (31)〔　　〕だ。

(32)〔　　〕（穀物）(33)〔　　〕（布）(34)〔　　〕（中央での労働）雑徭（地方での労働）が税で，農閑期に均田農民を (35)〔　　〕で訓練し (36)〔　　〕を実施した。首都を警護したのが (37)〔　　〕，辺境防備が (38)〔　　〕。地方は道・州・県に区分する州県制が敷かれ，辺境には６つの (39)〔　　〕が置かれた。

解答

（1）581　（2）楊堅　（3）文帝　（4）589　（5）陳　（6）大興城　（7）長安
（8）西安　（9）租調庸　（10）科挙　（11）突厥　（12）煬帝　（13）吐谷渾
（14）高句麗　（15）618　（16）李淵　（17）長安　（18）李世民　（19）貞観の治
（20）貞観政要　（21）律　（22）令　（23）格　（24）式　（25）中書省　（26）門下省
（27）尚書省　（28）吏・戸・礼・兵・刑・工　（29）六部　（30）蔭位の制　（31）御史台
（32）租　（33）調　（34）庸　（35）折衝府　（36）府兵制　（37）衛士　（38）防人
（39）都護府

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【高宗（こうそう）】３代目の皇帝は(40)〔　　〕で唐の領域は最大となる。朝鮮半島の(41)〔　　〕を滅ぼし((42)〔　　〕年)，(43)〔　　〕年の(44)〔　　〕の戦いで(45)〔　　〕と組んで(46)〔　　〕を大敗させ，(47)〔　　〕も征服した((48)〔　　〕年)。新羅にたいしては冊封国（さくほうこく）として独立を承認した。(49)〔　　〕を滅ぼし，ソグディアナ地方を支配下に置いた。皇后が(50)〔　　〕で高宗の死後，史上唯一の女帝となり国号は(51)〔　　〕と改め，(52)〔　　〕と称し旧勢力を根絶した。高宗の息子の(53)〔　　〕もその妻，(54)〔　　〕に毒殺された。このふたりの女性にまつわる出来事を(55)〔　　〕という。

【盛唐（せいとう）】これを収拾したのが(56)〔　　〕でその治世（ちせい）の前半を(57)〔　　〕という。この頃から**均田制が動揺し荘園が発達**した。府兵制は(58)〔　　〕に切り替えられ，辺境を(59)〔　　〕が守った。政治に飽きた玄宗は後半には(60)〔　　〕を溺愛（できあい）し，一族の(61)〔　　〕が宰相になる。それと対立した節度使(62)〔　　〕が起こした(63)〔　　〕が(64)〔　　〕年に起きた。唐はトルコ系の(65)〔　　〕の援助で鎮圧した。

節度使の勢力はさらに増大し行政権や財政権も掌握（しょうあく）し半独立国化し(66)〔　　〕となって唐の統治の基盤はおおいに緩んだ。**兵農一致の原則が崩れ**，(67)〔　　〕年に(68)〔　　〕のとき(69)〔　　〕の献策により**資産にたいして課税**される(70)〔　　〕が施行され唐は累進課税の財政国家となり，**私有地**（(71)〔　　〕）**が公認され均田体制は終焉（しゅうえん）した**。

【晩唐（ばんとう）】両税という直接税より塩の専売税が唐朝の主要な財源だったが，塩の高い公定価格に菜食の農民は常に苦しんだ。であるから，塩の密売商人は民衆のヒーロー的存在だった。(72)〔　　〕年に密売商人(73)〔　　〕と黄巣（こうそう）が(74)〔　　〕を起こすとそれが拡大，この反乱は突厥の**李克用（りこくよう）**により鎮圧された。(75)〔　　〕年に(76)〔　　〕は(77)〔　　〕を廃止，その後，(78)〔　　〕により唐は滅ぼされ，かれが(79)〔　　〕を(80)〔　　〕に樹立して武断（ぶだん）政治の(81)〔　　〕の時代に突入する。

解答

(40) 高宗　(41) 百済（ひゃくさい）　(42) 660　(43) 663　(44) 白村江（はくそんこう）　(45) 新羅（しんら）
(46) 倭（わ）　(47) 高句麗（こうくり）　(48) 668　(49) 西突厥　(50) 則天武后（そくてんぶこう）　(51) 周
(52) 聖神皇帝　(53) 中宗（ちゅうそう）　(54) 韋后（いごう）　(55) 武韋の禍（ぶいか）　(56) 玄宗（げんそう）　(57) 開元の治（かいげんのち）
(58) 募兵制（ぼへいせい）　(59) 節度使（せつどし）　(60) 楊貴妃（ようきひ）　(61) 楊国忠（ようこくちゅう）　(62) 安禄山・史思明（あんろくざん・ししめい）
(63) 安史の乱（あんし）　(64) 755　(65) ウイグル　(66) 藩鎮（はんちん）　(67) 780　(68) 徳宗
(69) 楊炎（ようえん）　(70) 両税法　(71) 荘園　(72) 875　(73) 王仙芝（おうせんし）　(74) 黄巣の乱
(75) 894　(76) 菅原道真（すがわらのみちざね）　(77) 遣唐使（けんとうし）　(78) 朱全忠（しゅぜんちゅう）　(79) 後梁（こうりょう）　(80) 開封（かいほう）
(81) 五代十国（ごだいじっこく）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【唐の社会】唐代には首都長安のほか，(82)〔　　〕が置かれた(83)〔　　〕や泉州・揚州などが繁栄した。また，(84)〔　　〕が普及し送金手形制度が発展した。

【唐の文化】詩では盛唐期では詩仙(85)〔　　〕，詩聖(86)〔　　〕。中唐期では楊貴妃の悲劇をうたった「**長恨歌**」の(87)〔　　〕。文章としては唐宋八大家の(88)〔　　〕と(89)〔　　〕らが六朝文化の(90)〔　　〕を批判した。儒学はひきつづき(91)〔　　〕で(92)〔　　〕が科挙のテキストとして『(93)〔　　〕』を編纂した。**道教**は帝室に保護された。仏教では，(94)〔　　〕は7世紀前半に(95)〔　　〕路(96)〔　　〕期のインドの(97)〔　　〕へ行き『(98)〔　　〕』を，(99)〔　　〕は7世紀後半(100)〔　　〕路(101)〔　　〕のインドへ行き『(102)〔　　〕』をあらわした。外来の宗教は**祆教**とよばれた(103)〔　　〕，(104)〔　　〕，(105)〔　　〕とよばれた(106)〔　　〕派キリスト教（**大秦景教流行中国碑**にその痕跡）の**三夷教**，(107)〔　　〕とよばれたイスラーム教だ。

解答

(82) 市舶司　(83) 広州　(84) 飛銭　(85) 李白　(86) 杜甫　(87) 白居易
(88) 韓愈　(89) 柳宗元　(90) 四六騈儷体　(91) 訓詁学　(92) 孔頴達
(93) 五経正義　(94) 玄奘　(95) 陸　(96) ヴァルダナ朝　(97) ナーランダー学院
(98) 大唐西域記　(99) 義浄　(100) 海　(101) 分裂期　(102) 南海寄帰内法伝
(103) ゾロアスター教　(104) マニ教　(105) 景教　(106) ネストリウス　(107) 回教

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 12・13 講　テスト①

1　煬帝の高句麗遠征に使用されたのは。

①　永済渠

②　通済渠

③　広通渠

④　邗溝

2　均田制の一環として世襲で給田する制度は。

①　口分田

②　永業田

③　良賤制

④　蔭位の制

3　アラビア人と外国人居留地を表わす語の正しい組み合わせは。

①　大食，蕃坊

②　大食，会館

③　大秦，蕃坊

④　大秦，会館

4　太宗の時代，僧の玄奘がインドに渡るが正しい経路は。

①　（往）陸路，（帰）海路

②　（往）海路，（帰）陸路

③　陸路

④　海路

5　安史の乱の影響として正しいものは。

①　均田制が施行される

②　屯田制が施行される

③　均輸法が施行される

④　両税法が施行される

6　以下のうち初唐の書家でないのは。

①　虞世南

②　褚遂良

③　顔真卿

④　欧陽詢

第 12・13 講　テスト①解答

1　①　　2　②　　3　①　　4　③　　5　④　　6　③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【五代十国の時代】(1)〔　　〕が五代だ。都は後唐（(2)〔　　〕）を除いて(3)〔　　〕。五代のほかに十国ができた。五代のうち後唐・後晋・後漢は(4)〔　　〕系の王朝であり，とりわけ(5)〔　　〕を建国した(6)〔　　〕は建国援助の代償として(7)〔　　〕つまり**現在の北京(ぺきん)・大同付近**を(8)〔　　〕系(9)〔　　〕族で中国最初の征服王朝である(10)〔　　〕に割譲した。五代十国は**節度使による武断政治の時代**である。

【北宋】後周の節度使の(11)〔　　〕が(12)〔　　〕を都に(13)〔　　〕年に宋（北宋）を建国した。この王朝は**節度使の権限を縮小**する(14)〔　　〕を徹底し，その一環として科挙に最終面接の(15)〔　　〕を加え皇帝と師弟の契りを交わし**君主独裁体制**を確立した。科挙は後に(16)〔　　〕科（詩賦(しふ)の才能）に一本化された。また**門下省を中書省に吸収**した。宋の中国**統一は二代目太宗の時**だ。

宋は(17)〔　　〕という知識人が活躍する時期で，**唐末五代十国時代の混乱のなかで没落した門閥貴族階級にかわって台頭**した(18)〔　　〕たちが(19)〔　　〕階級を形成していく。地主たちを(20)〔　　〕，収穫の五割を小作料(こさくりょう)として支払う小作人を(21)〔　　〕，科挙合格者をだした家を(22)〔　　〕という。ただ文治(ぶんち)主義のゆきすぎと精鋭部隊を**禁軍(きんぐん)**として近衛兵(このえへい)としたことは，(23)〔　　〕年の(24)〔　　〕で弟である遼にたいして**銀・絹**を貢ぐことになり，(25)〔　　〕年の(26)〔　　〕で(27)〔　　〕系(28)〔　　〕族(29)〔　　〕が建国した(30)〔　　〕にも臣下の礼をとらせたにもかかわらず，**銀・絹・茶**を貢ぐことになる。

このような対外消極策や官僚への給与のため財政は苦しくなり，**神宗(しんそう)**が登用した(31)〔　　〕は(32)〔　　〕年に新法による富国強兵策を開始する。農民に低利で種を支給する(33)〔　　〕，中小商人に低利で融資(ゆうし)する(34)〔　　〕と(35)〔　　〕と(36)〔　　〕。強兵策としては(37)〔　　〕。しかし既得権益(きとくけんえき)を守りたい勢力の利益を背負った(38)〔　　〕党(とう)の(39)〔　　〕らの抵抗勢力により，王安石の新法は挫折した。

解答

(1) 後梁(こうりょう)・後唐(こうとう)・後晋(こうしん)・後漢(こうかん)・後周(こうしゅう)　(2) 洛陽　(3) 開封　(4) トルコ　(5) 後晋
(6) 石敬瑭(せきけいとう)　(7) 燕雲(えんうん)十六州　(8) モンゴル　(9) 契丹　(10) 遼　(11) 趙匡胤(ちょうきょういん)
(12) 開封　(13) 960　(14) 文治主義　(15) 殿試(でんし)　(16) 進士(しんし)　(17) 読書人
(18) 読書人　(19) 士大夫(したいふ)　(20) 形勢戸(けいせいこ)　(21) 佃戸(でんこ)　(22) 官戸(かんこ)　(23) 1004
(24) 澶淵(せんえん)の盟　(25) 1044　(26) 慶暦(けいれき)の和(わ)　(27) チベット　(28) タングート
(29) 李元昊(りげんこう)　(30) 西夏(せいか)　(31) 王安石(おうあんせき)　(32) 1069　(33) 青苗法(せいびょうほう)　(34) 市易法(しえきほう)
(35) 均輸法(きんゆほう)　(36) 募役法(ぼえきほう)　(37) 保甲法(ほこうほう)・保馬法(ほばほう)　(38) 旧法(きゅうほう)　(39) 司馬光(しばこう)

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【靖康の変】沿海州に (40)〔　　〕系 (41)〔　　〕族 (42)〔　　〕が建国した (43)〔　　〕が勃興，宋は金と計って遼を挟撃して滅ぼしたが，違約から金を怒らせ，金が南下し宋の上皇の (44)〔　　〕（資料集で彼の鳩の絵を確認！）皇帝の (45)〔　　〕を連行して辱めた。これを (46)〔　　〕（(47)〔　　〕年～ (48)〔　　〕年）という。欽宗の弟趙構（南宋の (49)〔　　〕）が (50)〔　　〕つまり (51)〔　　〕に南渡し，以後を南宋という。

【南宋】南宋では金にたいする主戦派 (52)〔　　〕（**大義名分**を主張）と和平派 (53)〔　　〕が対立，結局，(54)〔　　〕と秦嶺山脈を国境とし金との和平（**紹興の和議**）が成立したが，南宋は金にたいして臣下の礼をとったので秦檜は中国史における売国奴の代名詞となった。しかし彼のお陰で南宋に 150 年の繁栄がもたらされた。江南の開発はさらにすすんだ。最終的には (55)〔　　〕年の (56)〔　　〕の戦いでフビライの元により滅亡する。

【宋の社会】宋代には (57)〔　　〕米が普及，また江南開発が進み「(58)〔　　〕」といわれた。外国貿易は唐にひきつづき (59)〔　　〕により行われた。(60)〔　　〕が実用化し (61)〔　　〕により海外貿易に進出した。紙幣は北宋が (62)〔　　〕，南宋が (63)〔　　〕で，同業者組合は商人組合を (64)〔　　〕，手工業者組合を (65)〔　　〕といった。

解答

（40）ツングース　（41）女真　（42）完顔阿骨打　（43）金　（44）徽宗　（45）欽宗
（46）靖康の変　（47）1126　（48）1127　（49）高宗　（50）臨安　（51）杭州
（52）岳飛　（53）秦檜　（54）淮河（淮水）　（55）1279　（56）厓山　（57）占城
（58）蘇湖（江浙）熟すれば天下足る　（59）市舶司　（60）羅針盤　（61）ジャンク船
（62）交子　（63）会子　（64）行　（65）作

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【宋の文化】宋代の儒学の祖は北宋の (66)〔　　〕であり大成したのが南宋の (67)〔　　〕だ。『**四書集注**』は朱熹の著作。**性即理**・**華夷の別**・**大義名分論**が朱子学の骨子で，征服王朝がブレイクした時期に漢民族を奮い立たせるものであった。一方，(68)〔　　〕は朱熹に対抗し**心即理を唱え**，**明代の陽明学形成に影響**を与えた。歴史書としては北宋の (69)〔　　〕が (70)〔　　〕で『(71)〔　　〕』を，(72)〔　　〕が (73)〔　　〕で『**新唐書**』を編んだ。『(74)〔　　〕』は南宋の (75)〔　　〕。間違えないでね。

北宗画は宮廷の**画院**中心の (76)〔　　〕で**写実的**，南宗画は知識人中心の (77)〔　　〕で室町時代の**水墨画に影響**した。(78)〔　　〕省 (79)〔　　〕で陶磁器の生産が拡大した。宗教は浄土宗や禅宗が流行した。また金支配下の華北では (80)〔　　〕により儒・仏・道教が融合した (81)〔　　〕が成立した。江南では天師道系の (82)〔　　〕が隆盛した。発明された３大技術が (83)〔　　〕，(84)〔　　〕，(85)〔　　〕だ。

【征服王朝】遼は (86)〔　　〕年に (87)〔　　〕系 (88)〔　　〕族の (89)〔　　〕が建国した。(90)〔　　〕年に (91)〔　　〕を滅ぼし，(92)〔　　〕年には**耶律堯骨**は (93)〔　　〕から (94)〔　　〕を獲得したが，(95)〔　　〕年には (96)〔　　〕と (97)〔　　〕により滅ぼされた。一族の (98)〔　　〕が中央アジアへ逃れ (99)〔　　〕を滅ぼし (100)〔　　〕を建国した。遼の統治制度は**二重統治体制**で，契丹族には部族制で北面官を，漢民族には州県制で南面官を設置した。(101)〔　　〕は (102)〔　　〕系 (103)〔　　〕族で (104)〔　　〕が (105)〔　　〕年に建国したが，1227 年に (106)〔　　〕により滅ぼされた。

解答

(66) 周敦頤　(67) 朱熹　(68) 陸九淵　(69) 司馬光　(70) 編年体　(71) 資治通鑑
(72) 欧陽脩　(73) 紀伝体　(74) 資治通鑑綱目　(75) 朱熹　(76) 院体画
(77) 文人画　(78) 江西　(79) 景徳鎮　(80) 王重陽　(81) 全真教　(82) 正一教
(83) 木版印刷術　(84) 火薬　(85) 羅針盤　(86) 916　(87) モンゴル　(88) 契丹
(89) 耶律阿保機　(90) 926　(91) 渤海　(92) 936　(93) 後晋　(94) 燕雲十六州
(95) 1125　(96) 宋　(97) 金　(98) 耶律大石　(99) カラ＝ハン朝
(100) カラ＝キタイ（西遼）　(101) 西夏　(102) チベット　(103) タングート
(104) 李元昊　(105) 1038　(106) チンギス＝ハン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 12・13 講　テスト②

1　王安石の新法のうち，税の公平化策はどれか。

①　市易法
②　青苗法
③　均輸法
④　方田均税法

2　宋代の水利田に含まれないのは。

①　囲田
②　課田
③　圩田
④　湖田

3　北宋で軍政を管轄したのは。

①　五軍都督府
②　軍機処
③　理藩院
④　枢密院

4　金の二重統治体制のうち，部族制を表わす語は。

①　州県
②　猛安・謀克
③　北面官
④　可汗

5　宋代の繁華街を表わす語と，北方民族との絹馬貿易を表わす語の正しい組み合わせは。

①　瓦市，市舶司
②　瓦市，互市場
③　茶館，市舶司
④　茶館，互市場

第 12・13 講　テスト②解答

1　④　　2　②　　3　④　　4　②　　5　②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第14講
イスラーム以前の東南アジアと遊牧民・朝鮮

【スマトラ島】(1)〔　　〕中心の7世紀の(2)〔　　〕。唐の僧(3)〔　　〕が立ち寄った。

【ジャワ島】(4)〔　　〕は8～9世紀にジャワ島中部に(5)〔　　〕仏教の仏塔（**ストゥーパ**）(6)〔　　〕を建立した（1814年発見）。ジャワ島の(7)〔　　〕教の(8)〔　　〕は(9)〔　　〕（影絵）で有名。13世紀，フビライの時代の元軍侵入の混乱期に滅亡したのが(10)〔　　〕，誕生したのが(11)〔　　〕だ。これは東南アジア最後のヒンドゥー教国で**シュリーヴィジャヤを併合**した。

東南アジア最初のイスラーム教国は(12)〔　　〕。そのマラッカ王国を(13)〔　　〕年に(14)〔　　〕が征服する。香料諸島（(15)〔　　〕諸島）制圧の拠点とするために。

インドネシアの島々はイスラーム化しスマトラ島に(16)〔　　〕が，ジャワ島西部の(17)〔　　〕と中部の(18)〔　　〕（16世紀）ができた。そしてオランダが(19)〔　　〕年に(20)〔　　〕（現(21)〔　　〕）を建設する。ちなみにオランダ人とはゲルマン系バタヴィア人だ。

【ミャンマー史・(22)〔　　〕川流域】ビルマ人最初の国家が(23)〔　　〕。これが「緬」と表記されたので1988年からミャンマーになった。(24)〔　　〕仏教が(25)〔　　〕から移入，しかし元軍により滅亡。次が(26)〔　　〕。その次が(27)〔　　〕（**アラウンパヤー**）朝で**タイのアユタヤ朝を征服**した。19世紀に**アッサム地方**の茶畑に野心を持つイギリスと争いイギリス領に編入された。

解答

（1）パレンバン　（2）シュリーヴィジャヤ王国　（3）義浄　（4）シャイレンドラ朝
（5）大乗　（6）ボロブドゥール　（7）ヒンドゥー　（8）クディリ朝　（9）ワヤン
（10）シンガサリ朝　（11）マジャパヒト王国　（12）マラッカ王国　（13）1511
（14）ポルトガル　（15）モルッカ　（16）アチェ王国　（17）バンテン王国
（18）マタラム王国　（19）1619　（20）バタヴィア　（21）ジャカルタ　（22）イラワディ
（23）パガン朝　（24）上座部　（25）スリランカ　（26）タウングー朝　（27）コンバウン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【タイ・(28)〔　　〕（メナム川）流域】先住民族がつくったのが (29)〔　　〕。

タイ族が中国雲南(うんなん)省付近の (30)〔　　〕国がフビライに攻められた時期に南下し，(31)〔　　〕をタイにつくった。**ラーマ＝カムヘン王**が (32)〔　　〕仏教を採用。

14〜18世紀が(33)〔　　〕。カンボジア・クメール王国からアンコール地方を獲得したがミャンマーのコンバウン朝により滅ぼされた。

そして (34)〔　　〕。**プラヤー＝チャクリ**（ラーマ1世）がつくったのでチャクリ朝ともいう現在のタイ王室。都は (35)〔　　〕。

【ベトナム】 (36)〔　　〕国は秦の始皇帝に攻められ前漢の武帝に滅ぼされた。紀元前の (37)〔　　〕の遺物が (38)〔　　〕。東南アジア最古の国家である (39)〔　　〕（プノム）は (40)〔　　〕の代表で (41)〔　　〕からは**ローマ皇帝の刻印された金貨**が見つかる。(42)〔　　〕人の真臘(しんろう)により滅亡。そのクメール王国の12世紀の (43)〔　　〕世が造営したのが，ヒンドゥー寺院（のち仏教寺院）(44)〔　　〕。**ジャヤヴァルマン7世**が建てた都が (45)〔　　〕。

ベトナムは現在54の民族により構成されているが北緯17°以南の (46)〔　　〕は (47)〔　　〕→環王(かんおう)（唐の時代）→ (48)〔　　〕と表記された。

中国が征服王朝の時代に突入する11世紀に，昇竜(しょうりゅう)といわれた (49)〔　　〕に (50)〔　　〕ができた。次が (51)〔　　〕。元軍を撃退したが明の (52)〔　　〕に征服された。陳朝で民族文字，(53)〔　　〕（字喃）がつくられた。(54)〔　　〕が明から独立し (55)〔　　〕。この国がチャムパーを征服し南北ベトナムを統一する（15世紀）。18世紀の (56)〔　　〕をへて (57)〔　　〕年に (58)〔　　〕が**フランス人宣教師** (59)〔　　〕の助力を得て (60)〔　　〕を建国した。都は (61)〔　　〕。

解答

(28) チャオプラヤー　(29) ドヴァーラバティ王国　(30) 大理　(31) スコータイ朝
(32) 上座部　(33) アユタヤ朝　(34) ラタナコーシン朝　(35) バンコク　(36) 南越
(37) ドンソン文化　(38) 銅鼓(どうこ)　(39) 扶南(ふなん)　(40) 港市(こうし)国家　(41) オケオ
(42) クメール　(43) スールヤヴァルマン2　(44) アンコール＝ワット
(45) アンコール＝トム　(46) チャムパー　(47) 林邑(りんゆう)　(48) 占城　(49) ハノイ
(50) 李朝大越　(51) 陳朝大越　(52) 永楽帝　(53) チュノム　(54) 黎利(れいり)
(55) 黎朝(れいちょう)大越　(56) 西山朝　(57) 1802　(58) 阮福暎(げんふくえい)　(59) ピニョー
(60) 阮朝(げんちょう)越南　(61) フエ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 14 講　テスト①

1　ボロブドゥール遺跡はどこにあるか。

①　ジャワ島
②　スマトラ島
③　マレー半島
④　インドシナ半島

2　ボロブドゥール遺跡はどの王朝と関係があるか。

①　シンガサリ
②　シャイレンドラ
③　シュリーヴィジャヤ
④　マジャパヒト

3　1511 年にマラッカ王国を征服した国は。

①　オランダ
②　スペイン
③　イギリス
④　ポルトガル

4　義浄がスマトラ島パレンバンで著したのは。

①　仏国記
②　大唐西域記
③　南海寄帰内法伝
④　エリュトゥラー海案内記

5　東南アジア最古の国家は。

①　林邑
②　南越
③　扶南
④　真臘

第 14 講　テスト①解答

1　①　　2　②　　3　④　　4　③　　5　③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)〔　　〕を前漢の(2)〔　　〕が平定し(3)〔　　〕などの４郡（のこりは真番・臨屯・玄菟）を設置したが，楽浪郡は(4)〔　　〕年に(5)〔　　〕系の(6)〔　　〕により滅ぼされた。高句麗は(7)〔　　〕年に同じツングース系の(8)〔　　〕を滅ぼした。

韓族対策として楽浪南方に設置されたのが(9)〔　　〕で，邪馬台国の(10)〔　　〕の朝貢窓口となった。(11)〔　　〕の(12)〔　　〕の碑文は(13)〔　　〕のほとりの(14)〔　　〕（中国・吉林省集安）にある。のち(15)〔　　〕に遷都した。

南部の韓族のうち辰韓が発展した(16)〔　　〕は唐と組んで，馬韓が発展した(17)〔　　〕を滅ぼし（660 年），(18)〔　　〕年に(19)〔　　〕で倭の水軍を撃退した後，(20)〔　　〕を滅ぼし（668 年），唐も駆逐し（676 年），**朝鮮半島を統一**した。新羅の都は(21)〔　　〕で(22)〔　　〕があるので仏教国である。血縁的身分制を(23)〔　　〕という。

(24)〔　　〕年には(25)〔　　〕が(26)〔　　〕を建国，都は(27)〔　　〕だ。科挙受験資格がある特権身分を(28)〔　　〕といいこれは 20 世紀まで続く特権階級。この王朝では，(29)〔　　〕と**世界初の金属活字**とモンゴル軍撃退を仏に祈願する(30)〔　　〕（仏教的祈願）が有名。モンゴル軍に最後まで抵抗したのが(31)〔　　〕だ。

高麗の倭寇撃退のヒーローの(32)〔　　〕がクーデターで，仏教でなく(33)〔　　〕によってたつ(34)〔　　〕を(35)〔　　〕年に開く。都は(36)〔　　〕＝(37)〔　　〕。２代目皇帝の(38)〔　　〕が(39)〔　　〕で官位に応じて給田した。明をモデルとした同王朝は，**華夷の別をしっかりつける小中華思想と事大主義が特色**だが，それが 19 世紀に親清派の(40)〔　　〕と親日派の(41)〔　　〕の対立を生む。庶民の文字が４代(42)〔　　〕が(43)〔　　〕年に公布した(44)〔　　〕。最後の倭寇，豊臣秀吉を(45)〔　　〕で撃退したヒーローが(46)〔　　〕だ。江戸徳川幕府には，将軍の代替わり毎に計 12 回，(47)〔　　〕を日本に派遣した。

解答

（１）衛氏朝鮮　（２）武帝　（３）楽浪　（４）313　（５）ツングース　（６）高句麗
（７）494　（８）扶余（夫余）　（９）帯方郡　（10）卑弥呼　（11）高句麗
（12）広開土王　（13）鴨緑江　（14）丸都　（15）平壌　（16）新羅　（17）百済
（18）663　（19）白村江の戦い　（20）高句麗　（21）慶州　（22）仏国寺　（23）骨品
（24）918　（25）王建　（26）高麗　（27）開城　（28）両班　（29）青磁
（30）高麗版大蔵経　（31）三別抄　（32）李成桂　（33）朱子学　（34）朝鮮（李朝）
（35）1392　（36）漢城（漢陽）　（37）ソウル　（38）太宗　（39）科田法　（40）事大党
（41）独立党（開化派）　（42）世宗　（43）1446　（44）訓民正音（ハングル）
（45）亀甲船　（46）李舜臣　（47）朝鮮通信使

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 14 講　テスト②

1　高句麗の広開土王の碑文は次のどの川に近いか。

①　漢江

②　珠江

③　長江

④　鴨緑江

2　仏国寺はどこにあるか。

①　開城

②　漢城

③　慶州

④　仁川

3　高句麗滅亡後，その遺民とともに渤海国を建てたのは。

①　女真人

②　靺鞨人

③　契丹人

④　満州人

4　渤海国の建国者は。

①　耶律楚材

②　長春真人

③　柳宗元

④　大祚栄

5　渤海の国都は。

①　上京臨潢府

②　上京竜泉府

③　燕京

④　興慶

第 14 講　テスト解答②

1　④　　2　③　　3　②　　4　④　　5　②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 15 講
初期イスラーム史

セム語族のアラブ人は都市の商業民と砂漠の遊牧民（(1)〔　　〕）だった。前 10 世紀～前 2 世紀のイエメンにあったサバー王国のシバの女王がヘブライ王国のソロモン王の栄華栄光を見にきたと『旧約聖書』にある。また，シリアにあって 3 世紀にローマ皇帝アウレリアヌスに攻略された隊商都市が (2)〔　　〕だ。

【ムハンマド時代】 6 世紀の西アジアで**ビザンツ帝国とササン朝ペルシアが抗争しシルクロードや海の道が途絶し，代わって交易ルートとなったのがアラビア半島（現サウジアラビア）の紅海岸ヒジャーズ地方**だ。商業の普及は貨幣経済を浸透させ貧富の格差が増大した。そのメッカに登場した (3)〔　　〕家の (4)〔　　〕は 610 年に神の啓示をうけ**イスラーム（神への絶対的帰依）**を創始，(5)〔　　〕を主要教義とし**偶像崇拝を否定**した。多神教の (6)〔　　〕を守護する (7)〔　　〕の生まれのため非難され，信者を連れて (8)〔　　〕へ聖遷（(9)〔　　〕）した。これが (10)〔　　〕年イスラーム暦紀元元年だ。ちなみに**イスラーム暦は太陰暦で一年は 354 日**だ。ユダヤ人が多く一神教アレルギーの少なかったメディナではイスラームは信者を増やし (11)〔　　〕（教団・共同体）となり，ムハンマド存命中に (12)〔　　〕（聖戦）によりアラビア半島全域をイスラーム化した。

【正統カリフ時代】預言者の後継者を (13)〔　　〕というが，(14)〔　　〕→ (15)〔　　〕→ (16)〔　　〕→ (17)〔　　〕と続く４人の正統カリフが教団を統治した。(18)〔　　〕年，ササン朝ペルシアをザグロス山脈の (19)〔　　〕の戦いで破り**イラン**を，ビザンツ帝国を討ち**イェルサレム**や**エジプト**をイスラーム化した。特にウマルの時代が大征服がすすんだ時代だ。ウマイヤ家のウスマンのときに『(20)〔　　〕』が編纂された。

解答

（1）ベドゥイン　（2）パルミラ　（3）ハーシム　（4）ムハンマド
（5）アッラー（唯一神）　（6）カーバ神殿　（7）クライシュ族　（8）ヤスリブ（メディナ）
（9）ヒジュラ　（10）622　（11）ウンマ　（12）ジハード　（13）カリフ
（14）アブー＝バクル　（15）ウマル　（16）ウスマン　（17）アリー　（18）642
（19）ニハーヴァンド　（20）アル＝クルアーン（コーラン）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【ウマイヤ朝】アリーがウマイヤ家に甘いことに業を煮やしたハワーリッジ派によりアリーが暗殺されると，対立していたウマイヤ家の(21)〔　　〕は(22)〔　　〕で世襲カリフ制を始めた（ウマイヤ朝，(23)〔　　〕年～(24)〔　　〕年)。ムハンマドの娘ファーティマと夫アリーの子フサインはイラク南部カルバラーでウマイヤ家に殺された。**カルバラーの悲劇**（680年）。だからイラク南部は(25)〔　　〕のムスリムが多い。**アリーとその子孫のみをカリフとみなし**他の正統カリフとウマイヤ朝以降のカリフを否定する**シーア＝アリー（シーア派）**はこのようにして形成された。シーア派の最高指導者を(26)〔　　〕という。それにたいし**代々のカリフを正統と認める**のが(27)〔　　〕だ。

軍営都市((28)〔　　〕)として覚えるべきは現イラク南部の**クーファ**と**バスラ**。軍人には俸給**アター**が支給された。アター支給の役所をディワーンという。

イェルサレムに(29)〔　　〕が建立されたのは，カリフの**アブド＝アルマリク**の時で，彼は**アラビア語を公用語**に定めた。ウマイヤ朝の最盛期は６代目の(30)〔　　〕の時だ。この時期イスラーム世界は東はインダス川から西はジブラルタル海峡を渡り現在のスペイン・フランス国境のピレネー山脈にまで拡大した。イベリア半島では(31)〔　　〕を都とした(32)〔　　〕を滅ぼしフランスに侵攻したが，(33)〔　　〕年の(34)〔　　〕の戦いではメロヴィング朝フランク王国の宮宰カロリング家の(35)〔　　〕に撃退された。**ビザンツ帝国の都コンスタンティノープルも包囲したがギリシア火に撃退**された。

ウマイヤ朝に不満だったのはシーア派だけではない。(36)〔　　〕という非アラブのムスリムは(37)〔　　〕（人頭税（じんとうぜい））と(38)〔　　〕（地租（ちそ））を支払わされたが**アラブ人は免除だったので不満だった（アラブ人第１主義）。だからウマイヤ朝はアラブ帝国**といわれる。

解答

(21) ムアーウィヤ　(22) ダマスクス　(23) 661　(24) 750　(25) シーア派
(26) イマーム　(27) スンニー（スンナ）派　(28) ミスル　(29) 岩のドーム
(30) ワリード１世　(31) トレド　(32) 西ゴート王国　(33) 732
(34) トゥール・ポワティエ間　(35) カール＝マルテル　(36) マワーリー　(37) ジズヤ
(38) ハラージュ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 15 講　テスト

1　メッカのあるヒジャーズ地方はどの海に面しているか。

①　地中海

②　黒海

③　紅海

④　ペルシア湾

2　イスラーム暦紀元元年は西暦では。

①　622

②　632

③　642

④　652

3　イスラーム教団・共同体をあらわすアラビア語は。

①　アター

②　ワクフ

③　ウンマ

④　ウラマー

4　正統カリフの正しい順序は。

①　アブー＝バクル→ウマル→ウスマン→アリー

②　アブー＝バクル→アリー→ウスマン→ウマル

③　アリー→ウマル→アブーバクル→ウスマン

④　ウスマン→ウマル→アブー＝バクル→アリー

5　ウマイヤ朝の都は。

①　バグダード

②　ダマスクス

③　メディナ

④　アッコン

6　岩のドームはどこにあるのか。

①　イェルサレム

②　メッカ

③　コンスタンティノープル

④　カイロ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　西ゴート王国の都はどこか。

①　コルドバ
②　グラナダ
③　トレド
④　カディス

8　トゥール＝ポワティエ間の戦いの年号。

①　711
②　732
③　751
④　780

9　イスラーム教徒の五行に入らないものは。

①　断食
②　巡礼
③　礼拝
④　帰依

10　イスラームの集団礼拝を表わす語は。

①　フトバ
②　ラマダーン
③　ザカート
④　ミスル

11　以下のうちウマイヤ朝が支配していなかった都市は。

①　バグダード
②　カイロ
③　コンスタンティノープル
④　サマルカンド

第 15 講　テスト解答

1 ③　2 ①　3 ③　4 ①　5 ②　6 ①
7 ③　8 ②　9 ④　10 ①　11 ③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第16講　イスラーム世界の分裂①
第17講　イスラーム世界の分裂②

【アッバース朝】アリーの子フサインとササン朝ペルシアの最後の王ヤズドギルド３世の娘が夫婦だったという伝承があった。だからイランのホラサーン地方にはシーア派が多かった。同地でシーア派を取り込んで挙兵しウマイヤ朝を倒し(1)〔　　〕（(2)〔　　〕～(3)〔　　〕年）を樹立したのが(4)〔　　〕だ。２代目のカリフの(5)〔　　〕は新たな世襲カリフ制を成立させるためにシーア派を粛清し新都(6)〔　　〕（別名(7)〔　　〕，平安の都）を(8)〔　　〕河畔に建設した。

アッバース朝はムハンマドと血筋が近いためカリフ権を強化しやすく当初は中央集権化が進んだ。宰相を**ワズィール**，地方の総督を**アミール**といった。５代目の(9)〔　　〕がアッバース朝の最盛期で，彼と彼の統治下のバグダードは『(10)〔　　〕』に登場する。またフランク王国の**カール大帝とは使節を交換**した。９世紀にアッバース朝は黒人農業奴隷**ザンジュの乱**で動揺した。９世紀のカリフのマームーンの時にバグダードに建設された学問研究所が(11)〔　　〕でプラトン・アリストテレスの**ギリシア語文献のアラビア語への翻訳・研究**が行われた。単語を覚えよう。(12)〔　　〕は俸給。(13)〔　　〕は総督。(14)〔　　〕は教団・共同体。(15)〔　　〕は人頭税。(16)〔　　〕は聖戦。(17)〔　　〕は非ムスリム。(18)〔　　〕はイスラーム教徒。(19)〔　　〕とは神への絶対的帰依。(20)〔　　〕は地租。(21)〔　　〕は非アラブ人ムスリム。(22)〔　　〕は宰相。(23)〔　　〕は聖遷。(24)〔　　〕はイスラーム法学者。(25)〔　　〕は市場。(26)〔　　〕は隊商宿。(27)〔　　〕は光塔。

アッバース朝は**ムスリム平等主義で，アラブ人とマワーリーいずれもジズヤは免除でハラージュは支払った。ゆえにイスラーム帝国**といわれる。アッバース朝ができた時ウマイヤ家のアブド＝アッラフマーン１世は北アフリカをイベリア半島まで逃げ切り，現スペイン南部(28)〔　　〕を都にウマイヤ朝を継続した（(29)〔　　〕）。北アフリカの(30)〔　　〕に興った(31)〔　　〕は，エジプトに移り(32)〔　　〕を建設し現在のイスラームの最高学府(33)〔　　〕をつくった(34)〔　　〕派（**イスマーイール派＝7イマーム派**）の王朝。イェルサレムをめぐってセルジューク朝と抗争した。カリフを宣言し（**中カリフ国**），北アフリカ全体に版図を拡げたので，脅威を感じた現スペイン・コルドバの後ウマイヤ朝の(35)〔　　〕はカリフを宣言した（**西カリフ国**，(36)〔　　〕派）。後ウマイヤ朝は11世紀に

解答

（１）アッバース朝　（２）750　（３）1258　（４）アブー＝アル＝アッバース
（５）マンスール　（６）バグダード　（７）マディーナ＝アッサラーム　（８）ティグリス
（９）ハールーン＝アッラシード　（10）アラビアンナイト
（11）知恵の館（バイト＝アルヒクマ）　（12）アター　（13）アミール　（14）ウンマ
（15）ジズヤ　（16）ジハード　（17）ジンミー　（18）ムスリム　（19）イスラーム
（20）ハラージュ　（21）マワーリー　（22）ワズィール　（23）ヒジュラ　（24）ウラマー
（25）スーク　（26）キャラバンサライ　（27）ミナレット　（28）コルドバ
（29）後ウマイヤ朝　（30）チュニジア　（31）ファーティマ朝　（32）カイロ
（33）アズハル学院　（34）シーア　（35）アブド＝アッラフマーン３世　（36）スンニー

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

内紛で衰退し滅亡した。「**10 世紀はシーア派の世紀**」。(37)〔　　〕年にアッバース朝（**東カリフ国**，(38)〔　　〕派）の都 (39)〔　　〕に入城したのが，イラン系の (40)〔　　〕派（(41)〔　　〕派）の (42)〔　　〕だ。アッバース朝のカリフから権力を奪った。アラブ系の初期イスラーム時代，軍人は (43)〔　　〕（俸給）制だったが，ブワイフ朝では (44)〔　　〕という**徴税権を有力者に与える制度**に移行した。(45)〔　　〕年には，中央アジアのシル川流域から興った (46)〔　　〕派のトルコ系セルジューク族がメルブを都とした後 (47)〔　　〕に率いられ**バグダードに入城し，ブワイフ朝を打倒しアッバース朝のカリフから** (48)〔　　〕**（権力者，判断者）の称号を得た**。セルジューク朝は (49)〔　　〕の時が最盛期でそのイラン人宰相の (50)〔　　〕はイクター制を継承し各地にスンニー派の (51)〔　　〕（学院），(52)〔　　〕をつくって神学者 (53)〔　　〕を招いた。スルタン，アルプ＝アルスラーンの時の (54)〔　　〕年の (55)〔　　〕の戦いではビザンツ帝国を破った（ビザンツ帝国・十字軍の項を参照）。セルジューク朝の流れを組む王朝でイスラーム勢力として初めて組織的戦いを十字軍に挑んだのが (56)〔　　〕**朝**。　セルジューク朝は諸勢力との抗争で分裂，小アジアの (57)〔　　〕**朝**，中央アジア～西アジアは (58)〔　　〕に継承された。ホラズムは 13 世紀に (59)〔　　〕に滅ぼされた (60)〔　　〕系イスラーム王朝だ。

【イベリア半島・マグリブ地方】(61)〔　　〕とは「**太陽の沈む所**」の意。北アフリカのチュニジア・アルジェリア・モロッコがマグレブ３国だ。(62)〔　　〕の世界で彼らはヨーロッパ人からは (63)〔　　〕と呼ばれた。８～９世紀にモロッコの**フェズ**に建てられた**イドリース朝**は最古の (64)〔　　〕派だ。**11 世紀に現モロッコ**の (65)〔　　〕にできた (66)〔　　〕派の (67)〔　　〕朝は (68)〔　　〕年にサハラ砂漠の (69)〔　　〕を攻略した。イベリア半島ではキリスト教徒の (70)〔　　〕と対決した。ムラービト朝を滅ぼしたのが (71)〔　　〕朝で，都も系統も宗派もムラービト朝と同じ。

　スペイン最後のイスラーム王朝は (72)〔　　〕系 (73)〔　　〕朝 (74)〔　　〕王国。(75)〔　　〕が中心。資料集の写真をしっかり眺めよう。(76)〔　　〕年に**アルハンブラ宮殿をスペインに無血開城**（むけつかいじょう）し，**レコンキスタ（国土回復）運動は完成**した。

解答

(37) 946　(38) スンニー　(39) バグダード　(40) シーア　(41) 12 イマーム
(42) ブワイフ朝　(43) アター　(44) イクター制　(45) 1055　(46) スンニー
(47) トゥグリル＝ベク　(48) スルタン　(49) マリク＝シャー　(50) ニザーム＝アルムルク
(51) マドラサ　(52) ニザーミーヤ学院　(53) ガザーリー　(54) 1071
(55) マンジケルト　(56) ザンギー　(57) ルーム＝セルジューク　(58) ホラズム＝シャー朝
(59) チンギスハン　(60) トルコ　(61) マグレブ　(62) ベルベル人　(63) ムーア人
(64) シーア　(65) マラケーシュ　(66) スンニー　(67) ムラービト　(68) 1076
(69) ガーナ王国　(70) レコンキスタ運動　(71) ムワッヒド　(72) アラブ
(73) ナスル　(74) グラナダ　(75) アルハンブラ宮殿　(76) 1492

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【エジプト】アラブ系シーア派のファーティマを滅ぼしたのは 12 世紀の (77)〔　　〕派の (78)〔　　〕朝だ。都は (79)〔　　〕。建国者 (80)〔　　〕は (81)〔　　〕人だ。アイユーブ朝を倒したのは (82)〔　　〕系の (83)〔　　〕朝。都は (84)〔　　〕。(85)〔　　〕はモンゴル軍撃退の英雄だ。アッバース朝がチンギスハンの孫 (86)〔　　〕に滅ぼされた直後にカリフの家族を庇護したので，そのうちカリフを称するようになった。マムルーク朝のカイロはイスラーム世界の中心地になり**『千夜一夜物語（アラビアンナイト）』はここで完成**した。(87)〔　　〕年にマムルーク朝が**十字軍の最後の拠点** (88)〔　　〕を陥落させた。この時期 (89)〔　　〕がインド洋で活躍した。紅海の入り口 (90)〔　　〕が彼らの拠点の一つ。1509 年の (91)〔　　〕海戦では (92)〔　　〕の (93)〔　　〕に敗れたマムルーク朝は (94)〔　　〕年に (95)〔　　〕に征服された。

【中央アジア】トルコ人の原郷は**バイカル湖とバルハシ湖の間のアルタイ山脈**付近。現在，中国・ロシア・カザフスタン・モンゴルにまたがる地域だ。トルコ人は漢代の中国では (96)〔　　〕などで表記され，隋から唐にかけては**鉄勒**，(97)〔　　〕（この２つの派生語がテュルク→トルコ），唐の半ばからは (98)〔　　〕として活躍した。ウイグルの宗教は (99)〔　　〕だったが，その一派が西進しイスラーム化し初のトルコ系イスラーム王朝 (100)〔　　〕をシルクロードの天山北路に建てた。都は**ベラサグン**。

(101)〔　　〕海に注ぐ (102)〔　　〕川と (103)〔　　〕川の間が (104)〔　　〕だ。この地域で最初にアッバース朝から独立したのが**ターヒル朝**。そこから自立したのが**サッファール朝**。サッファール朝から自立したのが，９～ 10 世紀に成立した (105)〔　　〕系イスラーム王朝が (106)〔　　〕で，建国後，(107)〔　　〕に遷都し，トルコ人傭兵奴隷 (108)〔　　〕を西方に供給したことで知られる。このサーマーン朝を滅ぼしたのが (109)〔　　〕で，**ソグディアナがトルコ化し** (110)〔　　〕となった。(111)〔　　〕**高原の東，現中華人民共和国の新疆ウイグル自治区つまり** (112)〔　　〕**盆地（その大半が** (113)〔　　〕**砂漠，古代中国史の** (114)〔　　〕**）が** (115)〔　　〕となった。カラ＝ハン朝は (116)〔　　〕により滅亡した。

解答

(77) スンニー　(78) アイユーブ　(79) カイロ　(80) サラディン（サラーフ＝アッディーン）
(81) クルド　(82) トルコ　(83) マムルーク　(84) カイロ　(85) バイバルス
(86) フラグ　(87) 1291　(88) アッコン　(89) カーリミー商人　(90) アデン
(91) デュウ沖　(92) ポルトガル　(93) アルメイダ　(94) 1517　(95) オスマン帝国
(96) 丁零・高車　(97) 突厥　(98) ウイグル　(99) マニ教　(100) カラ＝ハン朝
(101) アラル　(102) シル　(103) アム　(104) ソグディアナ　(105) イラン
(106) サーマーン朝　(107) ブハラ　(108) マムルーク　(109) カラ＝ハン朝
(110) 西トルキスタン　(111) パミール　(112) タリム　(113) タクラマカン
(114) 西域　(115) 東トルキスタン　(116) カラ＝キタイ（西遼）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【イスラーム文化】イスラーム文化はギリシア＝ローマ文化・イラン文化・インド文化など先進文化を摂取し融合した文化だ。世界文化として発展し中世ヨーロッパに流入した。**中国から製紙法・羅針盤・火薬・活版印刷**などの，**インドから木綿・砂糖**などの西伝を仲介した。

固有の学問は『コーラン』に基づくアラブ人固有の学問分野のことで，**法学・神学・文法学・書記学・詩学・韻律学・歴史学**が含まれる。

外来の学問はギリシア・インドなどから導入された非アラブの学問で，**哲学・論理学・地理学・医学・数学・天文暦学・光学・錬金術**などを指す。

(117)〔　　〕は(118)〔　　〕朝時代のイラン系の詩人で科学者。(119)〔　　〕の制定に参加。合理主義的悲観論と刹那主義を**四行詩集**『(120)〔　　〕』に表現した。(121)〔　　〕は(122)〔　　〕朝のイラン系宰相で(123)〔　　〕（マドラサ）を(124)〔　　〕派の学問奨励のために開設した。(125)〔　　〕は同学院教授となりシーア派を批判した。後に(126)〔　　〕に傾倒し理論化した。スーフィズムとは内面的救いを重視し神との一体感を求めて禁欲的に修行する**イスラーム神秘主義**のことだ。

(127)〔　　〕は(128)〔　　〕朝時代のイランの民族詩人で，イラン建国からササン朝滅亡までの大長編叙事詩『**シャー＝ナーメ（王の書）**』というペルシア文学最高傑作の一つを著した。

(129)〔　　〕はアッバース朝期のイラン系イスラーム神学者で歴史家。年代記的世界史『預言者と諸王の歴史』を著した。

イル＝ハン国がイスラーム化した時の(130)〔　　〕のイラン人宰相(131)〔　　〕は『**（蒙古）集史**』という遊牧民としてのモンゴル民族の回顧録を記した。これは超感覚的な宗教(132)〔　　〕だったモンゴル族が精緻な教則のイスラームに改宗して定住することにより民族性が消滅した時期に書かれた。

(133)〔　　〕出身の(134)〔　　〕はマムルーク朝に仕え，ティムールと会見した。『(135)〔　　〕』で**都市民と遊牧民との関係を中心に**歴史発展の法則性を論じた。

(136)〔　　〕出身の(137)〔　　〕（ラテン名**アヴェロエス**）はムワッヒド朝に仕えた哲学者・医者・法学者。**アリストテレスの著作に注釈を加え中世西欧のスコラ哲学形成に影響**を与えた。

(138)〔　　〕のタンジール出身の(139)〔　　〕は旅行家。アジア・アフリカ・ヨーロッパを旅行し『(140)〔　　〕』を口述した。元末の中国を訪れた。また，シチリア島パレルモで(141)〔　　〕は『ルッジェーロの書』を著した。

(142)〔　　〕朝のブハラ出身の(143)〔　　〕（ラテン名**アヴィケンナ**）はイラン系の医者でありかつイスラーム哲学の完成者。『(144)〔　　〕』は 12 ～ 16 世紀の西欧医学で重用された。

イラン人の(145)〔　　〕はアッバース朝で活躍。**インド数学の影響をうけて代数学を発達させた。**

解答

(117) ウマル（オマル）＝ハイヤーム　(118) セルジューク　(119) ジャラリー暦
(120) ルバイヤート　(121) ニザーム＝アルムルク　(122) セルジューク
(123) ニザーミーヤ学院　(124) スンニー　(125) ガザーリー　(126) スーフィズム
(127) フィルドゥシー　(128) ガズナ　(129) タバリー　(130) ガザン＝ハン
(131) ラシード＝ウッディーン　(132) シャーマニズム　(133) チュニス
(134) イブン＝ハルドゥーン　(135) 世界史序説　(136) コルドバ　(137) イブン＝ルシュド
(138) モロッコ　(139) イブン＝バトゥータ　(140) 三大陸周遊記　(141) イドリーシー
(142) サーマーン　(143) イブン＝シーナー　(144) 医学典範　(145) フワーリズミー

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 16・17 講　テスト①

1　後ウマイヤ朝の都は。

①　コルドバ
②　セビリア
③　グラナダ
④　カルタヘナ

2　ファーティマ朝に滅ぼされたチュニジアに成立した王朝は。

①　アグラブ朝
②　ターヒル朝
③　トゥールーン朝
④　サッファール朝

3　946 年にバグダードに入城した王朝は。

①　セルジューク朝
②　イル＝ハン国
③　ブワイフ朝
④　ホラズム

4　11 世紀にスルタンの称号をカリフから賦与された王朝は。

①　セルジューク朝
②　ブワイフ朝
③　サーマーン朝
④　アイユーブ朝

5　ニザーミーヤ学院で学んだ詩人は。

①　ウマル（オマル）＝ハイヤーム
②　フワーリズミー
③　ガザーリー
④　サーディー

6　アルハンブラ宮殿はどこにあるか。

①　マラケシュ
②　トレド
③　グラナダ
④　コルドバ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　アルハンブラ宮殿と無関係の事項は。
① レコンキスタ
② ナスル朝
③ 1492 年
④ ゴシック様式

8　ムラービト朝と無関係の事項は。
① ガーナ王国
② マラケシュ
③ ベルベル人
④ カール５世

9　十字軍最後の拠点は。
① アッコン
② マサダ
③ ベツレヘム
④ ヘブロン

10　サーマーン朝の都は。
① ベラサグン
② ブハラ
③ メルブ
④ サマルカンド

11　ラシード＝ウッディーンの著作は。
① 医学典範
② 世界史序説
③ 集史
④ 三大陸周遊記

12　イブン＝バトゥータの出身地は。
① ウズベキスタン
② チュニジア
③ モロッコ
④ スペイン

第 16・17 講　テスト①解答

1 ①　2 ①　3 ③　4 ①　5 ④　6 ③　7 ④
8 ④　9 ①　10 ②　11 ③　12 ③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 16・17 講　テスト②

1　トルコ系のセルジューク朝やモンゴル系のイル＝ハン国の支配下に栄えた文化は。

①　アラブ＝イスラーム文化

②　イラン＝イスラーム文化

③　トルコ＝イスラーム文化

④　インド＝イスラーム文化

2　イスラームの裁判官でオスマン帝国では地方行政も担当したのは。

①　ウラマー

②　カーディー

③　マドラサ

④　スーフィー

3　次のうち隊商宿をあらわす語は。

①　ミナレット

②　ミッレト

③　モスク

④　キャラバンサライ

4　次のうちイスラームの固有の学問ではない外来の学問を選べ。

①　哲学

②　法学

③　神学

④　歴史学

5　次の人物のうちガズナ朝時代のイランの大民族詩人は。

①　フィルドゥシー

②　ウマル＝ハイヤーム

③　ラシード＝ウッディーン

④　イブン＝シーナー

第 16・17 講　テスト②解答

1　②　　2　②　　3　④　　4　①　　5　①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 18 講
ゲルマン人の大移動・フランク王国とローマ教会

【ケルト人】ヨーロッパの先住民は (1)〔　　〕だ。ヨーロッパ全域に住んでいた。たとえば現イギリスの (2)〔　　〕人，現フランスの (3)〔　　〕人，現スペインのガリシア人，現トルコのガラテア人はケルト人だ。ケルト人の前期遺跡として現オーストリアの**ハルシュタット文化**と後期遺跡として現スイスの**ラ＝テーヌ文化**が代表的。しかし，(4)〔　　〕・(5)〔　　〕・(6)〔　　〕の３大征服民族に征服され，**現在はアイルランド・スコットランド・ウェールズ・フランスのブルターニュ半島・スペインのガリシア地方に居住するのみ**だ。

【フン族】匈奴(きょうど)説が有力なのがアジア系のフン族だ。前漢時代に東西に分裂した**東匈奴が後漢時代に南北に分裂**。南匈奴は後漢に服属，また五胡(ごこ)の一つとして中国史にとどまる。北匈奴はユーラシア大陸を西進した。**白匈奴とも呼ばれるエフタル**はその一派だ。(7)〔　　〕に率いられたフン族は匈奴ではないかといわれる。ローマに入り教皇 (8)〔　　〕世に説得され退去した。ドナウ中流のパンノニア（現在のハンガリー）がフン族の本拠地。(9)〔　　〕年のパリの東方の (10)〔　　〕の戦いでは**西ローマ帝国・西ゴート・フランク**連合軍に敗れた。アッティラの死後，疫病(えきびょう)・内紛(ないふん)で崩壊した。

【ゲルマン民族の大移動】

ゲルマン民族の原郷は**ユトランド半島（現デンマーク）・スカンジナビア半島南部・バルト海沿岸**だ。先住のケルト人を圧迫しながら南下した。前 1 世紀頃数 10 の部族国家 (11)〔　　〕を形成した。王・貴族・平民からなる全自由民男子による (12)〔　　〕が最高決定機関。自由民の間では (13)〔　　〕という契約関係があった。**前１世紀のカエサルの『ガリア戦記』と１〜２世紀のタキトゥスの『ゲルマニア』**にゲルマン人の実態が描かれている。ローマ帝国には傭兵(ようへい)・下級官吏(かんり)・コロナートゥスとして平和的に移住した。(14)〔　　〕年にフン族がゲルマン人の東ゴート族を圧迫，その東ゴート族に圧迫された**西ゴート族がドナウ川を渡った**。ゲルマン民族大移動が始まった。

解答

（１）ケルト人　（２）ブリトン　（３）ガリア　（４）ゲルマン　（５）ラテン
（６）スラブ　（７）アッティラ　（８）レオ１　（９）451　（10）カタラウヌム
（11）キヴィタス　（12）民会　（13）従士制(じゅうしせい)　（14）375

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【西ゴート族】**黒海西岸にいた**西ゴート族は (15)〔　　〕に率いられローマ帝国に侵入，**410年には西ローマ帝国のローマを荒廃させ**たが，この事件が北アフリカ・ヒッポの教父（最大の教父）(16)〔　　〕が『(17)〔　　〕』を著わすきっかけとなった。（もう一つの著作が**『告白録』でマニ教徒だった放蕩三昧（ほうとうざんまい）の過去を告白**した）。次いで西ゴート族は南フランスに移動しトロサ（現トゥールーズ）を都としたが，フランク族に圧迫されイベリア半島の (18)〔　　〕を都に建国した。(19)〔　　〕年には (20)〔　　〕のイスラーム教徒に征服された。

【東ゴート族】黒海北岸にいた東ゴート族は北イタリアに入り，（西ローマ帝国を滅ぼした）(21)〔　　〕を倒した。オドアケルは東ローマ帝国の総督として (22)〔　　〕に王国を建国したが東ゴート族の (23)〔　　〕により滅亡，しかしアリウス派の東ゴート王国は (24)〔　　〕年に**東ローマ（ビザンツ）帝国**の (25)〔　　〕により滅亡した。

【ヴァンダル族】現ポーランド東部にいたヴァンダル族は，イベリア半島を経て**北アフリカ**の (26)〔　　〕に建国。**ガイゼリック王が455年にローマを脅かした**が，534年に東ローマ帝国の (27)〔　　〕により滅亡した。スペイン南部を通過してアフリカに渡ったので，スペイン南部はヴァンダルの地アンダルシアとなった。

【ブルグンド族】ブルグント族は現ポーランドの**オーデル川とウィスラ川の間から，ガリア東部に移動し建国**したが，534年に (28)〔　　〕により滅ぼされた。**現フランスのブルゴーニュ地方の語源**である。民族叙事詩『(29)〔　　〕』は彼らの伝説がもとだ。

【フランク族】フランク族は (30)〔　　〕川下流から短い距離を**ガリア北部（現フランス）**へ移動，(31)〔　　〕年に (32)〔　　〕家の (33)〔　　〕が全部族を統一し486年に (34)〔　　〕を都にフランク王国を建国した。(35)〔　　〕年には (36)〔　　〕で**アタナシウス派キリスト教に改宗**した。534年には (37)〔　　〕王国を併合した。(38)〔　　〕（マヨル＝ドムス）のカロリング家が台頭（たいとう）。宮宰とは「家政の長官」のことであり (39)〔　　〕家が世襲（せしゅう）した。その家の (40)〔　　〕が (41)〔　　〕年の (42)〔　　〕の戦い（パリ南西）でイスラーム教徒の (43)〔　　〕軍を撃退した。

解答

(15) アラリック　(16) アウグスティヌス　(17) 神の国　(18) トレド　(19) 711
(20) ウマイヤ朝　(21) オドアケル王国　(22) ラヴェンナ　(23) テオドリック
(24) 555　(25) ユスティニアヌス帝　(26) カルタゴ（現チュニジア）
(27) ユスティニアヌス帝　(28) フランク王国　(29) ニーベルンゲンの歌
(30) ライン　(31) 481　(32) メロヴィング　(33) クローヴィス　(34) パリ
(35) 496　(36) ランス　(37) ブルグンド　(38) 宮宰（きゅうさい）　(39) カロリング
(40) カール＝マルテル　(41) 732　(42) トゥール＝ポワティエ間　(43) ウマイヤ朝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【カロリング朝フランク王国】その子の (44)〔　　〕が教皇ザカリアスの支持で (45)〔　　〕年に**カロリング朝を創始**した。また (46)〔　　〕を討伐（とうばつ）し (47)〔　　〕を教皇ステファヌス２世に寄進（きしん）した（**ピピンの寄進**）。これが教皇領の起源だ。

その子 (48)〔　　〕は (49)〔　　〕付近のイベリア半島で (50)〔　　〕朝のイスラーム教徒を破りピレネー山麓（さんろく）にスペイン辺境伯領（へんきょうはくりょう）を設置した。カールのいとこが戦死したが 11 世紀末に北フランスで成立した騎士道物語『(51)〔　　〕』の題材となった。北東の (52)〔　　〕を平定し (53)〔　　〕までを版図とした。アジア系遊牧民 (54)〔　　〕の帝国を滅ぼした。774 年には北イタリアの (55)〔　　〕**王国を征服**した。全国を州に分け (56)〔　　〕（グラーフ）を置き，王直属の (57)〔　　〕に監督させ中央集権化をすすめた。中心地は (58)〔　　〕。ここにイングランドから高僧 (59)〔　　〕を招いて教会・修道院付属の学校を通じて (60)〔　　〕の普及を図った。これを (61)〔　　〕という。

(62)〔　　〕年には教皇 (63)〔　　〕世に戴冠（たいかん）され**西ローマ帝国が復活**した。カールの戴冠の政治的意義は，**ビザンツ帝国の影響から脱却（だっきゃく）**し西ヨーロッパ世界が成立したこと。文化的意義は，**ローマ帝国以来の古典文化（ヘレニズム）とゲルマン人（ゲルマニズム）フランク王カールと教皇（キリスト教）レオ３世が結びついて**西ローマ帝国が復活したこと。つまり (64)〔　　〕と (65)〔　　〕と (66)〔　　〕の３要素が融合（ゆうごう）し**西ヨーロッパ文化の源が形成された**こと。宗教的意義は，**ローマ＝カトリック教会がビザンツ帝国から独立し東西教会の分裂・対立が始まった**ことだ。

フランク王国はカールの孫の段階の (67)〔　　〕年の (68)〔　　〕条約でロタール領（中）とルードヴッヒ２世（東）とシャルル２世（西）に分裂した。ロタールが死にロドヴィコ２世に譲る時の (69)〔　　〕年の (70)〔　　〕条約でロタール領の一部が東と西のフランク王国に割譲（かつじょう）された。こうして**現在のイタリア・ドイツ・フランスの原型**ができた。

解答

(44) ピピン３世　(45) 751　(46) ランゴバルド王国　(47) ラヴェンナ地方
(48) カール（シャルルマーニュ）　(49) エブロ川　(50) 後ウマイヤ
(51) ローランの歌　(52) ザクセン族　(53) エルベ川　(54) アヴァール族
(55) ランゴバルド　(56) 伯（はく）　(57) 巡察使（じゅんさつし）　(58) アーヘン　(59) アルクィン
(60) ラテン語　(61) カロリング＝ルネサンス　(62) 800　(63) レオ３
(64) ヘレニズム　(65) ゲルマニズム　(66) キリスト教　(67) 843
(68) ヴェルダン　(69) 870　(70) メルセン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 18 講　テスト

1　ヨーロッパの先住民族は。

①　ケルト人
②　ゲルマン人
③　スラブ人
④　ラテン人

2　以下のうち，アジア系の国は。

①　ルーマニア
②　ハンガリー
③　チェコ
④　ポーランド

3　ゲルマン民族のうち北アフリカに建国したのは。

①　東ゴート族
②　西ゴート族
③　ブルグント族
④　ヴァンダル族

4　ゲルマン民族のうちイベリア半島に建国したのは。

①　東ゴート族
②　西ゴート族
③　ブルグンド族
④　ヴァンダル族

5　ゲルマン民族のうち，建国した国がイスラーム教徒に滅ぼされたのは。

①　東ゴート王国
②　西ゴート王国
③　ヴァンダル王国
④　ランゴバルド王国

6　カール大帝のときのフランク王国の中心地は。

①　パリ
②　アーヘン
③　シャルトル
④　オルレアン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　フランク王国のクローヴィスが改宗した宗派は。
　① アタナシウス派
　② アリウス派
　③ アルビジョワ派
　④ ネストリウス派

8　ピピン３世が寄進した地方は。
　① ロンバルディア
　② トスカーナ
　③ ラヴェンナ
　④ シチリア

9　ヴェルダン条約の年号は。
　① 843
　② 870
　③ 962
　④ 1066

10　378年西ゴート族がローマ皇帝を敗死させたが正しい組み合わせは。
　① ウァレンス　，カタラウヌムの戦
　② ウァレンス　，アドリアノープルの戦
　③ ユリアヌス　，カタラウヌムの戦
　④ ユリアヌス　，アドリアノープルの戦

11　ヴァンダル王国の建国者は。
　① アラリック
　② テオドリック
　③ ガイゼリック
　④ リューリク

12　古ゲルマン人は部族の問題をどこで決定したか。
　① 民会
　② 元老院
　③ 評議会
　④ 市参事会

第１８講　テスト解答

1 ①	2 ②	3 ④	4 ②	5 ②	6 ②
7 ①	8 ③	9 ①	10 ②	11 ③	12 ①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 19 講
ノルマン人・ビザンツ帝国・十字軍

ゲルマン人の移動の第２波の話。人口増加と耕地不足から移動を開始した。バルト海付近を原郷としたノルマン人（ヴァイキング＝入江の民）のうち，スウェーデン系の (1)〔　　〕の (2)〔　　〕が (3)〔　　〕年に建国したのが (4)〔　　〕だ。ノブゴロドは毛皮の集散地。「ルス」が「ロシア」の語源だということを忘れないでね。つまりロシア人というのはスラヴ人とノルマン人の混血だということになる。この一派が (5)〔　　〕川沿いに南下し (6)〔　　〕年に建国したのが (7)〔　　〕だ。キエフは黒海とバルト海を結ぶ交易ルートの中継点。同国の (8)〔　　〕（リューリク朝）が**東ローマ（ビザンツ）皇帝の妹と結婚することによりギリシア正教化したことが，ロシアの地の正教化の始まりだ**（(9)〔　　〕年）。

【現在のノルマン国家】ノルマン人の (10)〔　　〕が (11)〔　　〕年**北フランスに** (12)〔　　〕を建国，その子孫の (13)〔　　〕が (14)〔　　〕年の (15)〔　　〕でイングランドを**征服**しノルマン朝を開いた。これがイギリス最初の本格王朝。**イギリスはこの 1066 年を建国の年号と定めている**。別の一派はノルマンディーから南イタリアへと進出し，(16)〔　　〕年に (17)〔　　〕が (18)〔　　〕を建国，その中心地 (19)〔　　〕は (20)〔　　〕**語から** (21)〔　　〕**語への翻訳の中心としてイベリア半島の** (22)〔　　〕**と並び大いに栄える**ことになる。

11 世紀にはノルマン人の活動は沈静化した。この間にキリスト教に改宗し北欧３国が形成された。８世紀頃できたデンマークはバルト海に進出しハンザ同盟と抗争した。ノルウェーは９世紀末に建国されアイスランドを支配した。(23)〔　　〕はキエフをモデルに建設された都市だ。(24)〔　　〕は北欧最大の都市だった。10 世紀頃できたスウェーデンはウラル語族フィン人の国フィンランドを支配下に置いた。(25)〔　　〕年には (26)〔　　〕が結成された。これは**デンマーク女王** (27)〔　　〕**を中心とした北欧３国の同君連合**で 1523 年にスウェーデンが離脱するまで存続した。同盟解体後，デンマークがノルウェーを，スウェーデンがフィンランドを支配した。ノルマン人の別の一派は，アイスランド，グリーンランドから北極を越えて北米大陸に達した。また東ローマ帝国の都コンスタンティノープルを脅かすこともあった。

解答

（1）ルス族（ルーシー）　（2）リューリク　（3）862　（4）ノブゴロド国
（5）ドニエプル　（6）882　（7）キエフ公国　（8）ウラディミル１世　（9）989
（10）ロロ　（11）911　（12）ノルマンディー公国　（13）ウィリアム　（14）1066
（15）ヘースティングズの戦　（16）1130　（17）ルッジェーロ２世　（18）両シチリア王国
（19）パレルモ　（20）アラビア　（21）ラテン　（22）トレド　（23）オスロ
（24）ベルゲン　（25）1397　（26）カルマル同盟　（27）マルグレーテ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【封建制度の成立】ヴァイキングは小回りのきく舟でパリのある (28)〔　　〕川をさかのぼる。(29)〔　　〕川沿いに古城が多いのも元はと言えばヴァイキング対策だ。たとえば農奴（のうど）は領主と「川まで３日間」と契約を結ぶ。ヴァイキングが襲来（しゅうらい）したら契約をドライに履行（りこう）する。二君にまみえることもある。農奴は週の半分を (30)〔　　〕で (31)〔　　〕に従事，半分は (32)〔　　〕の産物を (33)〔　　〕し，(34)〔　　〕や教会への (35)〔　　〕も課された。収入が賦役による荘園を (36)〔　　〕という。12 世紀以降は貨幣地代が主流になり賦役によらない荘園を (37)〔　　〕（地代荘園）という。

現代ベルギーの歴史家**ピレンヌ**は「(38)〔　　〕」と述べた。**イスラーム・ノルマン・マジャールなどの侵入という外圧があったからこそ，ヨーロッパ世界が成熟したのだ**という説明である。

解答

（28）セーヌ　（29）ロワール　（30）領主直営地　（31）賦役（ふえき）（労働地代）
（32）農民保有地　（33）貢納（こうのう）（生産物地代）　（34）結婚税・死亡税　（35）十分の一税
（36）古典荘園（しょうえん）　（37）純粋荘園　（38）ムハンマドなくしてカールなし

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

最後のローマ皇帝テオドシウスは395年に死ぬ時に長子アルカディウスに東を次子ホノリウスに西を分封した。東ローマ（ビザンツ）帝国の都は(1)〔　　〕だ。

【ユスティニアヌス帝】(2)〔　　〕帝は(3)〔　　〕朝の(4)〔　　〕と抗争した。ゲルマン人の(5)〔　　〕王国と(6)〔　　〕王国（(7)〔　　〕年に征服したのでユスティニアヌス帝を６世紀の人物と覚える）征服し西ゴート王国からも領土を奪い，地中海をほぼ一周制圧し再び「ローマ人の海」とした。イタリアの(8)〔　　〕にある(9)〔　　〕様式の(10)〔　　〕大聖堂には，ユスティニアヌス帝夫妻の描かれているモザイクがある。

さらにユスティニアヌス帝はコンスタンティノープルの(11)〔　　〕様式の傑作(12)〔　　〕大聖堂を修築(しゅうちく)した。競技場の暴動に端を発した(13)〔　　〕で焼失したものを再建したのだ。またプラトンの創設した(14)〔　　〕を閉鎖した。さらには(15)〔　　〕に命じ『(16)〔　　〕』を編纂させた。中国から(17)〔　　〕業が伝わり(18)〔　　〕が奨励された。

【(19)〔　　〕】公用語がラテン語から(20)〔　　〕語となった。ビザンツ帝国は７世紀の(21)〔　　〕の時代になると東部地域シリアと(22)〔　　〕をアラブ人のイスラーム教徒に侵食(しんしょく)される。このような状況で成立したのが全領域を小管区に分ける(23)〔　　〕だ。これは兵農一致(へいのういっち)の屯田兵制(とんでんへいせい)で軍管区に屯田兵を入植した。

【(24)〔　　〕】

ビザンツ帝国は皇帝がコンスタンティノープル教皇の任命権や教義規定権を有する(25)〔　　〕が大切。これは帝政ロシアに継承される基本的性格である。

イスラームの(26)〔　　〕のコンスタンティノープル攻撃をギリシア火という一種の火炎放射器で撃退した皇帝レオン３世が，(27)〔　　〕年にイスラームの影響で(28)〔　　〕を出し(29)〔　　〕を禁止（のちに復活）したことからローマ教会との間に溝ができはじめた。

解答

（１）コンスタンティノープル　（２）ユスティニアヌス　（３）ササン　（４）ホスロー１世
（５）ヴァンダル　（６）東ゴート　（７）555　（８）ラヴェンナ　（９）ビザンツ
（10）サン＝ヴィターレ　（11）ビザンツ　（12）セント＝ソフィア（ハギア＝ソフィア）
（13）ニカの乱　（14）アカデメイア　（15）トリボニアヌス　（16）ローマ法大全
（17）絹織物　（18）養蚕(ようさん)　（19）ギリシア化　（20）ギリシア　（21）ヘラクレイオス１世
（22）エジプト　（23）軍管区（テマ）制　（24）レオン３世　（25）「皇帝教皇主義」
（26）ウマイヤ朝　（27）726　（28）聖像崇拝禁止令　（29）イコン（聖画）崇拝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【東西教会分裂】800 年にローマ教皇がゲルマン人カールに戴冠したことにより距離がさらに広がった。両教会は最終的に (30)〔　　〕年に相互を破門した。ローマ教会とコンスタンティノープル教会のそれぞれが，カトリックとギリシア正教会として今日に至っている。９～11 世紀のマケドニア朝期は６世紀に次ぐ繁栄期。バシレイオス１世が創始者で**バシレイオス２世はトルコ系遊牧民が建てた第１次ブルガリア王国を滅ぼした**。

【十字軍】 (31)〔　　〕年の (32)〔　　〕の戦いで皇帝ロマヌス＝ディオゲネスが (33)〔　　〕に捕虜になったので，少し後の皇帝 (34)〔　　〕がローマ教皇に援助を求めた。これが十字軍のきっかけとなる。また地方領主に国有地の管理をまかせ軍役などを課す (35)〔　　〕を実施したので，貴族の大土地所有が公認され兵農一致が崩れた。第 (36)〔　　〕回十字軍の攻撃を受け，首都コンスタンティノープルには (37)〔　　〕の植民国家 (38)〔　　〕が建てられ，ビザンツ帝室は内陸へ逃れ (39)〔　　〕となった。ニケーア帝国はのちにジェノヴァと同盟しコンスタンティノープルを回復する。(40)〔　　〕年に (41)〔　　〕の (42)〔　　〕に山越えの離れ業で征服され同帝国は滅亡。最後の皇帝の姪と結婚したのがモスクワ大公 (43)〔　　〕だったので，彼は東ローマ帝国の後継者として (44)〔　　〕（カエサルの意）と名乗った。（正式には実際に血を引く孫の (45)〔　　〕からがツァー）

古代ローマ史からビザンツ帝国滅亡までを扱った 18 世紀イギリスの歴史家が『(46)〔　　〕』の (47)〔　　〕だ。

西欧が自給自足の荘園経済が中心になった後もビザンツ帝国では**貨幣経済は衰えなかった**。また，ギリシア十字形と円屋根と (48)〔　　〕画を特長とする建築様式**ビザンツ様式**など独自の文化を形成した。

(49)〔　　〕は９世紀にギリシア正教を南スラヴ人へ布教した人物。布教のためギリシア文字をもとにグラゴール文字がつくられ現在ロシア語で使われている (50)〔　　〕に発展した。

解答

(30) 1054　(31) 1071　(32) マンジケルト　(33) セルジューク朝
(34) アレクシオス１世　(35) プロノイア制　(36) 4　(37) ヴェネツィア
(38) ラテン帝国　(39) ニケーア帝国　(40) 1453　(41) オスマン帝国
(42) メフメト２世　(43) イヴァン３世　(44) ツァーリ　(45) イヴァン４世
(46) ローマ帝国衰亡史（すいぼうし）　(47) ギボン　(48) モザイク　(49) キュリロス
(50) キリル文字

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

聖者・聖遺物崇拝が広まった10世紀末から「(1)〔　　〕」運動が起きた。貴族同士や非戦闘員に対し生命財産を侵害しないという平和誓約のことだ。また11～12世紀にかけてヨーロッパで聖地(2)〔　　〕熱が高まった。(3)〔　　〕・(4)〔　　〕・(5)〔　　〕が三大巡礼地だ。

ローマ教皇は東方教会の再統合をねらう。また北イタリア諸都市による東方貿易（(6)〔　　〕）が拡大。これらが十字軍の遠因だ。

(7)〔　　〕年の(8)〔　　〕の戦いで東ローマ皇帝は(9)〔　　〕朝に敗れたが，その脅威から東ローマ皇帝(10)〔　　〕がローマ教皇に，セルジューク朝により聖地イェルサレムが占領されたことを訴え支援を要請した。これが十字軍の近因。(11)〔　　〕年の(12)〔　　〕宗教会議で教皇(13)〔　　〕により(14)〔　　〕が提唱され，(15)〔　　〕年の派遣の結果，(16)〔　　〕が建国された。イェルサレム王国を占領したのが(17)〔　　〕を創始したクルド人(18)〔　　〕で，それにたいし結成されたのが第(19)〔　　〕回十字軍。第(20)〔　　〕回十字軍のメンバーは，神聖ローマ皇帝(21)〔　　〕，フランス王(22)〔　　〕（カペー朝），イングランド王(23)〔　　〕（プランタジネット朝）。しかし実際戦ったのはイングランド王だけ。第(24)〔　　〕回十字軍は「**教皇は太陽，皇帝は月**」と言ったとされる教皇(25)〔　　〕世が提唱，(26)〔　　〕の商人中心の派兵は東ローマの帝都(27)〔　　〕を攻め，(28)〔　　〕年に(29)〔　　〕を建国した。第５回十字軍は，神聖ローマ皇帝(30)〔　　〕世が教皇庁と対立しつつイスラーム教徒と妥協し，エルサレムで独自の支配を行なったものだ。第(31)〔　　〕回十字軍は，フランスのカペー朝の聖王(32)〔　　〕によるもので彼はチュニスで病死した。十字軍は最終的に(33)〔　　〕年エジプトの(34)〔　　〕が，十字軍最後の拠点(35)〔　　〕を陥落させ終了した。

解答

（1）神の平和　（2）巡礼　（3）イェルサレム　（4）ローマ
（5）サンチャゴ＝デ＝コンポステラ　（6）レヴァント貿易　（7）1071
（8）マンジケルト　（9）セルジューク　（10）アレクシオス１世　（11）1095
（12）クレルモン　（13）ウルバヌス２世　（14）第１回十字軍　（15）1096
（16）イェルサレム王国　（17）アイユーブ朝　（18）サラディン（サラーフ＝ウッディーン）
（19）３　（20）３　（21）フリードリヒ１世　（22）フィリップ２世
（23）リチャード１世　（24）４　（25）インノケンティウス３　（26）ヴェネツィア
（27）コンスタンティノープル　（28）1204　（29）ラテン帝国　（30）フリードリヒ２
（31）６・７　（32）ルイ９世　（33）1291　（34）マムルーク朝　（35）アッコン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 19 講　テスト

1　リューリクが建国したのは。

① ノブゴロド国
② キエフ公国
③ ノルマンディー公国
④ 両シチリア王国

2　両シチリア王国の建国年は。

① 862
② 882
③ 911
④ 1130

3　両シチリア王国の都は。

① パレルモ
② シラクサ
③ ナポリ
④ アグリジェント

4　キエフはどの川に沿っているか。

① ドナウ川
② ドン川
③ ドニエプル川
④ ドニエストル川

5　封建制度の元として正しい組み合わせを選べ

① ゲルマン ― 開放耕地制　　ローマ ― 恩貸地制
② ゲルマン ― 恩貸地制　　ローマ ― 従士制
③ ゲルマン ― 従士制　　ローマ ― 開放耕地制
④ ゲルマン ― 従士制　　ローマ ― 恩貸地制

6　ユスティニアヌス帝の在位は何世紀か。

① 4
② 5
③ 6
④ 7

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　ユスティニアヌス帝が対決したササン朝の王は。

①　アルダシール１世
②　シャープール１世
③　ホスロー１世
④　ミトリダテス１世

8　皇帝レオン３世が聖像禁止令を発令した年号は。

①　555
②　726
③　843
④　1054

9　８のときのイスラーム王朝は。

①　ウマイヤ朝
②　アッバース朝
③　ファーティマ朝
④　セルジューク朝

10　1204年にコンスタンティノープルにラテン帝国を建設した十字軍の回数は。

①　第１回
②　第２回
③　第３回
④　第４回

11　ラテン帝国を建設したイタリアの都市は。

①　ジェノバ
②　アマルフィ
③　ヴェネツィア
④　ピサ

12　地方領主に国有地の管理をまかせ軍役を課した制度は。

①　プロノイア制
②　テマ制
③　三圃制
④　デウシルメ制

第１９講　テスト解答

1　①	2　④	3　①	4　③	5　④	6　③
7　③	8　②	9　①	10　④	11　③	12　①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 20 講
商業の復活・神聖ローマ帝国史

【商業の復活と都市の形成】十字軍の影響で教皇権は失墜（しっつい），諸侯・騎士が没落し王権が伸長した。

遠隔地商業が盛んになり貨幣経済が進行し荘園制が崩壊する方向に向かう。「(1)〔　　〕＝(2)〔　　〕」もベルギーの歴史家**ピレンヌ**の言葉だ。すでに 9 世紀頃から耕地を 3 分し春耕地・秋耕地・休耕地とし 3 年で一巡（いちじゅん）させる (3)〔　　〕が発達，(4)〔　　〕の普及で農業生産性が向上していた。**11 世紀以降**修道院を中心に森林・荒野の開拓も進んだ。11 ～ 13 世紀のヨーロッパは気候も温暖だった。余剰生産物の局地的交換つまり (5)〔　　〕が発生していた。このタイミングで (6)〔　　〕世紀に「商業が復活」した。次第に封建領主から特許状により自治権を獲得する（(7)〔　　〕）がおこる。**12 世紀以降**北イタリアで領主から自治権を獲得した自治都市・都市共和国を (8)〔　　〕という。**14 世紀以降**ドイツで発達し皇帝に直属し自治権が与えられ諸侯（しょこう）と同じ地位を与えられたのが (9)〔　　〕（自由都市）だ。その都市に一定期間（通常一年と一日）逃げ込んだ農奴が自由になることを「(10)〔　　〕」といった。**都市ではギルド（同業組合）が結成され自由競争を禁止して製造方法・品質・価格などを排他的に取り決めた。**大商人を中心に結成し手工業者も参加し市政を運営したのが **11 世紀の** (11)〔　　〕。それに対抗し **13 世紀に**手工業者が結成したのが (12)〔　　〕（ツンフト）で親方・職人，徒弟（とてい）という厳格な規約をもった。ツンフトが商人ギルドに挑んだ対決を (13)〔　　〕という。その結果ツンフトも市政に参加することになった。

【ハンザ同盟】北ドイツの諸都市を中心に (14)〔　　〕年に結ばれたハンザ同盟は，(15)〔　　〕を盟主とし, 13 世紀後半から発展した。(16)〔　　〕や (17)〔　　〕も中心となり, さらに海外の (18)〔　　〕を外地 4 大商館として，北海・バルト海を中心に海産物（**にしん**等）・穀物・木材・毛織物など**生活必需品の交易**を行った。

東地中海地域でヴェネツィアなどの北イタリア諸都市の商人を中心として，銀や毛織物などを輸出し，アジア産の香辛料や絹などの**奢侈品（しゃしひん）を輸入した東方貿易と対照的**だ。14 世紀に**デンマーク**の南進を阻止し繁栄の最盛期を迎えたハンザ同盟も，大航海時代になると**大西洋沿岸の繁栄，オランダ商人やイギリス商人の進出**で次第に衰えた。さらにドイツの諸領邦君主による領邦内諸都市への圧迫，イギリスやロシアの重商主義政策による商館の閉鎖，また加盟都市内部での商人と手工業者との対立などで 17 世紀初めにはほぼ活動を停止した。

解答

（1）商業の復活　（2）商業ルネサンス　（3）三圃制（さんぽせい）　（4）重量有輪犂（ゆうりんすき）
（5）定期市　（6）12　（7）コミューン運動　（8）コムーネ　（9）帝国都市
（10）都市の空気は自由にする　（11）商人ギルド　（12）同職ギルド
（13）ツンフト闘争　（14）1241　（15）リューベック　（16）ハンブルク
（17）ブレーメン　（18）ロンドン・ブリュージュ・ベルゲン・ノブゴロド

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【修道院】

５世紀にエジプトではじまった隠遁（いんとん）・禁欲・苦行（くぎょう）・瞑想（めいそう）の場が修道院だ。(19)〔　　〕修道院は(20)〔　　〕年にイタリアの(21)〔　　〕にベネディクトゥスが創立し西欧の全修道院を統括した。「清貧（せいひん）・純血・服従」という厳しい戒律で「(22)〔　　〕」がモットー。(23)〔　　〕年にフランス中東部につくられたベネディクト派の(24)〔　　〕は 11 世紀以降の(25)〔　　〕の中心。(26)〔　　〕は 1098 年にフランス中部シトーに創設され開墾（かいこん）運動に従事した。13 世紀，修道院の封建領主化・富裕化を批判し個人財産を持たず信者からの托鉢にたより説教を都市で説教したのが新しいタイプの修道院が(27)〔　　〕。その典型が 1209 年に信仰に目覚めて財産を放棄したイタリア・(28)〔　　〕の聖者(29)〔　　〕が創立した**フランチェスコ修道会**。モンゴル帝国に派遣された(30)〔　　〕はフランチェスコ派。スペイン出身の(31)〔　　〕が南フランスのカタリ派に対抗して説教活動をして後に創設した(32)〔　　〕年創設のドミニコ修道会も同タイプで異端撲滅（ぼくめつ）に成果をあげた。**トマス＝アクィナスはドミニコ会出身。**

解答

（19）ベネディクトゥス派　（20）529　（21）モンテ＝カシノ　（22）祈り，かつ働け
（23）910　（24）クリュニー修道院　（25）教会刷新（さっしん）運動　（26）シトー修道会
（27）托鉢修道会　（28）アッシジ　（29）フランチェスコ　（30）モンテ＝コルヴィノ
（31）ドミニコ　（32）1215

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 20 講　テスト①

1　キリスト教三大聖地に入らないのは。

①　イェルサレム

②　ローマ

③　ミラノ

④　サンチャゴ＝デ＝コンポステラ

2　十字軍要請のきっかけとなった 1071 年の戦いの場所は。

①　ワールシュタット

②　マンジケルト

③　ニハーヴァンド

④　タンネンベルク

3　第１回十字軍派遣を決めた教皇は。

①　インノケンティウス３世

②　ボニファティウス８世

③　ウルバヌス２世

④　ハインリヒ５世

4　「商業の復活（商業ルネサンス）」は誰の造語か。

①　ランケ

②　トインビー

③　ピレンヌ

④　ブルクハルト

5　ハンザ同盟の盟主は。

①　ハンブルク

②　ブレーメン

③　リューベック

④　フランクフルト

6　ハンザ同盟の外地４大商館が置かれた都市でないものは。

①　ロンドン

②　パリ

③　ブリュージュ

④　ベルゲン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　529 年にイタリアのモンテ＝カシノに修道院をつくったのは。

①　ベネディクトゥス

②　フランチェスコ

③　トマス＝アクィナス

④　ドミニコ

8　12 世紀以降のヨーロッパ交易の中継地点の変遷として正しいのは。

①　ブリュージュ → アントワープ → アムステルダム → シャンパーニュ

②　アントワープ → ブリュージュ → シャンパーニュ → アムステルダム

③　シャンパーニュ → ブリュージュ → アントワープ → アムステルダム

④　シャンパーニュ → アントワープ → ブリュージュ → アムステルダム

9　1378 年にイタリアで起こった毛織物職人の反乱として正しい組み合わせは。

①　フィレンツェ ― ゲットーの乱

②　フィレンツェ ― チョンピの乱

③　ヴェネツィア ― ゲットーの乱

④　ヴェネツィア ― チョンピの乱

10　シャンパーニュ地方はフランスのどこにあるか。

①　南西部

②　南東部

③　北西部

④　北東部

第 20 講　テスト①解答

1	③	2	②	3	③	4	③	5	③
6	②	7	①	8	③	9	②	10	④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【ザクセン朝】３分した(1)〔　　〕フランク王国のうち東フランク王国は911年カロリング家が断絶し選挙王政になった後，919年に(2)〔　　〕家の(3)〔　　〕が，936年に(4)〔　　〕が，それぞれ王に即位した。(5)〔　　〕年に(6)〔　　〕の戦いでアジア系の(7)〔　　〕人を撃退，(8)〔　　〕年にオットー１世が教皇(9)〔　　〕から戴冠され，(10)〔　　〕(～(11)〔　　〕年）が成立した。中央集権化に教会・修道院を利用する(12)〔　　〕が特長。

神聖ローマ皇帝はローマでローマ教皇に戴冠されるのだから歴代皇帝の関心は(13)〔　　〕にあった。これを(14)〔　　〕といい，衝突が生じれば(15)〔　　〕となった。

【聖職叙任権闘争】(16)〔　　〕を掲げる(17)〔　　〕の中心フランスの(18)〔　　〕修道院（最古の(19)〔　　〕建築）出身の教皇(20)〔　　〕にたいし，(21)〔　　〕に関連し謝罪した神聖ローマ皇帝が(22)〔　　〕でこの事件を「(23)〔　　〕」((24)〔　　〕年）という。(25)〔　　〕年の(26)〔　　〕協約で，**聖職叙任権は教皇にあり**ということで，この闘争は決着をみた。(教皇(27)〔　　〕と皇帝(28)〔　　〕)

【シュタウフェン朝によるイタリア政策】(29)〔　　〕家の(30)〔　　〕は(31)〔　　〕に参加。また(32)〔　　〕遠征を数回実施し，北イタリアの(33)〔　　〕を中心とした(34)〔　　〕同盟と対立した。これがイタリア政策の代表的事例だ。イタリア半島の諸勢力は教皇派(35)〔　　〕と皇帝派(36)〔　　〕に二分され激しく対立した。(37)〔　　〕の戯曲『**ロミオとジュリエット**』のモチーフにはこの対立がある。

シュタウフェン家の(38)〔　　〕はイタリア政策を継続。**シチリア島**(39)〔　　〕を拠点とし，(40)〔　　〕大学を創設した。この大学で後に(41)〔　　〕が学ぶ。また，(42)〔　　〕を派遣したが，イスラーム側と妥協(だきょう)し聖地エルサレムを支配したり教皇庁と対立し戦闘までした異端児だった。

解答

(1) カロリング朝　(2) ザクセン　(3) ハインリヒ１世　(4) オットー１世
(5) 955　(6) レヒフェルト　(7) マジャール　(8) 962　(9) ヨハネス12世
(10) 神聖ローマ帝国　(11) 1806　(12) 帝国教会政策　(13) イタリア
(14) イタリア政策　(15) イタリア戦争　(16) 聖職売買禁止・聖職者の妻帯(さいたい)禁止
(17) 教会刷新運動　(18) クリュニー　(19) ロマネスク　(20) グレゴリウス７世
(21) 聖職叙任(じょにん)権闘争　(22) ハインリヒ４世　(23) カノッサの屈辱(くつじょく)　(24) 1077
(25) 1122　(26) ヴォルムス　(27) カリクストゥス２世　(28) ハインリヒ５世
(29) シュタウフェン　(30) フリードリヒ１世　(31) 第３回十字軍　(32) イタリア
(33) ミラノ　(34) ロンバルディア　(35) ゲルフ　(36) ギベリン　(37) シェークスピア
(38) フリードリヒ２世　(39) パレルモ　(40) ナポリ　(41) トマス＝アクィナス
(42) 第５回十字軍

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【ハプスブルク家とスイスの形成】これらイタリア政策のゆきすぎからドイツ経営がおろそかになり，神聖ローマ皇帝は (43)〔　　〕年～ (44)〔　　〕年まで皇帝不在の「(45)〔　　〕」となる。その後即位したのが，(46)〔　　〕**家**の (47)〔　　〕だ。ハプスブルク（鷹城）はもともと現在のスイスの豪族であり，アルプスの要衝(ようしょう)を抑え交通税を得ていた。これが，(48)〔　　〕の戯曲『(49)〔　　〕』の背景だ。13 世紀の終わり頃に (50)〔　　〕家の支配からウリ・シュヴィッツ・ウンターヴァールテンの３州が独立，(51)〔　　〕年のシュヴァーベン戦争に勝ち **13 州が独立を達成し自治権を獲得**，これらが後の (52)〔　　〕年の**ウェストファリア条約で正式に独立**するスイスの原型となる。スイスは (53)〔　　〕年の (54)〔　　〕で**永世中立国**になり，2002 年には国際連合 190 カ国目の加盟国になった。また，カロリング朝フランク王国のマジャール人に対する**東の辺境オストマルクがオーストリアの起源**である。

【金印勅書】さて，(55)〔　　〕年に皇帝 (56)〔　　〕が出した「(57)〔　　〕」により，(58)〔　　〕・(59)〔　　〕・(60)〔　　〕の３司教と (61)〔　　〕王・(62)〔　　〕伯・(63)〔　　〕伯・(64)〔　　〕辺境伯の４世俗諸侯の７人の選帝侯が皇帝選出を決めることになった。これが 300 余りの (65)〔　　〕分立体制の出発点。諸侯の権限が皇帝よりも上に立つ領邦体制の時代だ。カール４世はドイツ最古の (66)〔　　〕を建てた。その息子の (67)〔　　〕は，(68)〔　　〕年の (69)〔　　〕の戦いで (70)〔　　〕の (71)〔　　〕に敗れた。1414 ～ 1418 年の (72)〔　　〕（現ドイツ）では，カトリックの**教会大分裂**（(73)〔　　〕）が終了。また**聖書を** (74)〔　　〕**語訳**し，(75)〔　　〕を非難したベーメンの宗教改革の先駆で (76)〔　　〕総長の (77)〔　　〕に異端が宣告され火刑となった。彼に異端が宣せられたことにより彼に影響を与えた (78)〔　　〕大学の (79)〔　　〕の墓まであばかれ凌辱された。

【ハプスブルク家の世襲へ】アルブレヒト２世の (80)〔　　〕年からは神聖ローマ皇帝が，**ハプスブルク家の世襲**となる。とくに (81)〔　　〕が (82)〔　　〕家と血縁となることにより，同家は (83)〔　　〕まで領有することになった。

解答

(43) 1254　(44) 1273　(45) 大空位(だいくうい)時代　(46) ハプスブルク　(47) ルドルフ１世
(48) シラー　(49) ヴィルヘルム＝テル物語　(50) ハプスブルク
(51) 1499　(52) 1648　(53) 1815　(54) ウィーン議定書　(55) 1356
(56) カール４世　(57) 金印勅書　(58) トリール　(59) ケルン　(60) マインツ
(61) ベーメン　(62) ファルツ　(63) ザクセン　(64) ブランデンブルク　(65) 領邦(りょうほう)
(66) プラハ大学　(67) ジキスムント　(68) 1396　(69) ニコポリス
(70) オスマン帝国　(71) バヤジット１世　(72) コンスタンツ公会議　(73) 大シスマ
(74) チェコ　(75) 贖宥状(しょくゆうじょう)　(76) プラハ大学　(77) フス　(78) オックスフォード
(79) ウィクリフ　(80) 1438　(81) マクシミリアン１世　(82) ブルゴーニュ
(83) ネーデルラント

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 20 講　テスト②

1　神聖ローマ帝国建国の年号は。

①　910

②　911

③　955

④　962

2 「カノッサの屈辱」の世紀。

①　10

②　11

③　12

④　13

3 「カノッサの屈辱」のときの神聖ローマ皇帝。

①　オットー１世

②　ハインリヒ４世

③　カール４世

④　フリードリヒ１世

4 「カノッサの屈辱」のときのローマ教皇は。

①　レオ３世

②　レオ 10 世

③　グレゴリウス１世

④　グレゴリウス７世

5　聖職叙任権闘争に決着がついた世紀は。

①　11

②　12

③　13

④　14

6　ロンバルディア同盟の中心都市は。

①　ミラノ

②　トリノ

③　パドヴァ

④　マントヴァ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　神聖ローマ帝国が大空位時代になった世紀。
① 12
② 13
③ 14
④ 15

8　スイスの原初３州が独立した時期は何世紀の終わりか。
① 13
② 14
③ 15
④ 16

9　戯曲『ヴィルヘルム＝テル』の作者は。
① ゲーテ
② ハイネ
③ ニーチェ
④ シラー

10　金印勅書が発令された世紀は。
① 14
② 15
③ 16
④ 17

11　ハプスブルク家による世襲の皇帝になった世紀は。
① 14
② 15
③ 16
④ 17

12　神聖ローマ皇帝フリードリヒ１世をロンバルディア同盟が破った 1176 年の戦いは。
① レッヒフェルトの戦
② レニャーノの戦
③ カッペルの戦
④ ブーヴィーヌの戦

第 20 講　テスト②解答

1 ④	2 ②	3 ②	4 ④	5 ②	6 ①
7 ②	8 ①	9 ④	10 ①	11 ②	12 ②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 21 講　中世イギリス・フランス史と百年戦争
1フランス史（カペー朝）

カロリング朝西フランク王国が断絶すると，(1)〔　　〕年にパリ伯 (2)〔　　〕が (3)〔　　〕河畔のパリにカペー朝を開いた。

【フィリップ２世】(4)〔　　〕世は，(5)〔　　〕の影響を受けた異端 (6)〔　　〕にたいする (7)〔　　〕により南部へ領土を拡大，またイングランド王 (8)〔　　〕からは (9)〔　　〕を奪ったが教皇 (10)〔　　〕には屈服した。さらには第 (11)〔　　〕回十字軍に参加した。(12)〔　　〕の豪商 (13)〔　　〕は聖書の翻訳を行って後の (14)〔　　〕のいとこによる翻訳の先駆となった。しかしワルドー派は教皇 (15)〔　　〕により禁止された。

【ルイ９世】聖王ルイ９世は (16)〔　　〕を完遂，モンゴルの (17)〔　　〕に (18)〔　　〕を派遣した。また第 (19)〔　　〕回十字軍を送ったが自身は (20)〔　　〕で病死した。

【フィリップ４世】フィリップ４世は (21)〔　　〕年貴族・聖職者・都市の代表などの封建的特権を確認する全国 (22)〔　　〕をパリのノートルダム寺院で開いた。有力者を味方に付けたうえで，教皇領への課税問題で対立していた教皇 (23)〔　　〕世を (24)〔　　〕年にローマ近郊の (25)〔　　〕に幽閉し憤死させ，(26)〔　　〕年には (27)〔　　〕川に面した南仏 (28)〔　　〕に教皇庁を移し新教皇 (29)〔　　〕世を擁立(ようりつ)した（教皇のバビロン捕囚）。教皇庁を身近に置くと，(30)〔　　〕の宣告が容易だからだ。カペー朝の拡大と異端の宣告は不可分の関係だ。

解答

（１）987　（２）ユーグ＝カペー　（３）セーヌ　（４）フィリップ２　（５）マニ教
（６）カタリ派　（７）アルビジョワ十字軍　（８）ジョン　（９）ノルマンディー地方
（10）インノケンティウス３世　（11）３　（12）リヨン　（13）ワルドー
（14）カルヴァン　（15）インノケンティウス３世　（16）アルビジョワ十字軍
（17）カラコルム　（18）ウィリアム＝ルブルック　（19）６・７　（20）チュニス
（21）1302　（22）三部会　（23）ボニファティウス８　（24）1303　（25）アナーニ
（26）1309　（27）ローヌ　（28）アヴィニョン　（29）クレメンス５　（30）異端

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【百年戦争】

(31)〔　　〕の産地 (32)〔　　〕（中心都市は (33)〔　　〕川に面した (34)〔　　〕）と (35)〔　　〕加工の先進地域 (36)〔　　〕をめぐり約 300 年間英仏は争ったが，(37)〔　　〕朝（フィリップ６世）が断絶したカペー朝を継承したことに不満をもったプランタジネット朝（(38)〔　　〕家）の (39)〔　　〕世が戦争を挑み，第１次英仏百年戦争となった。

クレシーの戦（1346）ではエドワード３世の子 (40)〔　　〕の**長弓兵**の活躍でイギリスが勝利した。(41)〔　　〕年ペストがヨーロッパに蔓延（まんえん）し休戦。再開後の (42)〔　　〕の戦（1356）でもフランスは敗れ (43)〔　　〕年には (44)〔　　〕という農民反乱も起き，貴族は分裂しフランスは崩壊寸前だったが，(45)〔　　〕世をサポートした天才少女 (46)〔　　〕が要衝 (47)〔　　〕を奪還し（(48)〔　　〕年）盛り返した。

ヴァロワ家は親英だったブルゴーニュ家と和解し勢力を増し，(49)〔　　〕年 (50)〔　　〕だけ残しイングランドの勢力を大陸から駆逐（くちく）した。

解答

（31）ぶどう　（32）ギュイエンヌ　（33）ガロンヌ　（34）ボルドー　（35）毛織物
（36）フランドル　（37）ヴァロワ　（38）アンジュー　（39）エドワード３
（40）エドワード黒太子　（41）1348　（42）ポワティエ　（43）1358
（44）ジャックリーの乱　（45）シャルル７　（46）ジャンヌ＝ダルク　（47）オルレアン
（48）1429　（49）1453　（50）カレー

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 21 講　中世イギリス・フランス史と百年戦争
②イギリス史（ケルト人〜プランタジネット朝）

グレート＝ブリテン島の先住民は(1)〔　　〕系(2)〔　　〕人だ。前１世紀に共和政期のローマの将軍(3)〔　　〕はガリア（現フランス）で支配者**ヴェルチン＝ジェトリクス**を撃ち破り，現イングランドにも侵入した。帝政ローマ五賢帝の(4)〔　　〕は島の北部に長城を築いた。

次に西ゲルマン人の(5)〔　　〕族がユトランド半島方面から入ってきた。それに対する抵抗の物語が『(6)〔　　〕』だ。アングロ＝サクソン(7)〔　　〕（ヘプターキー）は(8)〔　　〕年にウェセック王(9)〔　　〕のもとに**デーン人の侵入を共通の敵として統一**した。本陣は海岸線から等距離に位置する(10)〔　　〕川に面した(11)〔　　〕だ。

ノルマン人のデーン人の侵入を撃退したのが 898 年のエディントンの戦いに勝利した(12)〔　　〕。しかし，(13)〔　　〕年に(14)〔　　〕人の王(15)〔　　〕がイングランドを征服，デーン朝を開きデンマーク・ノルウェーとともにイングランドを支配した。死後アングロ＝サクソンの支配が復活した。

【ノルマン朝】それを(16)〔　　〕の子孫(17)〔　　〕が(18)〔　　〕年の(19)〔　　〕の戦いで破り(20)〔　　〕から(21)〔　　〕で戴冠された。これを(22)〔　　〕という。ソールズベリーの誓いとは領主が国王に忠誠を誓ったことで集権的封建(ほうけん)制というイングランド固有の封建性がスタートした。検地帳のことを(23)〔　　〕という。

【普遍論争】カンタベリ大司教で(24)〔　　〕（神や普遍という概念は事物に先行して存在する）をとなえたのが(25)〔　　〕。一方，(26)〔　　〕（実在するものは個々の事物だけで神とか普遍とかは抽象（名）にすぎない）をパリ大学教授の(27)〔　　〕はとなえた。これを(28)〔　　〕という。(29)〔　　〕世紀に**『神学大全』**を著した(30)〔　　〕が**アリストテレス主義を導入**して論争は一応決着。14 世紀にはいると(31)〔　　〕が唯名論，つづく(32)〔　　〕も唯名論の立場をとり信仰と理性を区別した。

解答

（1）ケルト　（2）ブリトン　（3）カエサル　（4）ハドリアヌス
（5）アングロ＝サクソン　（6）アーサー王物語(おうものがたり)　（7）7 王国　（8）829
（9）エグバート　（10）テムズ　（11）ロンドン　（12）アルフレッド大王
（13）1016　（14）デーン　（15）クヌート　（16）ロロ
（17）ノルマンディー公ウィリアム　（18）1066　（19）ヘースティングズ
（20）カンタベリ大司教　（21）ウエストミンスター寺院　（22）ノルマン＝コンクェスト
（23）ドゥームズディ＝ブック　（24）実在論　（25）アンセルムス　（26）唯名論(ゆいめいろん)
（27）アベラール　（28）普遍論争(ふへんろんそう)　（29）13　（30）トマス＝アクィナス
（31）ドゥンス＝スコトゥス　（32）ウィリアム＝オブ＝オッカム

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(33)〔　　〕は神学による学問の体系化を試み，イスラームの影響で経験を重視し近代科学の方法論への道を開いた。

12 世紀に中世の文化が大きく発展したことを (34)〔　　〕という。農業生産力の向上・十字軍の遠征と商業の復活・イスラーム世界からの学問の流入（イベリア半島の (35)〔　　〕・シチリア島の (36)〔　　〕経由）などが背景にある。

【プランタジネット朝】ノルマン朝の断絶でアンジュー伯アンリが (37)〔　　〕世になって始まったのがプランタジネット朝だ。ヘンリ２世の子 (38)〔　　〕世（獅子心王（ししいしんおう））は第 (39)〔　　〕回十字軍に参加し孤軍奮闘（こぐんふんとう），しかしフィリップ２世と戦い戦死する。

【ジョン】その弟 (40)〔　　〕（欠地王）は大陸領土ノルマンディーを失い，カンタベリ大司教任免（だいしきょうにんめん）問題で教皇 (41)〔　　〕から破門された。(42)〔　　〕年には王は貴族の一般評議会によらないでは課税をしないとの (43)〔　　〕（(44)〔　　〕）に署名させられた。ここでジョンは課税権・逮捕拘禁（たいほこうきん）権行使に関して法的根拠や議会の承認が必要であることを宣言した。これがイギリス自由権だ。「国王といえども神の法の下にある」というブラクトンの言葉に見られる精神，法による支配というイギリスの不文憲法 constitution（国柄・体質）の芽が出たのがこの時期だ。

【ヘンリ３世】実はブラクトンはジョンの長子の (45)〔　　〕世がマグナ＝カルタを無視したのでこの言葉を述べた。(46)〔　　〕年，反乱派貴族が招集され州と都市の代表も招かれた。これが下院の起源だ。これが (47)〔　　〕の議会だが，反乱は失敗しモンフォールは戦死した。

【エドワード１世】次の (48)〔　　〕世はウェールズを征服し息子に贈った。以後，イギリス皇太子をプリンス＝オブ＝ウェールズと呼ぶようになった。パリのトンネルで自動車事故死したダイアナ妃はプリンセス＝オブ＝ウェールズ＝ダイアナだった（1997 年死去）。

スコットランド遠征に際し国王の諮問機関として身分制議会が開かれた。(49)〔　　〕年の (50)〔　　〕だ。このように王権のチェック機能としての議会の基盤が 13 世紀に出来上がった。

【エドワード３世】エドワード３世がフランス（ヴァロワ家）の間に百年戦争を開始した。1341 年には貴族院と庶民院（しょみんいん）が分離し二院制が成立，国王と庶民院の結びつきが深まる。1378 年に (51)〔　　〕大学の (52)〔　　〕は聖書をラテン語 (53)〔　　〕から英語に翻訳し，またローマ教会からの独立を主張して宗教改革の先駆者となったが，それが実現するのは後のヘンリ８世の時代になってからだ。

解答

（33）ロジャー＝ベーコン　（34）12 世紀ルネサンス　（35）トレド　（36）パレルモ
（37）ヘンリ２　（38）リチャード１　（39）３　（40）ジョン
（41）インノケンティウス３世　（42）1215　（43）大憲章（だいけんしょう）　（44）マグナ＝カルタ
（45）ヘンリ３　（46）1265　（47）シモン＝ド＝モンフォール　（48）エドワード１
（49）1295　（50）模範議会　（51）オックスフォード　（52）ウィクリフ
（53）ウルガタ訳

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 21 講　テスト

1　初めて三部会が開かれたのは何世紀か。

①　12

②　13

③　14

④　15

2　農民の地位向上と貨幣経済の進展による「領主制の危機」に対して，困窮した領主層が賦役の復活など封建的な諸権利を再強化したことを何と呼ぶか。

①　封建反動

②　臣従礼

③　恩貸地制度

④　従士制

3　1429 年にジャンヌ = ダルクが奪還した街は。

①　リヨン

②　ボルドー

③　カレー

④　オルレアン

4　13 世紀後半からイギリスで普及した戦闘部隊は。

①　長弓兵

②　鉄騎隊

③　常備軍

④　常勝軍

5　中世末期から近代初期のイギリスで，騎士や富裕な平民が地主化した階層は。

①　ジェントリ

②　ヨーマン

③　ディガーズ

④　ブルジョワジー

第 21 講　テスト解答

1　③　　2　①　　3　④　　4　①　　5　①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 22 講
モンゴル帝国と元

【チンギス＝ハン】(1)〔　　〕年テムジンはモンゴル高原を統一し(2)〔　　〕（部族長会議）で(3)〔　　〕になった。モンゴル系の遼を滅ぼしたツングース系の金打倒を目標としたが，ホラズムのオトラルの地方長官の非礼への復讐から西に遠征。最終的に，(4)〔　　〕と(5)〔　　〕と(6)〔　　〕を滅ぼした。兵制は**千戸制**。

チンギス＝ハンにはジュチ・チャガタイ・オゴタイ・トゥルイの４子がいたが，オゴタイハンが二代目大ハンとなった。ここで大切なことを一つ。資料集で**チンギス一家の家系図と元と３ハン国の配置**を覚えよう。家系図がセンター試験で空欄になって出題されたことがあるし，覚えていないと 13 世紀を理解できないよ。

【オゴタイ＝ハン】(7)〔　　〕は(8)〔　　〕に都を定め(9)〔　　〕を打倒し，兄ジュチの子(10)〔　　〕に西征を命じた。バトゥは(11)〔　　〕を経て(12)〔　　〕を滅ぼした（1240 年）。ちなみにモスクワの政治の中枢クレムリンのクレムはモンゴル語で「砦」，キエフのあるウクライナのクライはモンゴル語で「辺境」を意味する。バトゥは(13)〔　　〕年に(14)〔　　〕川上流の(15)〔　　〕の戦いで**ドイツ・ポーランドの諸侯連合**を破ったがオゴタイの死でひきかえした。オゴタイの子で三代目大ハン，(16)〔　　〕の時に宣教師(17)〔　　〕が(18)〔　　〕に来た。次いでチンギス＝ハンの末子トゥルイの子(19)〔　　〕が四代目大ハンになった。(20)〔　　〕が派遣した宣教師(21)〔　　〕が(22)〔　　〕に来た。モンケは弟フビライに(23)〔　　〕を，弟(24)〔　　〕に(25)〔　　〕の都(26)〔　　〕を攻撃させた（(27)〔　　〕年）。

【フビライ即位と３ハン国】中国好きのフビライが(28)〔　　〕で五代目大ハンになると弟の(29)〔　　〕がカラコルムで反乱を起こした。アリクブケを支持し**オゴタイ家**のハイドゥがフビライ即位に反旗をひるがえし(30)〔　　〕になった。この反乱でモンゴル帝国は(31)〔　　〕と３ハン国に分裂した。

解答

（1）1206　（2）クリルタイ　（3）チンギス＝ハン　（4）ナイマン
（5）ホラズム＝シャー朝　（6）西夏　（7）オゴタイ＝ハン　（8）カラコルム
（9）金　（10）バトゥ　（11）モスクワ　（12）キエフ公国　（13）1241　（14）オーデル
（15）ワールシュタット（リーグニッツ）　（16）グユク＝ハン　（17）プラノ＝カルピニ
（18）カラコルム　（19）モンケ　（20）ルイ９世　（21）ルブルック　（22）カラコルム
（23）大理　（24）フラグ　（25）アッバース朝　（26）バグダード　（27）1258
（28）上都　（29）アリクブケ　（30）ハイドゥの乱　（31）元

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【チャガタイ＝ハン国】チャガタイが建国。都アルマリク。イスラーム教を受容。東西に分裂後西から登場した(32)〔　　〕により滅亡。

【キプチャク＝ハン国】(33)〔　　〕が建国。都は(34)〔　　〕川に沿った(35)〔　　〕。**ウズベク＝ハン**が全盛でイスラームを受容し新サライに遷都。新サライは第二次世界大戦の最激戦地(36)〔　　〕(現ヴォルゴグラード)。(37)〔　　〕が自立した後分裂した。

【イル＝ハン国】(38)〔　　〕が建国。都は(39)〔　　〕。初めはネストリウス派キリスト教だったが(40)〔　　〕の時にイスラーム化。詳しくはイスラーム史の項に詳述した。(41)〔　　〕に征服された。

【元(げん)】フビライは(42)〔　　〕（現在の(43)〔　　〕）を建設，そこを都として元（(44)〔　　〕年～(45)〔　　〕年）を創始した。元は(46)〔　　〕主義でモンゴル人と(47)〔　　〕（西域人）３％が(48)〔　　〕（旧金支配下の諸民族）と(49)〔　　〕（南宋支配下のおもに漢民族）97％の上位を占めた。漢民族は当初，登用されなかったので**科挙は廃止**された。ゆえに儒学者(じゅがくしゃ)は浮浪者(ふろうしゃ)なみの職種に墜(お)ちた。**九儒十丐**(きゅうじゅじっきゅう)，丐とは乞食(こじき)のこと。フビライは(50)〔　　〕教サキャ派の(51)〔　　〕を師と仰ぎ，**パスパ文字**を採用した。北京にはラマ教寺院が点在する。中央官制は(52)〔　　〕，地方は(53)〔　　〕（現在の中国の省の原型）で(54)〔　　〕が巡察した。駅伝制度が(55)〔　　〕でその通行許可書が(56)〔　　〕でパスパ文字が記されている。(57)〔　　〕はカトリックの布教のため(58)〔　　〕に来て聖書を(59)〔　　〕に訳した。(60)〔　　〕(緬(めん)＝現在のミャンマーはこの字の音読み）を征服。しかし，ジャワ島（元軍の遠征の混乱期に(61)〔　　〕が倒れ(62)〔　　〕ができた)，ベトナム(63)〔　　〕，執権(しっけん)(64)〔　　〕（鎌倉時代）の日本遠征の３つの遠征には失敗した。隋代の運河を南北につなぐ(65)〔　　〕をつくったが，ラマ教への濫費(らんぴ)と(66)〔　　〕の乱発によるインフレと経済は混乱，(67)〔　　〕年に始まる(68)〔　　〕（白蓮教徒が指導）で滅亡した。

解答

(32) ティムール　(33) バトゥ　(34) ヴォルガ　(35) サライ
(36) スターリングラード　(37) モスクワ大公国　(38) フラグ　(39) タブリーズ
(40) ガザン＝ハン　(41) ティムール　(42) 大都　(43) 北京　(44) 1271
(45) 1368　(46) モンゴル人第一　(47) 色目人(しきもくじん)　(48) 漢人(かんじん)　(49) 南人(なんじん)　(50) ラマ
(51) パスパ　(52) 中書省　(53) 行中書省(こうちゅうしょしょう)　(54) ダルガチ　(55) ジャムチ
(56) 牌符(はいふ)（パイザ）　(57) モンテ＝コルヴィノ　(58) 大都(だいと)　(59) モンゴル語
(60) パガン朝　(61) シンガサリ朝　(62) マジャパヒト王国　(63) 陳朝大越(ちんちょうだいえつ)
(64) 北条時宗(ほうじょうときむね)　(65) 大運河　(66) 交鈔(こうしょう)　(67) 1351　(68) 紅巾の乱(こうきん)

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【ユーラシアの成立と世界史の誕生】モンゴル帝国が成立した13世紀にはヨーロッパとアジアが一体化しユーラシアが成立し，モノとヒトが交流した。「世界史」の誕生だ。宋代中国の三大発明の(69)〔　　〕・(70)〔　　〕・(71)〔　　〕がヨーロッパに伝わる。**中国絵画の影響**でイスラーム世界に(72)〔　　〕（細密画）が普及した。

【元の文化】元曲（げんきょく）などの**庶民文化**が発達した。王実甫（おうじっぽ）の恋愛物語が『(73)〔　　〕』，前漢時代の王昭君（おうしょうくん）の悲劇が『(74)〔　　〕』，出世主義の夫と貞節（ていせつ）の妻の物語が『(75)〔　　〕』。

イスラーム暦を基に(76)〔　　〕が「(77)〔　　〕」を作成，日本の貞享暦（じょうきょうれき）に影響した。

解答

(69) 羅針盤　(70) 印刷術　(71) 火薬　(72) ミニアチュール　(73) 西廂記（せいそうき）
(74) 漢宮秋（かんきゅうしゅう）　(75) 琵琶記（びわき）　(76) 郭守敬（かくしゅけい）　(77) 授時暦（じゅじれき）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第22講　テスト

1　以下のうち，元の遠征が成功し相手を壊滅できたのは。

①　ビルマ

②　ベトナム

③　インドネシア

④　日本

2　モンゴル帝国史を古い順に並べかえ，３番目にくるのは。

①　アッバース朝征服

②　ホラズム＝シャー朝征服

③　金征服

④　ワールシュタットの戦い

3　以下の人物のうち，大都（北京）に来なかったのは。

①　マルコ＝ポーロ

②　イブン＝バットゥータ

③　プラノ＝カルピニ

④　モンテ＝コルヴィノ

4　誤った組み合わせは。

①　草原の道 — カラコルム

②　草原の道 — サライ

③　海の道 — 泉州

④　絹の道 — 杭州

5　都に関し，誤った組み合わせは。

①　サファヴィー朝 — タブリーズ

②　サファヴィー朝 — イスファハーン

③　イル＝ハン国 — タブリーズ

④　ティムール朝 — イスファハーン

第22講　テスト解答

1　①　　2　④　　3　③　　4　④　　5　④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 23 講
明

【洪武帝】(1)〔　　〕つまり明の太祖(2)〔　　〕は一世一元の制を開始，中央集権体制つまり親政体制を確立するために(3)〔　　〕を廃止し**六部を皇帝直属**とした。(4)〔　　〕を官学化し，**明律・明令を制定**した。(5)〔　　〕を土地台帳，**賦役黄冊**を戸籍・租税台帳として財政を確保した。軍戸と民戸を組織し兵農一致の(6)〔　　〕，元の制度を原形として(7)〔　　〕という村落組織をつくり徴税・治安維持のための連帯責任を負わせることにした。また，６か条の教訓である(8)〔　　〕を公布し民衆を教化した。

【永楽帝】２代目(9)〔　　〕は洪武帝の孫であるが，かれの封土削減政策にたいして燕王朱棣が蜂起し勝利を収め（(10)〔　　〕1399 ～(11)〔　　〕年），北京に遷都し３代目永楽帝となった。かれが(12)〔　　〕に築いたのが(13)〔　　〕である。永楽帝はモンゴルに５回親征した。また宦官(14)〔　　〕と分遣隊を遠くアフリカ東岸(15)〔　　〕まで派遣し朝貢を促進した。(16)〔　　〕を設置し親政を補佐する体制をつくりあげた。しかし永楽帝の死後，宦官が台頭し政治は混乱した。

【北虜南倭】明の外患のことを(17)〔　　〕という。まず北虜。(18)〔　　〕年の(19)〔　　〕でモンゴルの(20)〔　　〕が侵入し英宗(21)〔　　〕が捕虜となり連行された。ついで(22)〔　　〕が(23)〔　　〕により統一したのち，(24)〔　　〕年に(25)〔　　〕が北京を包囲した。南倭とは倭冦の活動であるが，前期は日本人，後期は中国人中心であった。

【一条鞭法】(26)〔　　〕の代 1572 ～ 82 年に改革を断行したのが(27)〔　　〕。その頃，(28)〔　　〕経由でサカステス銀山の(29)〔　　〕銀や(30)〔　　〕の(31)〔　　〕銀山の銀がスペイン人の東方物産の決済手段として流入。また島根県(32)〔　　〕の馬蹄銀も流入したので，潤沢な銀を背景に銀納による税の簡素化を図る(33)〔　　〕が成立した。この税法は，**土地税と人頭税（賦役）を一括して銀納する**ものである。(34)〔　　〕人(35)〔　　〕による(36)〔　　〕建設の(37)〔　　〕年を暗記しておくと一条鞭法が全国的に普及したのが 1580 年代と覚えられるよ。

解答

（1）朱元璋　（2）洪武帝　（3）中書省　（4）朱子学　（5）魚鱗図冊　（6）衛所制
（7）里甲制　（8）六諭　（9）建文帝　（10）靖難の役　（11）1402　（12）北京
（13）紫禁城　（14）鄭和　（15）マリンディ　（16）内閣大学士　（17）北虜南倭
（18）1449　（19）土木の変　（20）オイラト　（21）正統帝　（22）韃靼（タタール）
（23）ダヤン＝ハン　（24）1550　（25）アルタン＝ハン　（26）万暦帝　（27）張居正
（28）マニラ　（29）メキシコ　（30）ボリビア　（31）ポトシ　（32）石見
（33）一条鞭法　（34）スペイン　（35）レガスピ　（36）マニラ　（37）1571

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

参考までにフィリピンはスペイン王(38)〔　　〕世に由来するが，フェリペ2世は(39)〔　　〕年に(40)〔　　〕の海戦で(41)〔　　〕を破っている。

【明の滅亡】16世紀末の(42)〔　　〕の朝鮮出兵に際し朝鮮(李朝)に援軍を出し財政が逼迫し，ついで東北地方の女真族の(43)〔　　〕との抗争によりさらに財政は困窮，農民に重税を課しそれが(44)〔　　〕の乱を引き起こし毅宗崇禎帝が自殺，(45)〔　　〕年の李自成の北京入城で明は滅亡した。

【明の社会経済】明代には長江中流域へと穀倉地帯が移動し，(46)〔　　〕といわれた。山西省の(47)〔　　〕と安徽省の(48)〔　　〕の活動が盛ん。同郷者の互助機関である(49)〔　　〕と同業者の互助機関である(50)〔　　〕ができた。中華思想と朝貢システムにより(51)〔　　〕が徹底すると(52)〔　　〕として東南アジアへ移住するものが急増した。

【明の文化】(53)〔　　〕を官学化し漢民族の中華思想を理論化するために永楽帝期に国家的編纂事業がなされた。中国最大の百科事典『(54)〔　　〕』，科挙の基準として『(55)〔　　〕』『(56)〔　　〕』が編まれた。これにたいし，南宋の(57)〔　　〕の説を発展させ**心即理**，**知行合一**，**致良知**を唱え，実践を重視した陽明学が(58)〔　　〕により大成した。明末清初に登場した(59)〔　　〕が**顧炎武**と(60)〔　　〕。

16〜17世紀には**実学**が多かった。たとえば(61)〔　　〕の『(62)〔　　〕』，(63)〔　　〕の『(64)〔　　〕』，(65)〔　　〕の『(66)〔　　〕』，(67)〔　　〕と徐光啓が著した西洋歴法による暦法書が『(68)〔　　〕』だ。庶民文学では4大奇書が成立した。『(69)〔　　〕』『(70)〔　　〕』『(71)〔　　〕』『(72)〔　　〕』だ。(73)〔　　〕では(74)〔　　〕などの**陶磁器**が発達した。

解答

(38) フェリペ2　(39) 1571　(40) レパント　(41) オスマン帝国　(42) 豊臣秀吉
(43) 後金　(44) 李自成　(45) 1644　(46)「湖広熟すれば天下足る」　(47) 山西商人
(48) 新安商人　(49) 会館　(50) 公所　(51) 海禁　(52) 華僑（南洋華僑）
(53) 朱子学　(54) 永楽大典　(55) 四書大全　(56) 五経大全　(57) 陸九淵
(58) 王陽明（王守仁）　(59) 考証学　(60) 黄宗羲　(61) 李時珍　(62) 本草綱目
(63) 徐光啓　(64) 農政全書　(65) 宋応星　(66) 天工開物　(67) アダム＝シャール
(68) 崇禎暦書　(69) 水滸伝　(70) 三国志演義　(71) 西遊記　(72) 金瓶梅
(73) 景徳鎮　(74) 染付・赤絵

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 23 講　テスト

1　中書省の廃止にともない廃止された長官は。

①　丞相

②　軍戸

③　門下省

④　六部

2　漢代以来続いていた御史台という監察機関を明朝に入り改めたものは。

①　都察院

②　理藩院

③　尚書省

④　五軍都護府

3　里甲制にともなう民衆教化・相互扶助を任とする役職は。

①　郷紳

②　旗人

③　義兵

④　里老人

4　小作料を巡る個戸の地主への抵抗運動を何と呼ぶか。

①　宝鈔

②　典礼問題

③　抗租運動

④　圏地

5　明末に有力となった政治的党派とその指導者は。

①　東林派　，顧憲成

②　東林派　，魏忠賢

③　非東林派　，顧憲成

④　非東林派　，魏忠賢

6　明末に儒学を講じた学校は。

①　画院

②　緑営

③　東林書院

④　海関

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 23 講　テスト解答

1　①　　2　①　　3　④　　4　③　　5　①　　6　③

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第24講
清とその周辺

まず清の帝室，愛新覚羅（アイシンギョロ）氏12人の君主名の確認。
1 (1)〔　　〕，2 (2)〔　　〕，3 (3)〔　　〕，4 (4)〔　　〕，5 (5)〔　　〕，6 (6)〔　　〕(1735〜1795年）ここまでが元気。翌1796年の**白蓮教徒の乱でこけはじめ**，7 (7)〔　　〕，8 (8)〔　　〕，9 (9)〔　　〕(**妻が西太后**)，10 (10)〔　　〕，11 (11)〔　　〕，12 (12)〔　　〕がラストエンペラー。

アルタイ語系の (13)〔　　〕系 (14)〔　　〕族建州部の (15)〔　　〕は (16)〔　　〕年に (17)〔　　〕を建国。かれらは自らを (18)〔　　〕と名乗る。1619年には，明を (19)〔　　〕で圧迫する。(20)〔　　〕という軍事組織をつくる。(21)〔　　〕は1635年にモンゴル系の部族 (22)〔　　〕（タタール部の末裔）を滅ぼし，(23)〔　　〕年には国号を (24)〔　　〕とする。この頃の中心地は (25)〔　　〕だった。

明では過酷な税に対し，しばしば (26)〔　　〕運動が起きていたが，とりわけ1631年にはじまる (27)〔　　〕の乱の結果，毅宗崇禎帝が首吊り自殺して (28)〔　　〕年明は滅亡，北京の (29)〔　　〕の主は李自成となる。満州との境，(30)〔　　〕を明の遺将 (31)〔　　〕が守ったが北京の美人妻を李自成に取られると，怒って満州人を北京に手引きした。こうして (32)〔　　〕年に満州人が北京に入城し幼い (33)〔　　〕が紫禁城の主となり，満州人の北京支配がはじまった。呉三桂らは (34)〔　　〕として華南を支配した。

ところで明王室は1628年に海賊の親分だった (35)〔　　〕という人物に，清と戦うよう頼み兵力と資金を渡した。

【康熙帝】次の康熙帝は (36)〔　　〕年（ルイ14世が親政を開始した年）に即位した。1661年には (37)〔　　〕を出して中国沿海の住民に奥地への強制移住を命じ鄭氏台湾の孤立を図る。華南を直接支配しようとして (38)〔　　〕年から呉三桂らによる (39)〔　　〕が起き1681年に平定し，(40)〔　　〕年には (41)〔　　〕台湾を攻略し中国を統一した。鄭氏の反清運動に，のちの鄧小平の祖先が参加している。ちなみに鄭芝竜の子 (42)〔　　〕（近松門左衛門『**国性爺合戦**』）は1661年に台湾から (43)〔　　〕を駆逐していた。

解答

（1）ヌルハチ　（2）ホンタイジ　（3）順治　（4）康熙　（5）雍正　（6）乾隆
（7）嘉慶　（8）道光　（9）咸豊　(10) 同治　(11) 光緒　(12) 宣統帝溥儀
(13) ツングース　(14) 女真　(15) ヌルハチ　(16) 1616　(17) 後金
(18) マンジュ（満州）　(19) サルフの戦い　(20) 八旗　(21) ホンタイジ
(22) チャハル部　(23) 1636　(24) 清　(25) 瀋陽　(26) 抗租　(27) 李自成
(28) 1644　(29) 紫禁城　(30) 山海関　(31) 呉三桂　(32) 1644　(33) 順治帝
(34) 三藩　(35) 鄭芝竜　(36) 1661　(37) 遷界令　(38) 1673　(39) 三藩の乱
(40) 1683　(41) 鄭氏　(42) 鄭成功　(43) オランダ人

清は漢民族を (44)〔　　〕として軍事組織化した。漢民族にたいしてはアメとムチで対応。アメとしては科挙を奨励し (45)〔　　〕で漢民族の頭脳を登用，ムチとしては (46)〔　　〕を出し拒めば死刑，また (47)〔　　〕で反清思想を弾圧した。

北にロシアが (48)〔　　〕を築くと交戦，(49)〔　　〕年の (50)〔　　〕でロシアの (51)〔　　〕と (52)〔　　〕川と (53)〔　　〕山脈を境とした。康熙帝の命で編纂された字書が (54)〔　　〕，百科事典が (55)〔　　〕。そして康熙帝のとき，(56)〔　　〕と新税制 (57)〔　　〕がはじまった。

典礼問題とは何か。**中国人カトリック教徒が孔子や祖先崇拝の儀礼（典礼）に参加することの可否をめぐる論争**のことだ。**イエズス会は典礼を容認，ドミニコ派・フランチェスコ派は否定**した。（教皇クレメンス11世は典礼を否認）(58)〔　　〕は典礼否認諸派の中国伝道を禁止（1706年），(59)〔　　〕はキリスト教布教を全面的に禁止した。（1724年）

康熙帝は1711年以降増えた人丁は丁銀を免除する盛世滋生人丁を実施。それは雍正帝で地丁銀になる。背景として富裕地主が丁数（成年男子）をごまかしていたことと貧困農民の未納増加がある。**新大陸からはいってきたジャガイモやトウモロコシのおかげで食糧事情がよくなり人口が増えたのだ。地丁銀とは，丁銀（人頭税）を地銀（地税）に組み込み一括徴税すること**で，結果として**人頭税が廃止**された。

【雍正帝】(60)〔　　〕のときの (61)〔　　〕年の (62)〔　　〕で**モンゴルとシベリアの国境が確定**，キャフタは (63)〔　　〕の南だ。側近による政治が深化し (64)〔　　〕が設置された。

【乾隆帝】(65)〔　　〕年～ (66)〔　　〕年は (67)〔　　〕の治世である。モンゴル系オイラトの末裔で最後の遊牧帝国 (68)〔　　〕の拠点イリを落とし，イスラーム系トルコ人ウイグル族の (69)〔　　〕つまり (70)〔　　〕（(71)〔　　〕盆地，その大半が (72)〔　　〕砂漠）と合わせて (73)〔　　〕とした。また，(74)〔　　〕も支配下におき，こうして**満漢蒙回蔵の五族支配が完成**，現在の中華人民共和国の領土の原型が整った。土着の有力者による支配を改め（改土）漢人を中央から派遣する（帰流）明代以降の統治策，(75)〔　　〕が受け継がれた。言語が通じることにより，現地勢力とむすんで反乱を起こすのを防ぐためだ。

外モンゴル，新疆，チベット，青海を総称して (76)〔　　〕といった。また藩部の管理事務機関を (77)〔　　〕という。満漢が直轄地，蒙回蔵が藩部だ。

乾隆帝の命で編集された百科事典が (78)〔　　〕。5民族の言語対比辞典が (79)〔　　〕だ。

解答

(44) 緑営　(45) 満漢偶数官制　(46) 辮髪（弁髪）令　(47) 文字の獄
(48) アルバジン城　(49) 1689　(50) ネルチンスク条約　(51) ピョートル1世
(52) アルグン　(53) スタノヴォイ＝外興安嶺　(54) 康熙字典　(55) 古今図書集成
(56) 典礼問題　(57) 地丁銀　(58) 康熙帝　(59) 雍正帝　(60) 雍正帝　(61) 1727
(62) キャフタ条約　(63) バイカル湖　(64) 軍機処　(65) 1735　(66) 1795
(67) 乾隆帝　(68) ジュンガル　(69) 回部　(70) 東トルキスタン　(71) タリム
(72) タクラマカン　(73) 新疆　(74) チベット　(75) 改土帰流　(76) 藩部
(77) 理藩院　(78) 四庫全書　(79) 五体清文鑑

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 24 講　テスト

1　次の事象を古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。
①　清の北京入城（入関）
②　後金の建国
③　李自成の乱
④　明の滅亡

2　康熙帝の治世中でないものは。
①　台湾を征服
②　軍機処の設置
③　三藩の乱を鎮圧
④　ネルチンスク条約

3　乾隆帝の治世中でないものは。
①　チベットを征服
②　ジュンガルを征服
③　広州に公行を設置
④　地丁銀はじまる

4　黄帽派の開祖は。
①　ガルダン
②　ダライ＝ラマ
③　ツォンカパ
④　ソンツェン＝ガンポ

5　朝鮮が唯一中国の伝統文化を継承しているという思想は。
①　両班
②　夷狄
③　小中華
④　国学

第 24 講　テスト解答

1　④　　2　②　　3　④　　4　③　　5　③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第25講
ティムール朝・サファヴィー朝・オスマン帝国

1

【ティムール帝国】チンギスハンの次男チャガタイがトルキスタンを支配した。14世紀に(1)〔　　〕にトルコ人ティムールが現れモンゴル帝国の再興を企てた。(2)〔　　〕を都としたティムール帝国((3)〔　　〕年～(4)〔　　〕年）だ。ティムールは北に(5)〔　　〕を攻め，西には(6)〔　　〕を併合し，さらには(7)〔　　〕世を(8)〔　　〕の戦いで破り(9)〔　　〕を中断させ，南に**トゥグルク朝**の時の(10)〔　　〕朝のインドに遠征（サイイド朝はティムールの武将が建国），東に向け**永楽帝**(えいらくてい)の(11)〔　　〕の遠征途上の**オトラル**で病死した。第3代シャー＝ルフは(12)〔　　〕を首都とした。
　第4代(13)〔　　〕の建てた**マドラサ**や**天文台**がサマルカンドにある。細密画（(14)〔　　〕）は12世紀アッバース朝の頃に本の挿絵(さしえ)として生まれ後に**中国絵画の影響を受け**成立した。サマルカンドの町に関して言えば，「チンギスハンが破壊しティムールは建設した」と言われる。ティムール帝国は(15)〔　　〕の**シャイバーニ＝ハン**の南下で滅亡した。西トルキスタンには(16)〔　　〕の(17)〔　　〕になり，これらは19世紀に**帝政ロシア**に併合され，**ソ連**を経て(18)〔　　〕年に**ウズベキスタン共和国（首都**(19)〔　　〕）として独立した。

【サファヴィー朝】ティムール帝国の南半分には(20)〔　　〕朝（(21)〔　　〕年～(22)〔　　〕年）が成立，ウズベク族の南下を1510年に撃退した。撃退したのが神秘主義教団の(23)〔　　〕世で，シーア派の(24)〔　　〕を国教とした。現在のイラン＝イスラーム共和国が12イマーム派である理由はここにある。だからシーア派であることが最重要だ。イスマーイール1世はスンニー派のオスマン＝トルコのセリム1世に1514年のチャルディラーンの戦いで敗れた。(25)〔　　〕世はタブリーズから(26)〔　　〕に遷都した。その繁栄ぶりは「**イスファハーンは世界の半分**」と言われ(27)〔　　〕がある。ペルシャンブルーの幾何学的(きかがくてき)植物模様（(28)〔　　〕）は(29)〔　　〕のイメージ。楽園思想は古くはゾロアスター教に見られユダヤ・キリスト・イスラーム教シーア派に継承(けいしょう)された。アッバース1世は**ポルトガル**から(30)〔　　〕を奪還した。またオスマン帝国からはメソポタミアを奪還(だっかん)した。サファヴィー朝はアフガン人の侵入で滅亡した。

解答

（1）西チャガタイハン国　（2）サマルカンド　（3）1370　（4）1507
（5）キプチャク＝ハン国　（6）イル＝ハン国　（7）バヤジット1　（8）アンカラ
（9）オスマン帝国　（10）デリースルタン　（11）明(みん)　（12）ヘラート
（13）ウルグ＝ベク　（14）ミニアチュール　（15）遊牧ウズベク
（16）ヒヴァ，ブハラ，コーカンド　（17）ウズベク系3ハン国　（18）1991
（19）タシケント　（20）サファヴィー　（21）1501　（22）1736
（23）イスマーイール1　（24）12イマーム派　（25）アッバース1　（26）イスファハーン
（27）イマームのモスク　（28）アラベスク　（29）楽園　（30）ホルムズ島

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2

13世紀の小アジア（(1)〔　　〕高原）はキリスト教徒とイスラーム教徒の最前線。そのイスラーム戦士（ガーディー）のオスマン＝ベイがオスマン帝国（(2)〔　　〕年～(3)〔　　〕年）をつくった。

３代目スルタンの(4)〔　　〕はヨーロッパ側を征服し小アジアの(5)〔　　〕から(6)〔　　〕に遷都し，(7)〔　　〕と改称した。(8)〔　　〕年の(9)〔　　〕の戦いではセルビア王国に勝利した。その600年後の1989年にユーゴスラビアの指導者はセルビア人のナショナリズムを高揚させる。

【バヤジット１世】４代目スルタンのあだ名は「電光」。(10)〔　　〕年の(11)〔　　〕の戦いでハンガリー王のちになる神聖ローマ皇帝(12)〔　　〕を破ったが，(13)〔　　〕年の(14)〔　　〕の戦いでは(15)〔　　〕に敗れ捕虜となり帝国は中断した。

【(16)〔　　〕】７代目スルタンのあだ名は「征服」。(17)〔　　〕年に(18)〔　　〕を奇策（きさく）山越えで征服，ビザンツ帝国を征服，(19)〔　　〕聖堂の四隅に(20)〔　　〕（イスラームの尖塔（せんとう））をくっ付けた。同地に遷都し(21)〔　　〕を建立。黒海（こっかい）北岸(22)〔　　〕国も支配下においた。

【(23)〔　　〕】９代目スルタン。メッカとメディナを保護下に置き，(24)〔　　〕年にカイロの(25)〔　　〕を征服し同朝が擁立していた(26)〔　　〕を獲得，(27)〔　　〕が成立した。（と，18世紀にオスマン帝国は主張しはじめた。クリミヤ半島のイスラーム教徒を懐柔（かいじゅう）しロシアに味方しないように）。

こうして**オスマン帝国がイスラーム世界の盟主**にイスタンブルがその中心になった。

【(28)〔　　〕】10代目スルタン，あだ名は「立法」。イスタンブルには10の回廊がある(29)〔　　〕がある。ベオグラード占領後(30)〔　　〕年の(31)〔　　〕の戦いでハンガリーを占領，(32)〔　　〕皇帝(33)〔　　〕はその脅威に抗するため(34)〔　　〕を解禁にする。スレイマン１世が(35)〔　　〕年に第１次ウィーン包囲を解いて退却すると(36)〔　　〕は再度ルター派を禁止したので，**ルター派諸侯は抗議（protest）**した。これが**プロテスタントの語源**となった。

解答

（1）アナトリア　（2）1299　（3）1922　（4）ムラト１世　（5）ブルサ
（6）アドリアノープル　（7）エディルネ　（8）1389　（9）コソヴォ　（10）1396
（11）ニコポリス　（12）ジギスムント　（13）1402　（14）アンカラ　（15）ティムール
（16）メフメト２世　（17）1453　（18）コンスタンティノープル　（19）ハギア＝ソフィア
（20）ミナレット　（21）トプカプ宮殿　（22）クリム＝ハン　（23）セリム１世
（24）1517　（25）マムルーク朝　（26）カリフ権　（27）スルタン＝カリフ制度
（28）スレイマン１世　（29）スレイマン＝モスク　（30）1526　（31）モハーチ
（32）神聖ローマ　（33）カール５世　（34）ルター派　（35）1529　（36）カール５世

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(37)〔　　〕年の(38)〔　　〕をヴァロワ朝の(39)〔　　〕と結ぶ。(40)〔　　〕という**居住と通商の自由（治外法権）**が慣習化。(41)〔　　〕年の(42)〔　　〕の海戦で(43)〔　　〕・(44)〔　　〕・(45)〔　　〕の連合軍に勝利した。また(46)〔　　〕を(47)〔　　〕から(48)〔　　〕へ駆逐した。セリム1世に引き続き(49)〔　　〕とメソポタミアを争い獲得しバグダードを占領した。また現在のイェルサレムの城壁はスレイマン1世の時代のものである。

セリム2世の(50)〔　　〕年の(51)〔　　〕の海戦（ギリシア西岸）で(52)〔　　〕世の(53)〔　　〕に敗れた。『(54)〔　　〕』の著者スペイン人(55)〔　　〕が負傷した。しかしその後チュニジアを領有し帝国領土最大となる。同スルタンの時(40)〔　　〕を正式に認めた。

オスマン帝国の統治のキーワードは(56)〔　　〕。スンニー派イスラーム帝国ではあっても，**各宗教共同体は尊重する柔らかい専制**だ。これを(57)〔　　〕という。だからキリスト教徒も登用（とうよう）する。これを(58)〔　　〕といい，キリスト教徒の美少年をスルタンの近衛兵（(59)〔　　〕）にした。

ブワイフ朝→セルジューク朝と継承されたイクター制度を採用，(60)〔　　〕という官吏や軍人に奉仕（ほうし）の代償（だいしょう）として徴税権を与える制度が採られた。また，イスラーム教徒にたいする裁判官を(61)〔　　〕と呼んだ。

解答

(37) 1535　(38) フランス＝トルコ同盟　(39) フランソワ1世　(40) カピチュレーション
(41) 1538　(42) プレヴェザ　(43) スペイン　(44) ヴェネツィア　(45) ローマ教皇
(46) ヨハネ騎士団　(47) ロードス島　(48) マルタ島　(49) サファヴィー朝
(50) 1571　(51) レパント　(52) フェリペ2　(53) スペイン　(54) ドン＝キホーテ
(55) セルバンテス　(56) ミッレト　(57) ミッレト　(58) デウシルメ
(59) イェニチェリ　(60) ティマール　(61) カーディー

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 25 講　テスト

1　ティムール朝で形成された文化は。
①　イラン＝イスラーム文化
②　トルコ＝イスラーム文化
③　モンゴル＝イスラーム文化
④　インド＝イスラーム文化

2　スレイマン＝モスクなどの公共建築に関わったのは。
①　キジルバシュ
②　アーヤーン
③　シナン
④　カビール

3　オスマン帝国においてイスラーム法に基づいて裁判をおこなう行政官は。
①　カーディー
②　カーヌーン
③　シパーヒー
④　チャルディラーン

4　サファヴィー朝のアッバース１世が遷都した都市は。
①　テヘラン
②　イスファハーン
③　カンダハル
④　ペルセポリス

5　アッバース１世がホルムズ島を奪還した国は。
①　オスマン帝国
②　イギリス
③　オランダ
④　ポルトガル

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

6　サファヴィー朝の宗派は。

①　スンニー派

②　ワッハーブ派

③　アラウィ派

④　シーア派（12 イマーム派）

第 25 講　テスト解答

1　②　　2　③　　3　①　　4　②　　5　④　　6　④

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

世界史を受講する皆さんへ

みなさん，こんにちは。
村山秀太郎です。

世界史の受験勉強を登山に喩えるなら，このテキストの空欄を全て答えられるように（記述式の大学を志望するなら書けるように）なるのが登頂ということになります。

幸か不幸か，このテキストをゲットしたのですから，完全制覇を目標にしましょう。

ただし実際の登山と異なるのは，登頂しなくても，つまり 100％覚えられなくても合格は可能であるということです。80％の暗記でもかなり有望です。

ただ，最初から 80％を目指して暗記すると，60％しか覚えられません。

だから，100％を目指し覚えなさい。
八合目からの風景も綺麗ではありますが，頂上からの絶景と満足感，安心感には代えられません。

それから，このテキストは全国津々浦々，離島であろうが海外であろうが，簡単に入手可能であるということを忘れてはなりません。

他のサプリ生よりも少なく覚えたら，相対的に成績は下回るということになります。もはや，受験生の２人に１人がサプリ生の時代です。

選択式問題の意味不明の語句は，用語集で調べてください。

このテキスト登頂は，トップレベルをめざす世界史受験生にとってのノルマです。

健闘を祈ります。

あなたの熱烈サポーター
バロンドール - ムラヤマ⑩

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目　次

第26講	インド通史（ムガル朝以後）・カンボジア＆ユーゴ＆ルワンダ内戦	P4
第27講	ルネサンス・宗教改革	P22
第28講	ヨーロッパ主権国家の成立① 宗教戦争	P28
第29講	ヨーロッパ主権国家の成立② フランス	P32
第30講	ヨーロッパ主権国家の成立③ プロイセン・オーストリア	P35
第31講	ヨーロッパ主権国家の成立④ ロシア	P38
第32講	イギリスの革命	P42
第33講	産業革命・アメリカ独立革命	P48
第34講	フランス革命	P55
第35講	ナポレオン・ウィーン体制	P59
第36講	19世紀フランス史・イギリス史	P68
第37講	アイルランド史・イタリアとドイツの統一	P75
第38講	オスマン帝国・19世紀ロシア史・東方問題	P84
第39講	19世紀アメリカ合衆国史	P92
第40講	清末～中華民国	P99
第41講	第一次世界大戦への道	P104
第42講	第一次世界大戦とロシア革命	P110
第43講	第二次世界大戦への道	P115
第44講	ヨーロッパの第二次世界大戦	P121
第45講	冷戦（雪どけまで）	P126
第46講	冷戦（雪どけ以降）	
第47講	中東現代史	P150
第48講	中東現代史・日米開戦までのアメリカ合衆国史	P164
第49講	東南アジア＆フランス近現代史・戦後アメリカ合衆国史	P173
第50講	朝鮮現代史・中国現代史	P187

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第26講
インド通史（ムガル朝以後）・カンボジア＆ユーゴ＆ルワンダ内戦

1

【アフガニスタンのイスラーム王朝】初期イスラームのウマイヤ朝期からインドのイスラーム化は徐々に進行した。しかし本格化するのは**10世紀のアフガニスタンのトルコ系イスラーム王朝**(1)〔　　〕朝のマフムードが北インドに遠征してから。つづく(2)〔　　〕朝はイラン系を自称するアフガニスタンのイスラーム王朝で，(3)〔　　〕朝を滅ぼし**ガンジス川流域までの北インドをイスラーム化し，仏像を破壊しインドにおける仏教の衰退を決定的なものとした。**この時期，北インドのヒンドゥー系ラージプート諸王朝は分裂抗争していた。

【デリー＝スルタン朝】インド初のイスラーム王朝は(4)〔　　〕を都とした(5)〔　　〕系の(6)〔　　〕。(7)〔　　〕年に(8)〔　　〕がつくった王朝でイクター制を導入した。これに始まるデリー＝スルタン朝はトルコ系の奴隷王朝→(9)〔　　〕→(10)〔　　〕((11)〔　　〕が滞在，ティムールに侵攻される）→(12)〔　　〕（ティムール系武将が建国）→(13)〔　　〕朝（唯一(14)〔　　〕）の５つ。(15)〔　　〕では異教徒に対する弾圧（だんあつ）はあまり見られなかった。イスラーム神秘主義の(16)〔　　〕が，神への絶対的帰依を唱えるヒンドゥー教の一派でインド在来の(17)〔　　〕（ラーマ信仰，クリシュナ信仰など）と類似性があり，ヒンドゥー教とイスラーム教が融合した。その融合をはかった(18)〔　　〕の影響を受けて(19)〔　　〕が創始したのが(20)〔　　〕で，**パンジャーブ地方のアムリットサルにシク教の総本山の黄金寺院**がある。

【ムガル帝国】ティムールの６代目の子孫(21)〔　　〕はウズベク族にサマルカンドを追われ，(22)〔　　〕を越えてインドに入りデリーの北の(23)〔　　〕の戦いで(24)〔　　〕朝を倒した。モンゴル帝国がなまってムガル帝国（(25)〔　　〕年～(26)〔　　〕年）と呼ぶ。公用語は(27)〔　　〕語。

第２代フマーユーンがスール朝に敗れ一時(28)〔　　〕朝に亡命する。ウズベク族という共通の敵がいたからかくまってもらった。第３代(29)〔　　〕は婚姻関係と(30)〔　　〕（人頭税）の廃止により ヒンドゥー教徒のラージプート族と融和（ゆうわ）した。(31)〔　　〕に遷都。官僚と軍人の位階（いかい）制度(32)〔　　〕で中央集権化を図った。第５代(33)〔　　〕は(34)〔　　〕に愛妃ムムターズ＝マハルを偲び(35)〔　　〕（**インド＝イスラーム建築**）を建立した。設計したのはイラン人。

解答

（1）ガズナ（ガズニー）　（2）ゴール　（3）パーラ　（4）デリー　（5）トルコ
（6）奴隷王朝　（7）1206　（8）アイバク　（9）ハルジー　（10）トゥグルク
（11）イブン＝バトゥータ　（12）サイイド　（13）ロディー　（14）アフガン系
（15）デリー＝スルタン朝　（16）スーフィズム　（17）バクティ信仰　（18）カビール
（19）ナーナク　（20）シク教　（21）バーブル　（22）カイバル峠　（23）パーニーパット
（24）ロディー　（25）1526　（26）1858　（27）ペルシャ　（28）サファヴィー
（29）アクバル　（30）ジズヤ　（31）アグラ　（32）マンサブダール制
（33）シャー＝ジャハーン　（34）アグラ　（35）タージ＝マハル

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第６代 (36)〔　　〕は版図をデカン高原まで拡げたうえで (37)〔　　〕を復活させたので異教徒の反発を招き，(38)〔　　〕地方の (39)〔　　〕教徒，デリー南西の**ラージプート族**，デカン高原の (40)〔　　〕((41)〔　　〕が建国）との対決を余儀なくされた。

この第５，６代皇帝の時期にイギリスは (42)〔　　〕(現チェンナイ)，(43)〔　　〕(現ムンバイ)，(44)〔　　〕(現コルカタ）に，フランスは (45)〔　　〕と (46)〔　　〕に拠点を築いた。イギリスはガンジス川河口の (47)〔　　〕地方で，(48)〔　　〕年の (49)〔　　〕の戦いでフランスに勝ち優位に立った。ベンガル知事は (50)〔　　〕。伝統的な地主（ザミンダール）には徴税権を与えるのが (51)〔　　〕。マドラス付近で耕作農民（ライヤット）から個別に徴税したのが (52)〔　　〕。イギリスが勢力範囲を拡大したので，**パンジャーブ地方のシク教国**，**デリー南西のマラータ王国**，**デカン高原のマイソール王国**とそれぞれ戦争になりいずれもイギリスに屈した。

ちなみに，ムガル帝国の公用語は (53)〔　　〕。しかし (54)〔　　〕(ヒンディー語＋ペルシア語＋アラビア語）も成立した。

【シパーヒー（セポイ）の乱】イギリスの東インド会社の傭兵が宗教的理由から反乱を起こした。(55)〔　　〕と見なし，それぞれの脂を銃に使用することに抵抗した (56)〔　　〕だ。反乱軍がムガル皇帝を擁立したので，イギリスは反乱鎮圧と共にムガル帝国を滅ぼした。東インド会社も反乱の責任から廃止になり，イギリスによるインドの直接支配が始まった（(57)〔　　〕年)。1857 ～ 59 年の全民族的反英抵抗運動を (58)〔　　〕という。北インドの小国の王妃で戦死した英雄が (59)〔　　〕だ。

14 ～ 17 世紀に南インドを支配したヒンドゥー教国が (60)〔　　〕。(61)〔　　〕年にポルトガル人 (62)〔　　〕がマラバル海岸の (63)〔　　〕に来た。ポルトガルは (64)〔　　〕年に (65)〔　　〕に総督府を置き (66)〔　　〕が総督となった。

中国絵画が元代にイスラーム世界に伝わりイランに (67)〔　　〕(細密画）が成立。これがムガル帝国（第２次ティムール帝国）で (68)〔　　〕となるが，ムガル絵画の影響で，ヒンドゥー教神話を画題にした (69)〔　　〕が成立した。

解答

(36) アウラングゼーブ　(37) ジズヤ　(38) パンジャーブ　(39) シク
(40) マラーター王国　(41) シヴァージー　(42) マドラス　(43) ボンベイ
(44) カルカッタ　(45) ポンディシェリ　(46) シャンデルナゴル　(47) ベンガル
(48) 1757　(49) プラッシー　(50) クライブ　(51) ザミンダーリー制
(52) ライヤットワーリー制　(53) ペルシア語　(54) ウルドゥー語
(55) ヒンドゥー教徒は牛を神聖，イスラーム教徒は豚を不浄　(56) シパーヒーの乱
(57) 1858　(58) インド大反乱　(59) ラクシュミー＝バーイ　(60) ヴィジャヤナガル王国
(61) 1498　(62) ヴァスコ＝ダ＝ガマ　(63) カリカット　(64) 1510　(65) ゴア
(66) アルブケルケ　(67) ミニアチュール　(68) ムガル絵画　(69) ラージプート絵画

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【イギリスのインド支配】フランスのインド総督で 1754 年に本国に召還されたのが (70)〔　　〕。イギリスは (71)〔　　〕年の (72)〔　　〕の戦いでインド人傭兵 (73)〔　　〕が初めて登場，1758 年にはベンガル知事が設置され，(74)〔　　〕が初代知事になる。カナダのビーバーの毛皮をめぐる英仏間の (75)〔　　〕の (76)〔　　〕年の (77)〔　　〕条約でフランスにたいする優位が確定した。また 1764 年の (78)〔　　〕の戦いでベンガル太守とムガル帝国の連合軍を破った。1744 年から 1763 年までの英仏がそれぞれ南インドの現地政権と結び合っておこなった戦いを (79)〔　　〕戦争という。1773 年のインド統治法でベンガル総督が置かれ (80)〔　　〕が初代の総督となった。1784 年の小ピットのインド法で本国政府はベンガル総督の立場を強化し他地域への監督権を付与した。1793 年にはベンガルで (81)〔　　〕制が実施され，伝統的領主層＝ザミンダールに近代的土地所有権を与えたが，永代固定租税の権限を与えられたので高利貸しとなって農民を困窮化させた。また，1806 年からマドラスでは，個別農民＝ライヤットに土地所有権を認めて東インド会社が個々の農民から直接租税を徴収する (82)〔　　〕制が実施された。東インド会社内では商品作物が栽培され安価な労働力を使ったプランテーション経営がなされた。作物としてはケシ＝専売の (83)〔　　〕の原料，藍，のち綿花など。

イギリス本国では (84)〔　　〕が 1779 年に発明した (85)〔　　〕でインド綿糸より細い糸が紡ぐことができるようになると細糸薄地布の綿織物が，1820 年代にはインドに流入するようになり，アジア三角貿易に完全に組み込まれ，カール＝マルクスは「インド大陸は失業した木綿職人の白骨で白く染まった」と述べた。1767 年から断続的に 1799 年まで (86)〔　　〕で南インドの西海岸を制圧，1775 年から断続的に (87)〔　　〕でデカン高原西部の王位継承に介入，1805 年からはデリーのムガル皇帝までも保護下に収める。イギリスは 1815 年のナポレオン戦争のウィーン議定書で (88)〔　　〕からセイロンを奪い，1816 年には (89)〔　　〕のグルカ王国を征服，1845 年から 1849 年までの断続的なシク戦争でパンジャーブ地方を併合した。その後，(90)〔　　〕に進出し 1838 年から 43 年の第１回戦争では惨敗したが，1878 年から 80 年の第２回戦争で苦戦の末，保護国化した。そのときの両国の交渉で，パシュトゥン人居住地域を分断する「デュランド＝ライン」が定められた。そのようなわけで現在パシュトゥン人が英領であったパキスタンに 2100 万，アフガニスタンに 1000 万人前後住んでいるのだ。このパシュトゥン人が 2001 年にアメリカ，ブッシュ政権により崩壊させられた「タリバン」政権の主体である。ちなみにアフガニスタンは第３次アフガン戦争の結果 1919 年にイギリスから独立した。

解答

(70)　デュプレクス　(71)　1757　(72)　プラッシー　(73)　シパーヒー＝セポイ
(74)　クライブ　(75)　フレンチインディアン戦争　(76)　1763　(77)　パリ
(78)　ブクサール　(79)　カーナティック　(80)　ヘースティングズ
(81)　ザミンダーリー　(82)　ライヤットワーリー　(83)　アヘン　(84)　クロンプトン
(85)　ミュール紡績機　(86)　マイソール戦争　(87)　マラータ戦争　(88)　オランダ
(89)　ネパール　(90)　アフガニスタン

1834 年にすでに東インド会社は貿易独占権を停止していたが，それ以後は統治機関となっていた。1856 年にはネパールの南アワドを併合し東インド会社によるインド統一が完成した。そして東インド会社は地方王侯と個別に条約，多少の権限を与え (91)〔　　〕とした。

1857 ～ 59 年に東インド会社に傭兵が起こした反乱が (92)〔　　〕の乱で，これは薬包に豚牛の油が使われたという噂に (93)〔　　〕が反発したのである。東インド会社は反乱の責任から解散，インドは本国の直轄地となる。（1858）シパーヒー反乱軍によりムガル皇帝バハーデゥル＝シャーが擁立されたので，ムガル帝国はイギリスにより滅ぼされた。（1858）敗れた反乱軍の指導者のひとりで今でも民族の英雄として慕われているのが小王国の王妃だった (94)〔　　〕である。

1877 年には保守党 (95)〔　　〕内閣のイギリス本国は (96)〔　　〕を王に戴く，英領インド帝国が成立，1886 年には (97)〔　　〕がこれに編入された。

【英領インド帝国 (98)〔　　〕年～ (99)〔　　〕年】(100)〔　　〕（1772 ～ 1833）はベンガルのバラモンの家に生まれて，古聖典に支持されない (101)〔　　〕（寡婦殉死）に反対 1829 年には法で禁止された。ブラフマー＝サマージ運動を創始，ヒンドゥー教と近代合理主義の融和を図る宗教団体をつくって，彼の死後社会改革運動を展開した。

ダヤーナント＝サラスヴァティ（1824 ～ 83）は「ヴェーダに帰れ」と唱えヴェーダを全階級に開放しカースト制度撤廃を主張，1875 年にヒンドゥー原理主義のアーリャ＝サマージを結成した。

ラーマクリシュナ（1835 ～ 86）は神秘体験を経て，すべての宗教は密教において一つの真理に通じると主張した。

インド紡績業発祥の地 (102)〔　　〕で (103)〔　　〕年に (104)〔　　〕第一回大会が開催，官吏，地主，商人，知識人が出席，かれらを中心として (105)〔　　〕が誕生した。初期の指導者はインド人初のイギリス下院議員となった (106)〔　　〕や，1883 年にインド国民協議会を結成し 86 年に国民会議派に合流したバルネジーであった。これはイギリスがインド人の政治意識を高めるために組織したもので親英的なものであった。

解答

(91)　藩王　　(92)　シパーヒー
(93)　豚を不浄とするイスラム教徒と牛を神聖視するヒンドゥー教徒
(94)　ラクシュミー＝バーイー　　(95)　ディズレイリ　　(96)　ヴィクトリア　　(97)　ビルマ
(98)　1877　　(99)　1947　　(100)　ラーム＝モーハン＝ローイ　　(101)　サティー
(102)　ボンベイ　　(103)　1885　　(104)　インド国民会議　　(105)　国民会議派
(106)　ナオロジー

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【国民会議派カルカッタ大会】 国民会議派の急進化のきっかけは，(107)〔　　〕年にインド総督カーゾン卿が (108)〔　　〕を出して，イスラーム教徒の多い東ベンガルと西ベンガルを分割する統治政策をとったことだ。(109)〔　　〕における日本の勝利がアジアの民族運動を刺激していた (110)〔　　〕年の国民会議派 (111)〔　　〕大会で急進派指導者 (112)〔　　〕が台頭し，(113)〔　　〕((114)〔　　〕)，(115)〔　　〕((116)〔　　〕)，(117)〔　　〕，(118)〔　　〕の 4 大綱領を掲げた。1911 年にはベンガル分割令は撤回された。

(119)〔　　〕年にはイスラーム教徒は，(120)〔　　〕を結成した。

【第一次世界大戦とインド】1914 年に勃発した第一次世界大戦の時期，綿織物(めんおりもの)やベンガルの (121)〔　　〕産業などの民族資本が台頭した。国民会議派は，南アフリカで人種差別を経験した後インドに帰国した (122)〔　　〕を含めてイギリスの戦争に協力した。しかし，(123)〔　　〕はオスマン＝トルコが (124)〔　　〕をとっていることから反英決議 ((125)〔　　〕)，このころからムスリム連盟が急進化し指導者として (126)〔　　〕が登場した。

【イギリスの裏切り】1916 年のライナウ協定で自治要求に関して国民会議派つまりヒンドゥー教徒とムスリム連盟が協力を確認した。1917 年にはイギリスがモンターギュ宣言で戦争協力の代償として戦後インドに責任内閣などの自治権付与を約束した。しかし戦争が終わると (127)〔　　〕年のインド統治法では (128)〔　　〕を発布し，令状なしの逮捕・裁判なしの投獄を可能とする弾圧立法が出された。1919 年にはイギリス官憲(かんけん)によるインド人への発砲事件，(129)〔　　〕が起き多数の死傷者を出した。ノーベル文学賞をとったベンガルの詩人 (130)〔　　〕は「ナイト」の称号を返却した。ガンディーが (131)〔　　〕運動（真理の把握）と呼んだ非暴力の大衆抵抗運動もはじまった。

【1920 年代のインド】1920 年代には非協力決議がなされ，称号返還，政府行事出席拒否，公立学校から子弟の引き上げ，選挙ボイコット，裁判所ボイコット，軍人など海外派遣拒否，外国製品ボイコットなどがおこなわれた。

1928 年にインド統治法改正のためサイモン委員会が訪印したが「サイモン帰れ」運動が起きた。1929 年 6 月イギリスに進歩的な政党，労働党の (132)〔　　〕内閣が誕生（最初は 1924 年），インド自治憲法制定のため (133)〔　　〕を提唱，しかしイギリス保守党は「自治」という言葉の使用を非難した。

解答

（107）1905　（108）ベンガル分割令　（109）日露戦争　（110）1906　（111）カルカッタ
（112）ティラク　（113）スワデーシ　（114）国産品愛用　（115）スワラージ
（116）自治獲得　（117）英貨排斥　（118）民族教育　（119）1906
（120）全インド＝ムスリム連盟　（121）ジュート　（122）マハトマ＝ガンディー
（123）ムスリム　（124）スルタン＝カリフ制　（125）キラーファット運動　（126）ジンナー
（127）1919　（128）ローラット法　（129）アムリットサル事件　（130）タゴール
（131）サティヤーグラハ　（132）マクドナルド　（133）円卓(えんたく)会議

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【国民会議派ラホール大会→塩の行進】(134)〔　　〕年の国民会議派(135)〔　　〕大会で急進派(136)〔　　〕を議長に選出(137)〔　　〕を決議，円卓会議不参加を決議した。(138)〔　　〕年にはガンディーが塩の専売と塩税に抗議して(139)〔　　〕をおこなった結果，イギリスはガンディーを交渉相手と認め，塩の製造権と政治犯の釈放を認めた。ガンディーはこのような第 2 次(140)〔　　〕を開始したがムスリムは不参加だった。1930 年に(141)〔　　〕で円卓会議が開始し，第 2 回にはガンディーも参加したが成果はなかった。ガンディーは再び，非暴力不服従運動を開始したがすぐに停止し，ガンディーの関心は不可触民（ふかしょくみん）「ハリジャン＝神の子」の運動へと移っていった。1935 年の(142)〔　　〕で(143)〔　　〕が決定した。ちなみに(144)〔　　〕は(145)〔　　〕年に英領インド帝国に編入されていた。

【第二次世界大戦とインド】第二次世界大戦についてネルーは反ファシズムの立場からイギリスに協力的，ガンディーは戦後の自治を約束すれば協力，(146)〔　　〕は即時全面不服従運動を提起した。

1939 年インドの同意のないままイギリスはインドの参戦を決定。1940 年 3 月全インド＝ムスリム連盟の指導者(147)〔　　〕はラホール大会で(148)〔　　〕の分離独立，イスラーム国家建設を決定。1941 年 1 月，チャンドラ＝ボースは国外に脱出しドイツと協力するためにベルリンへ赴（おもむ）いた。

1941 年 12 月 8 日の真珠湾攻撃から太平洋戦争開始，同時期のマレー沖海戦から英領マラヤ連邦つまりイギリスとも交戦状態にはいる。1942 年 2 月に(149)〔　　〕が陥落すると日本が組織したチャンドラ＝ボースの(150)〔　　〕がビルマに向けて，ラングーン，マンダレーへと日本軍と共に進軍した。1943 年には(151)〔　　〕でチャンドラ＝ボースが自由インド仮政府を樹立した。1944 年には日本軍とともにインドへ侵攻したが，(152)〔　　〕の戦いで(153)〔　　〕（ネパール人）のイギリスに敗れた。

インドでは 1942 年には**国民会議派が「インドから出て行け」決議をして英国即時撤退要求**をした。

【インド独立へ】1945 年イギリスにはポツダム会談の最中に成立した(154)〔　　〕党(155)〔　　〕内閣が完全自治を公約した。イギリス労働党は第二次世界大戦中の(156)〔　　〕に基づき「ゆりかごから墓場まで」の社会保障に取り組む政党となっていた。

1946 年 8 月ムスリム連盟は分離独立を要求，ヒンドゥー，イスラーム教徒は流血闘争に突入し 50 万人が死亡した。断食（だんじき）で抗議したガンディーに感動し，人々が武器を捨てた直後に，宗教融和策に反対した(157)〔　　〕教信者の手でガンディーは暗殺された（48 年）。47 年 2 月アトリー内閣はインドからの撤退を表明，最後の総督は(158)〔　　〕であった。6 月のマウントバッテン裁定で二つの憲法制定議会，ベンガルとパンジャーブの分割が決定した。7 月にはインド統治法をイギリス議会が可決した。

解答

（134）1929　（135）ラホール　（136）ネルー　（137）プールナ＝スワラージ（完全自治）
（138）1930　（139）塩の行進　（140）非暴力不服従運動　（141）ロンドン
（142）新インド統治法　（143）ビルマの分離　（144）ビルマ　（145）1886
（146）チャンドラ＝ボース　（147）ジンナー　（148）パキスタン　（149）シンガポール
（150）インド国民軍　（151）シンガポール　（152）インパール　（153）グルカ兵
（154）労働　（155）アトリー　（156）ベバリッジ報告　（157）ヒンドゥー
（158）マウントバッテン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1947 年 8 月，インド連邦が (159)〔　　〕首相，(160)〔　　〕大統領で，パキスタンは (161)〔　　〕総督で独立。ネルーは (162)〔　　〕主義で独自路線，パキスタンは SEATO，METO に参加，つまり東南アジアと中東におけるアメリカの反共軍事同盟の要となった。それぞれが憲法を制定して (163)〔　　〕年に政教分離の (164)〔　　〕，(165)〔　　〕年には政教一致の (166)〔　　〕が成立した。

【独立後のインドとパキスタン】(167)〔　　〕と (168)〔　　〕は 1954 年にフランスがインドに返還，(169)〔　　〕は 1961 年にインドがポルトガルから強制接収した。

インド＝パキスタンの分離独立に際して藩王国の帰属はそれぞれの判断に委ねられた。(170)〔　　〕の藩王国の帰属問題から (171)〔　　〕年に (172)〔　　〕が勃発，当該（とうがい）の地域（**カシミール）の藩王はヒンドゥー教徒ゆえインドへの帰属を希望，住民はイスラーム教徒であるゆえパキスタンへの帰属を希望**。ちなみにパキスタンはイスラームを全面に出す共和国，インドは政教分離の世俗国家である。(173)〔　　〕年の (174)〔　　〕も (175)〔　　〕問題が争点だった。

(176)〔　　〕年の第 3 次印パ戦争は (177)〔　　〕の独立問題だ。(178)〔　　〕産業がある東パキスタンが (179)〔　　〕であるのに対し西パキスタンは (180)〔　　〕だ。1971 年 3 月東パキスタンつまり (181)〔　　〕が独立宣言，印パ全面戦争となった。そして 12 月には東パキスタンがバングラデシュとして独立した。首都は (182)〔　　〕。

1974 年にはインドが最初の核実験。(183)〔　　〕年にはインド，パキスタンが相次いで核実験，パキスタンは (184)〔　　〕最初の核保有国となった。1999 年には軍事クーデターで (185)〔　　〕政権が誕生した。

1949 年 12 月インドはビルマに次いで 2 番目に中華人民共和国を承認した。中国は共産党一党独裁，マルクス主義つまり唯物論（ゆいぶつろん），無神論国家だ。**1950 年に人民解放軍がチベットを解放（共産化）**する。そのこと自体は 1954 年のニューデリーにおける (186)〔　　〕とネルーの会談で確認された。チベットは (187)〔　　〕と (188)〔　　〕による神権支配の地域である。それゆえ，共産化に伴う寺院の破壊，僧侶（そうりょ）への侮辱，土地の共有化に対して，(189)〔　　〕年チベットの (190)〔　　〕で反乱が起こり数百万人が人民解放軍により虐殺され，(191)〔　　〕はインドへ亡命した。彼をインドがかくまったことから中印関係が悪化，1962 年には中国軍がインドへ侵攻。インド軍は敗北した。その後英米に接近したので，(192)〔　　〕は後退した。ソ連はインドの立場を支持し (193)〔　　〕を激化させた。1989 年にはダライ＝ラマ 14 世がノーベル賞を受賞。

解答

（159）ネルー　（160）プラサド　（161）ジンナー　（162）非同盟　（163）1950
（164）インド共和国　（165）1956　（166）パキスタン＝イスラーム共和国
（167）シャンデルナゴル　（168）ポンディシェリ　（169）ゴア　（170）カシミール
（171）1947　（172）第 1 次印パ戦争　（173）1965　（174）第 2 次印パ戦争
（175）カシミール　（176）1971　（177）バングラデシュ　（178）ジュート
（179）ベンガル語　（180）ウルドゥー語　（181）バングラデシュ　（182）ダッカ
（183）1998　（184）イスラーム圏　（185）ムシャラク　（186）周恩来
（187）ダライ＝ラマ　（188）パンチェン＝ラマ　（189）1959　（190）ラサ
（191）ダライ＝ラマ 14 世　（192）非同盟主義　（193）中ソ論争

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1950年のインド憲法においては共和政，政教分離原則，成人男女普通選挙，カースト差別禁止，不可触賤民制禁止であった。憲法起草委員会委員長は(194)〔　　〕で彼は1920年代から不可触民撤廃運動に携わり，1956年の死去の直前にはカースト制度の起源はヒンドゥーにありとして仏教に帰依してネオ＝ブッディスト（新仏教）運動を展開した。

1964年ネルーが死去，シャストリが首相，1966年からはネルーの娘(195)〔　　〕が首相。長老たちとの対立により1975年非常事態宣言ののちガンディーの独裁に。1971年には(196)〔　　〕＝インド平和友好協力条約，そして(197)〔　　〕年には核実験，しかし1984年にシク教徒により暗殺された。長男(198)〔　　〕が首相に，彼も1991年にはタミル人により暗殺された。

1989年ベルリンの壁が崩壊91年ソ連邦解体した。これにより唯物論と人間による計画主義と，設計主義の限界が露呈し，世界的に宗教勢力が台頭することになる。1993年からヒンドゥー原理主義が高まりデリーのモスクを破壊，1億1千万のイスラーム教徒への対決姿勢が強まり，インドは建国以来の政教分離の原則への挑戦が始まった。1996年の選挙で(199)〔　　〕は歴史的敗北を喫し，ヒンドゥー至上主義の(200)〔　　〕が第一党でバジパイ首相が政権を奪取(だっしゅ)した。国民会議派の腐敗への反発や民主主義が定着するなか，上位カーストの危機意識，グローバリズムの進展による貧富の差の拡大などが政権交代の背景にある。しかし2004年には，国民会議派が8年ぶりに政権を奪回した。

【スリランカ】1948年にセイロンが(201)〔　　〕より独立。1960年には(202)〔　　〕夫人が世界初の女性首相。1972年にスリランカ共和国，1978年にはスリランカ民主社会主義共和国として英連邦を脱退した。国政を握る多数派82％は，その昔のマウリヤ朝の(203)〔　　〕の王族マヒンダ以来のアーリア人である(204)〔　　〕（(205)〔　　〕）で(206)〔　　〕。少数派9％は(207)〔　　〕（(208)〔　　〕）は(209)〔　　〕教徒。イギリスがタミル人をセイロン島を茶のプランテーションにするために送り込んだのだ。

近年この両者が対立，後者のテロ組織が「(210)〔　　〕」である。テロの犠牲者の統計は6万5千人にのぼる。2006年「解放のトラ」の議長が独立を宣言し武装闘争が激化したが，政府軍の攻撃により2009年に敗北を宣言した。

解答

(194) アンベードカル　(195) インディラ＝ガンディー　(196) ソ連　(197) 1974
(198) ラジブ＝ガンディー　(199) 国民会議派　(200) インド人民党　(201) イギリス
(202) バンダラナイケ　(203) アショーカ王　(204) シンハラ人
(205) インド＝ヨーロッパ語族　(206) 上座部仏教徒　(207) タミル人
(208) ドラヴィダ語族　(209) ヒンドゥー　(210) タミル＝イーラム解放のトラ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 26 講　テスト①

1　インドのイスラーム化のきっかけとなった 10 世紀成立のアフガニスタンのイスラーム王朝は。

①　ガズニー朝

②　ゴール朝

③　サイイド朝

④　奴隷王朝

2　デリー＝スルタン朝最後の王朝は。

①　トゥグルク朝

②　ロディー朝

③　ハルジー朝

④　ザンギー朝

3　ジズヤを廃止したムガル皇帝は。

①　バーブル

②　アクバル

③　シャー＝ジャハン

④　アウラングゼーブ

4　タージ・マハルを建立したムガル皇帝は。

①　バーブル

②　アクバル

③　シャー＝ジャハン

④　アウラングゼーブ

5　ジズヤを復活させたムガル皇帝は。

①　バーブル

②　アクバル

③　シャー＝ジャハン

④　アウラングゼーブ

6　ムガル帝国の公用語は。

①　英語

②　ウルドゥー語

③　ペルシャ語

④　アラビア語

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 26 講　テスト①解答

1　①　　2　②　　3　②　　4　③　　5　④　　6　③

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2

【ポルトガル】ポルトガルの (1)〔　　〕は (2)〔　　〕年にアフリカ西北端，ジブラルタル海峡の南岸の港市 (3)〔　　〕を攻略した。また彼が派遣した探検家が 1445 年にアフリカ大陸の最西端，(4)〔　　〕を発見した。

(5)〔　　〕世の命でポルトガルの航海者 (6)〔　　〕が出発しアフリカ南端を発見（1488 年），ジョアン２世が「(7)〔　　〕」と呼んだ。

ポルトガルの航海者 (8)〔　　〕はリスボンを出航し，喜望峰を回り，アフリカ東岸のイスラーム圏にそって北上し，(9)〔　　〕で水先案内人を得てインドに直航し (10)〔　　〕年 (11)〔　　〕に到達した。

【コロンブス】イタリア・フィレンツェの天文・地理学者 (12)〔　　〕の**地球球体説**がコロンブスの航路選択に影響したといわれる。

(13)〔　　〕は，レコンキスタ運動の完成（ナスル朝グラナダ王国のアルハンブラ宮殿陥落）を目撃した後，スペイン女王 (14)〔　　〕の後援を得て**パロス**を出航し 72 日のち**現バハマ諸島**に到着した。((15)〔　　〕年）

一行が最初に上陸した島は (16)〔　　〕と命名され，コロンブスの誤認によりカリブ海東部は**西インド諸島**と呼ばれるようになった。

【その他】イタリアの (17)〔　　〕は英王ヘンリ７世の後援で，現在のニューファンドランド・北アメリカ沿岸を探検した。

ブラジルはジョアン２世の時の (18)〔　　〕条約（(19)〔　　〕年）で認められていたが，ポルトガルの提督 (20)〔　　〕の漂着により中南米唯一のポルトガル領となった。また，スペインの探検家 (21)〔　　〕はパナマ地峡を横断した。

フィレンツェの (22)〔　　〕は４回にわたって新大陸を探検，「アメリカ」という名称のもととなった。

ポルトガル人の (23)〔　　〕はスペインのカルロス１世の援助で**セビーリャ**を出航，南アメリカ南端から太平洋を横断，(24)〔　　〕年現**フィリピン諸島**に到達したがマクタン島の首長に殺された。

解答

（１）エンリケ航海王子　（２）1415　（３）セウタ　（４）ヴェルデ岬　（５）ジョアン２
（６）バルトロメウ＝ディアス　（７）喜望峰（きぼうほう）　（８）ヴァスコ＝ダ＝ガマ　（９）マリンディ
(10) 1498　(11) カリカット　(12) トスカネリ　(13) コロンブス　(14) イサベル
(15) 1492　(16) サンサルバドル　(17) カボット父子　(18) トルデシリャス
(19) 1494　(20) カブラル　(21) バルボア　(22) アメリゴ・ヴェスプッチ
(23) マガリャンイス（マゼラン）　(24) 1521

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 26 講　テスト②

1　ポルトガルがアフリカ西岸（ヴェルデ岬）に到達したのは誰の時代か。

①　エンリケ航海王子
②　ジョアン２世
③　カルロス１世
④　フェリペ２世

2　ポルトガルがアフリカ南岸（喜望峰）に到達したのは誰の時代か。

①　エンリケ航海王子
②　ジョアン２世
③　カルロス１世
④　フェリペ２世

3　地球球体説を唱えたのは。

①　バルボア
②　コルテス
③　トスカネリ
④　カブラル

4　コロンブスの新大陸到達の年に起きたことは。

①　ビザンツ帝国滅亡
②　百年戦争終結
③　グラナダ陥落
④　アッコン陥落

5　1493 年に教皇アレクサンデル６世が定めた分界線の翌年の条約は。

①　サラゴサ条約
②　セーブル条約
③　カトーカンブレジ条約
④　トルデシリャス条約

第 26 講　テスト②解答

1　①　　2　②　　3　③　　4　③　　5　④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3

古代アメリカ文明の特色は青銅器文明であること，鉄器・車・牛・馬車などはなかったこと。農耕文化で，(1)〔　　〕・(2)〔　　〕・(3)〔　　〕・(4)〔　　〕などが作物。

【メキシコ文明】メキシコ中心のメソ＝アメリカ（中米）文明は，紀元前の先進文明が(5)〔　　〕文明。その後の(6)〔　　〕文明は「太陽のピラミッド・月のピラミッド」で有名。ずっと後代にメキシコシティつまり(7)〔　　〕にアステカ文明が栄える。スペイン人(8)〔　　〕により(9)〔　　〕年に滅んだ。(10)〔　　〕文明はメキシコの(11)〔　　〕半島から(12)〔　　〕にかけての文明で，ティカルとチチェンイツァが中心。マヤ文明はスペイン人に滅ぼされた。

【アンデス文明】南米アンデス文明の先進文明は(13)〔　　〕。13世紀成立のインカ帝国の都は(14)〔　　〕。高度な石造建築の技術で(15)〔　　〕や要塞を建設し，太陽を崇拝した。(16)〔　　〕を作らず(17)〔　　〕（結縄(けつじょう)）で数量を表した。**鉄器・車輪**や，馬などの大型の家畜は使用しなかった。インカ帝国最後の王**アタワルパ**は(18)〔　　〕年スペイン人(19)〔　　〕に騙(だま)されて殺され征服された。

(20)〔　　〕年に(21)〔　　〕の(22)〔　　〕が開削されるとインディオが奴隷として酷使(こくし)された。植民者が国から**先住民の教化と保護を条件に土地・住民の統治を委託され賦役労働を課す**のが(23)〔　　〕制。植民地機構としては管区統治の中枢(ちゅうすう)が(24)〔　　〕。17世紀からは(25)〔　　〕という大農園制に移行した。

スペインの聖職者(26)〔　　〕は1542年に『インディアスの破壊についての簡潔な報告』で虐待(ぎゃくたい)を非難，インディオからアフリカ人に労働力が変化した。植民地生まれの白人は(27)〔　　〕。インディオとの混血層が(28)〔　　〕。黒人との混血が(29)〔　　〕。

解答

（1）トウモロコシ　（2）ジャガイモ　（3）タバコ　（4）トマト　（5）オルメカ
（6）テオティワカン　（7）テノチティトラン　（8）コルテス　（9）1521　(10) マヤ
(11) ユカタン　(12) グアテマラ　(13) チャビン文明　(14) クスコ　(15) 神殿
(16) 文字　(17) キープ　(18) 1533　(19) ピサロ　(20) 1545　(21) ボリビア
(22) ポトシ銀山　(23) エンコミエンダ　(24) アウディエンシア　(25) アシエンダ
(26) ラス＝カサス　(27) クリオーリョ　(28) メスチーソ　(29) ムラート

第 26 講　テスト③

1　太陽のピラミッド・月のピラミッドがあるのは。

①　マチュピチュ
②　チチェンイツァ
③　テオティワカン
④　テノチティトラン

2　ポトシ銀山があるのは現在のどの国か。

①　ペルー
②　エクアドル
③　ボリビア
④　チリ

3　植民者が先住民のキリスト教化を条件に委託される制度は。

①　アシエンダ
②　アシエント
③　アウディエンシア
④　エンコミエンダ

4　大航海時代の新航路開拓がもたらしたヨーロッパの貿易構造の変化は。

①　商業革命
②　価格革命
③　生活革命
④　産業革命

5　15 ～ 16 世紀以降，エルベ川以東のドイツで発展した農業形態は。

①　ブルシェンシャフト
②　シュトルム・ウント・ドランク
③　グーツヘルシャフト
④　タンジマート

第 26 講　テスト③解答

1　③　　2　③　　3　④　　4　①　　5　③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4

【カンボジア】カンボジアはジュネーブ協定で独立後，(1)〔　　〕国王が統治した。**ベトナム戦争中の1970年に親米の**(2)〔　　〕政権ができたが，アメリカのインドシナ撤退によりベトナム戦争後の1976年に(3)〔　　〕となった。この連合政権は結局，シハヌーク派を追放した(4)〔　　〕((5)〔　　〕つまり(6)〔　　〕）独裁となり200万人前後の虐殺をもたらした。ポル＝ポトは毛沢東型の農村共産主義社会実現のために都市住民に農村への移住を強制し，拒否する者やブルジョワ的な者，ベトナム系住民を粛清した。

1978年にベトナムが侵攻しポル＝ポト派をジャングルに追い，(7)〔　　〕による**親ベトナム政権**となった。しかしこれが**カンボジア内戦**の幕開けとなる。ヘン＝サムリン政権はアメリカが支える(8)〔　　〕（旧ロン＝ノル派），中国が支える(9)〔　　〕と(10)〔　　〕との内戦に突入した。**米ソ冷戦と中ソ論争の代理戦争**である。

(11)〔　　〕年カンボジア和平の枠組みができ日本は初めて(12)〔　　〕に参加した。ヘン＝サムリン派の(13)〔　　〕の長期政権が続いている。

解答

（1）シハヌーク　（2）ロン＝ノル　（3）民主カンボジア　（4）クメール＝ルージュ
（5）赤色クメール　（6）ポル＝ポト派　（7）ヘン＝サムリン　（8）ソン＝サン派
（9）シハヌーク派　（10）ポル＝ポト派　（11）1991　（12）PKO（国連の平和維持活動）
（13）フン＝セン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

5

まずは，旧ユーゴスラヴィアは一つの(1)〔　　〕，二つの(2)〔　　〕(**ラテン・キリル**)，三つの(3)〔　　〕(**カトリック・ギリシア正教・イスラーム**)，四つの(4)〔　　〕(**スロヴェニア・クロアチア・セルビア・マケドニア**)，五つの(5)〔　　〕(これに**モンテネグロ族**)，六つの(6)〔　　〕(これに**ボスニア＝ヘルツェゴビナ共和国**)。

【第一次世界大戦後】第一次世界大戦でオーストリア＝ハプスブルク家とオスマン＝トルコが敗北し(7)〔　　〕(1918年）が建国された。これが1929年にセルビア人主導の(8)〔　　〕(南スラブ族の国）と改称された。が，クロアチア人は不満だ。

これに乗じたのがバチカン（カトリック教会）とヒトラー（ナチス＝ドイツ)。1933年に政権に就いたヒトラーは教皇ピウス11世と**政教条約**を結ぶ。1939年に第二次世界大戦が勃発，1941年ドイツはバルカン半島に侵攻する時に**クロアチア人と組んで**セルビア人35万人を虐殺した。これに対し(9)〔　　〕を繰り広げたのが(10)〔　　〕だった。

【第二次世界大戦後】終戦とともに発足したユーゴスラヴィア連邦人民共和国はティトーのカリスマ性ゆえにまとまっていた人工国家だった。共産主義者のティトーではあったがソ連のユーゴスラヴィア駐留を拒否し(11)〔　　〕を除名される（1948年)。(12)〔　　〕年には首都(13)〔　　〕で(14)〔　　〕を開いた。スカルノ・ナセル・ネルーらに呼びかけ実現した。そのティトーは1980年に死去。

ティトーが死んでもユーゴスラヴィアが解体しなかったのは冷戦という秩序があったからだ。

【冷戦終結後】しかし(15)〔　　〕年冷戦終了，(16)〔　　〕年ソ連崩壊。ティトー・共産主義という接着剤のはげたユーゴスラヴィアの解体が始まった。

まずスロヴェニアとマケドニアが連邦から離脱。次に(17)〔　　〕が離脱する！と，いう時にユーゴスラヴィア内戦が始まった。

(18)〔　　〕の(19)〔　　〕大統領は少数派となっている同胞を助け国内の人気を維持する政策だった。

解答

（1）連邦　（2）文字　（3）宗教　（4）言語　（5）民族　（6）共和国

（7）セルブ＝クロアート＝スロヴェーン王国　（8）ユーゴスラヴィア

（9）パルチザン闘争　（10）ティトー　（11）コミンフォルム　（12）1961

（13）ベオグラード　（14）非同盟諸国首脳会議　（15）1989　（16）1991

（17）クロアチア　（18）セルビア　（19）ミロシェヴィッチ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

セルビアとクロアチアの戦争を経てクロアチアが独立。1992 年に連邦は崩壊した。次に(20)〔　　〕が独立する時にミロシェヴィッチは(21)〔　　〕人と(22)〔　　〕人を(23)〔　　〕した。ボスニア＝ヘルツェゴビナの民族宗教分布は 40% がイスラーム教徒のムスリム人，32% がギリシア正教徒のセルビア人，18% がカトリック教徒のクロアチア人。この比率の暗記は必須！ 国連が介入し 1995 年にボスニア紛争は終結した。
次にミロシェヴィッチはセルビア国内(24)〔　　〕自治州の多数を占める(25)〔　　〕人（(26)〔　　〕教徒）に対する武装闘争を展開した。1989 年はコソヴォの戦い 600 周年だった。(27)〔　　〕年 6 月 28 日，オスマン＝トルコのスルタン，(28)〔　　〕世に中世セルビア王国の首都コソヴォが奪われた。その屈辱の 600 周年をセルビアはナショナリズム高揚に利用した。ロシアの(29)〔　　〕政権がセルビアを支持したのに対し，英米（(30)〔　　〕と(31)〔　　〕）主導の NATO 軍は(32)〔　　〕年に(33)〔　　〕を空爆しセルビアを撤退させた。

2003 年に新ユーゴスラビア連邦が解体しセルビア＝モンテネグロ成立。2006 年には(34)〔　　〕がセルビアと分離。2008 年に(35)〔　　〕がセルビアから独立し，結局ユーゴスラビアは 7 つに解体した。

ミロシェヴィッチは有罪判決の出た(36)〔　　〕で審理中に死亡した（2006 年）。

中世セルビア王国の(37)〔　　〕はウロシュ 2 世ともいう。1349 年に『ドゥシャン法典』を発布，中世セルビア王国領土最大の全盛期を築きあげた。死後，王国は急速に衰退した。大セルビア主義者の間では大いに評価されている人物だ。

解答

(20) ボスニア＝ヘルツェゴビナ　(21) ムスリム　(22) クロアチア　(23) 民族浄化（じょうか）
(24) コソヴォ　(25) アルバニア　(26) イスラーム　(27) 1389　(28) ムラト１
(29) エリツィン　(30) ブレア　(31) クリントン　(32) 1999　(33) ベオグラード
(34) モンテネグロ　(35) コソヴォ　(36) 旧ユーゴ国際戦犯法廷
(37) ステファン＝ドゥシャン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

6

【戦後アフリカ史】第二次世界大戦終結時の独立国は，第一次世界大戦勃発時から独立していたエチオピアとリベリアに，(1)〔　　〕と (2)〔　　〕を加え４つ。

(3)〔　　〕は 1951 年に連合王国として英仏から独立。(4)〔　　〕年のクーデターで共和国となり (5)〔　　〕が指導者。が，2011 年の「アラブの春」で処刑される。

(6)〔　　〕年には (7)〔　　〕が英・エジプトから，(8)〔　　〕が仏・スペインから，(9)〔　　〕が仏から独立。

(10)〔　　〕年には，(11)〔　　〕がアフリカ最初の黒人独立国家として英より独立，(12)〔　　〕が指導者。

(13)〔　　〕年には，(14)〔　　〕が仏より独立，(15)〔　　〕が指導者。

(16)〔　　〕年は**「アフリカの年」**といわれ，17 ヵ国が独立，その大半は (17)〔　　〕政権の (18)〔　　〕からの独立だ。

(19)〔　　〕年 (20)〔　　〕が (21)〔　　〕の指導で (22)〔　　〕から独立する時にカタンガ州の資源を巡りベルギー・アメリカが介入し**コンゴ動乱**（1960 ～ 1965 年）となった。結果 (23)〔　　〕親米独裁政権となりザイール（1971 年）に次いでコンゴ民主共和国（1997 年）と改称された。ナイジェリアはイギリスから独立した。その際に起きたのが (24)〔　　〕だ。

1963 年には (25)〔　　〕（OAU）がアフリカ独立諸国首脳会議で結成された。

南アフリカ共和国は (26)〔　　〕年にイギリス連邦から分離独立した。アパルトヘイトは (27)〔　　〕大統領の (28)〔　　〕年に法的に撤廃，アフリカ民族会議（ANC）議長 (29)〔　　〕が釈放され大統領になった (30)〔　　〕年に完全撤廃された。

アルジェリアはベン＝ベラが指導し (31)〔　　〕年の (32)〔　　〕でド＝ゴールのフランスから独立した。

アンゴラ･モザンビークはポルトガルの (33)〔　　〕政権が崩壊ししばらくたった (34)〔　　〕年に，東南アジアの (35)〔　　〕と共に独立した。

1980 年には南ローデシアが (36)〔　　〕としてイギリスから独立。

1990 年にはナミビアが (37)〔　　〕から独立。

(38)〔　　〕年から (39)〔　　〕で内戦となった。(40)〔　　〕統治下で優遇されていた少数派の牧畜系ツチ族に対し独立後に農耕系のフツ族が復讐し 100 日で 100 万人が虐殺された。

解答

（１）エジプト　（２）南アフリカ　（３）リビア　（４）1969　（５）カダフィ大佐
（６）1956　（７）スーダン　（８）モロッコ　（９）チュニジア　（10）1957
（11）ガーナ　（12）エンクルマ　（13）1958　（14）ギニア　（15）セク＝トゥーレ
（16）1960　（17）ド＝ゴール　（18）フランス　（19）1960　（20）コンゴ
（21）ルムンバ　（22）ベルギー　（23）モブツ　（24）ビアフラ戦争
（25）アフリカ統一機構　（26）1961　（27）デクラーク　（28）1991　（29）マンデラ
（30）1994　（31）1962　（32）エヴィアン協定　（33）サラザール　（34）1975
（35）東ティモール　（36）ジンバブエ　（37）南アフリカ　（38）1994　（39）ルワンダ
（40）ベルギー

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 27 講
ルネサンス・宗教改革

1

【ルネサンス】16 世紀アンリ２世の頃のフランスにル＝ネートル（フランス語で再び生まれる）という言葉が登場した。この言葉を 19 世紀のスイスの歴史家 (1)〔　　〕が『**イタリア＝ルネサンスの文化**』で概念としてのルネサンスとして確立した。

(2)〔　　〕という言葉がある。西欧における知の復興運動のことでシャルトルやパリなどの司教座（しきょうざ）付属の自由学芸教育の活性化から始まった。例えばローマ法への関心が高まり (3)〔　　〕大学で (4)〔　　〕教育が盛んになった。スペインの (5)〔　　〕らやシチリア島の (6)〔　　〕ではアラビア語の文献がラテン語に翻訳された。コルドバの (7)〔　　〕（ラテン名**アヴェロエス**）が解釈したアリストテレス哲学がラテン語に翻訳されカトリックの教義と融合し，(8)〔　　〕世紀に (9)〔　　〕の『(10)〔　　〕』が成立し (11)〔　　〕が大成した。

中世ヨーロッパを精神的に支配したのが教会だが，教会の価値観とは違うものを模索したのがルネサンスだ。ギリシア・ローマの古典古代にそれを見出した。人間中心の価値観だ。端的に表れているのが絵画における (12)〔　　〕だ。人間を中心に描き始めた。無論，神の存在を否定しているわけではない。(13)〔　　〕は『**人間の尊厳について**』で神が人間に自由意志を与えたと論じ，自由意志により天使にも悪魔にもなれると言った。16 世紀『(14)〔　　〕』を著した (15)〔　　〕は自由意志を肯定し自力救済を可能としたが，(16)〔　　〕は自由意志を認めず人間には原罪があるから神の恩寵（おんちょう）が必要だと主張した。

【フィレンツェ】13 世紀に (17)〔　　〕に生まれた (18)〔　　〕は (19)〔　　〕語（イタリア語）で『(20)〔　　〕』を書き，ラテン語カトリック世界に対する新たな世界への扉を，さらには将来の国民国家形成への道を開いた。14 世紀の (21)〔　　〕は『(22)〔　　〕』で教会のミサで知り合った貴婦人への想いをイタリア語の叙情詩に託した。その親友，(23)〔　　〕は『(24)〔　　〕(10 日物語)』でペスト禍の (25)〔　　〕での男女 10 人の暴露話を著し人間の欲望を肯定的写実的に描いたが，これは中世の終焉を告げる記念碑的作品となった。

1378 年に (26)〔　　〕という毛織物職人の労働争議が起きた。

解答

（1）ブルクハルト　（2）12 世紀ルネサンス　（3）ボローニャ　（4）法学
（5）トレド　（6）パレルモ　（7）イブン＝ルシュド　（8）13
（9）トマス＝アクィナス　（10）神学大全（しんがくたいぜん）　（11）スコラ哲学　（12）遠近法
（13）ピコ＝デル＝ミランドラ　（14）愚神礼讃（ぐしんらいさん）　（15）エラスムス　（16）ルター
（17）フィレンツェ　（18）ダンテ　（19）トスカーナ　（20）神曲（しんきょく）　（21）ペトラルカ
（22）カンツォニエーレ　（23）ボッカチオ　（24）デカメロン　（25）フィレンツェ
（26）チョンピの乱

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ダンテの親友の(27)〔　　〕はフィレンツェ近郊の生まれでチマブエの弟子らしい。フィレンツェ派絵画の基礎を築きイタリア＝ルネサンスの道を開いた。『聖(せい)フランチェスコの生涯(しょうがい)』が代表作。

ジョットーから造形技術を学んだのが 15 世紀の(28)〔　　〕。マサッチオの代表作はフィレンツェのサンタマリア＝デル＝カルミネ聖堂の『楽園追放(らくえんついほう)』。マサッチオはブルネレスキからは遠近法を学んだ。

(29)〔　　〕はフィレンツェのドゥオモ，(30)〔　　〕を設計した人物だ。またマサッチオは人体の構造は(31)〔　　〕から学んだ。精緻な人体研究の成果がドナテルロの『(32)〔　　〕』だ。ミケランジェロのものと間違えないでね。

フランス王(33)〔　　〕のイタリア侵入（イタリア戦争）によりメディチ家が追放された後，神秘主義者の修道院長(34)〔　　〕が禁欲的狂信的な改革をしたが，それに影響され自らの作品を広場で焼き画家として自滅し宗教家として余生を過ごしたのが，『(35)〔　　〕』『(36)〔　　〕』の作者(37)〔　　〕。

サヴォナローラの神権政治の後外交官として活躍したのが(38)〔　　〕。彼の著作『(39)〔　　〕』(1513 年）のモデルは教皇(40)〔　　〕の庶子(しょし)チェーザレ＝ボルジアで，混乱期のイタリアを統一する君主にライオンの力と狐の狡猾(こうかつ)さを求め政治を倫理・道徳と切り離す徹底した現実主義を示した。

サヴォナローラの権力期に逃れていたのが(41)〔　　〕。代表作はローマのバチカン・(42)〔　　〕大聖堂にある「ピエタ」と(43)〔　　〕にある「(44)〔　　〕」。ボッティチェリの友人が(45)〔　　〕。ルネサンスが理想とした万能人（普遍人）の典型だ。「(46)〔　　〕」がパリの(47)〔　　〕美術館にあるのは，フランス・ヴァロワ朝の(48)〔　　〕がパリに招いたから。出身村のヴィンチ村はフィレンツェ近郊。

二人の影響を受け聖母子像を描き 37 歳で急逝(きゅうせい)したのが(49)〔　　〕。彼の叔父の(50)〔　　〕は 1506 年に教皇(きょうこう)(51)〔　　〕世からバチカン・(52)〔　　〕の修築を命じられ，事業はミケランジェロ，ベルニーニに受け継がれ 17 世紀に完成した(53)〔　　〕の傑作となった。

【イタリア＝ルネサンスの背景】①ギリシア・ローマ古典古代の文化遺産が多くあることと中世の大学の人文学部での古典研究がなされた。②十字軍・東方貿易を通じてイスラーム世界と接触した。③ビザンツ帝国の滅亡（1453 年）を通じて古典文化が流入した。④東方貿易の発展で都市が勃興，新興市民階級が台頭し中世の閉塞(へいそく)感から脱却する気運。⑤教皇や都市の富豪が学芸を保護・奨励した。⑥政治的統一が不在で，新たな価値観が芽生え易く有能な人材に活躍の場があった。

解答

(27) ジョットー　(28) マサッチオ　(29) ブルネレスキ
(30) サンタマリア＝デル＝フィオーレ大聖堂　(31) ドナテルロ　(32) ダビデ
(33) シャルル８世　(34) サヴォナローラ　(35) 春(はる)　(36) ヴィーナスの誕生(たんじょう)
(37) ボッティチェリ　(38) マキャヴェリ　(39) 君主論(くんしゅろん)　(40) アレクサンデル６世
(41) ミケランジェロ　(42) サン＝ピエトロ　(43) システィナ礼拝堂
(44) 最後(さいご)の審判(しんぱん)　(45) レオナルド＝ダ＝ヴィンチ　(46) モナリザ　(47) ルーブル
(48) フランソワ１世　(49) ラファエロ　(50) ブラマンテ　(51) ユリウス２
(52) サン＝ピエトロ大聖堂　(53) ルネサンス様式

第 27 講　テスト①

1　ローマ法の法学教育で有名な大学は。
①　サレルノ大学
②　ナポリ大学
③　ボローニャ大学
④　プラハ大学

2　ダンテは『神曲』を何語で書いたか。
①　ギリシア語
②　ラテン語
③　ヘブライ語
④　トスカーナ語

3　イタリア戦争は，どのフランス王のイタリア侵入で始まったか。
①　シャルル７世
②　シャルル８世
③　アンリ２世
④　フランソワ１世

4　レオナルド＝ダ＝ヴィンチをフランスに招いたフランス王は。
①　シャルル７世
②　シャルル８世
③　アンリ２世
④　フランソワ１世

5　正しくない組み合わせは。
①　ファン＝アイク兄弟 ― フランドル絵画，油絵画法
②　デューラー ― ドイツの画家・版画家「四人の使徒」
③　ブリューゲル ― フランドルの「農民画家」
④　ラブレー ―「エラスムス像」，ヘンリ８世の肖像画

第 27 講　テスト①解答

1　③　　2　④　　3　②　　4　④　　5　④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2

【ルター】ローマ教皇レオ 10 世はローマのサン = ピエトロ大聖堂の修築費用の調達を思案した。分裂状態だったのでローマ教会の搾取の対象となっていた（「ローマの牝牛」）ドイツで (1)〔　　〕（免罪符）販売を強化したことにたいし，(2)〔　　〕年に (3)〔　　〕が (4)〔　　〕教会に「(5)〔　　〕」をはりつけ抗議し宗教改革がはじまった。

ルターは使徒 (6)〔　　〕の教説に依拠し「人は信仰によってのみ救われる」ことを強調し『(7)〔　　〕』を著して (8)〔　　〕義認説を展開した。

ハプスブルク家の神聖ローマ皇帝 (9)〔　　〕（スペイン王カルロス１世）は，(10)〔　　〕でルターに自説撤回を命じたが応じなかったので，法律の保護外に置いた。ルターは (11)〔　　〕による善意の誘拐により (12)〔　　〕城で (13)〔　　〕した。これは (14)〔　　〕がギリシア語とラテン語双方により作成したものを翻訳したものである。

その影響で騎士戦争や (15)〔　　〕指導の (16)〔　　〕が起きたがルターは態度を変えこれらの戦争を支持しなかった。１世紀にパウロは「クリスチャンは上位の権威に従うべきだ」と言った。上位の権威とは 16 世紀のドイツの農民にとってはハプスブルク家ということになる。

同時期，フランスのヴァロワ朝は (17)〔　　〕の時代だった。彼は (18)〔　　〕をパリに招き「フランス・ルネサンスの父」と呼ばれた王である。(19)〔　　〕世に始まるイタリア政策とイタリア戦争を継続し，神聖ローマ皇帝の選挙に立候補するなど（ヘンリ８世も立候補した）精力的な人物でカール５世と対立した。

ドイツの領邦君主（諸侯）が，最高の司教として領内の教会の保護支配権を掌握する制度を (20)〔　　〕という。それはルター主義の導入によって確立した。つまりルター派諸侯ができあがったのだ。

カール５世は，オスマン帝国の (21)〔　　〕世が (22)〔　　〕年に (23)〔　　〕を敢行すると諸侯にルター派を一度認めた。しかし，スレイマン１世が寒冷と兵糧不足のために退却すると再びルター的信仰を禁じたので，ルター派諸侯はプロテスト（抗議）し (24)〔　　〕年 (25)〔　　〕を結成した。1535 年の (26)〔　　〕でフランソワ１世はスレイマン１世に臣下の礼をとり，(27)〔　　〕というオスマン帝国内の通商や旅行の特権（治外法権）が慣習化した。

解答

（１）贖宥状　（２）1517　（３）ルター　（４）ヴィッテンベルク　（５）九十五ヵ条の論題
（６）パウロ　（７）キリスト者の自由　（８）信仰　（９）カール５世
（10）ヴォルムス帝国議会　（11）ザクセン選帝侯フリードリヒ　（12）ヴァルトブルク
（13）新約聖書をドイツ語に翻訳　（14）エラスムス　（15）ミュンツァー　（16）農民戦争
（17）フランソワ１世　（18）レオナルド = ダ = ヴィンチ　（19）シャルル８
（20）領邦教会制　（21）スレイマン１　（22）1529　（23）第１次ウィーン包囲
（24）1530　（25）シュマルカルデン同盟　（26）フランス = トルコ同盟
（27）カピチュレーション

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【スイスの宗教改革】スイスの(28)〔　　〕では(29)〔　　〕が宗教改革を開始したがルターと教義面で決裂し失敗した。(30)〔　　〕では(31)〔　　〕が宗教改革を断行，政教一致の神裁政治を行った。カルヴァンの著作はバーゼルで出版した『(32)〔　　〕』。信仰の基準を聖書に置く(33)〔　　〕主義。模範的信者が監督となる(34)〔　　〕制度。万人祭司（ばんにんさいし）主義は新教諸派に共通する考えだ。カルヴァン派はフランスでは(35)〔　　〕（幽霊），イングランドでは(36)〔　　〕（清教徒），スコットランドでは(37)〔　　〕（長老派），ネーデルラントでは(38)〔　　〕（乞食）と呼ばれた。

解答

（28）チューリヒ　（29）ツヴィングリ　（30）ジュネーヴ　（31）カルヴァン
（32）キリスト教綱要（こうよう）　（33）福音（ふくいん）　（34）長老　（35）ユグノー　（36）ピューリタン
（37）プレスビテリアン　（38）ゴイセン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 27 講　テスト②

1　以下のうち，カトリック教会における監督制度は。

①　司教主義
②　万人祭司主義
③　長老主義
④　福音主義

2　正しくない組み合わせは。

①　ルター ― ヴィッテンベルク
②　ツヴィングリ ― チューリヒ
③　カルヴァン ― ジュネーヴ
④　ミュンツァー ― パリ

3　ルター関連の出来事のうち３番目にくるのは。

①　ヴォルムス帝国議会
②　九十五ヵ条の論題
③　『新約聖書』のドイツ語訳
④　ドイツ農民戦争

4　正しくない組み合わせは。

①　ヘンリ８世 ― 首長法
②　カール５世 ― イタリア戦争
③　エリザベス１世 ― 統一法
④　フランソワ１世 ― シュマルカルデン同盟

第 27 講　テスト②解答

1　①　　2　④　　3　③　　4　④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 28 講
ヨーロッパ主権国家の成立① 宗教戦争

【シュマルカルデン戦争】神聖ローマ帝国では，親ハプスブルク（カトリック）諸侯と反ハプスブルク（プロテスタント）諸侯の間に (1)〔　　〕が起き，(2)〔　　〕年の (3)〔　　〕の宗教和議で領主や都市の単位でルター派の信仰をカール５世は認めた。(4)〔　　〕の信仰と (5)〔　　〕の信仰の自由は認められなかった。カール５世は (6)〔　　〕年に教皇 (7)〔　　〕世と北イタリアの (8)〔　　〕（カトリックが宗教裁判を強化し教皇の至上性と (9)〔　　〕を確認するのみ）を開催していたのだが（1563 年まで）調停に失敗したため，1556 年失意のうちに引退した。

【イエズス会】カトリック側では (10)〔　　〕年に (11)〔　　〕のモンマルトルの丘の教会で，バスク（スペイン）人 (12)〔　　〕と (13)〔　　〕が結成した (14)〔　　〕の活動が活発になる。イタリア人 (15)〔　　〕は (16)〔　　〕の時代の明に伝道した。

【ユグノー戦争】フランスにおける宗教戦争がユグノー戦争だ。ヴァロワ朝の (17)〔　　〕世の母 (18)〔　　〕が黒幕だ。娘マルグレーテ（カトリック）とアンリ＝ド＝ナヴァル（ユグノー）の結婚で宗教戦争が丸く収まるはずだった結婚式の場が，(19)〔　　〕（1572 年）と化しユグノー戦争は激化した。(20)〔　　〕世が暗殺されヴァロワ朝は断絶。ブルボン家の (21)〔　　〕世（先の婚儀の新郎）がカトリック改宗後 (22)〔　　〕年に (23)〔　　〕を出し戦争は終結した。ユグノー戦争の時期に主権概念をヴァロワ朝の王権に援用したのが (24)〔　　〕だ。

【スペイン＝ハプスブルク家】**イベリア半島（スペイン・ポルトガル）からイスラーム教徒とユダヤ教徒を追放するキリスト教徒の運動を** (25)〔　　〕（国土回復）運動というが，イスラーム史におけるウマイヤ朝の 718 年に始まり 1492 年に終了した。この運動の中心がカスティーリャ王国とアラゴン王国であるが，それぞれの王国のイザベラ女王とフェルナンド２世（スペイン王としてはフェルナンド５世）が結婚して合同，(26)〔　　〕年にスペイン王国が成立，(27)〔　　〕年には (28)〔　　〕朝 (29)〔　　〕王国（アルハンブラ宮殿）を征服し同運動は終了した。

解答

（１）シュマルカルデン戦争　（２）1555　（３）アウクスブルグ　（４）カルヴァン派
（５）個人　（６）1545　（７）パウルス３　（８）トリエント公会議　（９）禁書目録（きんしょもくろく）
（10）1534　（11）パリ　（12）イグナティウス＝ロヨラ　（13）フランシスコ＝ザビエル
（14）イエズス会　（15）マテオ＝リッチ　（16）万暦帝　（17）シャルル９
（18）カトリーヌ＝ド＝メディシス　（19）サン＝バルテルミの虐殺　（20）アンリ３
（21）アンリ４　（22）1598　（23）ナントの王令　（24）ボーダン　（25）レコンキスタ
（26）1479　（27）1492　（28）ナスル　（29）グラナダ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【フェリペ２世】この夫婦の孫がスペイン王カルロス１世つまり神聖ローマ皇帝カール５世だ。彼はフランドル地方のガンで生まれたのでネーデルランド（低地地方）を尊重したが，同地域を継承した息子 (30)〔　　〕はイングランド女王 (31)〔　　〕と結婚し強力にカトリック拡大を推めた。フェリペ２世のカトリック拡大政策の拠点が**マドリード近郊の** (32)〔　　〕**宮殿**だ。

【ネーデルラント独立戦争】(33)〔　　〕の**カトリック主義**と (34)〔　　〕（アントウェルペン）を中心とする**毛織物産業の富への収奪**に反抗し，(35)〔　　〕年に 80 年にわたる (36)〔　　〕戦争が始まった。スペイン・ハプスブルク家は**カトリックの南部 10 州**を (37)〔　　〕((38)〔　　〕派）の北部と分離させることに成功。ホラント州（日本語オランダの語源）を中心とする**北部７州**は (39)〔　　〕を中心に (40)〔　　〕年に (41)〔　　〕同盟を結成し，(42)〔　　〕年に (43)〔　　〕として独立を宣言したが, (44)〔　　〕(アントウェルペン) はスペイン側に奪われた。だからアントワープは現在 (45)〔　　〕にあるが，同地はバロックの画家 (46)〔　　〕の街そして**『フランダースの犬』**の舞台である。

(47)〔　　〕年**スペインの無敵艦隊**がイングランドのエリザベス１世に (48)〔　　〕戦争で敗れた後，1598 年フェリペ２世も死去し（同年，豊臣秀吉も死去），(49)〔　　〕年オランダ独立戦争は休戦条約が結ばれる。同年オランダは長崎県 (50)〔　　〕に商館を設置，(51)〔　　〕年には (52)〔　　〕に (53)〔　　〕(現 (54)〔　　〕)）を建設した。17 世紀中頃の覇権国家はオランダだ。その象徴的な画家が**「夜警（やけい）」**を描いた (55)〔　　〕だ。レコンキスタ運動でスペインを追放されオランダに流れてきた**ユダヤ人マネーがオランダをのし上げた**。1602 年のオランダ東インド会社は世界初の株式会社だ。アムステルダムの運河沿いにはナチスのゲシュタポに捕まったユダヤ人少女**アンネ＝フランク**の隠れ家がある。(56)〔　　〕は 17 世紀前半西ヨーロッパ一の繁栄を誇り金融の中心になった。

解答

(30) フェリペ２世　(31) メアリ１世　(32) エル＝エスコリアル　(33) フェリペ２世
(34) アントワープ　(35) 1568　(36) ネーデルラント独立（オランダ独立）
(37) ゴイセン　(38) カルヴァン　(39) オレンジ公ウィリアム　(40) 1579
(41) ユトレヒト　(42) 1581　(43) ネーデルラント連邦共和国　(44) アントワープ
(45) ベルギー　(46) ルーベンス　(47) 1588　(48) アルマダ　(49) 1609　(50) 平戸
(51) 1619　(52) ジャワ島　(53) バタヴィア　(54) ジャカルタ　(55) レンブラント
(56) アムステルダム

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【鎖国(さこく)】(57)〔　　〕の乱の後，江戸３代将軍徳川家光(とくがわいえみつ)は(58)〔　　〕年にカトリックの(59)〔　　〕に来航を禁止した。いわゆる鎖国令だ。オランダにたいしては**平戸の商館を閉鎖し，活動を長崎の出島に限定し長崎奉行(ぶぎょう)の監視下**に置いた。オランダに甘かったことが顕著なのは東京駅を見ればわかる。アムステルダム中央駅を模して作られた。新幹線が発着する八重洲(やえす)口の八重洲は 1600 年に漂着したオランダ船リーフデ号の乗組員ヤン＝ヨーステンに由来する。

豊臣秀吉最晩年の 1596 年にスペイン船サン＝フェリペ号が高知に漂着した。そしてスペインには日本をフィリピン化（カトリック化）する野望があることを聞き出した。ちなみに秀吉はフェリペ２世の存在を知っていたという。秀吉は乗組員を処刑した。徳川家康はリーフデ号の乗組員アダムズやヤン＝ヨーステンにこの件を問い合わせオランダ寄りに立場を定めた。

【30 年戦争】(60)〔　　〕年(61)〔　　〕の新教徒が神聖ローマ帝国つまりオーストリア＝ハプスブルク家にたいし反乱を起こしドイツ 30 年戦争がはじまる。ベーメン（ボヘミア）スラヴ系チェック人の地，そしてフス派の恨みがわだかまる地だ。この反抗にファルツ侯，(62)〔　　〕王（クリスチャン４世），(63)〔　　〕王（(64)〔　　〕）が加わり**リュッツェンの戦い**で戦死（傭兵隊長として帝国側には(65)〔　　〕が雇われたが野心を疑われ暗殺された），宰相(66)〔　　〕のときの**フランスが** 1635 年に**カトリック（旧教国）でありながら新教側で参戦**し，30 年戦争は宗教戦争というよりも「**勢力均衡**」のための戦争へと変質した。

この戦争の間にオランダの(67)〔　　〕（**国際法の父**と呼ばれる）は傭兵隊による悲惨なこの戦争を見て『(68)〔　　〕』を著わす。戦争と平和の二分法はイスラームの発想にヒントを得ている。

終結時の(69)〔　　〕年の(70)〔　　〕で，(71)〔　　〕と(72)〔　　〕が正式にハプスブルク家から独立，フランスは(73)〔　　〕地方と(74)〔　　〕の３都市（メッツ・トゥール・ヴェルダン）を獲得，(75)〔　　〕派の信仰も認められた。また，ドイツの 300 以上の(76)〔　　〕に(77)〔　　〕が認められたので同条約は「神聖ローマ帝国の死亡証明書」といわれ，神聖ローマ帝国は有名無実化，ヨーロッパは(78)〔　　〕家優位の時代へと突入した。好況の 16 世紀と比較した「**17 世紀の危機**」の最大の事例が 30 年戦争ということになる。

(79)〔　　〕は 20 世紀のドイツの社会学者。人間による支配をカリスマ的支配・伝統的支配・合法的支配に分類したことで知られる。『(80)〔　　〕』（1904 年）で資本主義の動因を**カルヴァン派の禁欲・勤勉・蓄財こそが神の栄光になるという職業召命説から説明**した。カトリックは蓄財を否定したが，カルヴァンは天職に励んだ結果としての蓄財を認めた。また(81)〔　　〕では魂の救いは人間の意志と善行とは無関係であり，あらかじめ神によって決められていると説いた。

解答

（57）島原　（58）1639　（59）ポルトガル　（60）1618　（61）ベーメン
（62）デンマーク　（63）スウェーデン　（64）グスタフ＝アドルフ
（65）ヴァレンシュタイン　（66）リシュリュー　（67）グロティウス　（68）戦争と平和の法
（69）1648　（70）ウェストファリア条約　（71）スイス　（72）オランダ　（73）アルザス
（74）ロレーヌ　（75）カルヴァン　（76）領邦　（77）主権　（78）ブルボン
（79）マックス＝ヴェーバー　（80）プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神
（81）予定説

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 28 講　テスト

1　以下のうち主権国家体制と明らかに無関係の用語は。

①　常備軍

②　官僚制

③　イタリア戦争

④　百年戦争

2　商人が職人や農民に原材料や道具を前貸しして加工させ，加工賃を支払って生産物を引き取る経営形態は。

①　中間団体

②　問屋制

③　マニュファクチュア（工場制手工業）

④　機械制工場

3　ユトレヒト同盟（1579）の中心人物で，オランダ独立戦争初期の指導者は。

①　ヴァレンシュタイン

②　グスタフ＝アドルフ

③　ヨハン＝クライフ

④　オラニエ公ウィレム（オレンジ公ウィリアム）

4　グレゴリウス暦を教皇グレゴリウス 13 世が導入したのは。

①　1580 年

②　1581 年

③　1582 年

④　1583 年

5　ウェストファリア条約でスウェーデンが獲得した地域は。

①　ロレーヌ

②　シュレジェン

③　西ポンメルン

④　カレリア

第 28 講　テスト解答

1　④　　2　②　　3　④　　4　③　　5　③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第29講
ヨーロッパ主権国家の成立② フランス

(1)〔　　〕年（フランス革命のちょうど200年前）にフランス＝(2)〔　　〕を創始した(3)〔　　〕は，1604年にフランス(4)〔　　〕を設立した。(5)〔　　〕が(6)〔　　〕川をさかのぼり1608年に現(7)〔　　〕にビーバーの毛皮を求めて(8)〔　　〕植民地を建設した。

【ルイ13世】息子の(9)〔　　〕が(10)〔　　〕年に(11)〔　　〕を停止して王権を強化した。宰相(12)〔　　〕は30年戦争においては新教側で参戦することを進言し(13)〔　　〕家の弱体化を図った。フランス学士院（(14)〔　　〕）を組織しフランス語の統一と洗練を行った。

【ルイ14世】(15)〔　　〕世が5歳で即位すると(16)〔　　〕が宰相となった。30年戦争の(17)〔　　〕条約（(18)〔　　〕年）では(19)〔　　〕と(20)〔　　〕の3都市を獲得。**フランス＝ブルボン家の両ハプスブルク家に対する全面的優位が決定的**となった。この年，王権の伸長（しんちょう）に反対する高等法院（フランスの最高司法機関で王の勅令を審査する権限があった）や貴族による(21)〔　　〕が起きた。幼少のルイ14世はパリを脱出したが，マザランが収拾した。

(22)〔　　〕年（清の康熙帝（こうきてい）即位の年）にルイ14世が親政を開始する。教育係(23)〔　　〕仕込みの(24)〔　　〕説を信奉「朕（ちん）は国家なり」と言ったとされる。フランスのカトリック教会をコントロールする(25)〔　　〕に絶対君主ぶりが顕著である。

東インド会社再建を行った(26)〔　　〕を起用して重商主義をすすめ，特権マニュファクチュアが発展する。インドに(27)〔　　〕・(28)〔　　〕という拠点が築かれた。(29)〔　　〕が(30)〔　　〕川流域を開拓し(31)〔　　〕植民地（ルイ14世にちなむ）が形成された。

(32)〔　　〕年に**カトリック重視政策をとり「ナントの王令」を廃止したので，多くのユグノーが国外に逃避し経済に打撃となった。**

(33)〔　　〕様式の(34)〔　　〕を建立したのはルイ14世だ。

解答

（1）1589　（2）ブルボン朝　（3）アンリ４世　（4）東インド会社
（5）シャンプラン　（6）セントローレンス　（7）カナダ　（8）ケベック
（9）ルイ13世　（10）1615　（11）三部会　（12）リシュリュー　（13）ハプスブルク
（14）アカデミー＝フランセーズ　（15）ルイ14　（16）マザラン　（17）ウェストファリア
（18）1648　（19）アルザス　（20）ロレーヌ　（21）フロンドの乱　（22）1661
（23）ボシュエ　（24）王権神授　（25）ガリカニズム　（26）コルベール
（27）シャンデルナゴル　（28）ポンディシェリ　（29）ラサール　（30）ミシシッピ
（31）ルイジアナ　（32）1685　（33）バロック　（34）ヴェルサイユ宮殿

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(35)〔　　〕により (36)〔　　〕, (37)〔　　〕, (38)〔　　〕, (39)〔　　〕の４つの侵略戦争を行った。これら４つは，**イギリスとカナダをめぐる４つの戦争（第２次英仏百年戦争の前半戦）**に以下のように対応する。

南ネーデルラント継承戦争
オランダ侵略戦争
ファルツ（継承）戦争――――――――――――――――ウィリアム王戦争
スペイン継承戦争（(40)〔　　〕条約・(41)〔　　〕年）――――アン女王戦争
オーストリア継承戦争――――――――――――――――ジョージ王戦争
七年戦争――――――― （(42)〔　　〕条約・(43)〔　　〕年）フレンチ＝インディアン戦争

【スペイン継承戦争】スペイン＝(44)〔　　〕家は，イサベル＆フェルナンド５世の孫カルロス１世→フェリペ２世→フェリペ３世→フェリペ４世（宮廷画家 (45)〔　　〕の代表作「ラス・メニーナス＝女官たち」はマドリードのプラド美術館の目玉）→ (46)〔　　〕。近親結婚がたたってカルロス２世は発育不良で早死に。跡取りがなくスペイン＝ハプスブルク家は断絶。ルイ 14 世は妻マリーテレーズの異母弟が (47)〔　　〕であったことから継承権を主張し，孫のフィリップを (48)〔　　〕として即位させたのでオーストリア・イギリス・オランダが反対しハプスブルク家のカール（のちのカール６世）を擁立して戦争となった。

(49)〔　　〕年の (50)〔　　〕条約で**フェリペ５世の王位継承権は承認されたがスペインとフランスとの合併は禁止**された。イギリスはスペイン＝ブルボン家から (51)〔　　〕・(52)〔　　〕を獲得した。ジブラルタルは現在もイギリス領だ。フランス＝ブルボン家はイギリスに (53)〔　　〕・(54)〔　　〕・(55)〔　　〕を割譲した。またイギリスは黒人奴隷の供給契約である (56)〔　　〕を得た。

講和会議後，(57)〔　　〕が『永久平和草案』を提出した。

解答

(35) 自然国境説　(36) 南ネーデルラント継承戦争　(37) オランダ侵略戦争
(38) ファルツ戦争　(39) スペイン継承戦争　(40) ユトレヒト　(41) 1713　(42) パリ
(43) 1763　(44) ハプスブルク　(45) ベラスケス　(46) カルロス２世
(47) カルロス２世　(48) フェリペ５世　(49) 1713　(50) ユトレヒト
(51) ジブラルタル　(52) ミノルカ島　(53) ニューファンドランド　(54) アカディア
(55) ハドソン湾地方　(56) アシエント権　(57) サン＝ピエール

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第29講　テスト

1　ルイ14世がフランスのカトリック教会をコントロールすることを何というか。

①　王権神授説

②　自然国境説

③　重商主義

④　ガリカニズム

2　スペイン継承戦争でスペインの王家は何家になったのか。

①　ブルボン家

②　ハプスブルク家

③　アンジュー家

④　ヴァロワ家

3　スペイン継承戦争と直接関係がないものは。

①　ルイ13世

②　ルイ14世

③　ユトレヒト条約

④　ラシュタット条約

4　次の組み合わせのうち誤りのあるものは。

①　ユグノー戦争 — ボーダン

②　ルイ14世 — ボシュエ

③　チャールズ1世 — フィルマー

④　ジェームズ1世 — コルベール

5　次の組み合わせのうち誤りのあるものは。

①　アンリ4世 — セントローレンス川 — シャンプラン

②　ルイ14世 — ミシシッピ川 — ラサール

③　ナポレオン1世 — ナイル川 — ロゼッタ＝ストーン

④　ナポレオン3世 — メコン川 — ニューオーリンズ

第29講　テスト解答

1　④　　2　①　　3　①　　4　④　　5　④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 30 講
ヨーロッパ主権国家の成立③ プロイセン・オーストリア

12 世紀に**エルベ川西岸からオーデル川流域一帯**につくられた (1)〔　　〕を 15 世紀以降支配したのが (2)〔　　〕だ。同家は次いでプロイセンも支配した。

プロイセン公国とは十字軍期の三大宗教騎士団の一つヴェンデ十字軍の (3)〔　　〕が南に発展し 13 世紀に征服を完成した地域だ。現ポーランド付近で中心は (4)〔　　〕。

【フリードリヒ＝ヴィルヘルム】ブランデンブルク＝プロイセンは大選帝侯（せんていこう）(5)〔　　〕が 30 年戦争で (6)〔　　〕を獲得し領土を拡大した。(7)〔　　〕川以東の地域の地主貴族を (8)〔　　〕という。彼らは農奴の賦役労働により (9)〔　　〕（**農場領主制**）を展開，資本主義生産の発展した**西欧社会への輸出穀物**を生産した。

【フリードリヒ１世】スペイン継承戦争で神聖ローマ皇帝（ハプスブルク家）側に立って参戦し 1701 年に (10)〔　　〕となった。(11)〔　　〕世の時でその都が (12)〔　　〕だ。

【フリードリヒ＝ヴィルヘルム１世】プロイセン王国は (13)〔　　〕世（兵隊王）が軍国の基礎を築いた。

【フリードリヒ２世（大王)】その息子 (14)〔　　〕世は (15)〔　　〕（**『哲学書簡＝イギリスだより』でイギリスを賛美しフランスの後進性を批判**）の影響を受けた (16)〔　　〕。(17)〔　　〕にある (18)〔　　〕様式の (19)〔　　〕にはヴォルテールの部屋がある。「**君主は国家第一の僕**」と述べ『反マキャベリ論』を著し進歩的な態度を示したが，実態は上からの近代化と富国強兵をめざし議会開設や憲法制定に無関心な警察国家だった。

解答

（１）ブランデンブルク辺境伯領　（２）ホーエンツォレルン家　（３）ドイツ騎士団領
（４）ケーニヒスベルク　（５）フリードリヒ＝ヴィルヘルム　（６）東ポンメルン
（７）エルベ　（８）ユンカー　（９）グーツヘルシャフト　(10) プロイセン王国
(11) フリードリヒ１　(12) ベルリン　(13) フリードリヒ＝ヴィルヘルム１
(14) フリードリヒ２　(15) ヴォルテール　(16) 啓蒙（けいもう）専制君主　(17) ポツダム
(18) ロココ　(19) サンスーシ宮殿

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【オーストリア＝ハプスブルク家】(20)〔　　〕年のオスマントルコの(21)〔　　〕を撃退し，(22)〔　　〕年の(23)〔　　〕で**ハンガリーとトランシルヴァニア**を獲得し**東に領土を拡大し複合多民族国家となった**。

皇帝(24)〔　　〕は王位継承法（プラグマテッシェ＝ザンクティオン）で女子相続を諸侯に認めさせ（フランク王国サリー支族サリカ法では女王および女子継承を禁じている），娘(25)〔　　〕に継承した。

【オーストリア継承戦争】フリードリヒ２世はマリア＝テレジアのハプスブルク家継承問題から起きた1740年の(26)〔　　〕に参戦し，オーストリアから鉱物資源が豊富な(27)〔　　〕を獲得した。

【七年戦争】シュレジェンをフリードリヒ２世から取り戻したいオーストリアのマリア＝テレジアは，フランス＝ブルボン家と提携（(28)〔　　〕）した。その証として末娘の(29)〔　　〕が(30)〔　　〕世に嫁いだ。孤立したプロイセンの先制攻撃で七年戦争がはじまるが，結局(31)〔　　〕年の(32)〔　　〕条約でプロイセン王国がシュレジェンを確保した。

このホーエンツォレルン朝プロイセン王国（(33)〔　　〕年～(34)〔　　〕年）は第一次世界大戦終結時まで続くことになる。

【ヨーゼフ２世】母マリア＝テレジアとハプスブルク家領を共同統治したのが(35)〔　　〕。啓蒙専制君主として(36)〔　　〕による土地改革や(37)〔　　〕で新教・ギリシア正教を認め，(38)〔　　〕人の待遇も改善した。この母子の宮廷音楽家が(39)〔　　〕である。

解答

(20) 1683　(21) 第２次ウィーン包囲　(22) 1699　(23) カルロヴィッツ条約
(24) カール６世　(25) マリア＝テレジア　(26) オーストリア継承戦争
(27) シュレジェン　(28) 外交革命　(29) マリ＝アントワネット　(30) ルイ16
(31) 1763　(32) フベルトゥスブルク　(33) 1701　(34) 1918　(35) ヨーゼフ２世
(36) 農奴解放令　(37) 宗教寛容令　(38) ユダヤ　(39) モーツァルト

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 30 講　テスト

1　サンスーシ宮殿は。

①　ロココ様式

②　ロマネスク様式

③　ドーリア様式

④　バロック様式

2　グーツヘルシャフトはどの川より東で行われた農奴制か。

①　ライン

②　ドナウ

③　オーデル

④　エルベ

3　マリア＝テレジアの娘は。

①　エリザベタ

②　マリ＝アントワネット

③　ポンパドール

④　マタハリ

4　ホーエンツォレルン家の当主を正しく並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　フリードリヒ１世

②　フリードリヒ２世

③　フリードリヒ＝ヴィルヘルム

④　フリードリヒ＝ヴィルヘルム１世

5　プロイセンに王号が与えられたのは誰のときか。

①　フリードリヒ１世

②　フリードリヒ２世

③　フリードリヒ＝ヴィルヘルム

④　フリードリヒ＝ヴィルヘルム１世

第 30 講　テスト解答

1　①　　2　④　　3　②　　4　④　　5　①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 31 講
ヨーロッパ主権国家の成立④ ロシア

【タタールのくびき】1223 年のカルカ河畔(かはん)の戦いでロシア諸侯が敗れてからの 200 年以上にわたるモンゴル人によるロシア支配を (1)〔　　〕という。

(2)〔　　〕の孫の (3)〔　　〕がつくった (4)〔　　〕が (5)〔　　〕の遠征により揺らぎ，そこから (6)〔　　〕国が自立した。時の大公 (7)〔　　〕はビザンツ皇帝の姪と婚姻関係にあったので (8)〔　　〕（カエサル）を名乗った。孫の (9)〔　　〕は血縁から正式にツァーリとなった。

【ツァーリズムの成立】イヴァン４世はキプチャクハン国の後継の一つのカザンハン国を平定，その時の記念碑がモスクワの (10)〔　　〕だ。(11)〔　　〕の横にある。「モスクワは第２のコンスタンティノープル，(12)〔　　〕」といわれる。コンスタンティノープルのビザンツ皇帝の権力，ギリシア正教会の権威がモスクワ大公つまりロシア皇帝に継承されたからだ。これをツァーリズム（カエサルによる支配）という。強大な権力は密告による恐怖政治によって維持された。この手法は 20 世紀にスターリンが範としたものだ。

14 世紀以降ロシアの東南辺境への逃亡者が牧畜・狩猟・漁業・交易・略奪などを生業としたが，宮廷の保護下で**自由な戦士団**を形成し (13)〔　　〕となる。その首長 (14)〔　　〕が貴族ストロガノフ家によって派遣されシビルハン国を平定し (15)〔　　〕の語源となった。

【ロマノフ朝成立】(16)〔　　〕年 (17)〔　　〕からがロマノフ家の世襲王朝。(18)〔　　〕年には (19)〔　　〕の乱という農民反乱が起きた。

【ピョートル１世】ロシア絶対主義の確立は (20)〔　　〕の時だ。彼の治世の特色はまず (21)〔　　〕。自ら西欧を視察した。

清の (22)〔　　〕帝とネルチンスク条約を結ぶ（1689 年）。

解答

（１）タタールのくびき　（２）チンギス＝ハン　（３）バトゥ　（４）キプチャク＝ハン国
（５）ティムール　（６）モスクワ大公　（７）イヴァン３世　（８）ツァーリ
（９）イヴァン４世　(10）聖ヴァシリー聖堂　(11）赤の広場　(12）第３のローマ
(13）コサック　(14）イェルマーク　(15）シベリア　(16）1613
(17）ミハイル＝ロマノフ　(18）1670　(19）ステンカ＝ラージン
(20）ピョートル１世　(21）西欧化　(22）康熙

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(23)〔　　〕とは (24)〔　　〕との覇権をめぐり (25)〔　　〕。その間の 1703 年に (26)〔　　〕河口に (27)〔　　〕を建設。ペテロはピョートルの守護聖人だ。(28)〔　　〕は (29)〔　　〕年の (30)〔　　〕条約でピョートル１世が勝利した。

ピョートル１世は黒海にも進出しオスマン帝国から (31)〔　　〕海を獲得した。晩年 (32)〔　　〕に命じシベリアと (33)〔　　〕半島を探検させ，大帝の死後 (34)〔　　〕に到達。また９世紀に (35)〔　　〕が発明した (36)〔　　〕文字を整理しロシア文字の元を創った。ロシア正教会の教会会議の構成員 12 人はピョートル１世が任命した。これが**ビザンツ帝国の皇帝教皇主義を受け継ぐツァーリズム**（ロシア絶対主義）の本質だ。

ロマノフ家の女帝 (37)〔　　〕はハプスブルク家の (38)〔　　〕，ブルボン家のポンパドール夫人と３婦人同盟を結ぶ。しかしエリザベタの甥 (39)〔　　〕はプロイセンの (40)〔　　〕に傾倒した。

【エカテリーナ２世】ピョートル３世と結婚したのがドイツ貴族の娘 (41)〔　　〕だ。啓蒙専制君主として知られる彼女は (42)〔　　〕と往復書簡を交わし (43)〔　　〕の『百科全書』を財政的に支援した。(44)〔　　〕戦争では (45)〔　　〕を提唱し間接的に反イギリス的行為にでた。３回の (46)〔　　〕((47)〔　　〕年・(48)〔　　〕年・(49)〔　　〕年）に全て関与。黒海北岸クリミヤ半島を獲得（オスマン帝国支配地域）し (50)〔　　〕の要塞（ようさい）を築く。北海道の (51)〔　　〕には (52)〔　　〕を派遣した。農民反乱 (53)〔　　〕の乱や (54)〔　　〕革命への反感から次第に保守反動化した。

(55)〔　　〕は (56)〔　　〕（第一次世界大戦でドイツと戦ったがブルクはドイツ語だから）→ (57)〔　　〕（レーニンが帝政ロシアを倒したから）→ (58)〔　　〕（レーニンがつくったソ連が崩壊したから）と名称変更された。

解答

(23) スウェーデン　(24) バルト海　(25) 北方戦争　(26) ネヴァ　(27) ペテルブルク
(28) 北方戦争　(29) 1721　(30) ニスタット　(31) アゾフ　(32) ベーリング
(33) カムチャッカ　(34) アラスカ　(35) キュリロス　(36) キリル　(37) エリザベタ
(38) マリア＝テレジア　(39) ピョートル３世　(40) フリードリヒ２世
(41) エカチェリーナ２世　(42) ヴォルテール　(43) ディドロ　(44) アメリカ独立
(45) 武装中立同盟　(46) ポーランド分割　(47) 1772　(48) 1793　(49) 1795
(50) セバストーポリ　(51) 根室（ねむろ）　(52) ラクスマン　(53) プガチョフ　(54) フランス
(55) ペテルブルク　(56) ペトログラード　(57) レーニングラード
(58) サンクトペテルブルク

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 31 講　テスト

1　広義のロシアに建国された順で３番目にくるのは。

①　キプチャク＝ハン国

②　キエフ公国

③　ノブゴロド国

④　モスクワ大公国

2　モスクワ大公イヴァン３世はどの国の縁者と結婚したのか。

①　神聖ローマ帝国

②　東ローマ帝国

③　オスマン帝国

④　モンゴル帝国

3　ピョートル１世の北方戦争における 1709 年の戦いは。

①　リュッツェンの戦い

②　タンネンベルクの戦い

③　ボロディノの戦い

④　ポルタヴァの戦い

4　サンクト＝ペテルブルクの街がつくられた世紀は。

①　15

②　16

③　17

④　18

5　ピョートル１世が清と結んだ条約における国境の川は。

①　アルグン川

②　ウスリー江

③　ドン川

④　アム川

6　エカテリーナ２世と無関係の事象は。

①　ステンカ＝ラージンの乱

②　アメリカ独立戦争

③　クリム＝ハン国征服

④　ポーランド分割

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 31 講　テスト解答

1　①　　2　②　　3　④　　4　④　　5　①　　6　①

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 32 講
イギリスの革命

(1)〔　　〕が『(2)〔　　〕』を著したのは 14 世紀。(3)〔　　〕年には (4)〔　　〕が起きた。ウィクリフの信奉者であるロラード派（祈りもしくは賛歌を口ずさむ者の意）や「アダムが耕しイブが紡いだとき誰が領主だったか」という (5)〔　　〕の思想がこの反乱に影響した。

1399 年から (6)〔　　〕朝になるが，ヘンリ４世の時代には下院の権限が増大した。同王から勅許状が与えられた冒険商人組合が毛織物輸出貿易に従事した。

【バラ戦争→ヘンリ７世】(7)〔　　〕年～ (8)〔　　〕年にイングランドでおこった王位継承をめぐる内乱を (9)〔　　〕という。ランカスター家とヨーク家が争い，前者の傍流だったヘンリ＝テューダーが 1485 年の (10)〔　　〕で勝利しヨーク家の娘と結婚してテューダー朝を創始し，(11)〔　　〕で王権に対立した貴族を処罰し絶対王権を確立した。またイタリア人の (12)〔　　〕に北米大陸を探検させた。テューダー朝期はイギリスの宗教改革期であり同時に絶対王政の確立期でもある。

スペイン　　　　　神聖ローマ皇帝ハプスブルク家
フェルナンド♡イサベラ　マクシミリアン１世♡ブルゴーニュ家
｜　　　　　　　｜
ヘンリ８世♡カザリン－ファナ♡フィリップ美男
｜　　　　｜
エリザベス１世－メアリ１世　　カルロス１世（カール５世）
♡　　｜
フェリペ２世
｜
｜
カルロス２世－ルイ 14 世の妻

【ヘンリ８世】ヘンリ８世は国王直属の諮問機関である枢密院を設置した。ルターの宗教改革には反対の立場を表明し，教皇 (13)〔　　〕世から「(14)〔　　〕」という称号を与えられた。

しかし宮廷の (15)〔　　〕との結婚のため，スペインのイサベルとフェルナンド５世の娘である妻カザリンとの離婚を決行し，教皇 (16)〔　　〕世に破門されたが (17)〔　　〕年に (18)〔　　〕を発布し，

解答

（１）チョーサー　（２）カンタベリ物語　（３）1381　（４）ワット＝タイラーの乱
（５）ジョン＝ボール　（６）ランカスター　（７）1455　（８）85　（９）バラ戦争
（10）ボスワースの戦い　（11）星室庁裁判所　（12）カボット（父子）　（13）レオ 10
（14）信仰の擁護者　（15）アン＝ブーリン　（16）パウルス３　（17）1534　（18）首長法

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ローマ教会と決別し政教両権を掌握し(19)〔　　〕**が成立**した。さらに修道院を解散し貴族に売ることにより忠誠を誓わせ**絶対王政を確立**した。

そして離婚を非難した大法官(20)〔　　〕を処刑した。トマス＝モアは『(21)〔　　〕』で(22)〔　　〕を批判した。また**私有財産のない共産主義社会を描いた**。「羊はおとなしい動物だが人間を食べる，都市を荒廃させる…」がこの本を見分けるキーワード。

【エドワード６世】ヘンリ８世とジェーン＝シームアの子が(23)〔　　〕世。一般祈祷書を発布して**カルヴァン主義色の強いイギリス国教会の教義を整えた**。

【メアリ１世】ヘンリ８世とカザリンの娘(24)〔　　〕世は従兄のスペインの(25)〔　　〕世と結婚し**カトリックを復活**させた。新教徒を磔にしたので「血のメアリ」と呼ばれた。スペインとフランスとの抗争に巻き込まれ，エリザベス１世がイタリア戦争の最終講和条約 1559 年の(26)〔　　〕条約で(27)〔　　〕を失い，正真正銘の島国になった。

【エリザベス１世】フェリペ２世（カトリック）やイヴァン４世（ギリシャ正教）のプロポーズを断ったアン＝ブーリンの娘エリザベス１世が，(28)〔　　〕年に(29)〔　　〕で国教会の礼拝・祈祷を統一して**イギリス国教会を確立**した。 エリザベス１世は(30)〔　　〕や(31)〔　　〕といった海賊にスペイン船を襲わせた。自身の暗殺の計画を企てたスコットランド女王(32)〔　　〕を処刑した報復として(33)〔　　〕が派遣したスペイン無敵艦隊を(34)〔　　〕年の(35)〔　　〕（ドーバー海峡付近）で破り，オランダの独立を間接的に助けるかたちとなった。

(36)〔　　〕を治安判事に任命し地方行政にあてさせた。中央では枢密院・星室庁の権限を拡大し王権を強化したが，議会が立法・財政上の権限を保持したので強大な官僚・常備軍は形成されなかった。議会制度こそイギリスの伝統・国柄である。

毛織物工業を中心に重商主義政策を推進，1584 年に(37)〔　　〕にヴァージニア植民をさせたが失敗した。(38)〔　　〕年にはアジア進出の特許会社である(39)〔　　〕を設立。1601 年の(40)〔　　〕では富裕者から救貧税を徴収し貧民に分配した。また，「悪貨は良貨を駆逐する」と言った(41)〔　　〕を登用して通貨改革を行った。

同時期の戯曲家が(42)〔　　〕。エリザベス１世を描いた『神仙女王』の著者が(43)〔　　〕。**「知は力なり」**と述べた(44)〔　　〕は(45)〔　　〕の祖で著作は『(46)〔　　〕』。

解答

(19) イギリス国教会　(20) トマス＝モア　(21) ユートピア　(22) 第１次囲い込み運動
(23) エドワード６　(24) メアリ１　(25) フェリペ２　(26) カトー＝カンブレジ
(27) カレー　(28) 1559　(29) 統一法　(30) ホーキンズ　(31) ドレーク
(32) メアリ＝ステュアート　(33) フェリペ２世　(34) 1588　(35) アルマダ海戦
(36) ジェントリ（郷紳）　(37) ウォルター＝ローリ　(38) 1600　(39) 東インド会社
(40) 救貧法　(41) グレシャム　(42) シェークスピア　(43) スペンサー
(44) フランシス＝ベーコン　(45) イギリス経験論　(46) 新オルガヌム

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【ジェームズ１世】エリザベス１世のあとを受けて (47)〔　　〕年ステュアート朝を創始した（江戸幕府と同じ年）(48)〔　　〕（スコットランド王ジェームズ６世）は (49)〔　　〕を信奉，議会を無視して対立を深めた。とくにピューリタン弾圧策をとったので，(50)〔　　〕年に (51)〔　　〕（巡礼始祖（じゅんれいしそ））が**メイフラワー号**で北米大陸の (52)〔　　〕に上陸し**プリマス植民地**を形成した。

【チャールズ１世】息子の (53)〔　　〕も王権の根拠を家父長権（かふちょうけん）とした (54)〔　　〕の王権神授説を採用し絶対主義政策を取りつづけたので，時の大法官 (55)〔　　〕が (56)〔　　〕年に「(57)〔　　〕」を出して，議会の同意のない課税，不法逮捕などに反対した。その際，13 世紀のブラクトンのセリフ「国王といえども神の法の下にいる」を拝借した。しかし，同王がこれを無視し議会を解散，専制政治を続行したのでピューリタン革命となった。

(58)〔　　〕の反乱鎮圧費用をイングランド貴族が負担することを争点に始まったピューリタン革命はまず，(59)〔　　〕と (60)〔　　〕が対立し，議会派の中の独立派の (61)〔　　〕の (62)〔　　〕が (63)〔　　〕年の (64)〔　　〕の戦で前者を圧倒すると，次には議会派内部の対立となる。

【共和政（コモンウェルス）】(65)〔　　〕のクロムウェルが立憲君主派の (66)〔　　〕と共和主義を主張する (67)〔　　〕や (68)〔　　〕を追放・弾圧して権力を握り，(69)〔　　〕年に (70)〔　　〕を処刑しイギリス史上唯一の (71)〔　　〕（(72)〔　　〕）を樹立した（(73)〔　　〕年～ (74)〔　　〕年）。クロムウェルは (75)〔　　〕の (76)〔　　〕征服に着手，(77)〔　　〕年には (78)〔　　〕により (79)〔　　〕船を締め出し，長期議会を強制解散し，(80)〔　　〕という地位に就き軍事独裁を行った。同時期 (81)〔　　〕は「人間は人間にたいして狼であるゆえに**万人の万人にたいする闘争を自然状態**」とみなし**人民が自己保存のために社会契約として自然権を全面譲渡（じょうと）する怪物のような絶対君主**を想定し『(82)〔　　〕』（(83)〔　　〕年）を著した。この本は (84)〔　　〕年の (85)〔　　〕の根拠となった。

解答

（47）1603　（48）ジェームズ１世　（49）王権神授説（おうけんしんじゅせつ）　（50）1620
（51）ピルグリム＝ファーザーズ　（52）プリマス　（53）チャールズ１世
（54）フィルマー　（55）エドワード＝コーク　（56）1628　（57）権利の請願
（58）スコットランド　（59）王党派　（60）議会派　（61）クロムウェル　（62）鉄騎隊（てっきたい）
（63）1645　（64）ネーズビー　（65）独立派　（66）長老派　（67）水平派
（68）真正水平派　（69）1649　（70）チャールズ１世　（71）共和政
（72）コモンウェルス　（73）1649　（74）1660　（75）カトリック　（76）アイルランド
（77）1651　（78）航海法　（79）オランダ　（80）護国卿　（81）ホッブズ
（82）リバイアサン　（83）1651　（84）1660　（85）王政復古

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【チャールズ２世】クロムウェルの死後，勢力を盛り返した長老派と王党派が妥協して(86)〔　　〕がなり，(87)〔　　〕が即位したが，同王がカトリックを容認しつつ絶対王政に逆戻りしたので，議会は(88)〔　　〕年の(89)〔　　〕（**公職者は国教徒に限る法**）と(90)〔　　〕年の(91)〔　　〕を制定し対抗した。

【ジェームズ２世】いとこの(92)〔　　〕がナントの王令を廃止しカトリック主義を前面に出した(93)〔　　〕年に，チャールズ２世の弟で審査法により公職追放を経験しカトリック教徒として有名であった(94)〔　　〕が即位した。それを認めるグループを(95)〔　　〕，認めないグループを(96)〔　　〕といった。

【名誉革命（めいよかくめい）】ジェームズ２世に男子（カトリック）が生まれたため，議会は同王の娘(97)〔　　〕と夫のオランダ総督ウィレム（(98)〔　　〕）を国王として招き，（英蘭は同君連合となり友好国に）ジェームズ２世はフランスに亡命，これが(99)〔　　〕年の(100)〔　　〕だ。この革命に思想的基盤を与えたのがフィルマーを批判し**社会契約説**に立った(101)〔　　〕で，彼は自由と(102)〔　　〕を自然状態として(103)〔　　〕が守られない統治にたいする(104)〔　　〕，革命権を説いた（『(105)〔　　〕』1690 年）。

1689 年に議会は王権に対する優位を宣言（権利の宣言），これを法文化したのが「(106)〔　　〕」であり**議会主権が明確になりイギリス立憲王政の原点**となった。

メアリ２世の妹アン女王は**スコットランドを併合**し，(107)〔　　〕年(108)〔　　〕が成立した。スペイン継承（(109)〔　　〕）戦争の(110)〔　　〕年の(111)〔　　〕条約でフランスから(112)〔　　〕・(113)〔　　〕・(114)〔　　〕を，スペインから(115)〔　　〕・(116)〔　　〕を獲得した。

【ハノーヴァー朝】ステュアート家と血縁関係にあった(117)〔　　〕のジョージが(118)〔　　〕となったが英語を解せずドイツ滞在が多かったので，議会の多数党が内閣を組織して議会に対して責任を負う制度（**責任内閣制度**）が(119)〔　　〕党(120)〔　　〕により成立し，「**王は君臨（くんりん）すれども統治せず**」と表現される議会政治が発進した。

解答

(86) 王政復古　(87) チャールズ２世　(88) 1673　(89) 審査法　(90) 1679
(91) 人身保護法　(92) ルイ 14 世　(93) 1685　(94) ジェームズ２世　(95) トーリ党
(96) ホイッグ党　(97) メアリ２世　(98) ウィリアム３世　(99) 1688　(100) 名誉革命
(101) ロック　(102) 平和　(103) 自然権　(104) 抵抗権　(105) 統治論二編
(106) 権利の章典（しょうてん）　(107) 1707　(108) グレートブリテン王国　(109) アン女王
(110) 1713　(111) ユトレヒト　(112) ニューファンドランド　(113) アカディア
(114) ハドソン湾地方　(115) ジブラルタル　(116) ミノルカ島
(117) ハノーヴァー選帝侯　(118) ジョージ１世　(119) ホイッグ　(120) ウォルポール

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 32 講　テスト

1　エグバートがイングランドを統一した年号は。

①　829

②　1016

③　1066

④　1154

2　マグナ＝カルタに関して，正しい組み合わせは。

①　1215 年，ヘンリ３世

②　1215 年，ジョン

③　1265 年，ヘンリ３世

④　1295 年，ジョン

3　アンジュー家がウェールズを征服した世紀は。

①　13

②　14

③　15

④　16

4　ワットタイラーの乱が起きた世紀は。

①　13

②　14

③　15

④　16

5　首長法に関して，正しい組み合わせは。

①　1534 年，ヘンリ７世

②　1534 年，ヘンリ８世

③　1559 年，エドワード６世

④　1559 年，エリザベス１世

6　「知は力なり」は誰の言葉か。

①　ロジャー＝ベーコン

②　フランシス＝ベーコン

③　シェークスピア

④　ホッブズ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　14世紀以降あらわれたイギリスの富裕な農民層を何というか。

①　独立自営農民（ヨーマン）

②　ジェントリ（郷紳）

③　市民（ブルジョワ）

④　産業資本家

8　チャールズ2世時の貴族による協議諮問機関が起源で「密室」を意味するのは。

①　枢密院

②　名士会

③　内閣

④　高等法院

9　イギリスの中央銀行であるイングランド銀行が創設されたのは。

①　1594年

②　1694年

③　1794年

④　1894年

10　以下の事象を並べかえた場合に3番目にくるものは。

①　権利の章典

②　権利の請願

③　権利の宣言

④　長期議会

第32講　テスト解答

1　①	2　②	3　①	4　②	5　②	6　②
7　①	8　③	9　②	10　③		

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 33 講
産業革命・アメリカ独立革命

1 産業革命

イギリス産業革命の時期は 1800 年プラスマイナス 30 年。1770 年～(1)〔　　〕年の(2)〔　　〕・(3)〔　　〕間の鉄道開通までということだ。

【イギリス産業革命の背景】(4)〔　　〕年は(5)〔　　〕戦争の(6)〔　　〕条約。イギリスはフランスから(7)〔　　〕・(8)〔　　〕を獲得またスペインから(9)〔　　〕を獲得した。**北米とインドにおけるイギリスのフランス・スペイン・オランダにたいする優位が確定した年**が 1763 年だ。

16 世紀以降のイギリス資本の蓄積(ちくせき)は奴隷貿易や毛織物マニファクチュアによるもの。また国内の豊富な資源，さらに原料供給地・販売市場としての植民地を有した。17 世紀以降は市民革命による経済の自由化やギルドの解体が進んだ。18 世紀半ばの(10)〔　　〕, たとえば(11)〔　　〕(四輪作農法，大麦→クローヴァー→小麦→かぶ）のような農業技術の変化は(12)〔　　〕運動を生み，(13)〔　　〕(独立自営農民）は都市へ出て賃金労働者となり産業革命の労働力となった。

【産業革命の展開】産業革命とは道具による生産から機械による生産への転換であり，また動力の転換のことだ。だから 1811 年から(14)〔　　〕(機械打ち壊し運動）が起こる。

産業革命はまず**木綿(もめん)工業**から始まった。**インド＝キャラコ（木綿）の需要の増大は従来の毛織物業界にとっては打撃**であった。**議会は 1700 年にインド＝キャラコの輸入を，1720 年に使用を禁じた。**

(15)〔　　〕年に(16)〔　　〕が飛びおさ（飛び杼(ひ)）を発明し織布(しょくふ)の作業能率は倍加したが，このことが原料の綿糸(めんし)不足を招き紡績部門の一連の発明を促した。

(17)〔　　〕機**（ハーグリーヴズ）→**(18)〔　　〕機**（アークライト）→**(19)〔　　〕機**（クロンプトン）→**(20)〔　　〕**（カートライト）→**(21)〔　　〕**（ホィットニー・米国）**。とりわけミュール紡績機こそイギリス産業革命の偉業(いぎょう)である。糸の細さがインド＝キャラコを抜いたのだ。イギリスの木綿をインドに売ることが可能になった。マンチェスターで織った木綿製品をリヴァプール港からインドへ売る。これこそが産業革命のエッセンス。つまり**イギリス産業革命とはインド木綿という外圧にたいするイギリス産業界のレスポンス**（返答），木綿の輸入代替(だいたい)産業を興すための努力ということになる。マンチェスターに資金が集まる。以上が**繊維(せんい)革命**だ。

解答

（１）1830　（２）マンチェスター　（３）リヴァプール　（４）1763
（５）フレンチインディアン　（６）パリ　（７）カナダ
（８）ミシシッピ川以東のルイジアナ　（９）フロリダ　(10) 農業革命
(11) ノーフォーク農法　(12) 第２次囲い込み　(13) ヨーマン　(14) ラダイト運動
(15) 1733　(16) ジョン＝ケイ　(17) 多軸(たじく)（ジェニー）紡績　(18) 水力紡績
(19) ミュール紡績　(20) 力織機(りきしょっき)　(21) 綿繰り機(わたくりき)

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【動力革命→交通革命】 水力から蒸気(じょうき)機関に動力は移行する。18世紀初期に(22)〔　　〕が蒸気力による排水用ポンプを発展させていたが(23)〔　　〕がこれを改良し原動機としての(24)〔　　〕を1781年に完成した。

工業の発展は石炭・原料・製品を大量に輸送する交通機関の発達を促した。1814年(25)〔　　〕は実用(26)〔　　〕を発明。(1804年にレールを走る蒸気機関車は(27)〔　　〕が発明。) 1825年に(28)〔　　〕間で試験走行。(29)〔　　〕年には(30)〔　　〕間で営業運転。馬車から鉄道の時代にはいった。

解答

(22) ニューコメン　(23) ワット　(24) 蒸気機関　(25) スティーブンソン
(26) 蒸気機関車　(27) トレヴィシック　(28) ストックトン～ダーリントン
(29) 1830　(30) マンチェスター～リヴァプール

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2 アメリカ独立革命

【大航海時代】ヨーロッパ人が「地理上の発見」と呼んだ事業の背景には学術の進歩があり，イタリア人(1)〔　　〕の地球球体説などがその代表だ。また，ヨーロッパ諸国が東洋との直接交渉を望んだこともその要因だ。(2)〔　　〕出身の(3)〔　　〕はスペイン女王(4)〔　　〕の援助を受け(5)〔　　〕年にスペインの(6)〔　　〕港をカラベル船サンタ＝マリア号で出航，(7)〔　　〕に到着。1493～1504年まで3回渡航し中南米海岸まで到達。その影響で(8)〔　　〕とその部下が1519～22年にかけて世界一周した。

フィレンツェ生まれの(9)〔　　〕は1497年以来4回にわたって特に中南米を探検，航海報告書をメディチ家へ送った。16世紀初ドイツ人(10)〔　　〕が『世界誌入門』のなかで“アメリカ”と命名した。

【価格革命と商業革命】ヨーロッパ列強の植民地(しょくみんち)獲得抗争(こうそう)が展開した。アメリカ銀が大量に流入したので貨幣価値が下落，物価は約3倍に騰貴(とうき)した。このような(11)〔　　〕が，南ドイツの銀を独占していた(12)〔　　〕家や銀の流入によるインフレーションが固定地代に依存していた封建領主層を没落させた。また(13)〔　　〕という(14)〔　　〕変化を導いた。

【コンキスタドール】スペインの(15)〔　　〕は(16)〔　　〕年に(17)〔　　〕帝国の首都(18)〔　　〕を征服し，また(19)〔　　〕は(20)〔　　〕年にペルーを征服し(21)〔　　〕帝国を滅ぼした。(22)〔　　〕年に(23)〔　　〕が発見されるとインディオやのちにアフリカ人奴隷が酷使された。植民者が国から**先住民の教化と保護を条件に土地・住民の統治を委託(いたく)され賦役労働を課す**のが(24)〔　　〕，スペインの聖職者(25)〔　　〕がインディオへの布教と奴隷化防止に尽力した。その著作が**『インディアスの破壊についての簡潔(かんけつ)な報告』**。しかしこれにより西アフリカからの黒人奴隷の流入が加速した。

ポルトガルの(26)〔　　〕は(27)〔　　〕年の(28)〔　　〕にもとづき，1500年(29)〔　　〕を獲得，経営方針はスペインとほぼ同じだった。

解答

(1) トスカネリ　(2) ジェノヴァ　(3) コロンブス　(4) イサベル　(5) 1492
(6) パロス　(7) サン＝サルバドル　(8) マゼラン　(9) アメリゴ＝ヴェスプッチ
(10) ミューラー　(11) 価格革命　(12) フッガー　(13) 商業革命
(14) ヨーロッパ商業圏の重心がヴェネツィア，ジェノヴァなど地中海からリスボン，セビーリャ，アントワープなど大西洋岸に移る　(15) コルテス　(16) 1521　(17) アステカ
(18) テノチティトラン　(19) ピサロ　(20) 1533　(21) インカ　(22) 1545
(23) ポトシ銀山　(24) エンコミエンダ制　(25) ラス＝カサス　(26) カブラル
(27) 1494　(28) トルデシリャス条約　(29) ブラジル

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

オランダは1621年に西インド会社を設立，ギアナ，西インド諸島を経営した。(30)〔　　〕年には(31)〔　　〕流域に(32)〔　　〕と(33)〔　　〕を建設したが，(34)〔　　〕年の第２次(35)〔　　〕戦争で喪失した。

【イギリス】1497年には(36)〔　　〕の命令でイタリア人(37)〔　　〕が(38)〔　　〕を探検。16世紀後半には国王(39)〔　　〕と(40)〔　　〕が(41)〔　　〕に進出したがまもなく放棄。次の国王(42)〔　　〕の1607年にヴァージニア会社がジェームスタウンを建設。こうして(43)〔　　〕植民地が誕生。1619年にヴァージニア議会が置かれた。

新大陸進出は太平洋進出とインド貿易が目的だった。同王の(44)〔　　〕年には(45)〔　　〕と呼ばれる(46)〔　　〕((47)〔　　〕教徒（きょうと）)が(48)〔　　〕で(49)〔　　〕から出帆（しゅっぱん）し(50)〔　　〕植民地を建設。また少し後の1629年には(51)〔　　〕植民地が(52)〔　　〕の町とともに建設される。これらの植民地がまとまって，いわゆる(53)〔　　〕を形成した。そこにおいては，信仰の自由，経済の自由を希求し，参政権をもつ全住民参加の(54)〔　　〕という制度があった。1636年には(55)〔　　〕に牧師養成のための(56)〔　　〕が設立された。

1664年には第２次英蘭戦争において(57)〔　　〕を占領し(58)〔　　〕と改名,1681年には(59)〔　　〕教徒(60)〔　　〕が(61)〔　　〕植民地を建設。1732年の(62)〔　　〕植民地をもって(63)〔　　〕の植民地が完成した。各植民地にイギリス議会政治の伝統にならって設けられた住民代表からなる議会を(64)〔　　〕という。

【フランス】1534年以降カルティエが新大陸を探検，1603年の国王(65)〔　　〕のとき(66)〔　　〕が(67)〔　　〕川流域を探検し1608年(68)〔　　〕（川の挟まる地）の要塞を築きニューフランスの基礎を築きビーバーの毛皮貿易の拠点とした。

ルイ14世のときには(69)〔　　〕が(70)〔　　〕川をくだって(71)〔　　〕植民地が形成されることになる。植民地の性格としては王室の直接支配で，カトリックが多く，移住者の大部分は毛皮取引が目的の大商人や宣教師であった。メキシコ湾河口に建設されたのが(72)〔　　〕だ。

解答

(30) 1626　(31) ハドソン川　(32) ニューネーデルラント植民地
(33) ニューアムステルダム　(34) 1664　(35) 英蘭　(36) ヘンリ７世
(37) カボット父子　(38) ニューファンドランド　(39) エリザベス１世
(40) ウォルター＝ローリ　(41) ヴァージニア　(42) ジェームズ１世　(43) ヴァージニア
(44) 1620　(45) ピルグリム＝ファーザーズ　(46) ピューリタン　(47) 清（せい）
(48) メイフラワー号　(49) プリマス　(50) プリマス　(51) マサチューセッツ
(52) ボストン　(53) ニューイングランド植民地　(54) タウンミーティング
(55) ボストン　(56) ハーバード大学　(57) ニューアムステルダム　(58) ニューヨーク
(59) クウェーカー　(60) ウィリアム＝ペン　(61) ペンシルヴェニア
(62) ジョージア　(63) 13　(64) 植民地議会　(65) アンリ４世　(66) シャンプラン
(67) セントローレンス　(68) ケベック　(69) ラサール　(70) ミシシッピ
(71) ルイジアナ　(72) ニューオーリンズ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第２次英仏百年戦争】新大陸における英仏の抗争は，1689〜97年の(73)〔　　〕戦争（これは欧州における(74)〔　　〕戦争と並行），つぎの1702〜13年の(75)〔　　〕女王戦争（(76)〔　　〕戦争と並行）と展開した。後者においては(77)〔　　〕年の(78)〔　　〕で(79)〔　　〕，(80)〔　　〕，(81)〔　　〕をイギリスはフランスから獲得した。さらに1744〜48年まで，欧州の(82)〔　　〕戦争と並行して(83)〔　　〕戦争，(84)〔　　〕戦争に並行して(85)〔　　〕戦争，後者の(86)〔　　〕でイギリスは(87)〔　　〕，(88)〔　　〕を獲得した。これら新大陸における4つの戦争は(89)〔　　〕（(90)〔　　〕年〜(91)〔　　〕年）の前半戦といえる。

イギリスの内政干渉はフランス・スペインほどではなかった。前述のように北部では(92)〔　　〕という直接民主政の地方自治が，南部では(93)〔　　〕というイギリス的代議制（だいぎせい）があった。1639年にはのちの憲法の基礎となった**コネティカット基本法**が制定された。

経済面ではプリマスを中心とした**ニューイングランド地方**では，漁業・造船・海運・毛皮取引・(94)〔　　〕の製造など。南部では1619年にはじめて黒人年季奉公人（ねんきほうこう）が(95)〔　　〕州に移入され(96)〔　　〕という産業の形態が発達していた。品目は米・藍（あい）・(97)〔　　〕など。

【アメリカ独立革命】イギリス本国の植民地統治政策はいわゆる(98)〔　　〕主義政策でそれはオランダ対策の1651年の(99)〔　　〕にはじまって，1699年の羊毛品法，1732年の帽子法，1733年の(100)〔　　〕，1750年の鉄法を実施しつつ，王領植民地を増加させるなどして漸次（ぜんじ）政治的圧力を強化した。

とりわけ(101)〔　　〕戦争が終結した(102)〔　　〕年には国王(103)〔　　〕が(104)〔　　〕山脈以西への白人の移住を禁止する宣言を出したり，1764年の(105)〔　　〕，65年の(106)〔　　〕が出されると，植民地側は反動化しヴァージニア決議によって英国製品不買（ふばい）協定を結ぶ。背景には新大陸における(107)〔　　〕の勢力が著しく減退したので本国の保護が不要になったことがある。(108)〔　　〕らは“No taxation without representation (109)〔　　〕”と主張して1766年**印紙法は撤廃**された。1767年には制裁（せいさい）規定や歳入（さいにゅう）法や関税局の設置や海事裁判所の拡充（かくじゅう）の4法を定めた(110)〔　　〕諸法が発令するも1770年には(111)〔　　〕税のみ残して廃止された。

解答

(73) ウィリアム王　(74) ファルツ　(75) アン　(76) スペイン継承　(77) 1713
(78) ユトレヒト条約　(79) ニューファンドランド　(80) アカディア
(81) ハドソン湾地方　(82) オーストリア継承　(83) ジョージ王　(84) 七年
(85) フレンチインディアン　(86) パリ条約　(87) カナダ
(88) ミシシッピ川以東のルイジアナ　(89) 第２次英仏百年戦争　(90) 1689
(91) 1815　(92) タウンミーティング　(93) カウンティ制　(94) ラム酒
(95) ヴァージニア　(96) プランテーション　(97) タバコ　(98) 重商
(99) 航海法　(100) 糖蜜法（とうみつほう）　(101) 七年　(102) 1763　(103) ジョージ３世
(104) アパラチア　(105) 砂糖法　(106) 印紙法　(107) フランス
(108) パトリック＝ヘンリ　(109) 代表なくして課税なし　(110) タウンゼンド
(111) 茶

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

これらが独立革命の間接的要因であるならば，1770年の英兵によるボストン虐殺事件のあとの(112)〔　　〕年の(113)〔　　〕((114)〔　　〕)が直接的要因であり，これは本国にとっては立法権の侵害(しんがい)，イギリス本国の一部東インド会社の私有財産の侵害としてうけとられた。本国は(115)〔　　〕港の閉鎖(へいさ)(116)〔　　〕州の自治権剥奪(はくだつ)などの五つの法を定めたので，(117)〔　　〕年には(118)〔　　〕で第１回(119)〔　　〕が開催され，植民地人の権利が宣言された。

【独立戦争】(120)〔　　〕年に(121)〔　　〕の戦いをもって(122)〔　　〕が始まった。「我に自由を与えよ，しからずんば死を与えよ。」はパトリック＝ヘンリの有名なセリフだ。第２回大陸会議で(123)〔　　〕が植民地軍総司令官に任命された。植民地人の態度は独立を志向するPatriots((124)〔　　〕派）と独立を志向しないRoyalist((125)〔　　〕派）と中立派に分かれた。(126)〔　　〕が『(127)〔　　〕』というパンフレットで“分離”の意義を説いたので，独立を支持するものが増えた。

1776年６月22日の(128)〔　　〕で人間に本来備わっている(129)〔　　〕が宣言された。

(130)〔　　〕年(131)〔　　〕月(132)〔　　〕日に(133)〔　　〕や(134)〔　　〕を発明した(135)〔　　〕が起草した(136)〔　　〕が(137)〔　　〕でなされた。

1777年の(138)〔　　〕の戦いをへて78年(139)〔　　〕のヨーロッパ派遣によって(140)〔　　〕との同盟が成立し，79年には(141)〔　　〕が，80年には(142)〔　　〕が参戦，同時期(143)〔　　〕が提唱した(144)〔　　〕が成立して，イギリスの外国船圧迫にたいして独立軍を支援することになる。フランスの(145)〔　　〕や(146)〔　　〕，ポーランドの(147)〔　　〕が義勇兵として参加。81年の(148)〔　　〕の戦いで植民地側の勝利が決定的になった。(149)〔　　〕年(150)〔　　〕で合衆国の独立は承認され，(151)〔　　〕をイギリスは(152)〔　　〕に割譲，合衆国のニューファンドランドの漁業権とミシシッピ川の航行の自由を承認した。またセネガルと西インド諸島を(153)〔　　〕に，(154)〔　　〕と(155)〔　　〕をイギリスは(156)〔　　〕に割譲した。（厳密にはヴェルサイユ条約，たいていパリ条約に含める）

解答

(112) 1773　(113) ボストン茶会事件　(114) Boston Tea Party　(115) ボストン
(116) マサチューセッツ　(117) 1774　(118) フィラデルフィア　(119) 大陸会議
(120) 1775　(121) レキシントン＝コンコード　(122) アメリカ独立戦争
(123) ジョージ＝ワシントン　(124) 愛国　(125) 忠誠(ちゅうせい)　(126) トマス＝ペイン
(127) コモン＝センス　(128) ヴァージニア権利章典　(129) 自然権　(130) 1776
(131) 7　(132) 4　(133) トマス＝ジェファソン　(134) 避雷針(ひらいしん)
(135) ベンジャミン＝フランクリン　(136) 独立宣言　(137) フィラデルフィア
(138) サラトガ　(139) ベンジャミン＝フランクリン　(140) フランス　(141) スペイン
(142) オランダ　(143) ロシアのエカテリーナ２世　(144) 武装中立同盟(ぶそうちゅうりつ)
(145) ラファイエット　(146) サン＝シモン　(147) コシューシコ　(148) ヨークタウン
(149) 1783　(150) パリ条約　(151) ミシシッピ川以東のルイジアナ　(152) 13植民地
(153) フランス　(154) フロリダ　(155) ミノルカ島　(156) スペイン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 33 講　テスト

1　父が製鉄燃料を木炭からコークスにかえたコークス製鉄法を開発し，子が技術を発展させたのは。
①　トインビー
②　ダービー
③　カボット
④　フルトン

2　イギリス産業革命関連都市のうち誤っている組み合わせは。
①　ロンドン ― ワット，アダム＝スミス
②　マンチェスター ― 綿工業
③　リヴァプール ― ビートルズ，奴隷貿易
④　バーミンガム ― 製鉄業

3　13 植民地の建設順序で 3 番目にくるものは。
①　ジョージア
②　ヴァージニア
③　ペンシルヴェニア
④　マサチューセッツ

4　1777 年に 13 植民地により起草された合衆国初の成文憲法と 1774 年に開催された大陸会議を起源とする合衆国の立法府の組み合わせとして適切なものは。
①　アメリカ連合規約 ― アメリカ連邦政府
②　アメリカ連合規約 ― アメリカ連邦議会
③　ヴァージニア権利章典 ― アメリカ連邦政府
④　ヴァージニア権利章典 ― アメリカ連邦議会

5　以下の事象を正しく並べかえ 3 番目にくるものは。
①　サラトガの戦い
②　ヨークタウンの戦い
③　レキシントン・コンコードの戦い
④　独立宣言

第 33 講　テスト解答

1　②　　2　①　　3　③　　4　②　　5　①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 34 講
フランス革命

1989 年のベルリンの壁崩壊と 1991 年ソ連邦の崩壊は，「平等」を理念として掲げた人類の歩み方の限界を明らかにした。ソ連邦を産み落としたロシア革命を第２次平等革命とみなし，そのプロトタイプ（範型）であるフランス革命を第１次平等革命と呼ぶのは妥当であろう。

フランス革命の基礎知識として，まず，❶(1)〔　　〕→❷(2)〔　　〕→❸(3)〔　　〕→❹(4)〔　　〕→❺(5)〔　　〕と覚え，❶～❹がフランス革命，❸～❺が第１共和政だと把握（はあく）する。次いで(6)〔　　〕派が**立憲（りっけん）君主主義派**，(7)〔　　〕派と(8)〔　　〕派が**共和主義派**。

革命前の体制を(9)〔　　〕（旧体制）という。

ルイ 14 世以来の国家財政の窮迫（きゅうはく），宮廷の浪費，ルイ 16 世が即位してすぐの(10)〔　　〕への参加，英仏通商条約（1786），天候不順（1788）でブルボン家の国家財政は完全に破綻（はたん）した。

【三部会招集と国民議会成立】(11)〔　　〕の自由主義的改革による**財政改革**，(12)〔　　〕の**特権身分**への課税の主張なども効を奏さず，(13)〔　　〕年５月に 174 年ぶりに(14)〔　　〕を召集したが議決方法で対立した。６月，(15)〔　　〕，ラファイエット，『(16)〔　　〕』を出版した(17)〔　　〕ら自由主義貴族（フイヤン派）に下級僧職者が加わって(18)〔　　〕の成立を宣言，(19)〔　　〕で「憲法を制定するまで解散しない」と誓う。国民議会は(20)〔　　〕と改称した。つまりフランス革命の当初の目標は，立憲君主政体にすることだった。その証拠に国民議会が定めた三色旗（トリコロール）の真ん中の白はブルボン家の色だ。ちなみに赤と青はパリ市の色。

【革命勃発（ぼっぱつ）】(21)〔　　〕月(22)〔　　〕日に(23)〔　　〕が起き，それが全国に波及，農民運動となって領主の館を襲い，租税台帳などを焼いた（大恐怖）。８月４日には(24)〔　　〕がなされた。農奴は領主裁判権や十分の一税などの封建的身分支配からは解放され（政治的には自由）たが，地代は 20 ～ 25 年分の一括前納だったので自作農にはなれなかった。８月 26 日には(25)〔　　〕が採択。これは(26)〔　　〕や(27)〔　　〕の啓蒙思想の影響を受け(28)〔　　〕らが起草した 17 条からなるもので(29)〔　　〕の神聖不可侵，人間の自由と平等などが謳（うた）われている。(30)〔　　〕＝(31)〔　　〕では国王一家がパリのテュイルリー宮に連行された。

解答

（１）国民議会　（２）立法議会　（３）国民公会　（４）総裁政府　（５）統領政府
（６）フイヤン　（７）ジロンド　（８）ジャコバン　（９）アンシャン＝レジーム
(10) アメリカ独立戦争　(11) テュルゴー　(12) ネッケル　(13) 1789　(14) 三部会
(15) ミラボー　(16) 第三身分とは何か　(17) シェイエス　(18) 国民議会
(19) テニスコート　(20) 憲法制定議会　(21) 7　(22) 14
(23) バスティーユ牢獄襲撃（ろうごくしゅうげき）　(24) 封建的特権の（有償）廃止宣言
(25) 人権宣言（人間および市民の権利宣言）　(26) アメリカ独立宣言　(27) ルソー
(28) ラファイエット　(29) 所有権＝私有財産　(30) 十月事件　(31) ヴェルサイユ行進

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

国民議会では立憲君主主義者が優勢で，**教会財産の国有化**と**聖職者の公務員化**により，その土地を担保に (32)〔　　〕を発行，貴族の称号や (33)〔　　〕を廃し，同時に (34)〔　　〕により労働者の団結を禁止した。

1791 年 4 月に王室と国民議会のパイプ役 (35)〔　　〕が死に国王は動揺(どうよう)，立憲君主政の原則を無視し近隣諸国の君主国と画策(かくさく)し，6 月には (36)〔　　〕が起きると，(37)〔　　〕が台頭した。8 月にはマリー・アントワネットの兄のオーストリア皇帝がプロイセン王と共に (38)〔　　〕を出し革命に干渉(かんしょう)，これが**フランス人の愛国心を高揚(こうよう)させ革命戦争の誘因**となった。

【立法議会】1791 年 9 月に (39)〔　　〕が制定され国民議会は解散した。この憲法は一院制の立憲君主制で財産による制限選挙で，身分制の廃止，経済自由の原則が謳(うた)われているブルジョワ憲法で (40)〔　　〕や貧農は政治から除外されていた。1791 年 10 月 (41)〔　　〕が召集された。当初は (42)〔　　〕，(43)〔　　〕ら立憲王政派で自由主義貴族や富裕(ふゆう)市民の (44)〔　　〕が主導権を握っていたが，(45)〔　　〕や (46)〔　　〕らが中心で商工業市民が支持する穏健(おんけん)共和派 (47)〔　　〕が次第に主導権を掌握した。

(48)〔　　〕を首班とする**ジロンド派内閣はオーストリアに宣戦布告し，オーストリアとプロイセンが侵入し革命戦争勃発**，しかしフランスは連戦連敗，祖国の危機に義勇(ぎゆう)兵が召集され，工兵大尉ルージュ＝ド＝リールが (49)〔　　〕を作曲した。革命の進展に不満を持つ義勇兵と民衆が (50)〔　　〕の指導で (51)〔　　〕を襲撃，この 1792 年 (52)〔　　〕で**王権が停止，立法議会は自ら解散，革命の推進力は下層階級**になる。

9 月 20 日の (53)〔　　〕の戦いでプロイセンの職業軍人に勝利，「ここから，そしてこの日から**世界史の新しい１ページがはじまる**」と (54)〔　　〕は言った。**「王家」の常備軍に一般市民から徴用(ちょうよう)された「国民」軍が勝利**した。国民主義，国民国家の時代（19 ～ 21 世紀）の幕開けだ。

【国民公会】9 月 21 日，男性普通選挙による (55)〔　　〕が召集，王政が廃止され共和政宣言，フランス (56)〔　　〕の成立である。ジャコバン派が台頭し，1793 年 1 月には (57)〔　　〕をジャコバン派 (58)〔　　〕の扇動(せんどう)によりコンコルド広場で (59)〔　　〕の罪状で処刑。革命軍のオーストリア＝ハプスブルク領の南ネーデルラント（現在のベルギー）への侵略はイギリスの (60)〔　　〕首相に (61)〔　　〕を結成を決意させる。フランス革命勃発の翌年の 1790 年に，イギリスの (62)〔　　〕は『**フランス革命の省察(しょうさつ)**』で隣国の暴挙を無視する保守主義の原点ともいえる立場を表明していた。しか

解答

(32) アシニア紙幣(しへい)　(33) ギルド　(34) ル＝シャプリエ法　(35) ミラボー
(36) ヴァレンヌ逃亡事件　(37) 共和主義　(38) ピルニッツ宣言　(39) 1791 年憲法
(40) サン＝キュロット　(41) 立法議会　(42) ラファイエット　(43) バルナーブ
(44) フイヤン派　(45) コンドルセ　(46) ロラン夫人　(47) ジロンド派
(48) ブリッソ　(49) ラ＝マルセイエーズ　(50) ジャコバン派　(51) テュイルリー宮殿
(52) 8 月 10 日事件　(53) ヴァルミー　(54) ゲーテ　(55) 国民公会
(56) 第 1 共和国　(57) ルイ 16 世　(58) サン＝ジェスト　(59) 人民の敵　(60) ピット
(61) 第 1 回対仏大同盟　(62) エドマンド＝バーク

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

しもはや関与せざるを得なくなったのである。

国民公会により徴兵制が決定すると，カトリック教徒が多くて革命に否定的な**ヴァンデー県の農民が反乱を起こし多数が虐殺された**。

【恐怖政治】1793 年２月，(63)〔　　〕が実施された。５月,「金持ちは人民の災いである」というジャコバン派の急進派山岳党のロベスピエールは生活必需品に (64)〔　　〕を出した。６月，ジャコバン派がジロンド派を追放し独裁体制に。(65)〔　　〕が政治, 戦争の最高指導機関つまり事実上の政府で，(66)〔　　〕が治安，警察機関，(67)〔　　〕で政治犯が審理された。また，主権在民，人民の生活権，労働権などを定めた**男性普通選挙制**の (68)〔　　〕= (69)〔　　〕が発布されたが実施はされなかった。

７月には (70)〔　　〕が宣言され, 自作農が創設されたので以後農民は革命に消極的になる。10 月，(71)〔　　〕が採用され，11 月，極左派の (72)〔　　〕の主張で (73)〔　　〕が崇拝されノートルダム寺院も「理性の殿堂」にかえられてしまった。しかし，エベールの処刑に伴い (74)〔　　〕は，「テニスコートの誓い」や後に「ナポレオンの戴冠式」を描く画家 (75)〔　　〕が演出した (76)〔　　〕の崇拝に切り替えて無神論ではないことを表明した。また，(77)〔　　〕実施を準備（正式採用は 1799 年から）した。

ロベスピエールの独裁により, 右派の (78)〔　　〕極左の (79)〔　　〕王妃 (80)〔　　〕や (81)〔　　〕，(82)〔　　〕，(83)〔　　〕らが処刑され，コンドルセは毒をあおいで自殺した。

【テルミドールの反動→総裁政府】1794 年７月の (84)〔　　〕で (85)〔　　〕が逮捕，処刑された。背景には，公安委員会の内紛，**自作農化した農民の保守化**，**ブルジョワジーの最高価格令への不満**がある。結果として，旧ジロンド派**テルミドリアン = テルミドール派**が実権を握った。

(86)〔　　〕年，かれらブルジョワによる穏健な共和政を志向する (87)〔　　〕が成立するが，これは**制限選挙**，**二院制**，**５人総裁制**で中産階級のブルジョワ社会に回帰した。10 月に (88)〔　　〕が成立するが，これが自由経済政策をとったので下層市民，農民が離反，ジャコバン憲法施行を求める暴動が多発したり，ナポレオンが鎮圧した (89)〔　　〕の反乱や「私有財産―それは罪である」と言った共産主義者 (90)〔　　〕の陰謀があったりと，**総裁政府は不安定**であった。このようなわけで強力なリーダーシップが待望されるようになる。ナポレオンの登場だ。

解答

（63）徴兵制　（64）最高価格令　（65）公安委員会　（66）保安委員会　（67）革命裁判所
（68）1793 年憲法　（69）ジャコバン憲法　（70）封建的特権（貢租）の無償廃止
（71）革命暦　（72）エベール派　（73）理性　（74）ロベスピエール　（75）ダヴィド
（76）最高存在　（77）メートル法　（78）ダントン　（79）エベール
（80）マリー = アントワネット　（81）ロラン夫人　（82）バルナーブ　（83）ラボアジェ
（84）テルミドール９日のクーデタ　（85）ロベスピエール　（86）1795
（87）1795 年憲法 = 共和国第３年憲法　（88）総裁政府　（89）王党派　（90）バブーフ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 34 講　テスト

1　古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　ヴァルミーの戦い

②　ヴァレンヌ逃亡事件

③　バブーフの陰謀

④　ヴェルサイユ行進

2　以下のうち，国民公会で初めて実施されたのでないもの。

①　ギルド廃止

②　封建的特権の無償廃止

③　理性崇拝

④　徴兵制

3　以下のうち，立憲君主主義者は。

①　トマス＝ペイン

②　ロベスピエール

③　ラファイエット

④　ロラン夫人

4　1783 年にネッケルの後任として財務総監に就任したが，特権身分への課税を主張し失脚，イギリスに亡命したのは。

①　テュルゴー

②　カロンヌ

③　シェイエス

④　ピット

5　ジャコバン＝クラブの最左派，山岳派の革命家で，ジロンド派追放を主導したが，ジロンド派支持者の女性に暗殺されたのは。

①　マラー

②　ダントン

③　エベール

④　ミラボー

第 34 講　テスト解答

1　①　　2　①　　3　③　　4　②　　5　①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第35講
ナポレオン・ウィーン体制

1

ナポレオン＝ボナパルトは(1)〔　　〕の貧乏(びんぼう)貴族出身で，砲兵(ほうへい)士官になり革命中はジャコバン派を支持，テルミドールの反動で一時投獄(とうごく)された。1795年には王党派のヴァンデミエールの反乱を鎮圧し国内軍司令官に任命された。1796年には(2)〔　　〕司令官として第1回イタリア遠征で(3)〔　　〕軍を撃破し(4)〔　　〕の和で(5)〔　　〕を解体，この条約でフランスは南ネーデルラント（ベルギー）とアドリア海諸島を獲得した。

1798年イギリスのインド支配打倒を目的とした(6)〔　　〕遠征の(7)〔　　〕の戦いで(8)〔　　〕率いるイギリス艦隊に敗北，この遠征のときナイル河口で(9)〔　　〕の碑文が発見された。このとき(10)〔　　〕(1799～1802年）が結成された。この間の(11)〔　　〕年の11月9日，(12)〔　　〕で(13)〔　　〕を樹立しフランス革命に終止符を打った。

【統領政府】統領政府はフランスの銀行資本に財政的に支援され，シェイエス，ディコス，そしてナポレオンの3人の統領だったが，事実上，**第1統領**ナポレオンの独裁だった。第2次(14)〔　　〕(1800～1801年）でオーストリアをマレンゴの戦いで破った。リュネヴィル条約でライン左岸をオーストリアより獲得，1802年の(15)〔　　〕でイギリスと和約，第2回対仏大同盟を解体した。

共和国第8年の憲法で所有，平等，自由の原則を掲げ，1800年には(16)〔　　〕を設立した。1802年，教皇(17)〔　　〕との宗教和約＝(18)〔　　〕でカトリックを許可，しかし革命時の没収(ぼっしゅう)教会財産は返還(へんかん)しなかった。のちナポレオンは教皇ピウス7世をフォンテンブローに幽閉(ゆうへい)する。また同年，黒人奴隷制度が復活した。

1802年，公教育一般法を制定，(19)〔　　〕年には，フランス民法典＝(20)〔　　〕を発布した。全文2281条で人身の自由，法の前の平等，(21)〔　　〕の絶対，(22)〔　　〕の自由，良心の自由などブルジョワ市民社会の基本的権利を規定した。“余の名誉は40回に及ぶ戦勝ではない。永遠に残るのはこの民法典である”

解答

（1）コルシカ島　（2）イタリア遠征　（3）オーストリア　（4）カンポ＝フォルミオ
（5）第1回対仏大同盟　（6）エジプト　（7）アブキール湾　（8）ネルソン
（9）ロゼッタ＝ストーン　（10）第2回対仏大同盟　（11）1799
（12）ブリュメール18日のクーデタ　（13）統領政府(とうりょうせいふ)　（14）イタリア遠征
（15）アミアンの和　（16）フランス銀行　（17）ピウス7世　（18）コンコルダート
（19）1804　（20）ナポレオン法典　（21）私的所有権　（22）契約

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第１帝政】(23)〔　　〕年，国民投票で皇帝に就任 (24)〔　　〕を名乗る。皇后(こうごう)は (25)〔　　〕。(26)〔　　〕寺院に教皇 (27)〔　　〕を呼びつけ戴冠させた。その絵を描いた画家が (28)〔　　〕である。これにたいして (29)〔　　〕が結成される。(30)〔　　〕年には「黒いジャコバン」(31)〔　　〕の革命の結果，(32)〔　　〕がフランスから独立した。

(33)〔　　〕年の (34)〔　　〕の海戦では再び (35)〔　　〕に破れイギリス上陸作戦に失敗したが，12月２日には霧の中 (36)〔　　〕の３帝会戦ではロシアの (37)〔　　〕とオーストリアの (38)〔　　〕を破りヨーロッパを恐れさせ，英首相小ピットは心痛から死亡した。こうして第３回対仏大同盟が解体した。

【最盛期】(39)〔　　〕年には南西ドイツつまり (40)〔　　〕と (41)〔　　〕を除く全ドイツの保護者となり (42)〔　　〕を結成，1648 年のウェストファリア条約で既に有名無実化していた (43)〔　　〕が滅亡した。兄ジョセフを (44)〔　　〕王のち (45)〔　　〕王（1808 年）弟ルイ（後のナポレオン３世の父親）をフランス革命の影響でバタヴィア共和国となっていた (46)〔　　〕王にした。

(47)〔　　〕の戦いでプロイセンとロシアを破り (48)〔　　〕を占領した。占領下のベルリンで (49)〔　　〕が『(50)〔　　〕』という連続講演を行い**ドイツのナショナリズムが高揚**した。ナポレオン法典がドイツの民情に合わないので (51)〔　　〕は (52)〔　　〕派を始め，その弟子が**『グリム童話』**を書いた。1806 〜 07 年の (53)〔　　〕で対英経済封鎖とフランス資本の大陸市場独占を図ったが，これはむしろ大陸諸国にとって大打撃だった。

(54)〔　　〕年の対ロシア，対プロイセンの (55)〔　　〕でプロイセンの領土を半減させ，その西にボン生まれの (56)〔　　〕が生活した (57)〔　　〕，東に (58)〔　　〕という傀儡(かいらい)政権を建設した。

1808 年にスペインを征服するが (59)〔　　〕では (60)〔　　〕（小さい戦争の意）に悩まされ，最後まで鎮圧できなかった。その時の絵が (61)〔　　〕の**「1808 年５月３日」**だ。**プラド美術館（マドリード）蔵。**

解答

(23) 1804　(24) ナポレオン１世　(25) ジョセフィーヌ　(26) ノートルダム
(27) ピウス７世　(28) ダヴィド　(29) 第３回対仏大同盟　(30) 1804
(31) トゥサン＝ルーベルチュール　(32) ハイチ　(33) 1805　(34) トラファルガー
(35) ネルソン　(36) アウステルリッツ　(37) アレクサンドル１世　(38) フランツ２世
(39) 1806　(40) オーストリア　(41) プロイセン　(42) ライン同盟
(43) 神聖ローマ帝国　(44) ナポリ　(45) スペイン　(46) オランダ
(47) イエナ・アウエルシュタット　(48) ベルリン　(49) フィヒテ
(50) ドイツ国民に告ぐ　(51) サヴィニー　(52) 歴史法学　(53) 大陸封鎖(ふうさ)令
(54) 1807　(55) ティルジット条約　(56) ベートーベン　(57) ウェストファリア王国
(58) ワルシャワ大公国　(59) 半島戦争　(60) ゲリラ　(61) ゴヤ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

プロイセンでも国政改革がすすんだ。(62)〔　　〕の**農民解放**，都市自治，それを受け継いだ(63)〔　　〕の農民への土地授与，中央政府機構の整備などの改革，シャルンホルスト，グナイゼナウの国民軍の創設などの軍政改革，(64)〔　　〕の教育改革と(65)〔　　〕の創設（1811 年）などがそれである。ベルリン大学の初代の総長が(66)〔　　〕。のちに世界史を「絶対精神実現のプロセスだ」と単線的な進歩史観で定義した**弁証法**の(67)〔　　〕も教壇に立った。

ナポレオンは 1810 年オーストリアの皇女**マリ＝ルイーズ**と結婚した。

【斜陽期】大陸封鎖令に違反した懲罰として始まった(68)〔　　〕では(69)〔　　〕の戦いののち(70)〔　　〕を占領したが，ロシアの(71)〔　　〕将軍の焦土戦術の前に失敗，1813 年(72)〔　　〕が結成されヨーロッパの大半の国が参加，(73)〔　　〕の諸国民戦争で墺，普，露の連合軍に破れ(74)〔　　〕へ流された。1814 年 4 月に退位し(75)〔　　〕が開催されるが“議会は踊る，されど進まず”でそのうちナポレオンがエルバ島を脱出，1815 年 3 月 20 日から 6 月 22 日までの**百日天下**にたいし，**第５回対仏大同盟**が結成され，(76)〔　　〕の戦いでイギリスの(77)〔　　〕とプロイセンのブリュッヘルに破れ，南大西洋の(78)〔　　〕に流された。

ナポレオンはヨーロッパに２つの種を蒔いた。**自由主義**の種と**国民主義**の種。占領地域に『ナポレオン法典』を適用し自由主義経済の原則を根づかせた。また侵攻され占領された地域のナショナリズム（国民意識）を覚醒させた。

解答

(62) シュタイン　(63) ハルデンベルク　(64) フンボルト　(65) ベルリン大学
(66) フィヒテ　(67) ヘーゲル　(68) ロシア遠征　(69) ボロジノ　(70) モスクワ
(71) クトゥーゾフ　(72) 第４回対仏大同盟　(73) ライプツィヒ　(74) エルバ島
(75) ウィーン会議　(76) ワーテルロー　(77) ウェリントン　(78) セントヘレナ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2

【ウィーン会議】ナポレオン1世を(1)〔　　〕に流し，オーストリア・ハプスブルク家の宰相(2)〔　　〕のお膝元(ひざもと)で(3)〔　　〕が開かれ**ウィーン体制**（メッテルニッヒ体制）が始まった。会議の中心は，フランス外相(4)〔　　〕とロシア皇帝(5)〔　　〕世の三人。

「会議は踊る，されど進まず」と言われ舞踏会ばかりで議事進行がままならず，途中ナポレオンが脱出して再度皇帝になった。

ウィーン体制の原則は**タレーランが提唱(ていしょう)した**(6)〔　　〕で，**フランス革命勃発時（1789年7月14日）の支配者・領土が正統**というものだ。

同盟は(7)〔　　〕。**アレクサンドル1世が提唱**したもので，キリスト教の友愛精神による秩序(ちつじょ)維持が趣旨であるが，英外相カッスルレーはナンセンス！と言った。ギリシア正教会の世俗代表のロシア皇帝の言う「友愛」に，カトリックの教皇，英国国教会のイギリス，イスラームのオスマン帝国は参加せず，実質的な同盟は(8)〔　　〕だった。**イギリス・オーストリア・プロイセン・ロシアの四国で後にフランスも加わり五国同盟**となった。

ウィーン体制の基本的性格は**保守反動。王家による支配を保ち守って，革命・民族運動・国民による国家形成はおさえこむ**というものだ。

【(9)〔　　〕】ウィーン会議による決定事項として以下のことを暗記しよう。

①**フランス・スペイン・ナポリ**で(10)〔　　〕が復活

②イギリスはオランダから(11)〔　　〕（現スリランカ），(12)〔　　〕，フランスから(13)〔　　〕を獲得

③オーストリア＝ハプスブルク家は(14)〔　　〕・(15)〔　　〕を回復

④南ネーデルラント（現ベルギー）は(16)〔　　〕領に

⑤ドイツはライン同盟が廃止され，主権がある35君主国4自由市（リューベック・ハンブルク・ブレーメン・フランクフルト）から成る(17)〔　　〕になり，(18)〔　　〕が議長国，(19)〔　　〕に連邦議会

解答

（1）エルバ島　（2）メッテルニヒ　（3）ウィーン会議　（4）タレーラン

（5）アレクサンドル1　（6）正統主義　（7）神聖同盟　（8）四国同盟

（9）ウィーン議定書(ぎていしょ)　（10）ブルボン家　（11）セイロン島　（12）ケープ植民地

（13）マルタ島　（14）ヴェネツィア　（15）ロンバルディア　（16）オランダ

（17）ドイツ連邦　（18）オーストリア　（19）フランクフルト

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑥プロイセンは (20)〔　　〕の北半分と (21)〔　　〕を領有しいよいよフランスに接近
⑦ロシアは (22)〔　　〕を獲得
⑧ロシア皇帝は (23)〔　　〕立憲王国を支配（事実上第４次ポーランド分割）
⑨スウェーデンはデンマークから (24)〔　　〕を獲得
⑩スイスは (25)〔　　〕に

ウィーン体制がその理念どおり自由を抑圧できた例は４つ。ドイツの (26)〔　　〕の運動，イタリアの (27)〔　　〕の運動，スペインのリェゴによる (28)〔　　〕，ロシアの (29)〔　　〕。逆に抑えなかった２例が (30)〔　　〕の独立と (31)〔　　〕の独立だ。

解答

(20) ザクセン　(21) ラインラント　(22) フィンランド　(23) ポーランド
(24) ノルウェー　(25) 永世中立国　(26) ブルシェンシャフト　(27) カルボナリ党
(28) 立憲革命　(29) デカブリストの乱　(30) ギリシア　(31) ラテンアメリカ諸国

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3

ラテン＝アメリカ初の独立国，世界初の黒人共和国はフランス植民地サント＝ドマングつまり(1)〔　　〕だ。「黒いジャコバン」といわれた(2)〔　　〕が指導，ナポレオンが介入したが 1804 年に独立宣言 1806 年に独立した。

ベネズエラやアルゼンチンではスペイン本国の重商主義政策への反発と安価なイギリス製品を求め自由貿易体制への移行を望んだ。1808 年の(3)〔　　〕のスペイン侵攻を機に独立運動が始まった。

【シモン＝ボリバルとサン＝マルティン】(4)〔　　〕はコロンビアを転戦し亡命生活を経てベネズエラに再上陸，(5)〔　　〕年には(6)〔　　〕・(7)〔　　〕((8)〔　　〕を含む)・(9)〔　　〕を(10)〔　　〕として独立させた。1830 年には各々に解体した。

1816 年にはラプラタ連合が(11)〔　　〕として独立宣言，1825 年にはイギリスの調停でブラジルとの緩衝地帯として(12)〔　　〕が形成された。1817 ～ 18 年(13)〔　　〕はアンデス山脈を越えて(14)〔　　〕を解放。スペインの南米支配の本拠地(15)〔　　〕(現ペルー) を 1821 年に解放し，1822 年には**エクアドルのグアヤキルでシモン＝ボリバルと会見し後事を託す**。ボリバルは内陸部アルト＝ペルーの王党派を撃破して(16)〔　　〕が独立，名称は彼の名に由来する。

【メキシコ】メキシコのような本国スペインとの経済的結びつきの強い地域では(17)〔　　〕も保守的だった。1810 年には下級クリオーリョの(18)〔　　〕神父が奴隷制廃止などの急進的要求を掲げた運動を始め先住民やメスチーソが多数参加したが 1811 年に処刑された。1813 年にはメスチーソの(19)〔　　〕が奴隷制廃止，土地改革を主張して独立宣言したが 1815 年に処刑された。

1820 年にスペイン本国で(20)〔　　〕によるブルボン家への立憲革命が起き 1812 年自由主義憲法が復活した。この影響でメキシコも独立に傾き 1821 年(21)〔　　〕を皇帝に独立した。メキシコでは 1855 年に法相(22)〔　　〕による改革がなされ既得権にメスが入った。保守派やカトリック教会は(23)〔　　〕に支援を要請，フランス・スペイン・イギリスがメキシコ出兵，共和政府を倒しオーストリア皇帝の弟マクシミリアンを皇帝に擁立した。

解答

（１）ハイチ　（２）トゥサン＝ルーヴェルチュール　（３）ナポレオン１世
（４）シモン＝ボリバル　（５）1819　（６）ベネズエラ　（７）コロンビア
（８）パナマ　（９）エクアドル　(10) グラン（大）＝コロンビア　(11) アルゼンチン
(12) ウルグアイ　(13) サン＝マルティン　(14) チリ　(15) リマ　(16) ボリビア
(17) クリオーリョ　(18) イダルゴ　(19) モレロス　(20) リェゴ　(21) イトゥルビデ
(22) フアレス　(23) ナポレオン３世

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

しかしメキシコ民衆の反乱や疫病でフランス軍は壊滅，南北戦争を終えた合衆国の介入もあり**フランス軍はマクシミリアンを見捨て撤兵，皇帝は銃殺**された。

このフアレスのもと対仏戦争に活躍したが後に反動化したのが(24)〔　　〕。かれは1910～17年のメキシコ革命で打倒されるまで独裁体制を維持した。ディアスを打倒し大統領になったのが(25)〔　　〕だが, 土地改革に否定的で(26)〔　　〕指導の農民勢力と対立したので政権は不安定でクーデターで暗殺された。

(27)〔　　〕は(28)〔　　〕に勝利し大統領に就任し1917年に，土地改革・地下資源の国有化・政教分離・社会的権利の保障などを定めた憲法を発布したが，憲法を履行せず民衆の支持を失い暗殺された。サパタはカランサ派に暗殺された。

【ブラジル】唯一ポルトガル領だったのが(29)〔　　〕。ナポレオン戦争期にイギリスがポルトガル王室をブラジルに避難させた。ナポレオン失脚後，王は帰還したが王子が1822年に皇帝に即位し独立を宣言。1889年には共和国になった。**社会学の祖で実証主義哲学を体系化した**といえばフランスの(30)〔　　〕だが, 彼が始めた宗教が人間教。その信者が多いからブラジル国旗は地球をかたどっている。

(31)〔　　〕年に(32)〔　　〕で**初の革命によらない社会主義政権を樹立，鉱山国有化**したのが(33)〔　　〕。アジェンデ政権を(34)〔　　〕年に打倒し権威主義政府を樹立，国民を弾圧したのが(35)〔　　〕。1990年代ペルーの日系人大統領が(36)〔　　〕。キューバ革命のアルゼンチン人，1967年ボリビアで死亡したのが(37)〔　　〕。戦後アルゼンチンで国家社会主義政策，妻がエビータと言えば(38)〔　　〕。

解答

(24) ディアス　(25) マデロ　(26) サパタ　(27) カランサ　(28) メキシコ革命
(29) ブラジル　(30) コント　(31) 1970　(32) チリ　(33) アジェンデ　(34) 1973
(35) ピノチェト　(36) フジモリ　(37) チェ＝ゲバラ　(38) ペロン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 35 講　テスト

1　ブリューメル 18 日のクーデターで倒されたのは。

①　立法議会
②　総裁政府
③　国民公会
④　統領政府

2　第 1 帝政が始まったのはいつか。

①　1792 年
②　1804 年
③　1815 年
④　1830 年

3　ウィーン会議によって即位したのは。

①　シャルル 10 世
②　ルイ 18 世
③　ルイ＝フィリップ
④　ルイ＝ナポレオン

4　古い順に並べかえた場合に 3 番目にくるのは。

①　ワーテルローの戦い
②　ライプツィヒの戦
③　アウステルリッツの三帝会戦
④　トラファルガーの海戦

5　古い順に並べかえた場合に 3 番目にくるのは。

①　ライン同盟成立
②　ワルシャワ大公国成立
③　『ナポレオン法典』成立
④　ロゼッタ＝ストーン発見

6　正統主義を唱えたのは。

①　メッテルニヒ
②　タレーラン
③　アレクサンドル 1 世
④　ディズレーリ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　神聖同盟に加盟しなかったのは。

①　ロシア

②　フランス

③　イギリス

④　オーストリア

8　ウィーン会議においてイギリスが獲得した領土は。

①　キプロス島

②　キオス島

③　セイロン島

④　クレタ島

9　ウィーン会議の結果，ポーランドを実質支配することになった国は。

①　オーストラリア

②　ロシア

③　オスマン帝国

④　スウェーデン

10　ウィーン会議の結果，南ネーデルラント（ベルギー）はどの国の領土になったか。

①　イギリス

②　フランス

③　オランダ

④　スペイン

第 35 講　テスト解答

1　②	2　②	3　②	4　②	5　①	6　②
7　③	8　③	9　②	10　③		

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 36 講
19 世紀フランス史・イギリス史

【パリ七月革命】フランスではブルボン朝が復活し(1)〔　　〕世が即位した。立憲政治を展開したが次の(2)〔　　〕世は亡命貴族を優遇し反動的だったので市民の不満が高まった。政府は不満のガス抜きに(3)〔　　〕年に(4)〔　　〕に出兵する。検閲(けんえつ)を強化する国王の(5)〔　　〕にたいし，老(6)〔　　〕が率いる「栄光の三日間」(7)〔　　〕となる。(8)〔　　〕派の画家(9)〔　　〕の作品**「民衆を率いる自由の女神」**に描かれた。結果成立したのが，(10)〔　　〕と呼ばれる(11)〔　　〕で国王は(12)〔　　〕。

七月革命の影響は① (13)〔　　〕がオランダから独立 ②イタリアでは(14)〔　　〕が(15)〔　　〕を結成 ③イギリスで(16)〔　　〕④ドイツ(17)〔　　〕成立 ⑤(18)〔　　〕蜂起→失敗しロシア領に（(19)〔　　〕のピアノ曲「革命」のモチーフ）など。

【パリ二月革命】七月王政はフランスの産業革命期のピークでルイ＝フィリップは「株屋の王」と言われた。産業資本家の時代に労働者は待遇改善を望むも選挙権は無く，(20)〔　　〕首相が**「選挙権が欲しければ金持ちに成りたまえ」**と言う時代。(21)〔　　〕の紡績(ぼうせき)工場では暴動が起きた。(22)〔　　〕年パリの(23)〔　　〕（選挙権拡大要求の集会）が制圧されたのをきっかけに(24)〔　　〕となった。指導者は詩人で穏健共和派の(25)〔　　〕と社会主義者(26)〔　　〕。

この 1848 年２月というのは，(27)〔　　〕と(28)〔　　〕が『(29)〔　　〕』を出した月だ。**「ヨーロッパに妖怪(ようかい)が現れる，共産主義という妖怪が…これまでの社会の歴史は階級闘争(とうそう)の歴史である…万国の労働者よ団結せよ！」**

二月革命により(30)〔　　〕がつくられるなど労働者寄りの政策が採られたことをブルジョアジーは危惧(きぐ)し，(31)〔　　〕の(32)〔　　〕では**社会主義者は大敗**した。労働者の(33)〔　　〕は鎮圧された。年末の大統領選挙ではナポレオンの甥(おい)っ子(34)〔　　〕が当選した。ナポレオン１世の法典が所有権を保障していたことで農民やブルジョアジーなどを安心させ得るからだ。

二月革命の影響で(35)〔　　〕・(36)〔　　〕において(37)〔　　〕。**メッテルニッヒが亡命し**(38)〔　　〕は終焉。

解答

（１）ルイ 18　（２）シャルル 10　（３）1830　（４）アルジェリア　（５）七月王令
（６）ラファイエット　（７）七月革命　（８）ロマン　（９）ドラクロワ　（10）七月王政
（11）オルレアン朝　（12）ルイ＝フィリップ　（13）ベルギー　（14）マッツィーニ
（15）青年イタリア　（16）第１回選挙法改正　（17）関税同盟　（18）ポーランド
（19）ショパン　（20）ギゾー　（21）リヨン　（22）1848　（23）改革宴会
（24）二月革命　（25）ラマルチーヌ　（26）ルイ＝ブラン　（27）マルクス
（28）エンゲルス　（29）共産党宣言　（30）国立作業場　（31）男性普通選挙
（32）四月普通選挙　（33）六月蜂起　（34）ルイ＝ナポレオン　（35）ウィーン
（36）ベルリン　（37）三月革命　（38）ウィーン体制

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「(39)〔　　〕」というナショナリズムが吹き出す一連の動きが複合多民族国家オーストリアでみられるようになる。ハンガリーでは (40)〔　　〕。(41)〔　　〕ではパラツキーの民族運動，(42)〔　　〕のポズナニでも暴動が起きたが独立には至らなかった。

まとめると**ウィーン体制とは 1815 年のウィーン会議から 1848 年のウィーン三月革命まで**の体制ということになる。

【第２帝政　1852 〜 1870 年】軍事力を背景にした (43)〔　　〕の独裁政治を (44)〔　　〕という。特徴は人気取り政策。軍部を掌握した彼が (45)〔　　〕の翌年，国民投票で皇帝即位。

海外を侵略し，市場を確保し，産業資本家にゴマをすりつつ，「(46)〔　　〕」のあだ名のとおり労働者向けの政策を連発し (47)〔　　〕を改造し (48)〔　　〕を開催，(49)〔　　〕に沿って土地所有権を保証し農民を安心させ，また，皇帝という肩書どおり (50)〔　　〕の支持を確保した。

ナポレオン３世の侵略先。①**聖地エルサレム管理権**から (51)〔　　〕。②イギリスと共に清と (52)〔　　〕。③ (53)〔　　〕で**コーチシナ**次いで**カンボジア**獲得。④ (54)〔　　〕に関わり**サヴォイア**と**ニース**獲得。⑤ (55)〔　　〕出兵。

(56)〔　　〕年に (57)〔　　〕がスエズ運河開削(かいさく)。

(58)〔　　〕年，**プロイセン＝フランス（普仏）戦争**の (59)〔　　〕で (60)〔　　〕（プロイセン王国）に敗れ退位。

解答

(39) 諸国民の春　(40) コシュート　(41) プラハ　(42) ポーランド

(43) ルイ＝ナポレオン　(44) ボナパルティズム　(45) 1851 年クーデタ

(46) 馬上のサン＝シモン　(47) パリ　(48) 万国博覧会　(49) ナポレオン法典

(50) カトリック教徒　(51) クリミア戦争　(52) アロー戦争　(53) 仏越戦争

(54) イタリア統一戦争　(55) メキシコ　(56) 1869　(57) レセップス　(58) 1870

(59) スダン　(60) ビスマルク

【古典派経済学の成立】フランスの (1)〔　　〕学派 (2)〔　　〕の『(3)〔　　〕』(1758 年）のキーワードはレッセ＝フェール（なすにまかせよ！）で，**流通過程を統制する重商主義を批判**し登場した。農業のように自由放任に生産すればよいという発想だ。自由放任を受け継いだのが，**スコットランド・グラスゴー**の (4)〔　　〕で，彼は (5)〔　　〕年の著作『(6)〔　　〕』で，各人がセルフインタレスト（自己利益）を追求すれば，その時**神の見えざる手が働く**と述べた。蜂(はち)が利己的だから蜂蜜ができるように，為政(いせい)者による統制は国富の増大にとっては弊害(へいがい)であると。これは啓蒙の 18 世紀に流行った (7)〔　　〕という神のとらえ方（神は最初にサイコロを振った第１原因にすぎず後は人間に介入しないという発想,『(8)〔　　〕』を編纂した (9)〔　　〕は人間を自動ピアノに喩(たと)えている）の影響を受けている。

古典派経済学はアダム＝スミス→マルサス→リカード。

(10)〔　　〕は『(11)〔　　〕』(1798 年）で，食糧増産が算術級数的であるのに対し人口増加が幾何級数的であるから，病気・戦争・犯罪・自殺などによる早死という悪弊(あくへい)がなければ人類はとっくに絶滅していたと論じ，晩婚を奨励している。**穀物法撤廃(てっぱい)には反対**した。

産業革命たけなわの時期つまり産業資本家が婦人少年を１日 15 時間以上働かせボロ儲(もう)けし始めた頃に登場したのが (12)〔　　〕。工場労働者の平均就業年齢は５～８歳，２歳の工場労働者がいたという記録もある！で，平均寿命は 19 歳。

マルサスの言説の影響を大いに受けて (13)〔　　〕は (14)〔　　〕年に『(15)〔　　〕』を著した。進化論だ。同書には「自然淘汰(とうた)による」が副題として付いている。

(16)〔　　〕は『経済学および課税の原理』で (17)〔　　〕から分業を説き穀物法撤廃に賛成，またアダム＝スミス以来の (18)〔　　〕を完成させ，マルクス主義の「働かざる者食うべからず」という思想に影響を与えた。

解答

（1）重農　（2）ケネー　（3）経済表　（4）アダム＝スミス　（5）1776
（6）諸国民の富（国富論(こくふろん)）　（7）理神論(りしんろん)　（8）百科全書　（9）ディドロ
（10）マルサス　（11）人口論　（12）古典派経済学　（13）ダーウィン　（14）1859
（15）種の起源(しゅのきげん)　（16）リカード　（17）比較優位説　（18）労働価値説

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【イギリスの自由主義的諸改革】19 世紀前半のイギリスは地主に代わり産業資本家に都合のよい仕組みに変化すべく，規制の撤廃つまり自由主義的な諸改革が花開いた時期である。

(1)〔　　〕年にアイルランドがイギリスに併合されグレートブリテン＝アイルランド連合王国が成立した。ということは，ほとんどがカトリック教徒のアイルランドが，審査法があるゆえカトリック教徒が公職に就けない国の一部になってしまったということになる。

(2)〔　　〕の活躍で (3)〔　　〕年に**審査法が廃止**され (4)〔　　〕年には (5)〔　　〕が出る。

(6)〔　　〕年にはパリ七月革命の影響で (7)〔　　〕。**都市の産業資本家に選挙権**が与えられ，地主のやりたい放題だった (8)〔　　〕がなくなった。

(9)〔　　〕年には (10)〔　　〕が制定され 18 歳未満は 12 時間労働までで夜業が禁止，9 〜 13 歳は 9 時間までとなった。尽力したのが (11)〔　　〕で彼は**ニューラナークに模範工場をつくりアメリカにニューハーモニーという共産主義的共同体をつくったが失敗**した。この年，(12)〔　　〕が廃止になった。

(13)〔　　〕年から**東インド会社の商業活動が全面禁止**となり，貿易の規制が撤廃され，同会社を統治機関に特化した。

(14)〔　　〕年に (15)〔　　〕と (16)〔　　〕がマンチェスターで (17)〔　　〕を結成する。穀物法は (18)〔　　〕年に制定された。ナポレオン失脚に伴いナポレオンが出した大陸封鎖令も消滅するとヨーロッパ大陸から安い穀物が入ってくる。これに高関税をかけて地主の利益を守るのが穀物法。しかし産業資本家が議会で発言できるようになり (19)〔　　〕年**穀物法は撤廃**された。

自由貿易体制へと移行したこの時期，(20)〔　　〕((21)〔　　〕年〜 (22)〔　　〕年）開戦を議会は僅差で可決する。(23)〔　　〕外交だ。

(24)〔　　〕年には (25)〔　　〕も撤廃され**イギリスは自由貿易体制に移行**した。

【パクス＝ブリタニカ】(26)〔　　〕年にはロンドン万博が開かれた。(27)〔　　〕が人気を博した万博だ。同年 (28)〔　　〕が誕生した。1863 年にはロンドンに**地下鉄**が開通。

男子普通選挙が実現した 1848 年のパリ二月革命の影響で (29)〔　　〕運動がピークをむかえた。(30)〔　　〕年の**第２次選挙法改正で都市の工場労働者**にまで選挙権が拡大した。参考までに (31)〔　　〕年の**第３次**（(32)〔　　〕内閣）で**農業・鉱山労働者**に，(33)〔　　〕年の**第４次で 30 歳以上の女子**に，(34)〔　　〕年の**第５次で男女普通選挙**となる。

解答

（1）1801　（2）オコンネル　（3）1828　（4）1829　（5）カトリック教徒解放令
（6）1832　（7）第１回選挙法改正　（8）腐敗選挙区　（9）1833　（10）一般工場法
（11）オーウェン　（12）奴隷制度　（13）1834　（14）1839　（15）コブデン
（16）ブライト　（17）反穀物法同盟　（18）1815　（19）1846　（20）アヘン戦争
（21）1840　（22）1842　（23）パーマストン　（24）1849　（25）航海法　（26）1851
（27）水晶宮　（28）ロイター通信社　（29）チャーチスト　（30）1867　（31）1884
（32）グラッドストン　（33）1918　（34）1928

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

オーストラリアの先住民族は (1)〔　　〕だ。狩猟(しゅりょう)・採集民族で高度な政治組織は持っていなかった。約 30 万人いたのが現在は数万人にまで減少した。強制同化政策がとられていたが 1965 年からアボリジニーの復権運動が開始した。ニュージーランドの先住民族は (2)〔　　〕で，比較的強固な社会組織だった。タスマニアのタスマニア人は絶滅した。

オランダ人 (3)〔　　〕は 17 世紀にニュージーランド・タスマニア・フィージーを発見，オーストラリア大陸を周航した。

イギリス人 (4)〔　　〕は 1770 年にオーストラリア東海岸に上陸し，英領宣言したがハワイで殺害された。18 世紀末に (5)〔　　〕が内戦を終結させて建てた王朝のがカメハメハ王朝だ。その最後の王朝が (6)〔　　〕で親米系市民のクーデターで 1893 年に退位した。合衆国によるハワイ併合は (7)〔　　〕大統領の時の (8)〔　　〕年。

1788 年最初のオーストラリア流刑囚 780 人を含む約 1200 人が流刑植民地として植民を開始した。1820 年代には牧羊業が発展，1850 年代には (9)〔　　〕が起きた。中国人移民が増加したので 1855 年に中国人移民を制限した。日本人移民の増加にも危機感を感じた。1880 年代からは (10)〔　　〕という**排外政策がオーストラリアの特色**となった。1960 年代には制限は次第に撤廃され，ベトナム難民を大量に受け入れるほどになり，1973 年に制限法が撤廃となった。

オーストラリア連邦が自治領になったのが (11)〔　　〕年，ニュージーランドは (12)〔　　〕年。世界初の (13)〔　　〕は 1894 年の (14)〔　　〕だ。いずれも (15)〔　　〕年の (16)〔　　〕で事実上独立した。(17)〔　　〕年には (18)〔　　〕・(19)〔　　〕・(20)〔　　〕による反共軍事同盟 (21)〔　　〕((22)〔　　〕) が結成された。

1946年以降は原爆の1954年以降は水爆の実験をマーシャル諸島(23)〔　　〕で続けたので，周辺住民は「死の灰」を浴びて被爆した。1954年日本漁船の(24)〔　　〕が被爆(ひばく)し乗組員が死傷した。これが(25)〔　　〕が高まるきっかけとなった。

原水爆禁止運動は東京都杉並の主婦の運動から世界的運動に発展，1955 年には第一回大会が広島で開かれた。直前には**哲学者と物理学者による** (26)〔　　〕がなされ同運動に影響を与えた。1957 年には同宣言に基づきカナダの (27)〔　　〕で科学と国際問題に関する会議を開いた。以後，**科学者による核兵器禁止運動の中心組織をパグウォッシュ会議**という。

解答

（1）アボリジニー　（2）マオリ族　（3）タスマン　（4）クック　（5）カメハメハ
（6）リリウオカラニ女王　（7）マッキンリー　（8）1898　（9）ゴールドラッシュ
（10）白濠(はくごう)主義　（11）1901　（12）1907　（13）女性参政権　（14）ニュージーランド
（15）1931　（16）ウェストミンスター憲章　（17）1951　（18）オーストラリア
（19）ニュージーランド　（20）アメリカ合衆国　（21）ANZUS　（22）太平洋安全保障条約
（23）ビキニ環礁　（24）第五福竜丸(ふくりゅうまる)　（25）原水爆禁止運動
（26）ラッセル＝アインシュタイン宣言　（27）パグウォッシュ

第 36 講　テスト

1　1848 年のフランスの出来事を並べかえた場合に 3 番目にくるものは。

①　労働者の六月蜂起
②　ルイ＝ナポレオン大統領に就任
③　国立作業場設立
④　男性普通選挙実施

2　以下の事象のうち七月革命の影響でないものは。

①　ドイツ関税同盟成立
②　ベルギーの独立
③　諸国民の春
④　カルボナリのイタリア蜂起

3　以下の人物のうち「空想的社会主義」者として分類されないのは。

①　フーリエ
②　エンゲルス
③　オーウェン
④　サン＝シモン

4　中小生産者・労働者・消費者などが作った相互扶助の組織は。

①　労働組合
②　協同組合
③　人民憲章
④　文化闘争

5　1776 年に「諸国民の富」を書いたのは誰か。

①　アダム＝スミス
②　マルサス
③　リカード
④　マルクス

6　マンチェスター・リヴァプール間で鉄道が営業運転開始されたのは何年か。

①　1819
②　1825
③　1830
④　1844

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　イギリス選挙改正法について。初めて女性の選挙権が認められたのは次のうちどれか。

①　1832 第 1 回選挙改正法 グレイ内閣

②　1867 第 2 回選挙改正法 ダービー内閣

③　1884 第 3 回選挙改正法 グラッドストン内閣

④　1918 第 4 回選挙改正法 ロイド＝ジョージ内閣

8　カトリック教徒解放法に尽力した人物は。

①　オーウェン

②　コブデン

③　オコンネル

④　ブライト

9　1875 年にスエズ運河株を買収した人物は。

①　グラッドストン

②　カニング

③　ディズレイリ

④　ロイド＝ジョージ

10　イギリス労働党の結党に無関係の言葉は。

①　バーナード＝ショー

②　ウェッブ夫妻

③　フェビアン協会

④　ラダイト運動

第 36 講　テスト解答

1	①	2	③	3	②	4	②	5	①
6	③	7	④	8	③	9	③	10	④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 37 講
アイルランド史・イタリアとドイツの統一

1

(1)〔　　〕年の**インド大反乱（シパーヒーの乱）を機に東インド会社を解散しインドを直轄領**（ちょっかつ）とし，(2)〔　　〕年には (3)〔　　〕がインド王を兼任し英領インド帝国が成立した（～ (4)〔　　〕年）。

19 世紀のイギリスは保守党と自由党の二大政党制。保守党（ディズレイリ）は植民地を保ち守りたい党で**帝国主義**的にアイルランド自治には反対，対して自由党（パーマストン・クラッドストン）は自由貿易派の**小英国主義**でアイルランド自治に賛成と覚えよう。

(5)〔　　〕の (6)〔　　〕年に (7)〔　　〕が初めて可決し，(8)〔　　〕で公立学校が増設された。(9)〔　　〕年には (10)〔　　〕で労働組合が合法化された。これは**団結禁止法が廃止**された結果である。

(11)〔　　〕年には劇作家の (12)〔　　〕や (13)〔　　〕が (14)〔　　〕を設立，**漸進的な改革**（ぜんしん）をめざす。**労働組合を取り込みつつもマルクス主義は排除**し，(15)〔　　〕(1900 年）を経て (16)〔　　〕年に (17)〔　　〕となった。

(18)〔　　〕年の (19)〔　　〕で**下院の上院に対する優越が実現**し，アイルランド自治賛成の自由党が下院の多数を占めるため，(20)〔　　〕年に (21)〔　　〕が可決したが第一次世界大戦勃発で実施は延期。1916 年ダブリンでイースター蜂起が起き，戦後の (22)〔　　〕年に (23)〔　　〕として独立した。(24)〔　　〕年に (25)〔　　〕と改称，1949 年に英連邦から離脱し (26)〔　　〕となる。アイルランドの内政・外交を主導した人物が (27)〔　　〕である。

(28)〔　　〕中心の (29)〔　　〕（**北アイルランド**）はプロテスタントが多数派だからイギリスに留まる。当地の少数派カトリック教徒の公民権をプロテスタント並みにせよ！という運動を合法的に展開したのが (30)〔　　〕。テロという手法に走るのが IRA（アイルランド共和国軍）。

解答

（１）1858　（２）1877　（３）ヴィクトリア女王　（４）1947　（５）グラッドストン
（６）1870　（７）アイルランド土地法　（８）教育法　（９）1871　（10）労働組合法
（11）1884　（12）バーナード＝ショー　（13）ウェッブ夫妻　（14）フェビアン協会
（15）労働代表委員会　（16）1906　（17）労働党　（18）1911　（19）議会法
（20）1914　（21）アイルランド自治法　（22）1922　（23）アイルランド自由国
（24）1937　（25）エール共和国　（26）アイルランド共和国　（27）デ＝ヴァレラ
（28）ベルファスト　（29）アルスター地方　（30）シン＝フェイン党

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2

【ウィーン体制下のイタリア】(1)〔　　〕と(2)〔　　〕（両シチリア王国）では(3)〔　　〕家支配が復活した。

ローマ付近は(4)〔　　〕領。(5)〔　　〕を中心とした(6)〔　　〕地方，南ティロル，トリエステ，(7)〔　　〕は(8)〔　　〕＝ハプスブルク家領。パルマ・モデナ・(9)〔　　〕（フィレンツェが中心）は概してハプスブルク家の影響下だった。(10)〔　　〕家は**ピエモンテ**（(11)〔　　〕中心）とジェノヴァとサルデーニャ島を合わせた(12)〔　　〕を支配した。

イタリア統一運動を**リソルジメント（復興）**という。

ウィーン体制の理念への抵抗つまり王家への抵抗は，ナポリとピエモンテにおける(13)〔　　〕（炭焼（すみやき））党の運動から始まる。バブーフ主義（共産主義）者と提携したのだからかなり過激な下からの運動だったが，(14)〔　　〕により抑え込まれた。

1830 年の(15)〔　　〕の影響で(16)〔　　〕は(17)〔　　〕を結成し**共和国樹立を志向**する。

(18)〔　　〕年の(19)〔　　〕の影響で(20)〔　　〕が(21)〔　　〕をつくったが，教皇領を支配しフランス皇帝になる野心を持つ(22)〔　　〕に邪魔された。また(23)〔　　〕王国の(24)〔　　〕王が**サヴォイア家による上からの統一**を試みたが，**オーストリア＝ハプスブルク家に**ノヴァラの戦いに**敗れ失敗**した。

【イタリア統一戦争】イタリア統一が本格化するのは，カルロ＝アルベルト王の子(25)〔　　〕が即位し(26)〔　　〕年に宰相(27)〔　　〕を登用してからだ。イタリアを統一したのは(28)〔　　〕だ。

カヴールは(29)〔　　〕世の(30)〔　　〕戦争（1853 〜 1856 年）で支援しゴマをすり味方につけてから(31)〔　　〕年(32)〔　　〕戦争にはいる。今度こそオーストリアを破り（(33)〔　　〕の戦い）(34)〔　　〕を獲得した。ただ，サルデーニャ王国の強大化を恐れたナポレオン３世が(35)〔　　〕で**オーストリアと単独講和**したのでここまでだった。

解答

（1）シチリア島　（2）ナポリ　（3）ブルボン　（4）教皇　（5）ミラノ
（6）ロンバルディア　（7）ヴェネツィア　（8）オーストリア　（9）トスカナ
（10）サヴォイア　（11）トリノ　（12）サルデーニャ王国　（13）カルボナリ
（14）メッテルニヒ　（15）パリ七月革命　（16）マッツィーニ　（17）青年イタリア
（18）1848　（19）パリ二月革命　（20）マッツィーニ　（21）ローマ共和国
（22）ルイ＝ナポレオン　（23）サルデーニャ　（24）カルロ＝アルベルト
（25）ヴィットーリオ＝エマヌエーレ２世　（26）1852　（27）カヴール　（28）カヴール
（29）ナポレオン３　（30）クリミア　（31）1859　（32）イタリア統一
（33）ソルフェリーノ　（34）ロンバルディア　（35）ヴィラフランカの和

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1860 年，**プロンビエールの密約**（1858 年）を履行したカヴールはナポレオン３世に (36)〔　　〕と (37)〔　　〕を割譲し，中部イタリア獲得を教皇領側から邪魔されずに成し遂げた。同時期，青年イタリアのメンバーの (38)〔　　〕は (39)〔　　〕（赤シャツ隊）を率いて (40)〔　　〕に上陸，ナポリと共にサルデーニャ王国に献上した。

こうして (41)〔　　〕年 (42)〔　　〕朝 (43)〔　　〕が誕生した。首都は (44)〔　　〕。

【統一後に加えられた地域】イタリア統一後もまだイタリアになっていない地域が４つあった。①(45)〔　　〕。1866 年の (46)〔　　〕戦争の時に**プロイセンに味方して**獲得。② (47)〔　　〕。1870 年の(48)〔　　〕戦争の時，ナポレオン３世のフランス軍が (49)〔　　〕での戦いに行った間隙（かんげき）をついて占領。その時点でフィレンツェにあった首都を (50)〔　　〕に移す（(51)〔　　〕年）。教皇 (52)〔　　〕は「(53)〔　　〕」になり，中世以来の教権 vs 俗権の対決に決着がついた。③ (54)〔　　〕・(55)〔　　〕。これら (56)〔　　〕は第一次世界大戦でイタリアが (57)〔　　〕を裏切る（1915 年）ことにより，1919 年 (58)〔　　〕でオーストリアから獲得した。

解答

（36）サヴォイア　（37）ニース　（38）ガリバルディ　（39）千人隊　（40）シチリア島
（41）1861　（42）サヴォイア　（43）イタリア王国　（44）トリノ　（45）ヴェネツィア
（46）プロイセン＝オーストリア（普墺）　（47）教皇領　（48）プロイセン＝フランス（普仏）
（49）スダン　（50）ローマ　（51）1871　（52）ピウス９世　（53）バチカンの囚人
（54）南ティロル　（55）トリエステ　（56）未回収のイタリア　（57）三国同盟
（58）サン＝ジェルマン条約

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 37 講　テスト①

1　1852 年サルデーニャ王国の首相になり，イタリア統一に貢献した人物は。

① マッツィーニ
② カルロ＝アルベルト
③ ガリバルディ
④ カヴール

2　イタリア統一戦争でイタリアがオーストリアから奪った地域は。

① ロンバルディア
② ヴェネツィア
③ ジェノヴァ
④ フィレンツェ

3　1861 年にイタリア王国が成立した時の首都はどこか。

① ローマ
② ナポリ
③ ミラノ
④ トリノ

4　イタリア王国建国後に，イタリアに付け加えられた地域のうち最初のものは。

① ヴェネツィア
② トリエステ
③ 南チロル
④ 教皇領

5　以下の地域のうち現イタリアに属する地域は。

① コルシカ島
② サルデーニャ島
③ サヴォイア
④ リビア

第 37 講　テスト①解答

1　④　　2　①　　3　④　　4　①　　5　②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3

シチリア島は紀元前，西をカルタゴの (1)〔　　〕人，東を (2)〔　　〕人（代表都市 (3)〔　　〕）が支配した。(4)〔　　〕戦争の結果，(5)〔　　〕の最初の (6)〔　　〕（海外領土）となった。(7)〔　　〕戦争の時にローマの兵士に殺されたのが数学者で物理学者の (8)〔　　〕だ。同島は，ローマ帝国になり次いで東ローマ帝国。

７世紀にイスラーム教が誕生し地中海がイスラームの海になると (9)〔　　〕人（例えばファーティマ朝）が支配。次に (10)〔　　〕人（ヴァイキング）による (11)〔　　〕王国（(12)〔　　〕年，(13)〔　　〕世，都 (14)〔　　〕）。次いで (15)〔　　〕朝の (16)〔　　〕政策の結果 (17)〔　　〕人が支配。(孫の神聖ローマ皇帝 (18)〔　　〕世は (19)〔　　〕生まれ)。次が (20)〔　　〕家の (21)〔　　〕人。その時のシチリア人の反抗が「(22)〔　　〕」という事件。アンジュー家の次は (23)〔　　〕家の (24)〔　　〕人。そのまま親類の (25)〔　　〕家が支配。そしてナポレオン戦争後の (26)〔　　〕では (27)〔　　〕家の支配になり，これを (28)〔　　〕が「千人隊（赤シャツ隊)」を率いて征服し (29)〔　　〕家の (30)〔　　〕に献上し，(31)〔　　〕年建国時のイタリア王国に最初から編入された。

第二次世界大戦では，(32)〔　　〕会談（(33)〔　　〕年）の決定に基づきアメリカ中心の連合軍がニューヨークのマフィアの協力を得てシチリア島に上陸。連合軍がローマに北上したら，すでに (34)〔　　〕は失脚（しっきゃく）し (35)〔　　〕政権になっていた。

めまぐるしい支配者の変遷が，公権力への不信をうみ，これが秘密結社マフィアがシチリアに誕生した土壌である。

解答

（１）フェニキア　（２）ギリシア　（３）シラクサ　（４）第１次ポエニ
（５）共和政ローマ　（６）属州　（７）第２次ポエニ　（８）アルキメデス
（９）アラブ　（10）ノルマン　（11）両シチリア　（12）1130　（13）ルッジェーロ２
（14）パレルモ　（15）シュタウフェン　（16）イタリア　（17）ドイツ
（18）フリードリヒ２　（19）イタリア　（20）アンジュー　（21）フランス
（22）シチリアの晩鐘（ばんしょう）　（23）アラゴン　（24）スペイン　（25）ハプスブルク
（26）ウィーン議定書　（27）ブルボン　（28）ガリバルディ　（29）サヴォイア
（30）ヴィットーリオ＝エマヌエーレ２世　（31）1861　（32）カサブランカ　（33）1943
（34）ムッソリーニ　（35）バドリオ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 37 講　テスト②

1　シチリア島を支配した人種を並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　ローマ人
②　アラブ人
③　フェニキア人
④　ノルマン人

2　1282 年の「シチリアの晩鐘」事件はどこの支配に対する抵抗か。

①　ドイツ人
②　フランス人
③　スペイン人
④　トルコ人

3　アルキメデスがローマ兵に殺害されたシチリア島の街は。

①　パレルモ
②　カターニャ
③　シラクサ
④　メッシナ

4　シチリア島が「イタリア王国」に編入されたのは以下のうち，いつか。

①　建国時
②　プロイセン＝オーストリア戦争時
③　プロイセン＝フランス戦争時
④　第一次世界大戦時

5　シチリア島を拠点とした 13 世紀の神聖ローマ皇帝は。

①　フリードリヒ１世
②　フリードリヒ２世
③　カール４世
④　カール５世

第 37 講　テスト②解答

1　②　　2　②　　3　③　　4　①　　5　②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4

【ドイツ連邦】ナポレオン戦争の (1)〔　　〕議定書で (2)〔　　〕が発足した。**主権をもつ 35 邦４自由市（フランクフルト・ハンブルク・ブレーメン・リューベック）の集合体**で (3)〔　　〕が議長国で (4)〔　　〕に連邦議会が置かれた。

(5)〔　　〕300 周年にあたる (6)〔　　〕年に，ルターゆかりの地 (7)〔　　〕城で (8)〔　　〕（学生組合）が (9)〔　　〕に蜂起したが鎮圧された。

【経済統合】1830 年フランスでは (10)〔　　〕が起きその影響で，プロイセン中心の**経済統合**である (11)〔　　〕が結成された。(12)〔　　〕経済学の (13)〔　　〕が提唱したのだが，彼は自由競争礼賛（らいさん）のイギリス (14)〔　　〕経済学に反対し，**発展段階で遅れた国は保護関税政策を採用すべき**と，説いた。同時期はイギリス産業革命の完成期だった。

【フランクフルト国民議会】(15)〔　　〕年パリ二月革命は (16)〔　　〕と (17)〔　　〕に波及し，それぞれに (18)〔　　〕が起こり (19)〔　　〕が亡命し (20)〔　　〕が終わった。(21)〔　　〕国民議会では，(22)〔　　〕中心のドイツ統一方式の (23)〔　　〕主義が複合多民族国家 (24)〔　　〕含めた (25)〔　　〕主義に多数決で勝利した。しかし，プロイセン王 (26)〔　　〕は "学者議会" からの帝冠（ていかん）を拒否した。

【政治統合】その子 (27)〔　　〕が (28)〔　　〕年に即位し翌年には (29)〔　　〕((30)〔　　〕川以東地主貴族）出身の (31)〔　　〕が宰相になった。

ビスマルクはいわゆる**鉄血（てっけつ）演説**で，**1848 年のパリ二月革命の影響を受けた民主的な下からの統一の限界を説き，強力なリーダーシップによる上からの統一の妥当性を強調**した。

(32)〔　　〕領有問題（(33)〔　　〕戦争）の処理を巡り，(34)〔　　〕戦争になったが，ビスマルクは参謀（さんぼう）に (35)〔　　〕を起用し劣勢（れっせい）を挽回（ばんかい）し勝利した。

解答

（1）ウィーン　（2）ドイツ連邦　（3）オーストリア　（4）フランクフルト
（5）ルターの宗教改革　（6）1817　（7）ヴァルトブルク　（8）ブルシェンシャフト
（9）メッテルニヒ　（10）七月革命　（11）ドイツ関税同盟　（12）歴史学派
（13）リスト　（14）古典派　（15）1848　（16）ウィーン　（17）ベルリン
（18）三月革命　（19）メッテルニヒ　（20）ウィーン体制　（21）フランクフルト
（22）プロイセン　（23）小ドイツ　（24）オーストリア　（25）大ドイツ
（26）フリードリヒ＝ヴィルヘルム４世　（27）ヴィルヘルム１世　（28）1861
（29）ユンカー　（30）エルベ　（31）ビスマルク　（32）シュレスヴィッヒ＝ホルシュタイン
（33）デンマーク　（34）プロイセン＝オーストリア（普墺）　（35）モルトケ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ビスマルクはオーストリアを除外し(36)〔　　〕川以北にプロイセン中心の(37)〔　　〕をつくりドイツを**政治的に統合**した。(38)〔　　〕はマジャール人のハンガリーと**「妥協（アウスグライヒ）」**し，(39)〔　　〕を形成し第一次世界大戦に至る。

【普仏戦争】ビスマルクは(40)〔　　〕を巧みに利用し（**エムス電報事件**）フランスのナポレオン３世との(41)〔　　〕戦争を開戦する。その目的はドイツ統一のために，**カトリック教徒が多数派のバイエルンなどの南ドイツからカトリックの皇帝ナポレオン３世の影響力を排除すること**だ。(42)〔　　〕の戦いでフランスを破り，(43)〔　　〕を掠め取りドイツ統一を成し遂げた。こうしてホーエンツォレルン朝プロイセン王国に(44)〔　　〕の名がつけ加わった。建国の式典は(45)〔　　〕“鏡の間”で行われた（(46)〔　　〕年）。

【アルザス＝ロレーヌ史】ドイツ語ではエルザス＝ロートリンゲンという。ロレーヌは 800 年に戴冠されたカールの孫のうちの長子ロタールに由来する。

1648 年の(47)〔　　〕条約でドイツ人のハプスブルク家からフランス人のブルボン家に。1792 年に始まった(48)〔　　〕戦争はハプスブルク家のアルザス＝ロレーヌ奪還作戦だったが，ナポレオンが登場し失敗。1871 年(49)〔　　〕戦争の結果，ドイツ帝国に。1919 年の(50)〔　　〕のヴェルサイユ条約でフランス第３共和国に。1940 年(51)〔　　〕が占領するが 1945 年の終戦後**フランス第４共和国領になり現在に至る**（現在第５共和国）。

解答

（36）マイン　（37）北ドイツ連邦　（38）オーストリア

（39）オーストリア＝ハンガリー帝国　（40）スペイン王位継承問題

（41）プロイセン＝フランス（普仏）　（42）スダン　（43）アルザス＝ロレーヌ

（44）ドイツ帝国　（45）ヴェルサイユ宮殿　（46）1871　（47）ウェストファリア

（48）フランス革命　（49）普仏　（50）第一次世界大戦　（51）ナチス＝ドイツ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 37 講　テスト③

1　シュレスヴィッヒ＝ホルシュタイン問題は以下のどの事象につながる問題か。

①　普墺戦争

②　普仏戦争

③　ドイツ関税同盟成立

④　ブルシェンシャフトの運動

2　1848 年，ドイツで起こった革命は。

①　二月革命

②　三月革命

③　七月革命

④　十月革命

3　プロイセンのユンカー出身でドイツ帝国の初代首相となったのは。

①　フィヒテ

②　カヴール

③　ビスマルク

④　モルトケ

4　1867 年，前年の普墺戦争の結果プロイセンを中心にできたのは何か。

①　ドイツ連邦

②　北ドイツ連邦

③　ドイツ帝国

④　ライン同盟

5　ドイツ帝国建国の式典はどの街の近くで行われたか。

①　パリ

②　ローマ

③　ベルリン

④　ウィーン

第 37 講　テスト③解答

1　①　　2　②　　3　③　　4　②　　5　①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 38 講
オスマン帝国・19 世紀ロシア史・東方問題

1

【第２次ウィーン包囲失敗】オスマン帝国はメフメト４世の時の (1)〔　　〕年の (2)〔　　〕に失敗し（これを機にウィーンにコーヒーハウスが登場し，トルコの旗に模してクロワッサンが焼かれるようになった），(3)〔　　〕年の (4)〔　　〕で (5)〔　　〕と (6)〔　　〕（現ルーマニアの西半分）を失い，オスマン帝国の衰退が始まった。1700 年からの 30 年間は (7)〔　　〕時代と呼ばれフランス趣味が開花した。1774 年の (8)〔　　〕条約や 1792 年のヤッシー条約で黒海北岸 (9)〔　　〕や，(10)〔　　〕付近をロシアの (11)〔　　〕により喪失（そうしつ）（この時期カリフ権を主張しはじめる）した。フランス革命の 1789 年に改革を企てたスルタンは (12)〔　　〕だ。1807 年にイェニチェリを廃して西洋式の軍制であるニザーム＝ジェディットを創設しようとしたため廃されイェニチェリにより殺害された。

イスラーム世界の中枢をオスマントルコ帝国が牛耳（ぎゅうじ）ることへの反発から，(13)〔　　〕中央部でアラブ＝イスラームへの回帰をめざす (14)〔　　〕運動が起こり，第１次 (15)〔　　〕ができるが，オスマン帝国のアルバニア人エジプト太守（たいしゅ） (16)〔　　〕（**エジプトに綿花（めんか）を導入**した有能な人物）が討伐した。

【ギリシア独立戦争】オスマン帝国のエジプト太守ムハンマド＝アリーの任務は (17)〔　　〕だった。ウィーン体制の原理原則は独立など厳禁のはずだが，イギリスの (18)〔　　〕の詩人 (19)〔　　〕の訴えと義勇兵（ぎゆうへい）への参加や，フランスのロマン派の画家 (20)〔　　〕の絵画「(21)〔　　〕」による訴えにより，ギリシア助けるべしの声が上がる。ロシアも (22)〔　　〕両海峡から (23)〔　　〕海へのルートをオスマン帝国に承認させるチャンスとばかりにギリシアを支援（(24)〔　　〕世）。1827 年の (25)〔　　〕の海戦でオスマン帝国は敗北，1829 年の (26)〔　　〕で独立を承認，(27)〔　　〕年のロンドン会議で国際的に承認され，バイエルン公が国王になった。ロシアの南下政策は成功した（(28)〔　　〕世）。

解答

（１）1683　（２）第２次ウィーン包囲　（３）1699　（４）カルロヴィッツ条約
（５）ハンガリー　（６）トランシルバニア　（７）チューリップ　（８）クチュクカイナルジ
（９）クリミヤ半島　（10）ドニエプル川　（11）エカチェリーナ２世　（12）セリム３世
（13）アラビア半島　（14）ワッハーブ　（15）ワッハーブ王国　（16）ムハンマド＝アリー
（17）ギリシアの独立阻止（そし）　（18）ロマン派　（19）バイロン　（20）ドラクロワ
（21）キオス（シオ）の虐殺　（22）ボスフォラス＝ダーダネルス　（23）エーゲ
（24）アレクサンドル１　（25）ナヴァリノ　（26）アドリアノープル条約　（27）1830
（28）ニコライ１

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【東方問題】(29)〔　　〕はギリシア独立戦争の見返りに(30)〔　　〕を息子に占領させた。(31)〔　　〕(1831～(32)〔　　〕年）になる。ロシアは両海峡を通らしてもらっているのでオスマン帝国を支持，(33)〔　　〕で両海峡の独占航行権を得る。南下政策大成功！

調子に乗ったムハンマド＝アリーは次にエジプト(34)〔　　〕を要求，第２次エジプト＝トルコ戦争（1839～(35)〔　　〕年）になる。ムハンマド＝アリーの野心はフランスがエジプトを支持し成就するかにみえたが，イギリスの(36)〔　　〕の巧みな外交で(37)〔　　〕となり(38)〔　　〕条約で，ウンキャル＝スケレッシ条約は破棄されロシアの南下政策は挫折，ムハンマド＝アリーのエジプト太守世襲は認められたがシリアからは撤退（てったい）することになる。

つまり**イギリスのインド＝ルートは瀕死（ひんし）のオスマン＝トルコを延命させ，ロシアとムハンマド＝アリーの影響力を減退させることにより確保された**ということだ。

この一連の出来事を(39)〔　　〕という。パーマストンは同時期(40)〔　　〕(1840～1842年）を起こしている。

【クリミヤ戦争】(41)〔　　〕(1853～(42)〔　　〕年）はオスマン帝国内のキリスト教の(43)〔　　〕(正確にはキリスト誕生の地ベツレヘム教会の鍵）の(44)〔　　〕をカトリックの世俗代表(45)〔　　〕と(46)〔　　〕が争い始まった戦争だ。パン＝スラヴ主義に抗するパン＝ゲルマン主義の盟主オーストリア，ロシアの南下政策を警戒するイギリス，ナポレオン３世に恩を売りたい(47)〔　　〕王国，クリミヤ半島をロシアから奪還したいオスマン＝トルコがフランスを支持した。戦場看護に(48)〔　　〕が活躍した(49)〔　　〕の戦いでロシアは敗れ(50)〔　　〕年の(51)〔　　〕でオスマン帝国の領土は保全となる。(52)〔　　〕の自治が事実上認められた。両海峡は閉鎖され**ロシアの南下政策は再度挫折**した。

解答

(29) ムハンマド＝アリー　(30) シリア　(31) 第１次エジプト＝トルコ戦争
(32) 1833　(33) ウンキャル＝スケレッシ条約　(34) 太守世襲権　(35) 1840
(36) パーマストン　(37) ロンドン会議　(38) 五国海峡　(39) 東方問題
(40) アヘン戦争　(41) クリミア戦争　(42) 1856　(43) 聖地イェルサレム
(44) 管理権　(45) ナポレオン３世　(46) ニコライ１世　(47) サルデーニャ
(48) ナイチンゲール　(49) セヴァストーポリ要塞　(50) 1856　(51) パリ条約
(52) ルーマニア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【タンジマートとミドハト憲法】オスマン帝国も近代化を試みるが破綻する。1826 年には(53)〔　　〕を全廃し西欧的軍隊に再編成した。しかし 1838 年にカピチュレーションの延長として(54)〔　　〕に市場を開放し経済は破綻。翌 1839 年に(55)〔　　〕が(56)〔　　〕により(57)〔　　〕（恩恵改革）を断行するが 1875 年には経済が完全破綻した。(58)〔　　〕は(59)〔　　〕年にはアジア最初の憲法である(60)〔　　〕（ミドハト＝パシャによる）制定するが，翌年(61)〔　　〕戦争が勃発し憲法を停止した。

【ロシア＝トルコ（露土）戦争】なんとか南下したい両海峡を通りたいロシアは最後の手段にでる。ツァーリつまりギリシア正教徒の保護者（ボスニア＝ヘルツェゴビナでの正教徒の運動をオスマン帝国が踏み潰（つぶ）した事件が背景にある）とパン＝スラヴ主義の盟主というカードを二枚同時に切って(62)〔　　〕年トルコに戦争を仕掛けた。

ロシアが勝利し(63)〔　　〕年の(64)〔　　〕で，(65)〔　　〕・(66)〔　　〕・(67)〔　　〕のオスマン帝国からの独立が決定。(68)〔　　〕はオスマン帝国領のブルガリア人の自治国となり(69)〔　　〕の保護国となったのでロシアはエーゲ海に直接出口を得た。ロシアの南下政策は大成功，上機嫌！

しかしロシアの上機嫌はイギリスの不機嫌。(70)〔　　〕首相が猛反発。英露戦争の危機！これを調停したのが誠実なる仲介人(71)〔　　〕・ドイツ首相だ。ビスマルクとしては 1871 年にようやくドイツを統一したのにここでヨーロッパに戦争が起きたらドイツが分裂してしまう。

解答

（53）イェニチェリ　（54）イギリス　（55）アブデュルメジド１世　（56）ギュルハネ勅令
（57）タンジマート　（58）アブデュルハミト２世　（59）1876　（60）ミドハト憲法
（61）ロシア＝トルコ（露土）　（62）1877　（63）1878　（64）サン＝ステファノ条約
（65）セルビア　（66）モンテネグロ　（67）ルーマニア　（68）ブルガリア　（69）ロシア
（70）ディズレイリ　（71）ビスマルク

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【(1)〔　　〕年 (2)〔　　〕会議・条約】

①(3)〔　　〕・(4)〔　　〕・(5)〔　　〕の独立承認

②(6)〔　　〕は縮小しロシアの保護権は削除（ロシアの南下政策は結局失敗）

③イギリスは(7)〔　　〕島獲得（オスマン帝国から）

④フランスは(8)〔　　〕の優先権獲得（フランスの目をアルザス＝ロレーヌからそむけるためのビスマルクの計略）

⑤(9)〔　　〕は(10)〔　　〕獲得（これが1914年のサライェヴォ事件につながっていく）

(11)〔　　〕年フランスは(12)〔　　〕を(13)〔　　〕年イギリスは(14)〔　　〕を事実上保護化する。

【(15)〔　　〕年青年トルコ革命】1889年フランス革命100年目の年，パリ留学のトルコ人の秘密結社（ひみつけっしゃ）として始まった(16)〔　　〕（統一と進歩委員会）は(17)〔　　〕憲法復活を要求した。1908年にギリシアの(18)〔　　〕で(19)〔　　〕を指導者として始まり無血革命に成功。その結果，

①憲法が復活し議会が再開

②(20)〔　　〕世が退位

③(21)〔　　〕が独立宣言

④(22)〔　　〕が(23)〔　　〕を併合（へいごう）（セルビア系住民の反発増大）

⑤(24)〔　　〕戦争でイタリアが(25)〔　　〕を獲得し古名(26)〔　　〕を復活

⑥(27)〔　　〕・(28)〔　　〕・(29)〔　　〕・(30)〔　　〕が(31)〔　　〕を結成。

結局，第1次(32)〔　　〕戦争でバルカン同盟と争ったオスマン帝国が領土を失うが，(33)〔　　〕が取り過ぎたとして(34)〔　　〕同盟（＋ルーマニア・オスマン帝国）から攻められたのが第2次バルカン戦争。ブルガリアはスラヴ諸国から離反（りはん）し三国同盟側で第一次世界大戦に参戦する。

1912年イリリア人の国(35)〔　　〕がオスマン帝国から独立する。

【第一次世界大戦】1914年(36)〔　　〕の親ドイツ政策から第一次世界大戦で同盟国側で参戦した。イギリスはこれを口実に(37)〔　　〕を正式に保護国化した。1915年オスマン政府は東部の(38)〔　　〕大虐殺を行った。

解答

（1）1878　（2）ベルリン　（3）セルビア　（4）モンテネグロ　（5）ルーマニア
（6）ブルガリア　（7）キプロス　（8）チュニジア　（9）オーストリア
（10）ボスニア＝ヘルツェゴビナの行政権　（11）1881　（12）チュニジア　（13）1882
（14）エジプト　（15）1908　（16）青年トルコ　（17）ミドハト　（18）サロニカ
（19）エンヴェル＝パシャ　（20）アブデュルハミト2　（21）ブルガリア
（22）オーストリア　（23）ボスニア＝ヘルツェゴビナ　（24）イタリア＝トルコ
（25）トリポリ＝キレナイカ　（26）リビア　（27）セルビア　（28）モンテネグロ
（29）ブルガリア　（30）ギリシア　（31）バルカン同盟　（32）バルカン
（33）ブルガリア　（34）バルカン　（35）アルバニア　（36）エンヴェル＝パシャ
（37）エジプト　（38）アルメニア人

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【アレクサンドル１世】(1)〔　　〕年 19 世紀元年から (2)〔　　〕の乱の 1825 年まで在位したロシア皇帝。

【ニコライ１世】ギリシア独立戦争，パリ (3)〔　　〕を経てクリミヤ戦争中の 1855 年までが在位期間。

【アレクサンドル２世】(4)〔　　〕中に即位し，(5)〔　　〕年に (6)〔　　〕を出し領主制を廃し農奴に人格的自由を与えた。農地の分与は有償だった。この影響で 1863 年に (7)〔　　〕で自治権要求運動が起きたが，これを鎮圧した。この事件が (8)〔　　〕年は (9)〔　　〕((10)〔　　〕中心）成立の要因となる。

知識人を (11)〔　　〕という。彼らが展開した農民啓蒙運動か (12)〔　　〕((13)〔　　〕）をスローガンにした (14)〔　　〕運動であり農村共同体 (15)〔　　〕を基盤に活動したが，官憲への密告と弾圧，農民の無関心で挫折（ざせつ）し (16)〔　　〕（虚無主義）や (17)〔　　〕（無政府主義）に堕した。(18)〔　　〕の作品『**父と子**』に (19)〔　　〕という言葉が初めて登場する。彼らのうち人民の意志（ルソーの『社会契約論』のキーワード）派が (20)〔　　〕年にアレクサンドル２世を暗殺する。このような社会不安を背景に頻発したユダヤ人虐殺（ぎゃくさつ）を (21)〔　　〕という。同年，帝政ロシアは清朝中国と中央アジアの境をめぐり (22)〔　　〕条約を結んだ。

樺太（からふと）やサハリンはもともとは国境とは無関係の日露が共存していた地域であったが，衝突が生じ (23)〔　　〕年の (24)〔　　〕で樺太がロシア領，千島が日本領となった。

【アレクサンドル３世】ビスマルクが更迭（こうてつ）され (25)〔　　〕が破棄されると，ロシアは (26)〔　　〕に接近，(27)〔　　〕年から 1894 年にかけて (28)〔　　〕が結ばれた。(29)〔　　〕により (30)〔　　〕が敷かれ**ロシア産業革命がピーク**を迎えた。

解答

（1）1801　（2）デカブリスト　（3）七月革命　（4）クリミア戦争　（5）1861
（6）農奴解放令　（7）ポーランド　（8）1864　（9）第１インターナショナル
（10）マルクス　（11）インテリゲンツィア　（12）ヴ＝ナロード　（13）人民の中へ
（14）ナロードニキ　（15）ミール　（16）ニヒリズム　（17）アナーキズム
（18）トゥルゲーネフ　（19）ニヒリスト　（20）1881　（21）ポグロム　（22）イリ
（23）1875　（24）千島（ちしま）・樺太（からふと）交換条約　（25）再保障（さいほしょう）条約　（26）フランス　（27）1891
（28）露仏（ろふつ）同盟　（29）フランス資本　（30）シベリア鉄道

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2

(1)〔　　〕は 18 世紀のスウェーデンの植物学者。動植物の分類学を創始した。(2)〔　　〕は 17 世紀のオランダの物理天文学者。振子(ふりこ)時計を発明。光の波動(はどう)説を説いた。土星の環(わ)を発見した。(3)〔　　〕は 17 ～ 18 世紀のイギリスの数学物理学者。万有引力(ばんゆういんりょく)の発見などを通じて古典力学(りきがく)を確立した。(4)〔　　〕は 19 ～ 20 世紀のイギリスの電気技師・物理学者でフレミングの法則の考察と真空管(しんくうかん)の発明で知られる。(5)〔　　〕は 18 世紀のフランスの化学者。燃焼(ねんしょう)理論を確立し，質量不変(しつりょうふへん)の法則を立てた。(6)〔　　〕は 16 ～ 17 世紀のイギリスの生理学者。1628 年に血液の循環を立証した。(7)〔　　〕は 16 世紀のベルギーの解剖(かいぼう)学者でカール５世の従者(じゅうしゃ)。(8)〔　　〕は 19 世紀のフランスの細菌(さいきん)学者。乳酸菌(にゅうさんきん)を発見し，狂犬病(きょうけんびょう)の予防接種に成功した。(9)〔　　〕は 15 ～ 16 世紀のポーランドの聖職者・天文学者。天体観測に基づき地動説(ちどうせつ)を唱えた。(10)〔　　〕は 16 ～ 17 世紀のイタリアの科学者。望遠鏡で木星の衛星を観測し地動説を確信した。宗教裁判にかけられ地動説を撤回(てっかい)させられた直後に「それでも地球は動く」と述べたという。(11)〔　　〕は 19 世紀のオーストリアの博物学者。遺伝(いでん)の諸法則を発見した。(12)〔　　〕は 17 世紀のイギリスの物理化学者。ボイルの法則を発見し気体力学(きたいりきがく)の出発点をつくった「近代化学の父」。(13)〔　　〕は 18 ～ 19 世紀のイギリスの医師。種痘法(しゅとうほう)を開発し予防接種という方法を始めた。(14)〔　　〕は 19 世紀のイギリスの博物学者。進化論を発表し『種の起源』を発行した。(15)〔　　〕は 19 ～ 20 世紀のドイツの細菌学者。細菌学の基礎を確立し，ツベルクリンを創製した。(16)〔　　〕は 16 ～ 17 世紀のドイツの天文学者。惑星(わくせい)運行の法則を確認し近代天文学の基礎を築いた。(17)〔　　〕は 19 世紀のスウェーデンの化学技術者でダイナマイトを発明した。

解答

（１）リンネ　（２）ホイヘンス　（３）ニュートン　（４）フレミング　（５）ラヴォワジェ
（６）ハーヴェー　（７）ヴェサリウス　（８）パストゥール　（９）コペルニクス
（10）ガリレイ　（11）メンデル　（12）ボイル　（13）ジェンナー　（14）ダーウィン
（15）コッホ　（16）ケプラー　（17）ノーベル

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 38 講　テスト

1　古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　ミドハト憲法制定

②　タンジマート

③　クリミア戦争

④　露土戦争

2　1878 年のベルリン会議の結果と無関係な事象は。

①　オーストリアがボスニアヘルツェゴビナの行政権獲得

②　キプロス島が英領に

③　ルーマニアが独立

④　ブルガリアが独立

3　1908 年の青年トルコ革命の影響とは言えない事象は。

①　イタリアがリビアを獲得

②　バルカン同盟が結成される

③　オーストリアがボスニアヘルツェゴビナを併合

④　イギリスがエジプトを事実上保護国化

4　第一次世界大戦中にオスマン帝国が大虐殺したのは。

①　クルド人

②　ユダヤ人

③　アルメニア人

④　アルバニア人

5　クリミヤ戦争中に即位したツァーは。

①　アレクサンドル１世

②　アレクサンドル２世

③　ニコライ１世

④　ニコライ２世

6　「ニヒリスト」という言葉が初めて登場する小説を書いたのは。

①　ドストエフスキー

②　トルストイ

③　トゥルゲーネフ

④　プーシキン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 38 講　テスト解答

1　①　　2　④　　3　④　　4　③　　5　②　　6　③

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 39 講
19 世紀アメリカ合衆国史

合衆国最初の憲法である連合規約は 1781 年に批准されたが **13 邦の連合であって各邦には完全主権があったのでアメリカはいまだ国家連合的性格**であった。1781 ～ 88 年にかけてが連合の時代で，戦後の財政困難と経済困難，農民暴動などで憲法制定，中央政府樹立（じゅりつ）の必要が喚起（かんき）した。しかし新たに合衆国憲法を制定し連邦政府を創設することは各独立共和国から主権を奪うことを意味した。つまりイギリスから独立した直後の新たな従属を意味したのだ。だから新生アメリカ合衆国は (1)〔　　〕と (2)〔　　〕（州権）派に分かれていくことになる。

合衆国憲法は (3)〔　　〕年に制定され，正式に U・S・A（合衆国）が成立した。この憲法は世界最初の近代的 (4)〔　　〕憲法であり，(5)〔　　〕分立，人民主権《(6)〔　　〕，(7)〔　　〕は人民には含まれない》，連邦主義で連邦政府と州政府の二本立てだった。アメリカ連邦議会は各州２名の議員からなり上院下院の二院制だった。

(8)〔　　〕年には (9)〔　　〕が初代大統領に当選，(10)〔　　〕年には (11)〔　　〕河畔の (12)〔　　〕（ワシントン特別区）が首都に，２代目の (13)〔　　〕にかけての時代には (14)〔　　〕が代表の (15)〔　　〕主義と (16)〔　　〕が代表の (17)〔　　〕主義の併用の時代であった。“1800 年の革命”で (18)〔　　〕党の (19)〔　　〕が第３代大統領に，彼は“アメリカ民主主義の父”と言われる。1800 年にナポレオンがスペインから買収（ばいしゅう）した (20)〔　　〕川以西の (21)〔　　〕を (22)〔　　〕年にフランスより買収した。また，英仏のナポレオン戦争に中立であったことがイギリスを圧迫したが，これが第４代大統領の (23)〔　　〕ときの 1812 ～ 14 年の (24)〔　　〕戦争の遠因（えんいん）となる。

国内では民主化を推進し，信仰の自由，基本的人権の尊重，西部開拓，奴隷貿易の禁止などを推進した。米英戦争でイギリスからの経済的解放が実現，産業革命の発端（ほったん）となる。

解答

（１）連邦派　（２）反連邦　（３）1787　（４）成文　（５）三権　（６）黒人
（７）インディアン　（８）1789　（９）ワシントン　(10) 1800　(11) ポトマック
(12) ワシントン D.C.　(13) アダムズ　(14) ハミルトン　(15) 連邦
(16) ジェファソン　(17) 反連邦 = 州権　(18) リパブリカン　(19) ジェファソン
(20) ミシシッピ　(21) ルイジアナ　(22) 1803　(23) マディソン　(24) 米英

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第５代の(25)〔　　〕の(26)〔　　〕年に(27)〔　　〕より(28)〔　　〕を買収，(29)〔　　〕年には(30)〔　　〕（教書）を出す。内容は(31)〔　　〕。モンロー主義は 20 世紀にかけての，ヨーロッパにおける戦争への不干渉政策や，ヴェルサイユ条約を批准せず，国際連盟（ウィルソン提唱）にも加盟しないという外交政策の基調となった。この宣言の根底には，北太平洋における(32)〔　　〕の脅威とオーストリアの(33)〔　　〕の(34)〔　　〕への介入の脅威がある。

(35)〔　　〕年の(36)〔　　〕では，(37)〔　　〕で奴隷州，自由州が区分された。

【ジャクソンの時代】第７代の(38)〔　　〕は初の西部出身の大統領でその時代は(39)〔　　〕とよばれる民主主義推進の時代。1830 年には(40)〔　　〕でミシシッピ以西に強制移住させた。追放された先住民に与えられたミシシッピ川以西の荒地を(41)〔　　〕という。チェロキー族が西へ移動した経路を「(42)〔　　〕」という。また，大統領選挙戦で勝った党派のものに連邦政府の官職を与え，官職の交代を行うという慣行が生まれた。これを(43)〔　　〕（猟官制度，党人任用法）という。このころ，アメリカをつぶさに観察し**『アメリカの民主政治』**を著したのが，アメリカ史研究における重要人物であるフランスの外交官の(44)〔　　〕だ。

このジャクソンが，現在の(45)〔　　〕党につながり，反ジャクソン派が 1834 年に(46)〔　　〕党を結成のちの 1854 年の(47)〔　　〕党へとつながっていく。

【太平洋へ】1840 年代には(48)〔　　〕（明白な天命，膨張の天命）とよばれる領土拡大がおこる。フロンティア＝スピリット（開拓者精神）による西部開拓だ。

(49)〔　　〕年には**ポーク大統領**のとき(50)〔　　〕を併合，1846 年の(51)〔　　〕協定でカナダをイギリスと国境調整（**北緯 49 度**）。1846 ～ 48 年の(52)〔　　〕（アメリカ＝メキシコ）戦争で(53)〔　　〕とニューメキシコを獲得。とくに(54)〔　　〕年に**カリフォルニアで金鉱が発見された**ことがゴールドラッシュをもたらし Forty-niners（49 年組）が登場。(55)〔　　〕年には(56)〔　　〕を(57)〔　　〕から購入した。ちなみに同年カナダは英連邦の自治領になる。

解答

(25) モンロー　(26) 1819　(27) スペイン　(28) フロリダ　(29) 1823
(30) モンロー教書　(31) 新旧両大陸の相互不干渉　(32) ロシア　(33) メッテルニヒ
(34) ラテンアメリカ　(35) 1820　(36) ミズーリ協定　(37) 北緯 36 度 30 分
(38) ジャクソン　(39) ジャクソニアン＝デモクラシー　(40) インディアン強制移住法
(41) 保留地　(42) 涙の道　(43) スポイルズ＝システム　(44) トクヴィル　(45) 民主
(46) ホイッグ　(47) 共和　(48) マニフェスト＝デスティニー　(49) 1845
(50) テキサス　(51) オレゴン　(52) 米墨　(53) カリフォルニア　(54) 1848
(55) 1867　(56) アラスカ　(57) ロシア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【南北戦争とその後】植民地建設当初から南北の生活様式・産業の違いが見られたが，1820年代から対立が表面化した。北部は，産業は(58)〔　　〕で貿易政策は(59)〔　　〕，奴隷制には(60)〔　　〕で政治は(61)〔　　〕主義。政党は後に(62)〔　　〕党。南部は,産業は(63)〔　　〕で貿易政策は(64)〔　　〕主義，奴隷制には(65)〔　　〕で政治は(66)〔　　〕主義。政党は(67)〔　　〕党。工業生産は北部が81％だった。

奴隷問題の表面化について。(68)〔　　〕年の(69)〔　　〕で(70)〔　　〕が奴隷州，(71)〔　　〕州が自由州として連邦に加盟。31年にはギャリソンが『解放者』を発刊。“1850年の妥協”でカリフォルニアが自由州に。(72)〔　　〕が『(73)〔　　〕』を発表し世論が高まる。1847年には奴隷解放者協会により(74)〔　　〕がアフリカ穀物海岸に建国される。首都はモンローにちなんで(75)〔　　〕。

(76)〔　　〕年の民主党ピアーズ政権時の(77)〔　　〕がミズーリ協定を破棄し(78)〔　　〕内容だったので,これを政争の具として対決するため連邦派が(79)〔　　〕を結党し同法に反対した。**北部産業資本家が奴隷反対論者と提携して保護関税政策に転換**しようとしたのだ。

【リンカン】(80)〔　　〕年に(81)〔　　〕党の(82)〔　　〕が第16代大統領に当選すると，南部11州は(83)〔　　〕を大統領に(84)〔　　〕を首都として(85)〔　　〕を設立，南北戦争に突入。はじめは北軍不利であったがグラント将軍指揮後有利に，(86)〔　　〕年の(87)〔　　〕（定住し開墾した者に無償で土地を与える制度）が出ると(88)〔　　〕が北部支持にまわる。

南北戦争の(89)〔　　〕年にリンカンによる(90)〔　　〕,「人民の人民による人民のための政治」という(91)〔　　〕演説。リッチモンド陥落を経て北部の勝利で終結した。その5日後にリンカンは南部支持の俳優ブースにより暗殺された。19世紀最大の南北戦争では初めて(92)〔　　〕が使用され，また病死者が戦死者の二倍を数えた。

解答

（58）商工業　（59）保護関税　（60）反対　（61）連邦　（62）共和
（63）プランテーション　（64）自由貿易　（65）賛成　（66）反連邦＝州権　（67）民主
（68）1820　（69）ミズーリ協定　（70）ミズーリ　（71）メイン　（72）ストウ夫人
（73）アンクル＝トムの小屋　（74）リベリア共和国　（75）モンロビア　（76）1854
（77）カンザス＝ネブラスカ法
（78）自由州か奴隷州かの決定が今後，住民投票によって決められる　（79）共和党
（80）1860　（81）共和　（82）リンカン　（83）ジェファソン＝デヴィス
（84）リッチモンド　（85）アメリカ連合国　（86）1862　（87）ホームステッド法
（88）西部　（89）1863　（90）奴隷解放宣言　（91）ゲティスバーグ
（92）ライフル銃

この戦争の結果として，政治上，連邦の統一が支持された。奴隷は形式的に解放されたが黒人の差別待遇は事実上残存した。1877 年を境に戦後復興を監視（かんし）してきた北部勢力が南部から撤退すると南部は黒人に抑圧的な社会制度を復活させる。その一例が 19 世紀末から 20 世紀半ばまで（1964 年の公民権法成立まで）南部で続いた黒人隔離（かくり）政策（学校・鉄道・公衆トイレなど）が (93)〔　　〕だ。

【第一次世界大戦まで】1867 年の (94)〔　　〕で南部は軍政下に置かれ，黒人選挙権を規定した州憲法と州政府の設立が規定された。1865 年結成の結社 (95)〔　　〕（(96)〔　　〕）が白人優越主義と南部白人の団結を主張した。

北部資本が南部の経済を支配し (97)〔　　〕（分益小作人（ぶんえきこさくにん））制度で，地主が土地を細分化し，土地・住居・農具などを彼らに貸与，収穫の二分の一から三分の一を徴収（ちょうしゅう）した。小作人には黒人が多かった。

移民の増加にともない (98)〔　　〕年には (99)〔　　〕が完成，国内は統一市場となり産業革命がピークに。南北戦争終結から 1873 年の恐慌にいたる時期を「(100)〔　　〕」（マーク＝トウェインの造語（ぞうご））という。自由競争が激化した時代である。労働運動が展開し (101)〔　　〕年 (102)〔　　〕が主導の (103)〔　　〕（(104)〔　　〕）ができたが共産主義ではなくて熟練労働者主体の穏健路線であった。ちなみに 1905 年にシカゴで不熟練工（ふじゅくれんこう）を組織したのが (105)〔　　〕（(106)〔　　〕）。

独占資本も形成され石油の (107)〔　　〕，鉄鋼の (108)〔　　〕，金融の (109)〔　　〕など特にトラストが形成，1890 年にはそれに対して (110)〔　　〕法が制定された。コカコーラは 1886 年にジョージア州アトランタで誕生した。1892 年には (111)〔　　〕が独占資本の利益を擁護する共和・民主両党に対抗して中西部・南部農民により結成されたが，民主党に吸収された。

フランス革命の百周年に（実際には 1886 年）フランスから寄贈（きぞう）されたのが，ニューヨーク，ハドソン川の「自由の女神」で左手には学問の象徴（しょうちょう），右手には啓蒙（enlightenment）の明かり。ジャーナリストのピュリッツァーが移民に募金（ぼきん）を呼びかけた結果できたのだ。

解答

(93) ジムクロウ制度　(94) 再建法　(95) K・K・K　(96) クー＝クラックス＝クラン
(97) シェアクロッパー　(98) 1869　(99) 大陸横断鉄道　(100) 金ぴか時代
(101) 1886　(102) サミュエル＝ゴンパーズ　(103) AFL　(104) アメリカ労働総同盟
(105) IWW　(106) 世界産業労働者同盟　(107) ロックフェラー家　(108) カーネギー家
(109) モルガン家　(110) シャーマン反トラスト　(111) 人民党

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【アメリカ帝国主義】外交では南北戦争が終了した 1865 年には，フランスの (112)〔　　〕の (113)〔　　〕に抗議，(114)〔　　〕年にはロシアからアラスカを買収，1889 年にはワシントンで (115)〔　　〕会議を開催して主導権を握る。**1890 年にフロンティアが消滅**したことや経済不況で海外市場拡大の重要性が増したことが帝国主義的政策を助長した。

【共和党マッキンリー】しかし合衆国は米西戦争までは海外領土の拡大には消極的だった。(116)〔　　〕の (117)〔　　〕大統領は (118)〔　　〕海政策を展開。(119)〔　　〕年 (120)〔　　〕の (121)〔　　〕の独立運動をスペインが残虐（ざんぎゃく）に鎮圧したことのアメリカのマスコミの報道合戦の結果，合衆国のキューバでの企業権益の擁護のために，スペインによる「メーン号事件」を口実に (122)〔　　〕戦争が開戦。フィリピンでも開戦し (123)〔　　〕でアメリカの勝利で終了した。キューバはスペインから独立。アメリカは (124)〔　　〕，(125)〔　　〕，(126)〔　　〕を獲得，また (127)〔　　〕を併合した。合衆国のフィリピン併合の際，スペインから独立宣言をしてアメリカに期待していた (128)〔　　〕の反抗に煩わされたので中国進出には遅れをとり，国務長官 (129)〔　　〕が 1899 年 (130)〔　　〕，(131)〔　　〕，1900 年中国の (132)〔　　〕宣言を出す。キューバには 1901 年に「(133)〔　　〕」を押し付けて事実上，保護国化した。

【カナダ通史】４～５万前にベーリング海峡を渡ったのがカナダの先住民であるが，15 世紀には北米大陸の人口 115 万人のうちの五分の一がカナダに住んだ。(134)〔　　〕である。

ノルマン人の (135)〔　　〕が 1002 年にグリーンランドから渡ってきたがやがて消滅した。

大航海時代の 1497 年にはイタリア人の (136)〔　　〕がニューファンドランド付近を探検した。

1534 年にはフランスのバロワ朝のフランソワ１世に派遣された (137)〔　　〕が３回 (138)〔　　〕川を探検した。1608 年にはブルボン朝のアンリ４世のときに (139)〔　　〕が (140)〔　　〕を建設した。1627 年にはルイ 13 世の宰相 (141)〔　　〕が (142)〔　　〕貿易を目的としてヌーヴェル＝フランス会社を設立，プロテスタントを排除しカトリック化を徹底した。1663 年にはルイ 14 世のとき王領植民地となった。1682 年には (143)〔　　〕が (144)〔　　〕川をくだってメキシコ湾へ。ニューオーリンズはニューオルレアンのこと。

解答

(112) ナポレオン３世　(113) メキシコ介入（かいにゅう）　(114) 1867　(115) パン＝アメリカ
(116) 共和党　(117) マッキンリー　(118) カリブ　(119) 1898　(120) キューバ
(121) ホセ＝マルティ　(122) 米西　(123) パリ条約　(124) グアム島
(125) フィリピン　(126) プエルト＝リコ　(127) ハワイ　(128) アギナルド
(129) ジョン＝ヘイ　(130) 門戸開放　(131) 機会均等　(132) 領土保全
(133) プラット修正　(134) イヌイット　(135) レイフ＝エリクソン
(136) カボット父子　(137) カルティエ　(138) セントローレンス
(139) シャンプラン　(140) ケベック　(141) リシュリュー　(142) 毛皮
(143) ラサール　(144) ミシシッピ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1689 年に (145)〔　　〕戦争から英仏植民地戦争が開始，(146)〔　　〕戦争＝スペイン継承戦争の (147)〔　　〕条約（1713）でフランスは (148)〔　　〕(149)〔　　〕(150)〔　　〕をイギリスに割譲した。(151)〔　　〕年の (152)〔　　〕戦争の (153)〔　　〕条約で (154)〔　　〕ともにカナダは仏から英に割譲された。

1774 年には英本国は (155)〔　　〕でカトリックの信仰を公認し，フランス民法典を尊重し，フランス系カナダ人６～７万が 13 植民地の独立抗争に加わるのを阻止した。1783 年のアメリカ独立に際しては５万人の国王派イギリス系住民がカナダに移住した。

1812 ～ 14 年の米英戦争ではイギリス側で参戦しアメリカ合衆国の領土的野心を阻止した。1818 年の領土協定で北緯 (156)〔　　〕度線を境界とし，ロッキー山脈以東の (157)〔　　〕を米英共同管理としたのち (158)〔　　〕年に分割した。

(159)〔　　〕年にカナダ連邦自治領となる。独自の責任政府を持つが外交権はなかった。ニューファンドランドは 1907 年に自治領となるがカナダの１州になるのは 1949 年である。1926 年の (160)〔　　〕で本国と自治領が対等になり共通の王冠への忠誠を誓う関係になり，(161)〔　　〕年の (162)〔　　〕で自治領が完全な立法権のある (163)〔　　〕が成立した。(164)〔　　〕年にはカナダで (165)〔　　〕英連邦経済会議が開かれスターリング＝ブロックが形成された。

戦後は (166)〔　　〕の分離独立問題（同州の独立は 1980・95 年の住民投票でいずれも小差で否決）と先住民イヌイットの自治の問題があったが，後者に関しては 1999 年に自治がはじまった。

1992 年には (167)〔　　〕に加盟した。

解答

(145) ウィリアム　(146) アン女王　(147) ユトレヒト　(148) ニューファンドランド
(149) アカディア　(150) ハドソン湾地方　(151) 1763　(152) フレンチインディアン
(153) パリ　(154) ミシシッピ川以東のルイジアナ　(155) ケベック法　(156) 49
(157) オレゴン　(158) 1846　(159) 1867　(160) イギリス帝国会議　(161) 1931
(162) ウエストミンスター憲章　(163) イギリス連邦　(164) 1932　(165) オタワ
(166) ケベック　(167) 北米自由貿易協定＝ NAFTA

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第39講　テスト

1　『インディアスの破壊についての簡潔な報告』の著者は。

①　ドス＝サントス

②　ロベルト＝カルロス

③　ラス＝カサス

④　ダニエウ＝アウヴェス

2　ペリーが浦賀に来航したときのアメリカ合衆国大統領は。

①　フィルモア

②　ポーク

③　リンカン

④　モンロー

3　リリウオカラニはどこの王であったか。

①　プエルト＝リコ

②　キューバ

③　フィリピン

④　ハワイ

4　以下の事象を古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　シャーマン反トラスト法

②　ホームステッド法

③　カンザス・ネブラスカ法

④　印紙法

5　アメリカ合衆国に編入された順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　フロリダ

②　カリフォルニア

③　テキサス

④　ミシシッピ川以西のルイジアナ

第39講　テスト解答

1　③　　2　①　　3　④　　4　②　　5　③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第40講
清末～中華民国

(1)〔　　〕の(2)〔　　〕年には(3)〔　　〕の乱という反乱が起き，八旗や緑営という正規軍より義勇軍である(4)〔　　〕が鎮圧に活躍した。

清は北方に対しては遊牧世界の盟主として振る舞い，南方に対しては征服王朝でありながら明の中華思想と中国伝統の華夷秩序つまり(5)〔　　〕，地大物博であるゆえ対等の貿易を必要としない(6)〔　　〕を継承した。

(7)〔　　〕の河口都市(8)〔　　〕は(9)〔　　〕年に唯一の貿易港とされた。そして広州には(10)〔　　〕＝広東十三行という貿易特許商人が置かれた。

(11)〔　　〕年には(12)〔　　〕が熱河で(13)〔　　〕と謁見したが貿易拡大交渉は失敗，(14)〔　　〕年の(15)〔　　〕は三跪九叩頭の礼を拒否したので，(16)〔　　〕に謁見できなかった。それでイギリス東インド会社は(17)〔　　〕を通じ清朝中国にアヘンを売り込んだ。

【アヘン戦争】(18)〔　　〕が個人的にアヘンを嫌っていたこともあり1839年に(19)〔　　〕が(20)〔　　〕でアヘンを焼却するとイギリス議会は僅差で開戦を可決し(21)〔　　〕年アヘン戦争が勃発した。時の英外相は(22)〔　　〕だ。

(23)〔　　〕年の(24)〔　　〕では(25)〔　　〕の五港が開港，(26)〔　　〕は廃止，(27)〔　　〕がイギリスに割譲された。その後の五港通商章程で(28)〔　　〕がイギリスに初めて認められた。1843年の(29)〔　　〕では片務的最恵国待遇などが追加された。1844年にはマカオ郊外でアメリカと(30)〔　　〕，同年，広州郊外でフランスと(31)〔　　〕という南京条約とほぼ同様の条約を結んだ。南京条約で開港場に設置された外国人居留者を(32)〔　　〕という。

林則徐の依頼で『海国図志』を著したのが(33)〔　　〕でこれは幕末の日本でも読まれた。アヘン戦争での清の敗北は江戸幕府にとっては大事件であったが，朝鮮の王宮は中国ばかり見ていたので，近代化の必要に気付くのに遅れた。

解答

（1）嘉慶帝　（2）1796　（3）白蓮教徒　（4）郷勇　（5）冊封体制
（6）朝貢体制　（7）珠江　（8）広州　（9）1757　（10）公行　（11）1793
（12）マカートニー　（13）乾隆帝　（14）1816　（15）アマースト　（16）嘉慶帝
（17）ジャーディン＝マセソン商会　（18）道光帝　（19）林則徐　（20）広州
（21）1840　（22）パーマストン　（23）1842　（24）南京条約
（25）広州，厦門，福州，寧波，上海　（26）公行　（27）香港島　（28）領事裁判権
（29）虎門寨追加条約　（30）望厦条約　（31）黄埔条約　（32）租界　（33）魏源

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【太平天国の乱】近代中国史上最大の反乱が1851 ～ 1864年の (34)〔　　〕だ。この反乱では4000万人が死んだ。

　科挙に失敗した (35)〔　　〕はキリスト教的結社，(36)〔　　〕を結成，上帝とは (37)〔　　〕のことだ。(38)〔　　〕省金田村で挙兵。よそ者という意味の (39)〔　　〕を中心に信者を増やし，スローガンは (40)〔　　〕，弁髪，纏足を禁止し (41)〔　　〕で男女の別なき土地の均分をめざしたが実施はされなかった。一時は南京を占領し，天京と称したが，(42)〔　　〕と (43)〔　　〕に滅ぼされた。漢人有力者の義勇兵である郷勇の代表が，(44)〔　　〕。結果として郷勇は独自に課税し軍隊の維持費用に充てることを清に認めさせ独立軍となった。

　外国人部隊の常勝軍の代表が，(45)〔　　〕と (46)〔　　〕**(のちマフディーの乱の時，スーダンのハルトゥームで戦死)**。清の正規軍の八旗と緑営はアヘンで消耗していた。

　また，太平天国とほぼ同時期に長江以北を中心に活動した農民反乱軍を (47)〔　　〕という。

【アロー戦争】南京条約後も期待したほど製品の輸出がのびずに一層の市場拡大をめざしていたイギリスは，(48)〔　　〕年に広州停泊中の英船籍のアロー号が海賊容疑で臨検され中国人船員が逮捕されたことを英国旗ユニオンジャックへの侮辱であるとし (49)〔　　〕を起こした。また，フランスもお得意のフランス人宣教師殺害事件を口実に (50)〔　　〕が開戦した。同時期，英仏両国は (51)〔　　〕でも共同歩調をとっている。

　(52)〔　　〕年の (53)〔　　〕では**外国公使の北京駐在，アヘン貿易の公認，南京など開港場の増加，キリスト教布教の自由，外国人の中国内地旅行の自由**などが取り決められた。その批准交換の英仏使節が砲撃されたので両国は再び遠征軍を送り，戦闘再開，北京を占領した英仏により1860年，(54)〔　　〕は破壊された。ちなみにこれは乾隆帝時代にイタリア人 (55)〔　　〕により設計されたものである。(56)〔　　〕年の (57)〔　　〕ロシアの東シベリア総督は (58)〔　　〕で清とロシアの国境線は (59)〔　　〕となり (60)〔　　〕は両国の共同管理となった。(61)〔　　〕年の (62)〔　　〕では，まず天津条約が批准交換され，(63)〔　　〕の開港，(64)〔　　〕の割譲が追加された。調停したロシアとの (65)〔　　〕で (66)〔　　〕はロシア領となり，のちにロシアは (67)〔　　〕(ロシア語で**東に突撃せよ**)を建設した。

解答

(34) 太平天国の乱　(35) 洪秀全　(36) 上帝会　(37) ヤハウェ　(38) 広西
(39) 客家　(40) 滅満興漢　(41) 天朝田畝制度　(42) 郷勇　(43) 常勝軍
(44) 曾国藩の湘勇，李鴻章の淮勇　(45) アメリカ人ウォード　(46) イギリス人ゴードン
(47) 捻軍　(48) 1856　(49) アロー戦争　(50) ナポレオン３世　(51) クリミア戦争
(52) 1858　(53) 天津条約　(54) 円明園　(55) カスティリオーネ　(56) 1858
(57) アイグン条約　(58) ムラヴィヨフ　(59) アムール川＝黒竜江　(60) 沿海州
(61) 1860　(62) 北京条約　(63) 天津　(64) 九竜半島南部　(65) 北京条約
(66) 沿海州　(67) ウラジヴォストーク

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【洋務運動】1861 年に外国との事務を扱う (68)〔　　〕が設置された。イギリスを藩部とみなして理藩院で扱っていたのを改めた結果である。

(69)〔　　〕・(70)〔　　〕・(71)〔　　〕らが「(72)〔　　〕」をスローガンに (73)〔　　〕に着手した。**中国の制度を本体に置き，西洋の軍事技術を用いる**ということだ。

アロー戦争直後の穏やかな時期を (74)〔　　〕という。

1871 年に宮古島の島民が台湾に漂着しそこで殺されたことへの征伐(せいばつ)で，日本政府は 1874 年に (75)〔　　〕を行った。台湾問題が解決した 1875 年に明治政府は琉球に対して清との冊封関係の廃止を命じ，(76)〔　　〕年に (77)〔　　〕を設置した。

【日清(にっしん)戦争】(78)〔　　〕（東学党(とうがくとう)の乱）を機に朝鮮支配をめぐって日清戦争が起きた。日本は海陸両軍で清を圧倒し，戦後，不平等条約を改正し，帝国主義列強への道を歩む。(79)〔　　〕年の (80)〔　　〕の全権は (81)〔　　〕と (82)〔　　〕。実際のところ日本は李鴻章と戦ったのだ。朝鮮の完全独立つまり清の干渉権放棄と，清には (83)〔　　〕，(84)〔　　〕，(85)〔　　〕の日本への割譲，**開港場での企業設立が承認**された（諸外国にも適用されたので帝国主義列強の進出を招いた）。そして清の国家予算の３倍もの賠償(ばいしょう)金の支払いが課された。

しかし，李鴻章がロシアに接近した結果，(86)〔　　〕が，(87)〔　　〕，(88)〔　　〕をさそって，日本にいわゆる (89)〔　　〕をして**遼東半島は清に返還**させられた。

【変法自強(へんぽうじきょう)運動】日清戦争の影響の一つ目が洋務運動の限界が露呈(ろてい)したこと。敗北の反省から (90)〔　　〕年に考証学に批判的な公羊学派(くようがくは)の (91)〔　　〕や (92)〔　　〕らが中心となって，日本の (93)〔　　〕をモデルに**西欧型の議会政治による立憲政治をめざす** (94)〔　　〕だ。(95)〔　　〕により登用された彼らの戊戌(ぼじゅつ)の変法は，(96)〔　　〕の弾圧，いわゆる (97)〔　　〕で頓挫(とんざ)し百日維新で終わった。

【列強の中国分割】**日清戦争の影響の二つ目が，1898 ～ 1899 年の中国分割**だ。日本に払うべき賠償金の借款(しゃっかん)供与を列強に求めるも当然返還できないから町や港を租借(そしゃく)させる。(98)〔　　〕をロシアが租借。のちに日本が日露戦争に勝ってからは (99)〔　　〕になる。(100)〔　　〕をドイツ，(101)〔　　〕をフランス，(102)〔　　〕をイギリス，(103)〔　　〕（新界(しんかい)）をイギリスが租借した。

解答

（68）総理各国事務衙門(そうりかっこくじむがもん)　（69）曾国藩　（70）李鴻章　（71）左宗棠(さそうとう)　（72）中体西用(ちゅうたいせいよう)
（73）洋務運動　（74）同治の中興(どうちのちゅうこう)　（75）台湾出兵　（76）1879　（77）沖縄県(おきなわ)
（78）甲午農民戦争(こうごのうみんせんそう)　（79）1895　（80）下関条約(しものせき)　（81）伊藤博文(いとうひろぶみ)　（82）李鴻章
（83）遼東半島(りょうとう)　（84）台湾(たいわん)　（85）澎湖諸島(ほうこ)　（86）ロシア　（87）フランス
（88）ドイツ　（89）三国干渉　（90）1898　（91）康有為(こうゆうい)　（92）梁啓超(りょうけいちょう)
（93）明治維新(めいじいしん)　（94）変法自強運動　（95）光緒帝　（96）西太后　（97）戊戌の政変
（98）旅順・大連(りょじゅん・たいれん)　（99）関東州(かんとう)　（100）膠州湾(こうしゅうわん)　（101）広州湾(こうしゅうわん)　（102）威海衛(いかいえい)
（103）九竜半島

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【義和団事件】(104)〔　　〕を本拠のキリスト教に反感を抱いた白蓮教系の結社が(105)〔　　〕で(106)〔　　〕，(107)〔　　〕をスローガンに(108)〔　　〕((109)〔　　〕年）を起こした。電線・線路・教会など西洋列強が建設したものに攻撃を加えた。背景には，西洋列強が敷いた鉄道により失職した輸送業者たちの憤りがある。また，19世紀後半には(110)〔　　〕と呼ばれる反キリスト教運動が中国各地で起きていた。(111)〔　　〕という暴力行為も頻発していた。８国が共同出兵し，(112)〔　　〕年の(113)〔　　〕（調印は11国）で４億５千万両の賠償金とともに列強の(114)〔　　〕が承認され，**中国の半植民地化が決定**し，中国の新しい時代がはじまった。

【清の改革】20世紀にはいると清朝も新政（(115)〔　　〕）詔勅を出し体制内の改革を行った。(116)〔　　〕年には(117)〔　　〕を廃止し学校出身者を官吏に登用し，1906年には西洋式軍隊（(118)〔　　〕）を設置，(119)〔　　〕年には(120)〔　　〕を出し，(121)〔　　〕により，９年後の国会開設を約し，法による支配の方向性を示した。この年，西太后が死去し，宣統帝溥儀が２歳で即位した。(122)〔　　〕年には，(123)〔　　〕が廃止され，責任内閣制度を採用，北洋軍閥の総帥で(124)〔　　〕の後継者である(125)〔　　〕が就任した。

【孫文の革命準備】(126)〔　　〕は(127)〔　　〕年にハワイで客家の秘密結社の(128)〔　　〕を組織した。これに1904年に日本に(129)〔　　〕していた学生を中心に結成された(130)〔　　〕（(131)〔　　〕らによる），(132)〔　　〕などの革命諸団体が加わって，日露戦争の勝利に沸く(133)〔　　〕年の東京で(134)〔　　〕を設立し，(135)〔　　〕の独立，(136)〔　　〕の伸長，(137)〔　　〕の安定を目標に(138)〔　　〕を唱えた。蔣介石も日本で参加する。中国から外国勢力を排除する駆除韃虜，漢民族国家を回復する恢復中華，創設民国，平均地権（孫文はマルクス主義の影響を大いに受けている）をスローガンとした。機関誌は(139)〔　　〕。

当時，(140)〔　　〕で富を得た郷紳ら(141)〔　　〕により，列強に奪われた鉄道敷設権や炭鉱採掘権などの(142)〔　　〕が起きていた。

解答

(104) 山東省　(105) 義和団　(106) 扶清滅洋　(107) 除教安民　(108) 義和団事件
(109) 1899～1901　(110) 仇教運動　(111) 教案　(112) 1901　(113) 北京議定書
(114) 北京駐兵権　(115) 光緒新政　(116) 1905　(117) 科挙　(118) 新軍
(119) 1908　(120) 憲法大綱　(121) 国会開設公約　(122) 1911　(123) 軍機処
(124) 李鴻章　(125) 袁世凱　(126) 孫文　(127) 1894　(128) 興中会　(129) 留学
(130) 光復会　(131) 蔡元培　(132) 華興会　(133) 1905　(134) 中国同盟会
(135) 民族　(136) 民権　(137) 民生　(138) 三民主義　(139) 民報　(140) 紡績業
(141) 民族資本　(142) 利権回収運動

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 40 講　テスト

1　ロシアが新疆を占領し清朝と対立した 1871 ～ 81 年の事件は。

①　イリ事件

②　血の日曜日事件

③　甲申政変

④　ダマンスキー島事件

2　コーカンド＝ハン国出身の軍人で回民（ムスリム）の反乱に乗じて東トルキスタンで政権を樹立した人物と，それを破った清軍の指導者の正しい組み合わせは。

①　ウルグ＝ベク，李鴻章

②　ウルグ＝ベク，左宗棠

③　ヤークーブ＝ベク，李鴻章

④　ヤークーブ＝ベク，左宗棠

3　19 世紀に列強が清から獲得した利権に含まれないものは。

①　鉄道敷設権

②　北京駐兵権

③　鉱山採掘権

④　開港場での企業設立

4　1898 年，日本が清と不割譲条約を結び勢力範囲としたのは。

①　広東省

②　山東省

③　河北省

④　福建省

5　清朝側からの呼称「長髪賊」と関係があるのは。

①　義和団

②　太平天国

③　白蓮教徒

④　ミャオ族

第 40 講　テスト解答

1　①　　2　④　　3　②　　4　④　　5　②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 41 講
第一次世界大戦への道

1

(1)〔　　〕年ドイツ帝国首相となった**ビスマルクの外交政策の基本はアルザス＝ロレーヌ奪還を狙う**(2)〔　　〕の孤立化だ。

そのために(3)〔　　〕年に(4)〔　　〕・(5)〔　　〕を誘い(6)〔　　〕同盟を，(7)〔　　〕年には(8)〔　　〕・(9)〔　　〕と(10)〔　　〕同盟を結ぶ。パン＝ゲルマン主義の中心オーストリア＝ハプスブルク家とパン＝スラヴ主義の中心ロシア＝ロマノフ家のバルカン半島を舞台にした対立が深刻なものとなり三帝同盟が破綻すると，(11)〔　　〕年には(12)〔　　〕と単独で(13)〔　　〕条約を結びロシアをつなぎ止めた。これがビスマルク的国際体制（1871 ～ 1890 年）だ。

ビスマルクの内政はアメとムチ。

ムチは南ドイツの(14)〔　　〕教徒の(15)〔　　〕との(16)〔　　〕。またユンカー（地主貴族）出身だからマルクス主義には厳しく(17)〔　　〕((18)〔　　〕年）で世界初の社会主義政党の(19)〔　　〕を非合法化した。アメに相当するのが(20)〔　　〕で種々の保険・年金の制度を整えた。1879 年にはアメリカからの穀物の流入に抗し(21)〔　　〕を制定した。

1888 年初代ドイツ帝国皇帝ヴィルヘルム１世が死去，子のフリードリヒ３世も急逝，その子(22)〔　　〕が即位した。

(23)〔　　〕年に満期を迎えたロシアとの再保障条約を更新し引き続きフランスを牽制（けんせい）すべしと構えたビスマルクに対し若き皇帝（カイザー）(24)〔　　〕世は破棄を主張した。またカイザーは社会主義にも寛容だった。

結局(25)〔　　〕年にビスマルクは更迭される。**ドイツ帝国の責任内閣制度が首相は皇帝にたいし責任を負うものだったからだ。**

解答

（１）1871　（２）フランス　（３）1873　（４）オーストリア　（５）ロシア
（６）三帝　（７）1882　（８）オーストリア　（９）イタリア　(10) 三国　(11) 1887
(12) ロシア　(13) 再保障　(14) カトリック　(15) 中央党　(16) 文化闘争
(17) 社会主義者鎮圧法　(18) 1878　(19) ドイツ社会主義労働者党　(20) 社会政策
(21) 保護関税法　(22) ヴィルヘルム２世　(23) 1890　(24) ヴィルヘルム２
(25) 1890

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

マルクス主義政党は合法化され，(26)〔　　〕として再編成された。

そして再保障条約が更新されなかったので，ビスマルクが懸念(けねん)したとおり(27)〔　　〕が成立した（(28)〔　　〕年）。

(29)〔　　〕年には(30)〔　　〕同盟が成立した。ロシアの東シナ海への南下が共通の脅威(きょうい)となったからだ。

ヴィルヘルム２世は「(31)〔　　〕」をスローガンに(32)〔　　〕（海相(33)〔　　〕がイギリスとの建艦競争を激化）を展開した。これを脅威と感じ(34)〔　　〕年には(35)〔　　〕（英の(36)〔　　〕，仏の(37)〔　　〕における権益の相互承認），(38)〔　　〕年には(39)〔　　〕（英の(40)〔　　〕，露の(41)〔　　〕，(42)〔　　〕は相互不干渉）が結ばれ，**三国協商が完成し**，こうして**ドイツ包囲網(ほういもう)が張り巡らされた。**

解答

（26）社会民主党　（27）露仏同盟　（28）1891　（29）1902　（30）日英

（31）新航路　（32）世界政策　（33）ティルピッツ　（34）1904　（35）英仏協商

（36）エジプト　（37）モロッコ　（38）1907　（39）英露協商

（40）カージャール朝イラン南部とアフガニスタン　（41）カージャール朝イラン北部

（42）チベット

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2 分割以前のアフリカ

ナイル川流域では，前８世紀に (1)〔　　〕がエジプトを一時支配し首都メロエに最古の鉄工場がつくられピラミッドもつくられた。

４世紀にクシュ王国を征服したのが (2)〔　　〕で紅海・地中海貿易で繁栄した。(3)〔　　〕派のキリスト教を取り入れエチオピア教会が成立した。８世紀にはイスラーム教が流入した。

ニジェール川流域では，(4)〔　　〕がサハラの (5)〔　　〕とギニア産の (6)〔　　〕を交易し繁栄したが，11 世紀に現モロッコ・マラケーシュの (7)〔　　〕朝の攻撃で衰退した。

14 世紀には**マンサ＝ムーサ**王のもと黒人イスラーム教国 (8)〔　　〕が繁栄しカイロのマムルーク朝と交流，(9)〔　　〕が来訪した。マリ王国を征服したのが (10)〔　　〕だ。(11)〔　　〕にイスラーム神学研究のために大学がつくられた。首都はガオ。

アフリカ東海岸都市は，北から (12)〔　　〕(現ケニア)・モンバサ・ザンジバル（現タンザニア）・キルワを覚えよう。アッバース朝でザンジュ（黒人奴隷）の乱が起こるが**ザンジバル島**から供給された奴隷たちの反乱だ。これらの都市はイスラーム商人との (13)〔　　〕交易に従事し，金・象牙・奴隷を輸出した。**バントゥー語にアラビア語の語彙が加わり** (14)〔　　〕(海辺の人の意) が成立した。

ザンベジ川流域には石造建築で有名な (15)〔　　〕を中心に (16)〔　　〕が栄えイスラーム商人と交易，ジンバブエ遺跡からは中国物産も発掘された。

【イギリス】**イギリスの宣教師**で探検家の(17)〔　　〕はヴィクトリア瀑布を発見した。消息不明になった彼を救出したのが**アメリカの探検家** (18)〔　　〕。

イギリスはアフリカ大陸縦断政策 (19)〔　　〕～ (20)〔　　〕をつなぐ。インドの (21)〔　　〕と合わせ**３C 政策**となる。

フランス人 (22)〔　　〕が (23)〔　　〕年に開削した (24)〔　　〕の株を (25)〔　　〕年**英首相** (26)〔　　〕がユダヤ財閥 (27)〔　　〕と絡み買収すると，エジプトで (28)〔　　〕が起きる。それはイスラームの大同団結をめざすパン＝イスラーム主義の精神的指導者 (29)〔　　〕の影響である。

イギリスが (30)〔　　〕に南下すると，(31)〔　　〕が (32)〔　　〕(救世主) を宣言し反乱を指導，(33)〔　　〕の乱の時の (34)〔　　〕の (35)〔　　〕が**ハルツーム**で戦死した。

解答

（1）クシュ王国　（2）アクスム王国　（3）コプト　（4）ガーナ王国　（5）岩塩(がんえん)
（6）金・象牙(ぞうげ)　（7）ムラービト　（8）マリ王国　（9）イブン＝バットゥータ
（10）ソンガイ王国　（11）トンブクトゥ　（12）マリンディ　（13）ダウ船
（14）スワヒリ語　（15）ジンバブエ　（16）モノモタパ王国　（17）リヴィングストン
（18）スタンリー　（19）カイロ　（20）ケープタウン　（21）カルカッタ
（22）レセップス　（23）1869　（24）スエズ運河　（25）1875　（26）ディズレイリ
（27）ロスチャイルド家　（28）ウラービー運動　（29）アフガーニー　（30）スーダン
（31）ムハンマド＝アフマド　（32）マフディー　（33）太平天国　（34）常勝軍
（35）ゴードン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

フランスのアフリカ横断政策と (36)〔　　〕年と**南スーダン**で衝突。(37)〔　　〕という。**フランスが譲歩**しスーダンはイギリスの勢力圏となった。イギリスは，(38)〔　　〕(現ガーナ)も攻略した(1901年)。また (39)〔　　〕も勢力圏においた。

(40)〔　　〕年の (41)〔　　〕で (42)〔　　〕がナポレオン１世の弟のオランダ支配からイギリスに移り，のちに (43)〔　　〕が同地の首相となった。**オランダ系移民**の子孫 (44)〔　　〕人は内陸部に (45)〔　　〕（大移動）し (46)〔　　〕と (47)〔　　〕を建国した。ここに (48)〔　　〕そして (49)〔　　〕が発見されると，植民相 (50)〔　　〕指導で (51)〔　　〕（ブール･南ア）戦争（1899 ～ (52)〔　　〕年）で侵略した。セシル = ローズにちなむ (53)〔　　〕（**現在北がザンビア・南がジンバブエ**）もイギリスの勢力圏だったからブール人は挟み撃ちになる。典型的な帝国主義戦争に国際的非難を浴び (54)〔　　〕を放棄したイギリスは (55)〔　　〕年に (56)〔　　〕を結ぶ。前年 (57)〔　　〕も世を去り大英帝国が斜陽の季節を迎える。

(58)〔　　〕年イギリスは (59)〔　　〕・(60)〔　　〕・(61)〔　　〕・(62)〔　　〕州から成る (63)〔　　〕を成立させた。白人のブール人が (64)〔　　〕として勢力を増したことが 1948 年の (65)〔　　〕（人種隔離政策）の法制化につながる。

【フランス】フランスは (66)〔　　〕世の (67)〔　　〕年に (68)〔　　〕を攻略，(69)〔　　〕年の (70)〔　　〕の取り決めに基づき (71)〔　　〕年 (72)〔　　〕を保護化した。アフリカの角ソマリランドの (73)〔　　〕を領有し（1888 年）横断政策の東端となった。また (74)〔　　〕も領有した（1896 年）。

(75)〔　　〕年の (76)〔　　〕でフランスに優先権が認められた (77)〔　　〕の (78)〔　　〕にドイツ皇帝 (79)〔　　〕世が入港し威嚇した（(80)〔　　〕年の第１次モロッコ事件）。1906 年の (81)〔　　〕でドイツのモロッコ進出は頓挫する。

こりないヴィルヘルム２世は (82)〔　　〕年に今度は (83)〔　　〕に軍艦を派遣（第２次モロッコ事件）。業を煮やしたフランスは (84)〔　　〕年に (85)〔　　〕を保護化した。

解答

（36）1898　（37）ファショダ事件　（38）アシャンティ王国　（39）ナイジェリア
（40）1815　（41）ウィーン議定書　（42）ケープ植民地　（43）セシル = ローズ
（44）ブール（ボーア）　（45）グレート = トレック　（46）オレンジ自由国
（47）トランスヴァール共和国　（48）ダイヤモンド　（49）金
（50）ジョセフ = チェンバレン　（51）南アフリカ　（52）1902　（53）ローデシア
（54）光栄ある孤立　（55）1902　（56）日英同盟　（57）ヴィクトリア女王　（58）1910
（59）ケープ　（60）オレンジ　（61）トランスヴァール　（62）ナタール
（63）南アフリカ連邦　（64）アフリカーナー　（65）アパルトヘイト　（66）シャルル 10
（67）1830　（68）アルジェリア　（69）1878　（70）ベルリン会議　（71）1881
（72）チュニジア　（73）ジブチ　（74）マダガスカル島　（75）1904　（76）英仏協商
（77）モロッコ　（78）タンジール　（79）ヴィルヘルム２　（80）1905
（81）アルヘシラス国際会議　（82）1911　（83）アガディール　（84）1912
（85）モロッコ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ドイツは(86)〔　　〕(現ナミビア)・(87)〔　　〕(タンガニーカ，現タンザニア)の合計４箇所。

イタリアは(88)〔　　〕(1911 ～ 12 年の(89)〔　　〕で(90)〔　　〕から獲得，現(91)〔　　〕)の３箇所。

ポルトガルが(92)〔　　〕の２箇所。

ベルギーは(93)〔　　〕世が(94)〔　　〕の(95)〔　　〕川流域探検を援助し領有。列強(れっきょう)の反発に(96)〔　　〕開催の(97)〔　　〕((98)〔　　〕～ 1885 年)で**先に占領した国が領有できる原則(先占権)を確認**した。ベルギー領(99)〔　　〕は(100)〔　　〕年に列強に承認された。

第一次世界大戦勃発時の独立国は(101)〔　　〕と(102)〔　　〕の２つ。エチオピアは(103)〔　　〕年の(104)〔　　〕の戦いで(105)〔　　〕を撃退。リベリアは(106)〔　　〕年に(107)〔　　〕の奴隷解放協会がつくった国だ。

解答

(86) トーゴランド・カメルーン・南西アフリカ　(87) 東アフリカ

(88) エリトリア・ソマリランド・トリポリ・キレナイカ　(89) イタリア＝トルコ戦争

(90) オスマン帝国　(91) リビア　(92) アンゴラ・モザンビーク　(93) レオポルド２

(94) スタンリー　(95) コンゴ　(96) ビスマルク　(97) ベルリン会議　(98) 1884

(99) コンゴ自由国　(100) 1908　(101) エチオピア　(102) リベリア　(103) 1896

(104) アドワ　(105) イタリア　(106) 1847　(107) アメリカ合衆国

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 41 講　テスト

1　古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　再保障条約

②　三国同盟

③　三帝同盟

④　露仏同盟

2　社会主義者鎮圧法制定の年は。

①　1878

②　1879

③　1880

④　1885

3　古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　英仏協商

②　英露協商

③　日英同盟

④　ビスマルク更迭

4　西アフリカ内陸部でフランス帝国主義に激しく抵抗したジハードの指導者は。

①　ヤヤ＝トゥーレ

②　コロ＝トゥーレ

③　サモリ＝トゥーレ

④　ドログバ

5　サハラ砂漠に 1890 年代に進出した国は。

①　イギリス

②　フランス

③　ドイツ

④　オランダ

第 41 講　テスト解答

1　①　　2　①　　3　①　　4　③　　5　②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第42講
第一次世界大戦とロシア革命

1

(1)〔　　〕年6月28日（1389年のコソヴォの戦いの日），オーストリア＝ハンガリー（ハプスブルク帝国）(2)〔　　〕州の州都(3)〔　　〕でオーストリア皇太子フランツ＝フェルディナンド夫妻がセルビア人に暗殺されたのを機に，事態は第一次世界大戦へと発展した。

第一次世界大戦は世界史の大転換点となった衝撃的な戦争だった。予測を越えた長期持久戦で(4)〔　　〕の始まりとなった。総力戦とは政治・経済・教育・芸術・思想がすべて戦争のために動員される戦争のことだ。戦場よりも戦場への**補給**が勝敗を決する国民総動員で軍需生産をする体制。国民生活に深刻な影響を与え，ドイツ・ロシア・トルコのように革命により戦争が終結したケースが顕著だ。欧米文明への懐疑（かいぎ）からか(5)〔　　〕の『(6)〔　　〕』が1918～22年にベストセラーになった。

【第一次世界大戦】1914年。二正面攻撃に勝ち目がないドイツ軍は(7)〔　　〕により，まずフランス軍を壊滅させ次にロシアを叩こうと計画し，永世中立国ベルギーに侵攻した。(8)〔　　〕将軍が(9)〔　　〕の戦いでロシア軍の進軍を阻止した。(10)〔　　〕の戦いの後，**塹壕戦**（ざんごうせん）で膠着（こうちゃく）状態になった。(11)〔　　〕の小説『西部戦線異常なし』（1929年）の題材だ。(12)〔　　〕年，イープルの戦い（独軍初めて(13)〔　　〕を使用）→イタリアが三国同盟を裏切ってドイツに対し宣戦布告。1916年，(14)〔　　〕の戦い→ユトランド沖の海戦→(15)〔　　〕の戦い（初めて(16)〔　　〕登場）。1918年がブルガリア降伏→ハンガリーがオーストリア帝国から離脱→トルコが降伏→オーストリアが降伏。第一次世界大戦中にドイツ(17)〔　　〕党は分裂，主流派は戦争支持・国内平和政策，党内反戦派と左派(18)〔　　〕は独立社会民主党を結成し反戦運動を展開した。1918年11月3日(19)〔　　〕の軍港で水兵の反乱が起き，これが北ドイツ各地に波及，(20)〔　　〕(＝労働者，兵士協議会）が結成され革命の波はベルリンへ波及しシャイデマンが共和国宣言，11月10日皇帝(21)〔　　〕世は退位し，11月11日には社会民主党主流派の(22)〔　　〕を首班とした臨時政府が連合国側と休戦条約を結んだ。

解答

（1）1914　（2）ボスニア＝ヘルツェゴビナ　（3）サラエボ　（4）総力戦
（5）シュペングラー　（6）西洋の没落　（7）シュリーフェン計画　（8）ヒンデンブルク
（9）タンネンベルク　（10）マルヌ　（11）レマルク　（12）1915　（13）毒ガス
（14）ヴェルダン　（15）ソンム　（16）戦車　（17）社会民主　（18）スパルタクス団
（19）キール　（20）レーテ　（21）ヴィルヘルム2　（22）エーベルト

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【パリ講和会議】戦勝国32カ国はパリ講和会議を開いたが主要メンバーは(23)〔　　〕(米)(24)〔　　〕(英)(25)〔　　〕(仏) 西園寺公望(さいおんじきんもち)(日)。イタリア代表オルランドは(26)〔　　〕問題などで会議から去った。

戦勝国は1919年にドイツと(27)〔　　〕条約，オーストリアと(28)〔　　〕条約，ブルガリアと(29)〔　　〕条約を，1920年にハンガリーと(30)〔　　〕条約をオスマン＝トルコと(31)〔　　〕条約を結んだ。

【ヴェルサイユ条約】ドイツ本国の領土は10～13％減少した。(32)〔　　〕はフランスに割譲。(33)〔　　〕は国際連盟が管理した後リトアニアに割譲。(34)〔　　〕と(35)〔　　〕はポーランドに割譲。(36)〔　　〕は国際管理で港湾使用権は(37)〔　　〕に。(38)〔　　〕は15年間国際連盟が管理（炭鉱(たんこう)採掘権は(39)〔　　〕）した後，住民投票で帰属を決定する。一切の海外植民地を失う。太平洋の赤道以北の島々は(40)〔　　〕による，以南の島々は(41)〔　　〕による国際連盟委任統治に。(42)〔　　〕(現ナミビア）は南アフリカに，(43)〔　　〕は英に，(44)〔　　〕と(45)〔　　〕は英仏の管理となった。(46)〔　　〕半島の利権は日本のものとなった。**オーストリアとの合併は禁止**。民族自決の理念の例外にされたことがヒトラーを怒らせる。**徴兵制は禁止**。(47)〔　　〕は非武装。賠償金は(48)〔　　〕という天文学的金額。

【ドイツ革命】臨時政府は革命の急進化を抑制し，軍部・旧勢力と妥協を図ると，スパルタクス団のポーランド系ユダヤ人女性(49)〔　　〕と(50)〔　　〕は(51)〔　　〕(評議会）を基礎とする社会主義国家樹立を目指して（1919/１）ベルリンで武装蜂起したが，失敗して両指導者は虐殺された。こうして終了したのがロシア革命の影響を受けた(52)〔　　〕だ。

解答

(23) ウィルソン　(24) ロイド＝ジョージ　(25) クレマンソー　(26) フィウメ
(27) ヴェルサイユ　(28) サン＝ジェルマン　(29) ヌイイ　(30) トリアノン
(31) セーブル　(32) アルザス・ロレーヌ　(33) メーメル　(34) ポーランド回廊
(35) シュレジェンの一部　(36) ダンツィヒ　(37) ポーランド　(38) ザール地方
(39) フランス　(40) 日本　(41) オーストラリア　(42) 南西アフリカ
(43) 東アフリカ　(44) カメルーン　(45) トーゴランド　(46) 山東
(47) ラインラント　(48) 1320億金マルク　(49) ローザ＝ルクセンブルク
(50) カール＝リープクネヒト　(51) レーテ　(52) ドイツ革命

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2

カール＝マルクスの『(1)〔　　〕』が出版されたのが(2)〔　　〕年，ロシア語に翻訳されたのが1874年だ。ロシア＝マルクス主義の父が(3)〔　　〕で(4)〔　　〕年にマルクス主義政党の(5)〔　　〕を設立した。(6)〔　　〕年にプロレタリア（労働者）革命をめざす多数派ボリシェビキとブルジョア革命をめざす少数派(7)〔　　〕に分裂，この(8)〔　　〕が後のソ連だ。

それとは別に(9)〔　　〕に挫折したインテリたちが，(10)〔　　〕(SR=(11)〔　　〕，(12)〔　　〕年）を結成した。二種類の異なる革命集団を形成しロシア史は20世紀に突入したわけだ。

【第1次ロシア革命】帝政ロシアは，1904年に始まる(13)〔　　〕では(14)〔　　〕に(15)〔　　〕で敗れる。(16)〔　　〕年の(17)〔　　〕では(18)〔　　〕・(19)〔　　〕が会し米大統領(20)〔　　〕が仲介した。日本は**韓国の保護権・遼東半島南部**（(21)〔　　〕）・(22)〔　　〕・(23)〔　　〕を獲得した。

首都(24)〔　　〕では修道士ガポンに率いられた民衆による反戦運動とそれにたいする軍隊の発砲，(25)〔　　〕事件が起こる。(26)〔　　〕の序曲だ。初めて労働者による評議会，政治的会議を意味する(27)〔　　〕ができた。**国会開設と憲法制定を約束する**(28)〔　　〕を(29)〔　　〕が発布（(30)〔　　〕が起草）し事態を収拾した。この時**急進的運動から離脱したブルジョアが結成したのが**(31)〔　　〕（(32)〔　　〕，(33)〔　　〕年）だ。

ヴィッテに次いで1906年に権力を握った(34)〔　　〕は，革命の温床となる**ミール（共同体）を解体し自作農を育成**する革命と反対方向の政策を採った。

【ロシア革命(35)〔　　〕】(36)〔　　〕年セルビア支援で(37)〔　　〕に参戦。(38)〔　　〕の戦いでドイツの(39)〔　　〕に敗れる。

この頃，怪異な力を持つ(40)〔　　〕がロマノフ家に出入りしていた。皇帝(41)〔　　〕の皇太子アレクセイの血友病を治癒できる力があったので王妃アレクサンドラに寵愛された。

解答

（1）資本論第1巻　（2）1867　（3）プレハーノフ　（4）1898
（5）ロシア社会民主労働党　（6）1903　（7）メンシェビキ　（8）ボリシェビキ
（9）ナロードニキ運動　（10）社会革命党　（11）エスエル　（12）1901
（13）日露戦争　（14）東郷平八郎　（15）日本海海戦　（16）1905
（17）ポーツマス条約　（18）小村寿太郎　（19）ヴィッテ　（20）セオドア＝ローズベルト
（21）関東州　（22）南満州鉄道　（23）南樺太　（24）ペテルブルク　（25）血の日曜日
（26）第1次ロシア革命　（27）ソヴィエト　（28）十月宣言　（29）ニコライ2世
（30）ヴィッテ　（31）立憲民主党　（32）カデット　（33）1905　（34）ストルイピン
（35）二月革命　（36）1914　（37）第一次世界大戦　（38）タンネンベルク
（39）ヒンデンブルク将軍　（40）ラスプーチン　（41）ニコライ2世

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(42)〔　　〕年 (43)〔　　〕月の**国際婦人デーに発生したデモ**から (44)〔　　〕が倒れ，(45)〔　　〕と (46)〔　　〕の二重権力となる。(47)〔　　〕だ。臨時政府の首班（しゅはん）は (48)〔　　〕の (49)〔　　〕で (50)〔　　〕との連立, SR (51)〔　　〕から (52)〔　　〕が単独で参加していた。(53)〔　　〕は (54)〔　　〕と (55)〔　　〕が主体である。

亡命先のスイスから帰国したボリシェビキの (56)〔　　〕は (57)〔　　〕を発表し「(58)〔　　〕」集中すべし臨時政府は不要だと主張した。

【ロシア (59)〔　　〕】(60)〔　　〕の夏の蜂起は鎮圧されレーニンはフィンランドへ亡命した。臨時政府も夏に改組（かいそ）され，(61)〔　　〕の内閣になった。帝政（ていせい）派 (62)〔　　〕の反乱鎮圧に臨時政府はボリシェビキの手を借りたため，ボリシェビキの発言権が増大した。

11月。(63)〔　　〕のエルミタージュ宮殿の (64)〔　　〕政府が無血革命（むけつかくめい）で (65)〔　　〕に打倒された。これがロシア革命のクライマックスだ。

【ボリシェビキ一党独裁】ボリシェビキは (66)〔　　〕（(67)〔　　〕・(68)〔　　〕・(69)〔　　〕）と (70)〔　　〕（地主制を廃止し土地は耕作者（こうさくしゃ）に）で民衆を味方につけた。革命の目的である憲法制定議会では (71)〔　　〕が (72)〔　　〕より多数だった。「働かざる者食うべからず」の価値観に固執（こしつ）するボリシェビキは被搾取者（ひさくしゅしゃ）の権利宣言採択（さいたく）と勤労者のみに参政権のある社会を実現するためにエスエルを武力で議会から排除した。いよいよ暴力革命に突入する。(73)〔　　〕の一党独裁だ。
(74)〔　　〕（反革命・サボタージュ・投機（とうき）取り締まり全ロシア非常委員会）が創られ，反ボリシェビキ集団が血祭りに挙げられる。後にGPU→NKVD→KGBと改称される。ソ連が共産党（ボリシェビキ）一党独裁体制を維持できたのも (75)〔　　〕があったゆえである。

(76)〔　　〕年ボリシェビキの (77)〔　　〕が (78)〔　　〕で (79)〔　　〕と単独講和を結ぶ。ボリシェビキは (80)〔　　〕と改称され首都は (81)〔　　〕，政治の中枢は (82)〔　　〕となった。

解答

(42) 1917　(43) 3　(44) ロマノフ朝　(45) 臨時政府　(46) ソヴィエト
(47) 三月革命　(48) カデット　(49) リヴォフ公爵（こうしゃく）　(50) メンシェビキ
(51) エスエル　(52) ケレンスキー　(53) ソヴィエト　(54) メンシェビキ
(55) エスエル　(56) レーニン　(57) 四月テーゼ　(58) すべての権力をソヴィエトへ
(59) 十月革命　(60) ボリシェビキ　(61) ケレンスキー　(62) コルニーロフ
(63) ペトログラード　(64) ケレンスキー　(65) ボリシェビキ　(66) 平和に関する布告
(67) 無併合（むへいごう）　(68) 無賠償（むばいしょう）　(69) 民族自決（みんぞくじけつ）の即時講和（そくじこうわ）　(70) 土地に関する布告
(71) エスエル　(72) ボリシェビキ　(73) ボリシェビキ　(74) チェカ　(75) KGB
(76) 1918　(77) トロツキー　(78) ブレスト＝リトフスク条約　(79) ドイツ
(80) ロシア共産党　(81) モスクワ　(82) クレムリン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 42 講　テスト

1　以下のうち第一次世界大戦における兵器として不適当なものは。

①　機関銃
②　航空機
③　戦術核
④　潜水艦

2「ヨーロッパの火薬庫」といわれた地域はどこか。

①　シュレジェン
②　アルザス＝ロレーヌ
③　バルカン
④　バチカン

3　1898 年にロシア社会民主労働党を設立したのは。

①　プレハーノフ
②　トロツキー
③　ブハーリン
④　ケレンスキー

4　古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　ストルイピンの自作農育成
②　日露戦争開戦
③　ボリシェビキとメンシェビキに分裂
④　血の日曜日事件

5　1917 年の出来事を古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　レーニンの「すべての権力をソヴィエトへ」テーゼ
②　ケレンスキー政府崩壊
③　ロマノフ王朝終焉
④　帝政派コルニーロフの反乱

第 42 講　テスト解答

1　③　　2　③　　3　①　　4　④　　5　④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 43 講
第二次世界大戦への道

1

【ヴァイマル共和国】1919 年２月にヴァイマルで国民議会が開かれ，８月には (1)〔　　〕が制定された。**国民主権，男女平等の普通選挙，直接投票の大統領制（任期７年），労働者の団結権，団体交渉権**を定めたが，48 条の大統領の非常大権行使がのちに問題化した。初代大統領は社会民主党の (2)〔　　〕で社会民主党，民主党，中央党のヴァイマル連合による連立内閣であった。

過酷なヴェルサイユ条約に対して政府は履行政策をとったが，ドイツを犠牲にしてヨーロッパ秩序の再編を目指す同体制に対する国民的反発が強く，右翼（うよく）勢力が台頭する土壌となる。他方で，比例代表選挙制は多党分立状況を導き，有能な政治的リーダーシップの確立に失敗した。

1920 年の軍部帝政派のクーデター，(3)〔　　〕は労働者のゼネストでの対抗により失敗した。

(4)〔　　〕年にはソ連と (5)〔　　〕を結び戦前債務と戦後賠償を相互に破棄，ソ連を国際的に最初に承認した。

【シュトレーゼマン】1923 ～ 1925 年の (6)〔　　〕と (7)〔　　〕による (8)〔　　〕に対してはストライキで積極的に抵抗，その結果起きた (9)〔　　〕に対して (10)〔　　〕の挙国一致内閣は不動産を担保にした (11)〔　　〕を発行して収拾した。国家通貨委員 (12)〔　　〕がライヒスバンク総裁に選ばれた。このような状況において (13)〔　　〕年にヒトラーはヴァイマル共和国政府に憤り，第一次世界大戦中に「総力戦」という語を生んだルーデンドルフ将軍を擁立し (14)〔　　〕を起こしたが失敗して投獄（軟禁（なんきん））された。

シュトレーゼマンはヴェルサイユ条約履行を推進，(15)〔　　〕年には (16)〔　　〕の資本を導入する (17)〔　　〕を受け入れる。(18)〔　　〕年にはフランスの (19)〔　　〕やイギリスのオースティン・チェンバレンとともに，(20)〔　　〕の (21)〔　　〕で条約を結び (22)〔　　〕を再確認し (23)〔　　〕を展開し地域的集団安全保障を確立，(24)〔　　〕年 (25)〔　　〕に加入，ノーベル平和賞を受賞した。しかし，1925 年には第一次世界大戦の東部戦線タンネンベルクの戦いのヒーロー，(26)〔　　〕が大統領に就任，社会民主党が後退し軍部，官僚，独占資本が進出しはじめた。

解答

（１）ヴァイマル憲法　（２）エーベルト　（３）カップ一揆　（４）1922
（５）ラパロ条約　（６）フランス　（７）ベルギー　（８）ルール占領
（９）インフレーション　（10）シュトレーゼマン　（11）レンテンマルク　（12）シャハト
（13）1923　（14）ミュンヘン一揆　（15）1924　（16）アメリカ　（17）ドーズ案
（18）1925　（19）ブリアン　（20）スイス　（21）ロカルノ　（22）ラインラントの非武装
（23）協調外交　（24）1926　（25）国際連盟　（26）ヒンデンブルク

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2

【ナチス＝ドイツ】(1)〔　　〕出身の**アドルフ＝ヒトラー**は 1919 年にミュンヘンでドイツ労働者党に入党，翌(2)〔　　〕年には(3)〔　　〕＝ナチスと党名を変更し，25 か条綱領で，**打倒ヴェルサイユ体制**，**徴兵制復活**，**ドイツ民族の優越**，大ドイツ主義（**オーストリア併合**），**反ユダヤ**，**反資本主義**，**反共産主義**を謳（うた）った。党員は拡大し(4)〔　　〕（ＳＡ）は数千規模になる。(5)〔　　〕年の(6)〔　　〕に失敗し投獄される。**合法路線への変更**を痛感したヒトラーは湖の畔の別荘で軟禁状態になりそこで『(7)〔　　〕』を著し，**大衆の心理**を女性の心理になぞらえる。

1928 年には共産党と社会民主党を合わせて「マルクス主義」政党の得票率は 40％を越えていた。(8)〔　　〕年の世界恐慌の到来でナチスは共産党とともに議席を増やし，(9)〔　　〕年７月には得票率 37.4％でいよいよ**第一党に**なる。11 月の選挙でナチスが後退しヒンデンブルクはシュライヒャーに組閣させたが，**共産党が議席を増進したので**財界，保守勢力は危機感から本格的にナチスを支持するようになる。大資本や労働組合に反感を持つ農民，中産階級，共産党の進出を懸念する軍部や資本家，ヴェルサイユ条約に反対する国民の不満がナチス支持の背景にある。ナチスは街頭のテロ活動で政敵を圧倒，突撃隊（ＳＡ）や(10)〔　　〕（ＳＳ）がその原動力であった。映画や街（がい）宣車（せんしゃ）によるレコードなどゲッペルスによる大量宣伝活動も成功した。

1929 年の新賠償方式(11)〔　　〕では賠償額そのものを減額，1931 年の(12)〔　　〕では戦債，賠償の一ヵ年支払いを猶予，1932 年の(13)〔　　〕でさらに削減され，支払い可能になるまで取り立ては延期，アメリカの戦債も解消した。しかし翌年に政権に就いたヒトラーはヤング案に怒り賠償を打ち切ってしまう。

【ヒトラー政権】(14)〔　　〕年１月，ヒトラー内閣が成立，２月国会議事堂放火事件で共産党を非合法化，３月(15)〔　　〕を通しヴァイマル憲法を停止しナチスの独裁が成立した。10 月には**国連を脱退**，1934 年に**ドイツ国防軍と対立していた突撃隊長レームを粛清**したあと，ヒンデンブルク大統領が死去するとヒトラーは(16)〔　　〕と称した。

ナチスのユダヤ人迫害により物理学者(17)〔　　〕や文学者(18)〔　　〕らが国外に亡命した。1935 年の(19)〔　　〕でユダヤ人の公民権が制限された。それは 1936 年のベルリン＝オリンピックでいったん緩和されたが，再び激化し 1938 年には(20)〔　　〕と呼ばれるユダヤ商店への破壊がなされた。1939 年からは強制収容所，とくに 1942 年には現ポーランドに(21)〔　　〕が作られた。また労働組合もナチスの御用組織「ドイツ労働戦線」に再組織された。思想は弾圧され秘密警察(22)〔　　〕による恐怖政治が行われた。

解答

（１）ウィーン　（２）1920　（３）国民社会主義ドイツ労働者党　（４）突撃隊
（５）1923　（６）ミュンヘン一揆（いっき）　（７）わが闘争　（８）1929　（９）1932
（10）親衛隊　（11）ヤング案　（12）フーバー＝モラトリアム　（13）ローザンヌ会議
（14）1933　（15）全権委任法　（16）総統（そうとう）　（17）アインシュタイン　（18）トマス＝マン
（19）ニュルンベルク法　（20）水晶の夜　（21）アウシュヴィッツ強制収容所
（22）ゲシュタポ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

経済政策委員会の(23)〔　　〕による第一次(24)〔　　〕により高速道路(25)〔　　〕が作られ，1936年からの第二次では**「バターより大砲」**をスローガンに重工業が振興され着々と戦時体制への自給自足体制（= アウタルキー）の完成が進んだ。

対外政策としてはドイツ人のlebensraum レーベンスラウム（**生存圏**）の確保を目標としてヴェルサイユ条約の破棄を目指し，(26)〔　　〕年(27)〔　　〕と軍縮会議から脱退，(28)〔　　〕年には住民投票で(29)〔　　〕を併合。(30)〔　　〕宣言し(31)〔　　〕を復活して(32)〔　　〕を明白に無視した。これに対し,35年４月にイタリアのムッソリーニは英仏と(33)〔　　〕を形成して対抗,ドイツにヴェルサイユ条約無視を抗議したが実効性はなかった。５月の**仏ソ相互援助条約**や**ソ・チェコ相互援助条約**が結ばれると，ヒトラーはこれを(34)〔　　〕違反とみなした。６月イギリスは対独宥和（ゆうわ）政策として(35)〔　　〕を結び，ドイツにイギリスの35％の軍艦と45％の潜水艦を認め自身ヴェルサイユ条約に違反した。

そして(36)〔　　〕年ドイツは(37)〔　　〕を破棄し(38)〔　　〕に侵攻した。

【戦間期のイタリア】イタリアは1914年第一次世界大戦勃発時には「中立宣言」を出したが，(39)〔　　〕年のロンドン密約で参戦と引き換えに「(40)〔　　〕」の割譲が約束され(41)〔　　〕を破棄してドイツに宣戦。オルランドを全権としたパリ講和会議における(42)〔　　〕で上記の地域は領有したものの(43)〔　　〕領有が認められずヴェルサイユ体制に不満をもった。同地を愛国詩人(44)〔　　〕が義勇兵を率いて占領した。

第一次世界大戦の戦費の８分の７が外債で,戦後の経済危機の中で共産主義勢力が台頭,(45)〔　　〕やトリアッティが1921年に結成したのが共産党。北イタリアの工業地帯ではストライキが頻発,南部では封建的大土地経営が残存し土地闘争が頻発。

もと社会党員の(46)〔　　〕は1919年にミラノで(47)〔　　〕（戦闘ファッショ）を結成，社会主義と国粋主義を説くが，反共に路線変更，これを資本家，地主，軍人が支持し運動が発展，(48)〔　　〕年の(49)〔　　〕によりムッソリーニ政権が誕生した。定期運行の夜行列車でローマに到着し，王に召されて政府を作るよう勅命を受けたあと，凱旋行進をしたのである。1926年に独裁体制が確立,1928年にできた(50)〔　　〕が国家最高議決機関で独裁体制が完成した。

対外政策としてはアドリア海を制圧し，1924年に(51)〔　　〕を併合，1926年には(52)〔　　〕を保護国化した。(53)〔　　〕年には(54)〔　　〕で教皇(55)〔　　〕世と和解し(56)〔　　〕の独立を承認,イタリアは(57)〔　　〕を国教とした。

解答

(23) ゲーリング　(24) 四ヵ年計画　(25) アウトバーン
(26) 1933　(27) 国際連盟　(28) 1935　(29) ザール　(30) 再軍備　(31) 徴兵制
(32) ヴェルサイユ条約　(33) ストレーザ戦線　(34) ロカルノ条約　(35) 英独海軍協定
(36) 1936　(37) ロカルノ条約　(38) ラインラント　(39) 1915
(40) 未回収のイタリア　(41) 三国同盟　(42) サンジェルマン条約　(43) フィウメ
(44) ダヌンチオ　(45) グラムシ　(46) ムッソリーニ　(47) ファシスト党　(48) 1922
(49) ローマ進軍　(50) ファシズム大評議会　(51) フィウメ　(52) アルバニア
(53) 1929　(54) ラテラノ条約　(55) ピウス11　(56) バチカン市国　(57) カトリック

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

世界恐慌への対策としては (58)〔　　〕年に (59)〔　　〕に侵入し (60)〔　　〕を退位させ，1936年に併合，1937年に国連を脱退，1939年にはアルバニアを併合した。

また，(61)〔　　〕においてはヒトラーとともに (62)〔　　〕将軍を支援，「(63)〔　　〕」が成立した。

【スペイン内戦】1931年の**スペイン革命**でブルボン朝の**アルフォンソ13世が退位し共和政に**なった。1935年の (64)〔　　〕で採択された (65)〔　　〕により，1936年 (66)〔　　〕首班の社会主義的政権が誕生した。土地改革がカトリック教会に及ぶ状況で，フランコ将軍の反乱をヒトラーとムッソリーニが支援した。英仏は**不干渉政策**。

コミンテルンとソ連は (67)〔　　〕（国際旅団）を組織，55カ国から義勇兵がはせ参じた。『誰(た)がために鐘は鳴る』の (68)〔　　〕，スペイン内戦の義勇兵を描いた (69)〔　　〕の『(70)〔　　〕』，後のフランスの文化相 (71)〔　　〕を覚えよう。内戦中の1937年にドイツ軍は共和派の村 (72)〔　　〕を爆撃した。立体派（キュビズム）の画家 (73)〔　　〕は絵画で抗議した。ピカソが戦後フランス共産党に入党したことは覚えておこう。1939年**スペイン内戦は結局フランコが勝利し終結**，(74)〔　　〕を首都として1975年まで権威主義的支配が続く。現在スペインは (75)〔　　〕朝だ。その間 (76)〔　　〕語がスペインの国語となり，バルセロナの (77)〔　　〕語，(78)〔　　〕語，(79)〔　　〕語は禁止された。

解答

（58）1935　（59）エチオピア　（60）ハイレ＝セラシエ　（61）スペイン内戦
（62）フランコ　（63）ベルリン＝ローマ枢軸(すうじく)　（64）コミンテルン第7回大会
（65）人民戦線戦術　（66）アサーニャ　（67）国際義勇軍　（68）ヘミングウェー
（69）オーウェル　（70）カタロニア讃歌　（71）アンドレ＝マルロー　（72）ゲルニカ
（73）ピカソ　（74）マドリード　（75）ブルボン　（76）カスティーリャ
（77）カタロニア　（78）バスク　（79）ガリシア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 43 講　テスト

1　『西洋の没落』の著者は。

①　シュンペーター

②　シェーンベルク

③　シュペングラー

④　シャイデマン

2　『西部戦線異常なし』の著者は。

①　レマルク

②　ジョイス

③　ジイド

④　コクトー

3　第一次世界大戦に敗れたブルガリアが結んだ講和条約は。

①　トリアノン条約

②　サンジェルマン条約

③　セーブル条約

④　ヌイイ条約

4　パリ講和会議でイタリアが要求するも獲得できなかった場所は。

①　サヴォイア

②　フィウメ

③　トリエステ

④　シチリア

5　ヴェルサイユ条約でドイツが喪失した地域でないのは。

①　ポーランド回廊

②　アルザス＝ロレーヌ

③　カメルーン

④　ザクセン

6　ドイツが，ラインラントの非武装を再確認した条約と外相は。

①　ロカルノ条約，シュトレーゼマン

②　ローザンヌ条約，シュトレーゼマン

③　ロカルノ条約，エーベルト

④　ローザンヌ条約，エーベルト

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　ドイツ国際連盟加盟

②　ドーズ案

③　ロカルノ条約

④　フランスがルールを占領

8　スペインで 1930 年に打倒されたのは，誰の政権か。

①　フランコ

②　アサーニャ

③　プリモ＝デ＝リベーラ

④　ファン＝カルロス１世

9　ポルトガルの首相で，スペイン内戦でファシズム政権を支援した人物は。

①　サラザール

②　モウリーニョ

③　ルイ＝コスタ

④　フィーゴ

10　以下のうち，ヒトラーによる弾圧と無関係の語句は。

①　ロマ

②　反セム主義

③　カチンの森

④　水晶の夜

第 43 講　テスト解答

1　③　　2　①　　3　④　　4　②　　5　④　　6　①

7　③　　8　③　　9　①　　10　③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 44 講
ヨーロッパの第二次世界大戦

【ミュンヘンの宥和】(1)〔　　〕年 (2)〔　　〕を，日本・ドイツ・イタリアが締結した。

(3)〔　　〕年ナチス = ドイツは (4)〔　　〕を併合した。次いで，(5)〔　　〕に対してドイツ人居住地区 (6)〔　　〕の返還を要求，(7)〔　　〕が開かれる。そのメンバーは，(8)〔　　〕(英) (9)〔　　〕(仏) ヒトラー, ムッソリーニ。イギリスはヒトラーの反共に期待し (10)〔　　〕政策。「ミュンヘンの宥和」。「戦争は回避された」とチェンバレンは豪語したが，ナチス = ドイツはズデーテン地方のみならず (11)〔　　〕(ボヘミア) (12)〔　　〕(モラヴィア) を併合 (13)〔　　〕も分離し保護国化してしまう。さらには (14)〔　　〕から (15)〔　　〕を回収。ポーランドに (16)〔　　〕と (17)〔　　〕返還を要求した。

【独ソ不可侵(ふかしん)条約】いよいよヒトラーが本領を発揮した。ポーランドはかねてからこの事態を想定しイギリス・フランスに接近していた。それを知っていたヒトラーは当面の敵ポーランド・敵になるであろうイギリス・フランス，そして究極の敵ソ連の４方面作戦を防ぐために，世界を驚愕(きょうがく)させる条約を結んだ。それが 1939 年８月 23 日の (18)〔　　〕だ。

ドイツ外相が**リッペントロップ**，ソ連が (19)〔　　〕と外相が**モロトフ**。

(20)〔　　〕がドイツに優先権。(21)〔　　〕がソ連に優先権。

８月 25 日。英 = ポ相互援助条約と仏 = ポ相互援助条約締結。

第二次世界大戦（ヨーロッパ戦線）の経過は以下のとおり。

【1939 年】(22)〔　　〕年 (23)〔　　〕月 (24)〔　　〕日ドイツ軍が (25)〔　　〕に侵攻(しんこう)し，第二次世界大戦が勃発した。９月３日，ポーランドと相互援助条約を結んでいた英仏両国がドイツに宣戦布告したが，西部戦線は半年以上平静で**「奇妙な戦争」**とよばれた。ドイツ軍は２週間でポーランド西部を制圧。ソ連軍も日本との (26)〔　　〕の決着がついた日の翌日の９月 17 日にポーランド東部に侵攻，このときにポーランド人将校を殺害する (27)〔　　〕事件を起こし，さらにはバルト三国を併合，ついでに (28)〔　　〕にも侵攻したのでソ連は (29)〔　　〕を除名された。

解答

（１）1937　（２）日独伊防共協定締結(ていけつ)　（３）1938　（４）オーストリア
（５）チェコスロヴァキア　（６）ズデーテン地方　（７）ミュンヘン会談
（８）ネヴィル = チェンバレン　（９）ダラディエ　（10）宥和　（11）ベーメン
（12）メーレン　（13）スロヴァキア　（14）リトアニア　（15）メーメル
（16）ダンツィヒ　（17）ポーランド回廊　（18）独ソ不可侵条約　（19）スターリン
（20）ポーランド西部とリトアニア　（21）ポーランド東部とエストニア・ラトビア
（22）1939　（23）9　（24）1　（25）ポーランド西部　（26）ノモンハン事件
（27）カチンの森　（28）フィンランド　（29）国際連盟

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【1940年】1940年，ドイツ軍が4月にノルウェー・デンマーク（スウェーデンは中立），5月にオランダ・ベルギー（中立国）へ侵略し，その結果イギリスに(30)〔　　〕の**挙国一致内閣（きょこくいっち）が**できる。ドイツ軍がフランスに侵攻すると，**英仏はダンケルクから撤退**した。6月に(31)〔　　〕が陥落，(32)〔　　〕を首班とする(33)〔　　〕ができ，フランス第3共和制を廃止，(34)〔　　〕はロンドンに(35)〔　　〕をつくりドイツへの抵抗を開始した。6月にはイタリアが参戦した。

【1941年】1941年3月アメリカは(36)〔　　〕を可決，4月ドイツ軍はバルカン半島へ侵攻し(37)〔　　〕と組み，(38)〔　　〕を虐殺，(39)〔　　〕は(40)〔　　〕闘争でドイツに抵抗する。ドイツは(41)〔　　〕月22日，フィンランド経由でソ連に侵攻，ヒトラーが一番やりたい(42)〔　　〕に突入した。7月英ソ相互援助条約が結ばれ，8月(43)〔　　〕が(44)〔　　〕と(45)〔　　〕により開かれた。

【1942年】1942年7月の(46)〔　　〕ではロンメル将軍のドイツ軍がエジプトでイギリス軍に敗れる。また，同時期に始まった(47)〔　　〕の戦では，最終的には1943年1～2月にドイツ軍がソ連に敗れた。

【1943年】1943年5月に**ソ連はコミンテルン（第3インターナショナル）を解散**，(48)〔　　〕の取り決めに基づき，7月連合軍が(49)〔　　〕に上陸，イタリアでは(50)〔　　〕が失脚し，(51)〔　　〕政権が誕生した。

【1944年】1944年6月，連合軍は(52)〔　　〕の取り決めに基づき，アメリカ軍の(53)〔　　〕を連合軍最高司令官に北フランスの(54)〔　　〕に上陸，8月には(55)〔　　〕を解放した。

【1945年】1945年5月(56)〔　　〕軍により(57)〔　　〕が陥落。ヒトラーは自殺し，**ドイツは無条件降伏（こうふく）した（1945年5月8日）**。

解答

(30) チャーチル　(31) パリ　(32) ペタン　(33) ヴィシー政府　(34) ド＝ゴール
(35) 自由フランス政府　(36) 武器貸与法（ぶきたいよほう）　(37) クロアチア人　(38) セルビア人
(39) ティトー　(40) パルチザン　(41) 6　(42) 独ソ戦　(43) 大西洋上会談
(44) チャーチル　(45) F・ローズベルト　(46) エル＝アラメインの戦
(47) スターリングラード　(48) カサブランカ会談　(49) シチリア島　(50) ムッソリーニ
(51) バドリオ　(52) テヘラン会談　(53) アイゼンハウアー　(54) ノルマンディー
(55) パリ　(56) ソ連　(57) ベルリン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 44 講　テスト

1　ナチスの正式名称は。

①　ドイツ社会主義労働者党

②　ドイツ社会共和党

③　国民社会主義ドイツ労働者党

④　国民労働者統一ドイツ党

2　ナチス＝ドイツ関連事項を，古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　再軍備宣言

②　ラインラント侵攻

③　オーストリア併合

④　国際連盟を脱退

3　ヒトラーがズデーテン地方の返還を要求した相手国は。

①　ユーゴスラビア

②　ハンガリー

③　ポーランド

④　チェコスロバキア

4　３の問題に関連した事象は。

①　ミュンヘン一揆

②　ミュンヘン会談

③　ベルリン＝ローマ枢軸

④　ゲルニカ空爆

5　ナチス＝ドイツの政策と明らかに無関係なものは。

①　アウトバーン

②　ホロコースト

③　コルホーズ

④　四ヵ年計画

6　古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　独ソ不可侵条約

②　フランスにブルム人民戦線内閣成立

③　日独伊防共協定

④　日独伊三国同盟

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　カチンの森事件はどこの国がどこで起こした事件か。

①　ドイツ，ポーランド

②　ソ連，ポーランド

③　ドイツ，フィンランド

④　ソ連，フィンランド

8　自由フランス政府の中心人物は。

①　サルトル

②　ド・ゴール

③　ペタン

④　ブリアン

9　独ソ戦が開始した年は。

①　1939

②　1940

③　1941

④　1942

10　第二次世界大戦最大の戦いと言われる独ソ戦は。

①　エル＝アラメインの戦い

②　ヴェルダンの戦い

③　スターリングラードの戦い

④　クルスクの戦い

11　ノルマンディー上陸作戦の連合軍最高司令官は。

①　ヒンデンブルク

②　マッカーサー

③　アイゼンハウアー

④　モルトケ

12 「パリ」と「ベルリン」をナチス＝ドイツから「解放」した国の正しい組み合わせは。

①　アメリカ，アメリカ

②　ソ連，ソ連

③　アメリカ，ソ連

④　ソ連，アメリカ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第44講　テスト解答

1	③	2	②	3	④	4	②	5	③	6	①
7	②	8	②	9	③	10	③	11	③	12	③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 45 講　冷戦（雪どけまで）
第 46 講　冷戦（雪どけ以降）

1 冷戦の推移

【ヤルタ体制】アメリカのジャーナリスト，(1)〔　　〕により名づけられた米ソ「冷戦」は「**ヤルタからマルタまで**」，つまり 1945 年２月のヤルタ会談から 1989 年 12 月マルタ会談まで，正しくはその間の時期だ。米 (2)〔　　〕，英 (3)〔　　〕，ソ連 (4)〔　　〕が参集した (5)〔　　〕では，**ナチス＝ドイツ降伏後のソ連の対日参戦**などが話し合われた。1945 年５月８日のソ連によるベルリン陥落の後，**ドイツは英米仏ソの４カ国に占領**(せんりょう)された。**ベルリンも同じ**だった。ナチスの戦犯は「**人道（良心）にたいする罪**」を問われ，(6)〔　　〕で裁かれた。ヤルタ協定に即して，８月９日に長崎に原子爆弾が投下される直前にソ連は (7)〔　　〕を一方的に破棄して満州に侵攻した。ちなみにアメリカがネバダで (8)〔　　〕を成功したのは７月の (9)〔　　〕の最中だった。この会談にソ連のスターリンも出席していたが「(10)〔　　〕」が (11)〔　　〕３国で宣言されたことにより米大統領 (12)〔　　〕との間に不信感が芽生えたという。

【鉄のカーテン】「(13)〔　　〕の (14)〔　　〕から (15)〔　　〕の (16)〔　　〕まで (17)〔　　〕が降ろされた」，これは政権から離れていた元イギリス首相 (18)〔　　〕の (19)〔　　〕**（鉄のカーテン）演説**であるが，まだこの段階においては米ソ対立は観念の対立だった。しかし，国防省(こくぼうしょう)のジョージ＝ケナンのもとに，(20)〔　　〕年トルーマンが (21)〔　　〕と (22)〔　　〕の共産化を懸念し，いわゆる (23)〔　　〕（共産主義封じ込め）を出すことにより対立が顕在化(けんざいか)することになる。

【1948 年】1947 年，国務長官マーシャルがアメリカドルによるヨーロッパ復興計画 (24)〔　　〕をソ連，東欧を含む全ヨーロッパに対して出すと，その受け入れとの関連で 1948 年に (25)〔　　〕で**ソ連の指導で共産クーデター**が起き，一夜にして共産党の一党独裁となった。ソ連の脅威を前に (26)〔　　〕が (27)〔　　〕を結び **WEU（西欧同盟，西欧連合）**ができ，これが翌 (28)〔　　〕年の (29)〔　　〕の中核となる。

解答

（１）ウォルター＝リップマン　（２）フランクリン＝ローズベルト　（３）チャーチル
（４）スターリン　（５）ヤルタ会談　（６）ニュルンベルク裁判　（７）日ソ中立条約
（８）原爆実験　（９）ポツダム会談　（10）ポツダム宣言　（11）米英中
（12）トルーマン　（13）バルト海　（14）ステッチン　（15）アドリア海　（16）トリエステ
（17）鉄のカーテン　（18）チャーチル　（19）フルトン　（20）1947　（21）ギリシア
（22）トルコ　（23）トルーマン＝ドクトリン　（24）マーシャル＝プラン
（25）チェコスロヴァキア　（26）イギリス，フランス，ベルギー，オランダ，ルクセンブルク
（27）ブリュッセル条約　（28）1949　（29）NATO（北大西洋条約機構）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1948年にはドイツにおける西側の占領地域でアメリカが実施した**通貨改革に反発したソ連による**「(30)〔　　〕」と，それに対するアメリカの1年以上に及ぶ**大空輸作戦**という米ソの直接対決も起きた。
(31)〔　　〕年，(32)〔　　〕（首都(33)〔　　〕）と(34)〔　　〕（首都(35)〔　　〕）が成立した。

【両陣営成立】(36)〔　　〕年，(37)〔　　〕（西独，(38)〔　　〕）と(39)〔　　〕（東独，(40)〔　　〕）が成立した。(41)〔　　〕年(42)〔　　〕月(43)〔　　〕日，(44)〔　　〕（北京）が成立した。(45)〔　　〕年，(46)〔　　〕が原爆実験に成功した。

(47)〔　　〕年に勃発した(48)〔　　〕の最中の(49)〔　　〕年(50)〔　　〕に基づき翌**1952年4月28日に日本は主権を回復**，西ドイツは1954年の(51)〔　　〕で主権を回復し翌(52)〔　　〕年(53)〔　　〕に加盟した。これに対し東側は(54)〔　　〕を発足させた。

【雪どけ】このような冷戦構造の完成は危機感と共に同時に「(55)〔　　〕」の時代を招来し，大国は(56)〔　　〕でアメリカの(57)〔　　〕，ソ連の(58)〔　　〕，イギリスの(59)〔　　〕，フランスの(60)〔　　〕が(61)〔　　〕をもった。これは，(62)〔　　〕の故郷(63)〔　　〕の(64)〔　　〕で有色人種（ゆうしょくじんしゅ）による初の会議，(65)〔　　〕に対抗するものだった。(66)〔　　〕構想を打ち上げた**日本が戦争中に開催した大東亜会議**をモデルとした会議がバンドン会議である。

(67)〔　　〕年には米ソ首脳(68)〔　　〕と(69)〔　　〕が(70)〔　　〕を開き「雪どけ」はピークを迎えた。

【危機】(71)〔　　〕年の(72)〔　　〕，(73)〔　　〕年の(74)〔　　〕，(75)〔　　〕年の(76)〔　　〕と冷戦は熱戦への様相を帯びていった。(77)〔　　〕年の(78)〔　　〕で(79)〔　　〕政権を倒した(80)〔　　〕の革命政権はアメリカとの関係を悪化させ，それが**カストロに社会主義宣言を決意させソ連に接近**させた。ソ連がキューバ砂糖を買うことの見返りが**キューバにソ連のミサイル基地を建設**することだった。(81)〔　　〕政権のアメリカは一歩も引かず米ソ全面戦争の危機となったが幸いにも回避された。

解答

(30) ベルリン封鎖　(31) 1948　(32) 大韓民国（だいかんみんこく）　(33) ソウル
(34) 朝鮮民主主義人民共和国　(35) ピョンヤン　(36) 1949　(37) ドイツ連邦共和国
(38) ボン　(39) ドイツ民主共和国　(40) ベルリン　(41) 1949　(42) 10　(43) 1
(44) 中華人民共和国　(45) 1949　(46) ソ連　(47) 1950　(48) 朝鮮戦争　(49) 1951
(50) サンフランシスコ講和条約　(51) パリ協定　(52) 1955　(53) NATO
(54) ワルシャワ条約機構　(55) 雪どけ　(56) ジュネーヴ　(57) アイゼンハウアー
(58) ブルガーニン　(59) イーデン　(60) フォール　(61) 4巨頭会談　(62) スカルノ
(63) インドネシア　(64) バンドン　(65) アジア＝アフリカ（A=A）会議
(66) 大東亜共栄圏（きょうえいけん）　(67) 1959　(68) アイゼンハウアー　(69) フルシチョフ
(70) キャンプデーヴィット会談　(71) 1960　(72) U２型機事件　(73) 1961
(74)「ベルリンの壁」構築　(75) 1962　(76) キューバ危機　(77) 1959
(78) キューバ革命　(79) バチスタ　(80) カストロ　(81) ケネディ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【緊張緩和(きんちょうかんわ)】この危機を受けて，ホワイトハウス（ワシントン D.C.）とクレムリン（モスクワ）には (82)〔　　〕が設置され，(83)〔　　〕年には (84)〔　　〕，(85)〔　　〕年には (86)〔　　〕と軍縮(ぐんしゅく)が進む一方，米ソの対立は (87)〔　　〕年に始まる (88)〔　　〕に代表される代理戦争の形をとる。また (89)〔　　〕や (90)〔　　〕年のソ連を無視した (91)〔　　〕の原爆実験，(92)〔　　〕年の (93)〔　　〕の NATO の軍事機構からの脱退，(94)〔　　〕年の「(95)〔　　〕」という自由化運動に対するワルシャワ条約機構軍による抑圧(よくあつ)（**チェコ事件**），**反ド＝ゴール**のパリ (96)〔　　〕など東西両陣営において (97)〔　　〕が進行した。

1970 年代は (98)〔　　〕の時代，ソ連は (99)〔　　〕政権の**「停滞(ていたい)」の時代**だった。

【第２次冷戦】ところが，(100)〔　　〕年に (101)〔　　〕政権のソ連が共産主義者支援の名目で (102)〔　　〕（首都 (103)〔　　〕）に侵攻，新冷戦（第２次冷戦）の時代となり，**1980 年西側諸国はモスクワ五輪(ごりん)をボイコット**した。

1981 年「(104)〔　　〕」を外交スローガンに (105)〔　　〕が大統領に就任，ソ連を「**悪の帝国**」と呼び，1983 年にはカリブ海の小国 (106)〔　　〕に侵攻し共産化を阻止した。**1984 年のロサンゼルス五輪を東側はボイコット**した。

(107)〔　　〕年，(108)〔　　〕の (109)〔　　〕（ダンツィヒ）の電気工 (110)〔　　〕がソ連の圧力とポーランド・(111)〔　　〕政権による戒厳令(かいげんれい)にめげず，教皇 (112)〔　　〕の支持のもと，自主管理労組「(113)〔　　〕」運動を展開，このように東欧に新風吹く中，1982 年にブレジネフが死去した。

解答

(82) ホットライン　(83) 1963　(84) 部分的核実験停止条約　(85) 1968
(86) 核拡散防止条約　(87) 1965　(88) ベトナム戦争　(89) 中ソ論争　(90) 1964
(91) 中華人民共和国　(92) 1966　(93) フランス　(94) 1968　(95) プラハの春
(96) 五月革命　(97) 多極化(たきょくか)　(98) デタント（緊張緩和）　(99) ブレジネフ
(100) 1979　(101) ブレジネフ　(102) アフガニスタン　(103) カーブル
(104) 強いアメリカ　(105) レーガン　(106) グレナダ　(107) 1980　(108) ポーランド
(109) グダニスク　(110) ワレサ　(111) ヤルゼルスキ　(112) ヨハネ＝パウロ２世
(113) 連帯

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【ゴルバチョフ】(114)〔　　〕年に登場した(115)〔　　〕ソ連共産党書記長は，外相シュワルナゼと「(116)〔　　〕」を展開，(117)〔　　〕（制限主権論）を改め，**東欧の自主性を尊重**した。それを，(118)〔　　〕で明らかにした。「欧州共同の家」構想や社会主義建て直し（(119)〔　　〕）は結局，西側つまり市場経済と接触することとなり結果として，経済分野での多様性の受容は政治における複数政党制への移行を促すことになった。

(120)〔　　〕年には(121)〔　　〕米大統領との間に(122)〔　　〕を締結し1988年に発効，同年(123)〔　　〕からの撤退を開始した。

(124)〔　　〕年の(125)〔　　〕事故をきっかけに(126)〔　　〕（情報公開）を推進，その結果，映像を通して西側の消費生活への欲求が共産圏，とりわけ東ベルリンにおいて加速した。オットー＝ハプスブルクとハンガリー・ネーメト首相の働きかけの結果，**オーストリアとハンガリーの国境の鉄条網が開けることをゴルバチョフが許可**し，それが蟻の一穴となって(127)〔　　〕年東ドイツ政府は「(128)〔　　〕」**を撤去**した。同時期，**マルタ**でアメリカの**ブッシュ**大統領と冷戦終結を宣言，翌**1990**年10月**コール**政権の西ドイツが東ドイツを吸収し統一した。ソ連は**1991**年の保守派のゴルバチョフに対する**8月クーデターの失敗**の結果，ロシアの**エリツィン**に実権が移行，12月には**ソ連邦が解体**した。

解答

(114) 1985　(115) ゴルバチョフ　(116) 新思考外交　(117) ブレジネフ＝ドクトリン
(118) 新ベオグラード宣言　(119) ペレストロイカ　(120) 1987　(121) レーガン
(122) INF（中距離核戦力）全廃条約　(123) アフガニスタン　(124) 1986
(125) チェルノブイリ原子力発電所　(126) グラスノスチ　(127) 1989
(128) ベルリンの壁

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 45・46 講　テスト①

1　鉄のカーテン演説をおこなったのは。

①　チャーチル

②　アイゼンハウアー

③　アトリー

④　リップマン

2　トルーマン＝ドクトリンとは，次のどの２国の共産化を阻止する宣言か。

①　シリア・トルコ

②　トルコ・イラク

③　イラク・ギリシア

④　トルコ・ギリシア

3　キューバ危機のときの米ソの首脳は。

①　アイゼンハウアー・スターリン

②　アイゼンハウアー・フルシチョフ

③　ケネディ・フルシチョフ

④　ケネディ・ブレジネフ

4　古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　NATO 発足

②　ベルリン封鎖

③　ベルリンの壁構築

④　ワルシャワ条約機構発足

5　次のうち，1950 年代の出来事でないものは。

①　アジア＝アフリカ（バンドン）会議

②　朝鮮戦争

③　ハンガリー動乱

④　第一次中東戦争

6　次のうち，1960 年代の出来事でないものは。

①　ベトナム戦争終結

②　プラハの春とチェコ事件

③　人類が月面に着陸

④　部分的核実験停止条約

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　1979 年にアフガニスタンに侵攻した国は。

①　中華人民共和国

②　イラン

③　パキスタン

④　ソ連

8　「ベルリンの壁」が崩壊したときの西ドイツの首相は。

①　ホネカー

②　ブラント

③　コール

④　アデナウアー

9　以下の事象を古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　ソ連邦解体

②　冷戦終結

③　東西ドイツ統一

④　EU（ヨーロッパ連合）発足

10　以下のうち，ゴルバチョフの政策でないのは。

①　制限主権論

②　情報公開制度

③　ヨーロッパ共通の家

④　ペレストロイカ

11　ゴルバチョフのグラスノスチでソ連の行動であると認めた事件は。

①　ノモンハン事件

②　血の日曜日事件

③　奉天事件

④　カチンの森事件

12　連合国の対日占領政策に含まれないものは。

①　財閥解体

②　教育改革

③　大政奉還

④　農地改革

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 45・46 講　テスト①解答

1	①	2	④	3	③	4	④	5	④	6	①
7	④	8	③	9	①	10	①	11	④	12	③

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2 ソ連通史

【戦時共産主義とネップ】反革命勢力との (1)〔　　〕や (2)〔　　〕出兵（(3)〔　　〕兵の捕虜救出を口実とした英仏日米伊などによる）のような (4)〔　　〕に対処するために，ボリシェビキが採用した (5)〔　　〕は**国有化・配給制度・食糧を農民から強制徴発（ちょうはつ）**する内容だったので，農業生産性が低下し 1921 年には**餓死者数百万人，革命派までがクロンシュタットで反乱**を起こした。こうした事態に (6)〔　　〕は (7)〔　　〕の理論を実践（じっせん）に移し (8)〔　　〕（(9)〔　　〕(10)〔　　〕～ (11)〔　　〕年）を採用した。ネップでは**食糧の強制徴発を中止し** (12)〔　　〕を許可した。**競争原理の導入**により生産性は回復，富農（ふのう） (13)〔　　〕や富商（ふしょう） (14)〔　　〕が登場した。

20 世紀の実験国家，ソヴィエト社会主義共和国連邦はネップ期の (15)〔　　〕年に成立した。(16)〔　　〕・(17)〔　　〕・(18)〔　　〕・(19)〔　　〕（現在の (20)〔　　〕・(21)〔　　〕・(22)〔　　〕）の４共和国で発足した。

【スターリンの時代　1924 ～ 1953 年】1922 年に (23)〔　　〕が痴呆（ちほう）状態になると，ジノヴィエフ，スターリン，カーメノフの三頭政治になる。1921 年の人民委員 21 人中 17 人がユダヤ人だった。だからヒトラーはボリシェビキを嫌ったのだ。レーニンが死ぬと (24)〔　　〕は (25)〔　　〕を唱え，(26)〔　　〕の (27)〔　　〕に理論闘争を挑み，1925 年の共産党大会で追い落とし 1929 年に追放し 1940 年にメキシコで殺害した。

一国社会主義論を政策化したのが (28)〔　　〕だ。(29)〔　　〕年に始まったが，(30)〔　　〕に重点を置きつつ集団農場（(31)〔　　〕）国営農場（(32)〔　　〕）を建設し**農業を集団化**した。(33)〔　　〕450 万人が革命の敵として殺害された。第２次では軽工業に第３次（1938 ～ 42 年）では (34)〔　　〕部門に重点が置かれた。

【赤の 30 年代】**1929 年にはじまる世界恐慌の影響を受けず社会主義の優位が強調された「赤（共産主義）の 30 年代」**にスターリンは，グラーグ（強制収容所）という巨大な刑務所網で政治犯を平均 1/3 の賃金で働かせたがこれは全ソ連の労働の 10% を占めた。「競争」という動機付けなき社会が 74 年も存続し得た秘密はここにある。農業の集団化の過程で第１の穀倉ウクライナでは 1932 ～ 33 年にかけて 700 万人以上が餓死，1929 ～ 33 年の期間に計 1500 万人が餓死か粛清で死んだ。ちなみに第一次世界大戦の死者は 780 万人だ。

解答

（1）内戦　（2）シベリア　（3）チェコ　（4）干渉戦争　（5）戦時共産主義
（6）レーニン　（7）ブハーリン　（8）ネップ　（9）新経済政策　（10）1921
（11）1928　（12）小規模な私企業　（13）クラーク　（14）ネップマン　（15）1922
（16）ロシア　（17）ウクライナ　（18）ベラルーシ　（19）ザカフカス　（20）グルジア
（21）アルメニア　（22）アゼルバイジャン　（23）レーニン　（24）スターリン
（25）一国社会主義論　（26）世界革命論　（27）トロツキー　（28）第１次五ヵ年計画
（29）1928　（30）重工業　（31）コルホーズ　（32）ソフォーズ　（33）クラーク
（34）軍事

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1934 年からは共産党内部でも粛清が始まり，中央委員会総員 71 名のうち 1939 年の委員会まで死を免れたものはスターリン自身を含め 15 人だった。

(35)〔　　〕年に制定され 1977 年まで施行されたのが (36)〔　　〕で普通選挙・平等な直接秘密選挙が特徴。スターリンは世界恐慌により混乱した国際情勢を巧みにとらえ，孤立したソ連外交の劣勢を挽回するため外相リトヴィノフを使って平和外交を展開する一方，1919 年に設立された (37)〔　　〕(communist-international, (38)〔　　〕) を通じて各国共産党にソ連防衛の義務を負わせた。

【第二次世界大戦後】恐怖政治を強いたスターリンにとっての二つの幸いが 1929 年にはじまった世界恐慌と 1939 年にはじまった大祖国戦争（第二次世界大戦）だ。国民の眼を市場経済（資本主義）とナチズムという外部の敵に釘付けにできたからだ。

(39)〔　　〕年 (40)〔　　〕月 (41)〔　　〕日，ソ連は (42)〔　　〕((43)〔　　〕年 (44)〔　　〕月締結）を破り (45)〔　　〕に侵攻，８月 28 日～９月５日にかけて (46)〔　　〕を占領した。

戦後の 1947 年にアメリカのトルーマン大統領の国務長官によるマーシャル＝プラン（ヨーロッパ復興計画）が出されると，それに対抗して (47)〔　　〕（共産党情報局）が組織される。ソ連・ユーゴスラヴィア・ポーランド・ルーマニア・ブルガリア・チェコスロバキア・ハンガリー・東ドイツ（1949 年から）と (48)〔　　〕・(49)〔　　〕の共産党が結成した。1948 年に (50)〔　　〕のティトーはソ連のユーゴ駐留を拒否したので除名された。

(51)〔　　〕年には原爆実験が成功した。また (52)〔　　〕((53)〔　　〕) が発足，東欧諸国のほか (54)〔　　〕の活躍で (55)〔　　〕年に世界２番目の社会主義国となっていた (56)〔　　〕（首都 (57)〔　　〕）も加盟した。

【フルシチョフの時代 1953 ～ 1964 年】1953 年スターリンが死去。東ベルリンで暴動が起きる。

ソ連ではマレンコフ首相，(58)〔　　〕が党第１書記の**集団指導体制にはいる**。55 年にマレンコフが失脚すると (59)〔　　〕が首相になり (60)〔　　〕会談に出席した。ブルガーニンと鳩山が (61)〔　　〕年に (62)〔　　〕に調印し**日ソの国交が回復し日本が国際連合に加盟**，シベリア抑留者の帰還や通商の再開がうたわれ，そのときに**色丹・歯舞諸島の返還を約束**したが (63)〔　　〕の問題は未解決のままである。

解答

(35) 1936　(36) スターリン憲法　(37) 第３インターナショナル　(38) コミンテルン
(39) 1945　(40) 8　(41) 8　(42) 日ソ中立条約　(43) 1941　(44) 4
(45) 満州　(46) 北方領土　(47) コミンフォルム　(48) フランス　(49) イタリア
(50) ユーゴスラヴィア　(51) 1949　(52) COMECON　(53) 東欧経済相互援助会議
(54) チョイバルサン　(55) 1924　(56) モンゴル人民共和国　(57) ウランバートル
(58) フルシチョフ　(59) ブルガーニン　(60) ジュネーヴ４巨頭　(61) 1956
(62) 日ソ共同宣言　(63) 北方領土

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【ワルシャワ条約機構】**1955年，西ドイツのNATO（北大西洋条約機構）加盟を受けてワルシャワ条約機構が成立**した。加盟国は，(64)〔　　〕・(65)〔　　〕・(66)〔　　〕・(67)〔　　〕・(68)〔　　〕・(69)〔　　〕・(70)〔　　〕・(71)〔　　〕の8ヵ国。

(72)〔　　〕年の共産党第(73)〔　　〕回大会で(74)〔　　〕による「(75)〔　　〕」がなされた。個人崇拝が批判された。フルシチョフは(76)〔　　〕に転じ(77)〔　　〕を解散した。(78)〔　　〕と(79)〔　　〕で暴動となった。詳細は東欧史の項参照。

(80)〔　　〕年，バスケットボールの大きさの人工衛星(81)〔　　〕打ち上げに成功。

1958年，(82)〔　　〕は首相を兼任し党と国家組織を掌握，軍事的優位を背景にアメリカに雪どけを迫る。

1959年には(83)〔　　〕と(84)〔　　〕会談。アメリカ帝国主義を最大の敵とする毛沢東の反発を買い(85)〔　　〕が加速し(86)〔　　〕危機で決定的になる。1961年には(87)〔　　〕が人類初の宇宙飛行。

【ブレジネフの時代 1964～1982年】農業政策の失敗から(88)〔　　〕が失脚し(89)〔　　〕が第1書記になる。小スターリンと言われた彼は(90)〔　　〕年の「(91)〔　　〕」という自由化運動を戦車でつぶした。このチェコ事件をきっかけにブレジネフ＝ドクトリン（(92)〔　　〕論）を強化する。(93)〔　　〕，がその内容。

【停滞の時代】1970年代は米ソ緊張緩和(94)〔　　〕の時代。(95)〔　　〕SALT Ⅰ（1972年）Ⅱ（1979年）が締結された。

しかし，(96)〔　　〕年ソ連が(97)〔　　〕に侵攻し(98)〔　　〕は終わった。(99)〔　　〕政権のアメリカおよび西側諸国は1980年の(100)〔　　〕をボイコット，新冷戦の時代に突入した。

ブレジネフ時代は停滞の時代。中央集権的官僚機構が温存された。『**イワン＝デニーソヴィッチの一日**』の著者(101)〔　　〕はソ連全体を『**収容所群島**（ぐんとう）』と表現した。スターリンを批判し検閲制度も批判したので，市民権剥奪のうえ国外追放，ついでに受け入れ先のアメリカも批判した。後に反体制物理学者(102)〔　　〕博士も国内追放（軟禁状態）。二人ともノーベル賞受賞者。

解答

（64）ソ連　（65）ポーランド　（66）ルーマニア　（67）ブルガリア
（68）チェコスロヴァキア　（69）ハンガリー　（70）東ドイツ　（71）アルバニア
（72）1956　（73）20　（74）フルシチョフ　（75）スターリン批判　（76）平和共存
（77）コミンフォルム　（78）ハンガリー　（79）ポーランド　（80）1957
（81）スプートニク　（82）フルシチョフ　（83）アイゼンハウアー
（84）キャンプデーヴィット　（85）中ソ論争　（86）キューバ　（87）ガガーリン
（88）フルシチョフ　（89）ブレジネフ　（90）1968　（91）プラハの春　（92）制限主権
（93）社会主義圏全体の利益のためには東欧各国の主権は制限する　（94）デタント
（95）戦略兵器制限交渉　（96）1979　（97）アフガニスタン　（98）デタント
（99）カーター　（100）モスクワ五輪　（101）ソルジェニーツィン　（102）サハロフ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【ゴルバチョフの時代　1985 ～ 1991 年】(103)〔　　〕とは（社会主義）建て直しという意味だ。ソ連がネップ期つまり (104)〔　　〕経済を採用していた時期に発足したという原点に立ち戻り，**競争原理を導入し西側諸国との取引を奨励**した。

「欧州共通の家」構想をすすめ西側諸国と価値観をすりあわせる。となると，複数政党の可能性を模索しなければならなくなる。ソ連とはボリシェビキの一党独裁が継続した状態のことをさす。

1986 年にウクライナの (105)〔　　〕で大事故があった。情報公開（(106)〔　　〕）に踏み切る。

(107)〔　　〕の外交は (108)〔　　〕外交。これは (109)〔　　〕の否定つまり東欧の自主性を認める外交で，1988 年の「(110)〔　　〕」で明らかにした。これが (111)〔　　〕年の (112)〔　　〕を生む。その結果東ドイツのみならず東欧各国でも共産党一党支配が終わった。(113)〔　　〕年には西ドイツが東ドイツを吸収した。

いよいよソ連でも共産党支配の地盤が緩みはじめる。(114)〔　　〕が動いた。

リトアニアなどバルト３国は 1939 年の (115)〔　　〕の結果，理不尽にもソ連に併合された地域だ。

ゴルバチョフは妻と (116)〔　　〕に行き，ソ連邦からの離脱を撤回するよう説得したが拒否され，(117)〔　　〕の民は手をつなぎ人間の鎖（くさり）を作って連邦離脱を訴えた。ゴルバチョフは軍事的解決をえらんだ。このブレジネフ的手法に西側諸国は過敏（かびん）になりゴルバチョフの頭越しに (118)〔　　〕の (119)〔　　〕大統領を交渉相手としはじめる。

(120)〔　　〕年８月，共産党保守派によるクーデターの際ゴルバチョフは黒海の保養地で拘束（こうそく）されたが結局はエリツィンに助けられた。

【ロシア共和国】ロシア共和国のエリツィンそしてプーチン政権にとっての大問題は (121)〔　　〕問題だ。チェチェン自治共和国がロシア共和国からの独立を求めている。**もし独立を許せばカスピ海から黒海に向かう石油パイプラインのチェチェンの使用料をロシアが取れなくなる**ので独立させるわけにはいかないからだ。

2008 年からは (122)〔　　〕が大統領，2012 年からは再び (123)〔　　〕が大統領で「大ユーラシア構想」をぶちあげ 2024 年まで政権を担当する意気込みだ。2014 年には (124)〔　　〕を併合した。

解答

(103) ペレストロイカ　(104) 市場　(105) チェルノブイリ原子力発電所
(106) グラスノスチ　(107) ゴルバチョフ　(108) 新思考　(109) ブレジネフ＝ドクトリン
(110) 新ベオグラード宣言　(111) 1989　(112) ベルリンの壁崩壊（ほうかい）　(113) 1990
(114) リトアニア　(115) 独ソ不可侵条約　(116) リトアニア　(117) バルト３国
(118) ロシア共和国　(119) エリツィン　(120) 1991　(121) チェチェン
(122) メドベージェフ　(123) プーチン　(124) クリミア半島

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 45・46 講　テスト②

1　以下の事象を古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　第１次五ヵ年計画
②　戦時共産主義
③　ネップ
④　第二次世界大戦

2　次のうち，発足時のソ連に入っていなかったのは。

①　ウクライナ
②　リトアニア
③　ザカフカス
④　ベラルーシ

3　下の事象のうち，スターリンの時代に起きたのではないものは。

①　第二次世界大戦
②　世界恐慌
③　ハンガリー動乱
④　ベルリン封鎖

4　以下の事象のうち，フルシチョフの時代に起きたのではないものは。

①　ケネディ大統領暗殺
②　ベルリンの壁構築
③　モスクワオリンピック
④　スプートニク打ち上げ成功

5　以下の事象のうち，ブレジネフの時代に起きたのではないものは。

①　アフガニスタン侵攻
②　チェコ事件
③　中距離核戦力全廃条約締結
④　戦略兵器制限交渉

6　以下の事象を古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　チェチェン紛争開始
②　ソ連邦崩壊
③　チェルノブイリ原子力発電所の事故
④　ベルリンの壁崩壊

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 45・46 講　テスト②解答

1　①　　2　②　　3　③　　4　③　　5　③　　6　②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3 東欧各国史

第二次世界大戦後東欧各国はソ連の衛星国として，共産党一党独裁の (1)〔　　〕という体制を選択した。

参考までに，自由競争という経済システムを採用する体制を (2)〔　　〕。

自由競争が基本だが国家による介入の度合がかなり高いシステムを採用する体制を (3)〔　　〕という。

【チェコスロヴァキア史】西スラヴ系のチェック人とスロヴァキア人が合体し (4)〔　　〕(830 ～ 903 年）が成立したがマジャール人の侵入で滅亡した。

14 ～ 15 世紀ルクセンブルク家が支配したが 16 世紀からの 300 年間はハプスブルク家が支配した。フス派のベーメン住民（フーシテン）の蜂起が (5)〔　　〕(1419 ～ 1436 年)。ベーメンの反乱をきっかけに (6)〔　　〕(1618 ～ 1648 年）になった。

(7)〔　　〕年６月にパリ２月革命の影響でチェック人の民族運動が起きた。対オーストリアのチェコ民族主義運動の先駆（せんく）だ。対ドイツ人・対マジャール人目的でプラハで開催された (8)〔　　〕を議長とするスラヴ民族会議は実を生まなかった。第一次世界大戦後**西部のボヘミア（ベーメン）と東部モラヴィアからなるチェコ共和国とスロヴァキア共和国を合せて**人工国家チェコスロヴァキアとなり，サンジェルマン条約で正式にオーストリアから独立し (9)〔　　〕年に (10)〔　　〕を大統領に建国された。

チェコスロヴァキアは, フランスと提携しハンガリーの (11)〔　　〕独裁政権に対抗するためにユーゴスラヴィア・ルーマニアとともに (12)〔　　〕(1920 ～ 39 年）を形成していた。(13)〔　　〕大統領の (14)〔　　〕年から 1939 年にかけてナチス = ドイツがチェコを併合しスロヴァキアを保護国化した。ナチス = ドイツを参照のこと。

(15)〔　　〕年にマーシャル = プラン受け入れを決定したことからソ連の介入による (16)〔　　〕となり一夜にして共産党の一党独裁体制になった。人民民主主義共和国となり 1960 年に社会主義共和国となった。

(17)〔　　〕年に検閲廃止・複数政党制などを要求する「(18)〔　　〕」をスローガンとしたいわゆる「(19)〔　　〕」運動となる。ノボトニーが失脚し (20)〔　　〕による自由化民主化政策が施行される。しかしソ連指導の (21)〔　　〕(ルーマニアは不参加）が軍事介入し自由化は阻止された。

解答

（1）人民民主主義　（2）自由民主主義　（3）社会民主主義　（4）モラヴィア王国
（5）フス戦争　（6）30 年戦争　（7）1848　（8）パラツキー　（9）1918
(10）マサリク　(11）ホルティ　(12）小協商国　(13）ベネシュ　(14）1938
(15）1948　(16）チェコスロヴァキア = クーデター　(17）1968
(18）人間の顔をした社会主義　(19）プラハの春　(20）ドプチェク
(21）ワルシャワ条約機構軍

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

フサーク政権（1969 ～ 87 年）は対ソ関係を正常化した。1977 年に劇作家の (22)〔　　〕が「憲章77」という人権擁護宣言を起草し「人間の顔をした社会主義」を訴えた。ヤケシュ政権は経済改革と民主化をめざすが 1989 年にゼネストが起きて辞任，ドプチェクが復権した。

ベルリンの壁崩壊に連動し (23)〔　　〕となり市民フォーラムが形成された。初の非共産党大統領ハヴェル政権となった。チェコは 1993 年には (24)〔　　〕を首都とするスロヴァキアと分離した。

【ハンガリー】ウラル語系 (25)〔　　〕人はフンとアヴァールが合体して生まれた。(26)〔　　〕年の (27)〔　　〕の戦いで (28)〔　　〕に敗れるが 10 世紀末にハンガリー王国が成立し 11 世紀にキリスト教化した。15 世紀の (29)〔　　〕が最盛期だったが，ラヨシ２世が (30)〔　　〕年の (31)〔　　〕の戦いでオスマン帝国の (32)〔　　〕に敗れた。

パリ二月革命の影響で (33)〔　　〕年にマジャール人の民族運動となり 1849 年 (34)〔　　〕が共和国宣言をしたがロシアとオーストリアに鎮圧された。1866 年のプロイセン＝オーストリア戦争の結果 (35)〔　　〕となり (36)〔　　〕が皇帝を兼任した。

1919 年のハンガリー革命でオーストリアから独立，1919 年の３月から８月まで (37)〔　　〕指導のソヴィエト政権となったが，フランスが支援したルーマニア軍の介入で崩壊した。1920 年からハンガリー王国となり摂政 (38)〔　　〕の独裁政権の時代となる。同政権は 1932 年から親独政策をとった。

第二次世界大戦後の 1946 年にソ連の衛星国のハンガリー共和国となり 1949 年に人民共和国宣言した。

(39)〔　　〕による (40)〔　　〕の (41)〔　　〕年には首都 (42)〔　　〕で非スターリン派の (43)〔　　〕が一党独裁の廃止・ソ連の撤退・ワルシャワ条約機構からの脱退を掲げ反ソ暴動を指導する。ソ連が軍事介入しナジは処刑された。ブダペストの街には今も弾痕（だんこん）が残っている。

1956 ～ 88 年のカダル政権時には経済を開放し西側の技術を導入する現実主義的政策をとった。

(44)〔　　〕は，オットー＝ハプスブルクの提案をネーメト首相が受け入れ，ソ連のゴルバチョフの許可を得て (45)〔　　〕だ。東ドイツ市民がハンガリーから西側へ流出したので東ドイツ政府が壁開放に踏み切ったのだ。ハンガリーは 1989 年に複数政党制に移行し，ハンガリー共和国となった。

解答

(22) ハヴェル　(23) ビロード革命　(24) ブラチスラバ　(25) マジャール　(26) 955
(27) レヒフェルト　(28) オットー１世　(29) マーチャーシュ１世　(30) 1526
(31) モハーチ　(32) スレイマン１世　(33) 1848　(34) コッシュート
(35) オーストリア＝ハンガリー帝国　(36) フランツ＝ヨーゼフ１世　(37) ベラ＝クン
(38) ホルティ　(39) フルシチョフ　(40) スターリン批判　(41) 1956
(42) ブダペスト　(43) ナジ＝イムレ　(44) ベルリンの壁崩壊の直接のきっかけ
(45) オーストリアとの国境の鉄条網（てつじょうもう）を切ったこと

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【ルーマニア】ルーマニア語でロムニアは「ローマ人の住む地」。ローマ帝国の五賢帝の(46)〔　　〕が(47)〔　　〕を攻略しローマ帝国領土最大になった。首都は(48)〔　　〕。

(49)〔　　〕(1853～56年)のロシアの敗北の結果，モルダヴィア公国とワラキア公国からなる連合公国となりカロル1世が国王となった。(50)〔　　〕年の(51)〔　　〕の(52)〔　　〕で独立承認，(53)〔　　〕で列強が独立を承認した。

第一次バルカン戦争では中立，第二次バルカン戦争では反ブルガリアで南ドブルジアをブルガリアから獲得した。第一次世界大戦では連合国側で勝利し，ベッサラビア・トランシルバニア・バナート・ブコヴィナからなる大ルーマニアが形成された。第二次世界大戦では同盟（枢軸国）で(54)〔　　〕のファシズム政権が支配した。敗戦によりソ連に(55)〔　　〕をハンガリーに(56)〔　　〕を奪われた。1947年に人民共和国宣言，1965年には社会主義共和国。1967年には西ドイツと国交を回復し自主路線。1974年からは(57)〔　　〕大統領による独裁路線。貿易赤字解消のために電力を制限し国民に耐乏(たいぼう)生活を強いる。避妊(ひにん)を禁止したのでエイズ蔓延とストリートチルドレンを生み出した。

(58)〔　　〕年のベルリンの壁崩壊と連動し，チャウシェスク夫妻は処刑された。

【ブルガリア】トラキア人の地にスラヴ人が南下しそこにトルコ系の(59)〔　　〕が移住しブルガリア王国が形成された。ボリス1世がギリシア正教に改宗(60)〔　　〕時が全盛。11～12世紀にはビザンツ帝国が支配。独立したが14～20世紀にはオスマン帝国に従属した。

(61)〔　　〕年の(62)〔　　〕を契機に独立。

パン＝スラヴ主義のバルカン同盟の一員として(63)〔　　〕でトルコと戦い領土を拡大するが，これが災いして(64)〔　　〕ではバルカン同盟に攻められ，結局ドイツ・オーストリアに接近し第一次世界大戦には同盟国側で参戦する。敗北し(65)〔　　〕でトラキアを失う。第二次世界大戦では枢軸国側で参戦した。

1946年に人民共和国宣言。首都はソフィア。ディミトロフが指導する共産党が権力を掌握。

(66)〔　　〕年にジフコフが退陣し民主化した。

解答

(46) トラヤヌス　(47) ダキア　(48) ブカレスト　(49) クリミア戦争　(50) 1878
(51) 露土戦争　(52) サン＝ステファノ条約　(53) ベルリン会議　(54) 鉄衛団(てつえいだん)
(55) ベッサラビア　(56) トランシルヴァニア　(57) チャウシェスク　(58) 1989
(59) ブルガール人　(60) シメオン1世　(61) 1908　(62) 青年トルコ革命
(63) 第一次バルカン戦争　(64) 第二次バルカン戦争　(65) ヌイイ条約　(66) 1989

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【アルバニア史】1912 年第一次バルカン戦争中にオスマン帝国から独立宣言，1913 年に完全独立。1926 年に (67)〔　　〕政権のイタリアが保護国化し外交権を奪い，1939 年に併合し植民地化した。1946 年人民共和国宣言。独立の父はホジャ。対ソ断交。コメコン, 脱ワルシャワ条約機構を脱退し，独自路線，中国へ接近。しかしのちに断交。事実上鎖国し，世界唯一の無神論国家を宣言。1989 年には東欧民主化の影響でアリア政権が自由選挙・複数政党制に移行した。

【ポーランド】10 世紀のポーランド王国ではミェシェコ国王が (68)〔　　〕を受容した。(69)〔　　〕のボレスワフ１世が国家を統一した。チンギス＝ハンの孫 (70)〔　　〕の西征では (71)〔　　〕年の (72)〔　　〕にポーランド＝ドイツの諸侯連合は敗れた。14 世紀の (73)〔　　〕（カシミール大王）のときに王権が伸長した。

(74)〔　　〕朝リトアニア＝ポーランド王国（同君連合）は (75)〔　　〕年～ (76)〔　　〕年に (77)〔　　〕を首都とした。1410 年の (78)〔　　〕の戦いで (79)〔　　〕を撃破した。クラクフ大学の (80)〔　　〕は地動説を唱えた。

ヤゲヴォ朝の断絶後は貴族による選挙王政だったので権力が分散し求心力が働かず，18 世紀の (81)〔　　〕・(82)〔　　〕・(83)〔　　〕による３度にわたる (84)〔　　〕((85)〔　　〕年・(86)〔　　〕年・(87)〔　　〕年）を被り，ポーランドは消滅した。分割に３度とも関与したのがロシアの (88)〔　　〕。第１次はプロイセンが (89)〔　　〕，オーストリアが (90)〔　　〕。**第２回**が要注意。**フランス革命中だからオーストリアだけ不参加**。そのときポーランド人 (91)〔　　〕が活躍した。

フランス革命から登場したナポレオン１世が (92)〔　　〕(1807 ～ 14 年）を建てたが (93)〔　　〕で消滅した。(94)〔　　〕が王を兼任するポーランド立憲王国となったが，(95)〔　　〕の影響で**ポーランド人が反乱を起こしたので, ロシアに鎮圧され直轄領になった**（(96)〔　　〕年)。この件をモチーフに (97)〔　　〕がピアノ曲「革命」をつくった。(98)〔　　〕の大凶作と (99)〔　　〕の影響で (100)〔　　〕蜂起，(101)〔　　〕蜂起（(102)〔　　〕年）が起きたがロシア軍によって鎮圧された。

解答

(67) ムッソリーニ　(68) カトリック　(69) ピアスト朝　(70) バトゥ
(71) 1241　(72) ワールシュタットの戦い　(73) カジミェシュ３世　(74) ヤゲヴォ
(75) 1386　(76) 1572　(77) クラクフ　(78) タンネンベルク　(79) ドイツ騎士団
(80) コペルニクス　(81) ロシア　(82) プロイセン　(83) オーストリア
(84) ポーランド分割　(85) 1772　(86) 1793　(87) 1795　(88) エカテリーナ２世
(89) フリードリヒ２世　(90) ヨーゼフ２世　(91) コシューシコ　(92) ワルシャワ大公国
(93) ウィーン議定書　(94) ロシア皇帝　(95) パリ七月革命　(96) 1832
(97) ショパン　(98) じゃがいも　(99) パリ二月革命　(100) クラクフ
(101) ポズナニ　(102) 1848

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ロシア皇帝 (103)〔　　〕の (104)〔　　〕((105)〔　　〕年）に刺激され **1863 年に革命的大農民反乱となったが鎮圧され**，翌年農奴制支配は廃止された。

第一次世界大戦終了時に (106)〔　　〕がポーランド共和国として独立宣言。ヴェルサイユ条約では (107)〔　　〕と (108)〔　　〕の一部を割譲させた。ピウスツキは (109)〔　　〕に勝利し独裁的内閣をつくり独裁憲法を制定した。

戦後は 1945 年に統一政府成立。1952 年に人民共和国。首都 (110)〔　　〕。

スターリン批判の (111)〔　　〕年。スターリン的抑圧の廃止を求める反ソ暴動が (112)〔　　〕で起きた。(113)〔　　〕がソ連の軍事介入を拒否しつつ暴動を自主的に収拾した。

1970 ～ 80 年のギエレク政権の高度経済成長路線は失敗した。(114)〔　　〕年 (115)〔　　〕（旧ダンチヒ）のレーニン造船所の電気工 (116)〔　　〕が自主管理労組「(117)〔　　〕」を組織した。(118)〔　　〕政権のソ連は怒り軍隊をポーランド国境に集結，(119)〔　　〕政権は軍政による戒厳令で「連帯」を非合法化した。

冷戦終結への道のりはここに始まった。冷戦終結後，(120)〔　　〕が大統領になった。

解答

（103）アレクサンドル２世　（104）農奴解放令　（105）1861　（106）ピウスツキ
（107）ポーランド回廊　（108）シュレジェン　（109）ソヴィエト＝ポーランド戦争
（110）ワルシャワ　（111）1956　（112）ポズナニ　（113）ゴムウカ　（114）1980
（115）グダニスク　（116）ワレサ　（117）連帯　（118）ブレジネフ
（119）ヤルゼルスキ　（120）ワレサ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 45・46 講　テスト③

1　ポーランドで 1980 年に「連帯」の運動を始めたのは。

①　ピウスツキ

②　ヤルゼルスキ

③　ポドルスキ

④　ワレサ

2　ハンガリーの 1848 年当時の民族運動の指導者は。

①　ベラ＝クン

②　ホルティ

③　コシューシコ

④　コッシュート

3　チェコの政治指導者を古い順に並べかえた場合に 3 番目にくるのは。

①　ドプチェク

②　ハヴェル

③　マサリク

④　パラツキー

4　イタリアのムッソリーニ政権が 1926 年に保護国とし，1939 年に併合した東欧の国は。

①　アルバニア

②　ブルガリア

③　ルーマニア

④　マケドニア

5　オーストリアとの国境を開放し，1989 年のベルリンの壁崩壊のきっかけをつくった国は。

①　スロヴァキア

②　スロベニア

③　東ドイツ

④　ハンガリー

6　1989 年末の東欧革命で処刑されたルーマニアの指導者は。

①　ナジ＝イムレ

②　ゴムウカ

③　チャウシェスク

④　シェフチェンコ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 45・46 講　テスト③解答

1　④　　2　④　　3　①　　4　①　　5　④　　6　③

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4 戦後イギリス・ドイツ史

第一次世界大戦後の(1)〔　　〕年にイギリスには初の(2)〔　　〕党(3)〔　　〕内閣ができた。(4)〔　　〕年に**世界恐慌**(きょうこう)**が起こると第2次マクドナルド内閣は失業保険を削減したので労働党党首を除名**された。外交面では，第一次世界大戦以後，イギリス植民地が本国から内政・外交両面で自治権を獲得する中でイギリス帝国はイギリス連邦と改称されたが，それは1926年のバルフォア報告と(5)〔　　〕年の(6)〔　　〕における決定による。(7)〔　　〕年カナダの(8)〔　　〕で**イギリス連邦経済会議を開催し，ポンド経済圏スターリングブロックを形成して自由貿易と訣別し恐慌克服を図った。**

第二次世界大戦終結時のイギリス首相。ドイツが降伏した時は挙国一致内閣の(9)〔　　〕。しかし7月の(10)〔　　〕の最中の選挙で(11)〔　　〕党(12)〔　　〕に敗北した。戦争中の1942年に，議会に(13)〔　　〕が出され「(14)〔　　〕」の社会保障構想が前面にでたからだ。戦後イギリスは福祉(ふくし)重視の社会主義的で(15)〔　　〕（代表作は1936年の**『雇用**(こよう)**・利子・貨幣の一般理論』**）流の大きな政府を選択した。面倒見のよすぎる政策は自助努力をしないイギリス国民（(16)〔　　〕）を産み出した。

(17)〔　　〕年には再登板(とうばん)した保守党チャーチル政権下で原爆実験。

1960年には**EECに対抗し**(18)〔　　〕を発足させる。

1979年に首相に就任した(19)〔　　〕党の鉄の女(20)〔　　〕は(21)〔　　〕（1974年のノーベル経済学賞）流の自由競争の小さな政府路線に転じ，**民間部門に多くを移譲**(いじょう)**し民間活力で英国病を克服**(こくふく)しようとした。(22)〔　　〕との(23)〔　　〕では占拠(せんきょ)された(24)〔　　〕を取り返した。

1991年の湾岸戦争の時が保守党(25)〔　　〕首相。

次の(26)〔　　〕党(27)〔　　〕は**競争原理と福祉主義を両立させる第3の道を模索**した。

1999年には(28)〔　　〕の(29)〔　　〕侵攻の制裁として，米クリントン大統領と(30)〔　　〕を空爆。2003年のイラク戦争では米ブッシュ大統領とサダム＝フセイン政権を打倒したが，2005年にロンドン地下鉄テロという報復をイスラーム原理主義者にお見舞いされた。

スペインでは(31)〔　　〕年に(32)〔　　〕が死にブルボン朝(33)〔　　〕が復活した。ポルトガルでは1970年に(34)〔　　〕が死去，74年にカーネーション革命。

解答

（1）1924　（2）労働　（3）マクドナルド　（4）1929　（5）1931
（6）ウェストミンスター憲章　（7）1932　（8）オタワ　（9）チャーチル
(10) ポツダム会談　(11) 労働　(12) アトリー　(13) ベバリッジ報告
(14) ゆりかごから墓場まで　(15) ケインズ　(16) 英国病　(17) 1952
(18) EFTA（ヨーロッパ自由貿易連合）　(19) 保守　(20) サッチャー　(21) ハイエク
(22) アルゼンチン　(23) フォークランド戦争　(24) フォークランド諸島　(25) メージャー
(26) 労働　(27) ブレア　(28) セルビア　(29) コソヴォ　(30) ベオグラード
(31) 1975　(32) フランコ　(33) フアン＝カルロス1世　(34) サラザール

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

戦後のドイツ民主共和国（(35)〔　　〕年～(36)〔　　〕年）の政治指導者は(37)〔　　〕と(38)〔　　〕の二人。首都は(39)〔　　〕。

ドイツ連邦共和国（(40)〔　　〕年～）は首都が(41)〔　　〕で首相は(42)〔　　〕(CDU）→(43)〔　　〕(CDU）→(44)〔　　〕(CDU）→(45)〔　　〕(SPD）→(46)〔　　〕(SPD）→(47)〔　　〕(CDU）→(48)〔　　〕(SPD）→(49)〔　　〕(CDU)。

CDU(50)〔　　〕はビスマルクと対決した(51)〔　　〕が母体。SPD(52)〔　　〕は19世紀ドイツ史の項を参照のこと。

西ドイツの(53)〔　　〕年の(54)〔　　〕加盟を受けて，**社会民主党は1959年のバート＝ゴーデスベルク綱領（こうりょう）でマルクス主義と訣別（けつべつ）し階級政党から国民政党に脱皮**，これが1966年のCDUとSPDの(55)〔　　〕を可能にする。

(56)〔　　〕の(57)〔　　〕の目的は，新たな市場開拓のために東欧諸国との関係改善。ワルシャワの(58)〔　　〕（ナチス時代のユダヤ人居住地区）にひざまずき謝罪，ポーランドにたいし(59)〔　　〕川を国境線にすることを再確認した。1972年に東西ドイツ基本条約。仲良く国際連合に加盟。ということはドイツ分断体制つまり(60)〔　　〕が確認された。1975年の全欧安保協力会議でも同体制が再確認された。

SPDのシュミットをへて1982年からがCDUのコール。この政権時の(61)〔　　〕年に「(62)〔　　〕」が崩壊し，1990年に東ドイツを吸収合併した。

1998年からがSPDのシュレーダーであるが，(63)〔　　〕との連立で2000年には(64)〔　　〕を発表した。昨今の国内問題は外国人労働者をねらう(65)〔　　〕の蛮行（ばんこう）である。旧東独出身者の失業が深刻なのだ。

解答

(35) 1949　(36) 1990　(37) ウルブリヒト　(38) ホネカー　(39)（東）ベルリン

(40) 1949　(41) ボン　(42) アデナウアー　(43) エアハルト　(44) キージンガー

(45) ブラント　(46) シュミット　(47) コール　(48) シュレーダー　(49) メルケル

(50) キリスト教民主同盟　(51) 中央党　(52) 社会民主党　(53) 1955

(54) NATO（北大西洋条約機構）　(55) キージンガー大連立　(56) ブラント

(57) 東方外交　(58) ゲットー　(59) オーデル＝ナイセ　(60) ヤルタ体制

(61) 1989　(62) ベルリンの壁　(63) 緑の党　(64) 原発全廃　(65) ネオナチ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 45・46 講　テスト④

1　自由放任経済に警鐘を鳴らしたイギリスの経済学者は。

①　ハイエク

②　マルクス

③　ケインズ

④　シュンペーター

2　フォークランド戦争の時のイギリス首相は。

①　チャーチル

②　サッチャー

③　メージャー

④　ブレア

3　スペイン内戦に勝利した後，1975 年までスペインに権威主義体制を維持した政治家は。

①　フアレス

②　フランコ

③　ディアス

④　ビジャ

4　３の人物が死去する少し前に，ポルトガルで崩壊した政権は。

①　ミッテラン政権

②　キャメロン政権

③　サラザール政権

④　モウリーニョ政権

5　西ドイツの政治家で「東方外交」と言えば。

①　シュミット

②　キージンガー

③　ブラント

④　アデナウアー

6　1990 年の統一時にコール政権が確約したドイツ・ポーランド国境の川は。

①　エルベ川とオーデル川

②　ライン川とエルベ川

③　ドナウ川とオーデル川

④　ナイセ川とオーデル川

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 45・46 講　テスト④解答

1　③　　2　②　　3　②　　4　③　　5　③　　6　④

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 47 講
中東現代史

1 パレスチナ史とオスマン帝国の終焉

今から 3000 年前に (1)〔　　〕がヘブライ王国の都をイェルサレムに定めた。前 7 世紀の (2)〔　　〕の攻撃は奇跡的に撃退したが，前 6 世紀の (3)〔　　〕人の (4)〔　　〕には滅ぼされ，強制連行された（(5)〔　　〕)。この時期にヘブライ人に救世主 (6)〔　　〕の出現を予告する (7)〔　　〕が登場した。メシアの役割を果たしたのがアケメネス朝ペルシアの王，ヘブライ人の解放者 (8)〔　　〕だ。**アケメネス朝は寛容な政策を採り**ヘブライ人に故国への帰還と (9)〔　　〕に (10)〔　　〕の神殿の再建を許可した。

アレクサンドロス大王による征服，**セレウコス朝シリアによる支配とヘレニズム化が進行**すると，前 2 世紀にヘブライ人（ユダヤ人）の (11)〔　　〕家が (12)〔　　〕朝をつくり抵抗した。

共和政ローマの (13)〔　　〕によりセレウコス朝は平定され（前 63 年）イェルサレムもローマ帝国の (14)〔　　〕になる。

そのユダヤに (15)〔　　〕が登場すると，ユダヤ人はイエスをメシア（キリスト）かと期待したが，イエスがユダヤ人の体質を批判したのでイエスをローマ帝国に訴え処刑した。

70 年にはローマのティトゥス将軍によりイェルサレムは壊滅し，前 6 世紀に再建された神殿の西の壁（(16)〔　　〕）のみが残された。

生き残ったユダヤ人は死海の畔の (17)〔　　〕の要塞に立て籠ったが結局ローマ軍に包囲され自刃した（73 年）。

ローマ五賢帝の (18)〔　　〕の時バルコクバが再び抵抗を企てたが（第 2 ユダヤ戦争），鎮圧されユダヤ人は離散（(19)〔　　〕）した（135 年）。この時から**イスラエルはパレスチナとなりイェルサレムもローマの神の名前に変えられた**。ディアスポラは (20)〔　　〕年の (21)〔　　〕建国まで続くことになる。

以後パレスチナは，

ローマ帝国→東ローマ（ビザンツ）帝国→イスラームの正統カリフ→ウマイヤ朝→アッバース朝→セルジューク朝→イェルサレム王国（第 1 回十字軍）→アイユーブ朝→マムルーク朝→オスマン帝国（現在のイェルサレムの城壁はスレイマン 1 世の時代のもの）の支配を経て 20 世紀を迎えることになる。

解答

（1）ダビデ　（2）アッシリア王国　（3）カルデア　（4）新バビロニア王国
（5）バビロン捕囚　（6）メシア　（7）預言者　（8）キュロス 2 世
（9）イェルサレム　（10）ヤハウェ　（11）マカベア　（12）ハスモン
（13）ポンペイウス　（14）属州ユダヤ　（15）イエス　（16）嘆きの壁　（17）マサダ
（18）ハドリアヌス　（19）ディアスポラ　（20）1948　（21）イスラエル

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【パレスチナ現代史】 (22)〔　　〕年フランスでユダヤ人将校の冤罪事件 (23)〔　　〕が起きると，スイスのバーゼルで (24)〔　　〕を中心に第1回シオニスト会議が開かれ (25)〔　　〕運動（シオンに帰ろう！）運動が始まった。シオンとはイェルサレムにある丘でキリストが最後の晩餐を催した場所やダビデ王の棺がある。

第一次世界大戦中，オスマン＝トルコ帝国との戦いを優位に進めたいイギリスはアラブ人の首長にトルコ人への反抗と引き換えにイェルサレムの管理を約す。(26)〔　　〕((27)〔　　〕年）だ。さらに三国協商のフランス，ロシアとはトルコ領東アラブの分割を密約する（(28)〔　　〕，(29)〔　　〕年）。さらにはユダヤ財閥 (30)〔　　〕の資金援助を引き出すために (31)〔　　〕((32)〔　　〕年）でユダヤ人にイェルサレムの管理を約す。**いわゆるイギリスの三枚舌外交だ。**

結局戦後，(33)〔　　〕，(34)〔　　〕，(35)〔　　〕は**イギリスによる**，(36)〔　　〕，(37)〔　　〕が**フランスによる国際連盟委任統治領**となった。ロシアは革命で消滅したので英仏の山分けとなった。

1920年の (38)〔　　〕条約の結果 (39)〔　　〕が (40)〔　　〕を占領し続けると，(41)〔　　〕の戦いでイギリスに勝利した (42)〔　　〕つまり (43)〔　　〕はアンカラ臨時政府を結成しスルタン政府に対抗，(44)〔　　〕条約を認めず連合国と対抗しソ連の支持を取り付けた。(45)〔　　〕を率いて (46)〔　　〕を撃破，(47)〔　　〕((48)〔　　〕）と東トラキアを奪回した。(49)〔　　〕年には (50)〔　　〕が終わりオスマン帝国は終焉した。

【トルコ共和国】 (51)〔　　〕年の (52)〔　　〕条約でイスタンブール周辺の東トラキアと全小アジアを確保した。(53)〔　　〕を首都として (54)〔　　〕が建国，初代大統領は (55)〔　　〕。後には (56)〔　　〕の一党独裁に移行する。**トルコが多民族国家から国民国家に**なった。(57)〔　　〕年には (58)〔　　〕が廃止となる。トルコ共和国の基本方針は**政教分離・脱イスラームの世俗主義**（ケマル主義）。(59)〔　　〕文字は廃止され (60)〔　　〕を採用。(61)〔　　〕に切り替え，国際連盟に加盟した。女性の立場に関しては，(62)〔　　〕が付与され (63)〔　　〕（ベール）は禁止され (64)〔　　〕制となる。1934年に議会はケマルに (65)〔　　〕（トルコ人の父）の称号を贈った。トルコ共和国では2002年の選挙でイスラーム政党が大勝した。国内には (66)〔　　〕人問題を抱えている。

解答

(22) 1894　(23) ドレフュス事件　(24) テオドール＝ヘルツェル　(25) シオニズム
(26) フサイン＝マクマホン協定　(27) 1915　(28) サイクス＝ピコ協定　(29) 1916
(30) ロスチャイルド家　(31) バルフォア宣言　(32) 1917　(33) イラク
(34) トランスヨルダン　(35) パレスチナ　(36) シリア　(37) レバノン
(38) セーブル　(39) ギリシア　(40) イズミル　(41) ガリポリ
(42) ムスタファ＝ケマル　(43) ケマル＝パシャ　(44) セーブル　(45) トルコ国民軍
(46) ギリシア　(47) イズミル　(48) スミルナ　(49) 1922　(50) スルタン制度
(51) 1923　(52) ローザンヌ　(53) アンカラ　(54) トルコ共和国
(55) ケマル＝パシャ　(56) トルコ国民党　(57) 1924　(58) カリフ制度
(59) アラビア　(60) アルファベット　(61) 太陽暦　(62) 婦人参政権
(63) チャドル　(64) 一夫一婦　(65) アタチュルク　(66) クルド

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【サウジアラビア現代史】アラブ独立運動の指導者ハーシム家の (67)〔　　〕は 1916 年にアラビア半島西岸に (68)〔　　〕を建設し，独立を宣言した。しかしイスラーム教 (69)〔　　〕派の (70)〔　　〕に敗れ 1924 年に併合されヒジャーズ＝ネジド王国となりメッカ・メディナも征服された。（サウード家は，ヒジャーズ地方はオスマン＝トルコに支配されたのだからハーシム家は純粋のアラブでないと言いがかりをつけた）。こうして (71)〔　　〕年に (72)〔　　〕（サウード家のアラビア）が成立した。アラビア半島南端の (73)〔　　〕はトルコの撤兵とともに 1918 年にシーア派の一派が独立を実現した。

【イスラエル建国と第 1 次中東戦争】パレスチナにおけるイギリスの委任統治の期限が切れる前年の (74)〔　　〕に基づき (75)〔　　〕年に (76)〔　　〕（ギリギリまで名称はシオンだった）の建国が宣言されると同日，(77)〔　　〕が勃発した。イスラエルが領土を拡大し，(78)〔　　〕が発生した。ちなみにパレスチナ人とは概してアラブ人でイスラーム教徒だ。

【第 2 次中東戦争】(79)〔　　〕年の第 2 次中東戦争ではイスラエルは英仏と共にエジプトと戦った。

解答

（67）フサイン　（68）ヒジャーズ王国　（69）ワッハーブ　（70）イブン＝サウード
（71）1932　（72）サウジアラビア王国　（73）イエメン
（74）国際連合パレスチナ分割決議案　（75）1948　（76）イスラエル　（77）第 1 次中東戦争
（78）パレスチナ難民（なんみん）　（79）1956

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2 エジプト通史

「**エジプトはナイルの賜物**（たまもの）」これは紀元前 5 世紀のギリシアの歴史家 (1)〔　　〕の言葉だ。

【古代エジプト】エジプトは閉鎖的な地形で比較的侵入を受けにくい (2)〔　　〕の世界だ。ナイル流域にあった集落 (3)〔　　〕を**上エジプト（上流）の王が統一**した。

前 6 世紀の (4)〔　　〕による征服まで 26 の王朝が続くのだが，第 3 〜 6 王朝が**古王国**時代で都は下エジプトの (5)〔　　〕，第 4 王朝の時 (6)〔　　〕に (7)〔　　〕がつくられた。(8)〔　　〕王のものが最大，近くに (9)〔　　〕がある。ギザはナイル左岸にありカイロの対岸の町だ。

第 11 〜 12 王朝の**中王国**時代の都は (10)〔　　〕(現 (11)〔　　〕)。町の守護神が (12)〔　　〕だから，太陽神ラーと結びつき (13)〔　　〕が多神教の頂点に立った。エジプトの王 (14)〔　　〕(「大きな家」の意）は太陽神ラーの化身だ。

(15)〔　　〕系の (16)〔　　〕の侵入で中王国は滅亡するが，ヒクソスを撃退し，第 18 〜 20 王朝の**新王国**時代になる。(17)〔　　〕の時に領土は最大になり，**現スーダンにかけて広がるヌビア砂漠からシリアにかけて**を版図とした。テーベにはアモンの (18)〔　　〕を建てた。(19)〔　　〕は (20)〔　　〕の一神教にし自ら (21)〔　　〕と名乗り (22)〔　　〕に遷都した。実子の (23)〔　　〕は**アモン神に戻し中心もメンフィスやテーベに戻した**。

前 13 世紀の第 19 王朝の (24)〔　　〕は小アジアの (25)〔　　〕王国との (26)〔　　〕に勝ったと吹聴（ふいちょう）し記念碑として (27)〔　　〕をヌビア砂漠に造る。モーセに率いられたヘブライ人の「(28)〔　　〕」はこの頃と言われる。

異民族王朝の時代を経て前 (29)〔　　〕世紀前半にはエジプトは (30)〔　　〕に征服された。武断政治のアッシリアから第 26 王朝が (31)〔　　〕を都に独立するが，(32)〔　　〕年には (33)〔　　〕朝ペルシアの (34)〔　　〕により征服され以後約 200 年イラン人の支配を受けることになる。

解答

（1）ヘロドトス　（2）エジプト語族　（3）ノモス　（4）アケメネス朝ペルシア
（5）メンフィス　（6）ギザ　（7）三大ピラミッド　（8）クフ　（9）スフィンクス
（10）テーベ　（11）ルクソール　（12）アモン　（13）アモン＝ラー　（14）ファラオ
（15）セム　（16）ヒクソス　（17）トトメス 3 世　（18）カルナーク神殿
（19）アメンホテプ 4 世　（20）アトン　（21）イクナートン　（22）テル＝エル＝アマルナ
（23）ツタンカーメン　（24）ラメス（ラムセス）2 世　（25）ヒッタイト
（26）カデシュの戦い　（27）アブシンベル神殿　（28）出エジプト　（29）7
（30）アッシリア　（31）サイス　（32）前 525　（33）アケメネス　（34）カンビュセス 2 世

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

アケメネス朝ペルシア以降は→アレクサンドロス大王→プトレマイオス朝エジプト→ローマ帝国→東ローマ（ビザンツ）帝国→(35)〔　　〕人（正統カリフ時代→ウマイヤ朝→アッバース朝）→ファーティマ朝→(36)〔　　〕人（アイユーブ朝）→(37)〔　　〕人（マムルーク朝→オスマン朝）→(38)〔　　〕人（大英帝国）の支配を受ける。

【エジプト革命とエジプト現代史】第一次世界大戦後にエジプトでは(39)〔　　〕の(40)〔　　〕により反英運動が高まり(41)〔　　〕年に形式的に 1936 年には完全独立を果たした。ただしアルバニア系の(42)〔　　〕の(43)〔　　〕国王はイギリスの傀儡（操り人形）で(44)〔　　〕だけはイギリスが所有したままだった。

(45)〔　　〕年(46)〔　　〕による(47)〔　　〕でファールーク国王は追放され，(48)〔　　〕を大統領に(49)〔　　〕が建国された。第 2 代(50)〔　　〕大統領は**社会主義的政策を採りソ連や東欧諸国に接近したので，英米は**(51)〔　　〕**の建設資金の融資を凍結**，これにたいしナセルは(52)〔　　〕（(53)〔　　〕年）で対抗し資金を調達した。これが(54)〔　　〕の原因だ。第 3 次中東戦争（1967 年）ではイスラエルに(55)〔　　〕と(56)〔　　〕を奪われたが，その後第 3 代大統領(57)〔　　〕が親米路線に転じイスラエルを訪問，(58)〔　　〕年の(59)〔　　〕（(60)〔　　〕米大統領，(61)〔　　〕・イスラエル首相）でシナイ半島を奪還したがサダトはイスラーム原理主義者に暗殺された。第 4 代の(62)〔　　〕大統領は親米路線を継承したが，2011 年の「アラブの春」で失脚し，(63)〔　　〕が権力を握ることになった。

ヘレニズム時代に(64)〔　　〕に開設された研究機関で学芸の神ミューズからとられたのが(65)〔　　〕。ミュージアムの語源。平面幾何学を大成したのが(66)〔　　〕（ユークリッド）。地球の公転と自転，太陽中心説が(67)〔　　〕。地球を球形と考え周囲の長さを影の角度から計算したのがムセイオンの館長(68)〔　　〕。浮体（ふたい）の原理，てこの原理を発見したのが第 2 回ポエニ戦争でローマ兵に殺されたのが(69)〔　　〕。

(70)〔　　〕はナポレオンのエジプト遠征の際 1799 年に発見された。上から順に神聖文字（(71)〔　　〕）・民用文字（(72)〔　　〕）・(73)〔　　〕の 3 書体で刻まれている。ギリシア文字ということは(74)〔　　〕時代の碑文であることの証だ。

解答

(35) アラブ　(36) クルド　(37) トルコ　(38) イギリス　(39) ワフド党
(40) ザグルール＝パシャ　(41) 1922　(42) ムハンマド＝アリー王朝　(43) ファールーク
(44) スエズ運河　(45) 1952　(46) 自由将校団　(47) エジプト革命　(48) ナギブ
(49) エジプト共和国　(50) ナセル　(51) アスワン＝ハイダム
(52) スエズ運河国有化宣言　(53) 1956　(54) 第 2 次中東戦争　(55) シナイ半島
(56) ガザ地区　(57) サダト　(58) 1978　(59) キャンプ＝デーヴィット合意
(60) カーター　(61) ベギン　(62) ムバラク　(63) ムスリム同胞団
(64) アレクサンドリア　(65) ムセイオン　(66) エウクレイデス　(67) アリスタルコス
(68) エラトステネス　(69) アルキメデス　(70) ロゼッタ＝ストーン　(71) ヒエログリフ
(72) デモティック　(73) ギリシア文字　(74) プトレマイオス朝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3 東イェルサレム現代史

【第 3 次中東戦争】(1)〔　　〕年に(2)〔　　〕((3)〔　　〕) が結成され，さらには(4)〔　　〕年にエジプトの(5)〔　　〕が(6)〔　　〕チラン海峡を封鎖したのでイスラエルが先制攻撃をかけ(7)〔　　〕になる。イスラエルは六日間で(8)〔　　〕((9)〔　　〕から)(10)〔　　〕と(11)〔　　〕((12)〔　　〕から)(13)〔　　〕を含む(14)〔　　〕(ヨルダンから) を占領した。

OPEC (石油輸出国機構，(15)〔　　〕年結成) は第 3 次中東戦争では反イスラエルには結集しなかった。

(16)〔　　〕年には(17)〔　　〕((18)〔　　〕) が結成された。

【第 4 次中東戦争】イスラエルの最大の祭りの日にアラブ諸国が奇襲攻撃をかけたのが第 4 次中東戦争。結果は領土変化なし。OAPEC が(19)〔　　〕をとり(20)〔　　〕となる。

その後(21)〔　　〕年の(22)〔　　〕で(23)〔　　〕は(24)〔　　〕に返還した。1987 年からイスラエルの占領地ヨルダン川西岸でパレスチナ人の蜂起 ((25)〔　　〕(実際は投石)) が始まり政治的互助組織(26)〔　　〕の活動も始まった。

【オスロ合意】(27)〔　　〕年冷戦が終結すると(28)〔　　〕が仲介に乗り出し(29)〔　　〕がホワイトハウスの庭で発表された。内容は，(30)〔　　〕こと。(31)〔　　〕米大統領，PLO(32)〔　　〕議長，イスラエル首相(33)〔　　〕が発表した。((34)〔　　〕年)

ラビンはイェリコのみならずヨルダン川西岸全体からの撤退も開始したので，ユダヤ原理主義者により暗殺された。

解答

(1) 1964　(2) PLO　(3) パレスチナ解放機構　(4) 1967　(5) ナセル
(6) アカバ湾　(7) 第 3 次中東戦争　(8) ゴラン高原　(9) シリア　(10) ガザ地区
(11) シナイ半島　(12) エジプト　(13) 東イェルサレム　(14) ヨルダン川西岸地区
(15) 1960　(16) 1968　(17) OAPEC　(18) アラブ石油輸出国機構　(19) 石油戦略
(20) 第 1 次オイルショック　(21) 1978　(22) キャンプ＝デーヴィット合意
(23) シナイ半島　(24) エジプト　(25) インティファーダ　(26) ハマス　(27) 1989
(28) ノルウェー　(29) オスロ合意　(30) イスラエルがガザ地区とヨルダン川西岸の町イェリコにおけるパレスチナ人の暫定自治を承認する　(31) クリントン　(32) アラファト
(33) ラビン　(34) 1993

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ユダヤ人の歴史は苦難そのもの。

キリスト教がローマ帝国の国教になるとユダヤの会堂 (35)〔　　〕は閉鎖され，(36)〔　　〕ではスペインを追われ，(37)〔　　〕の『ベニスの商人』では悪徳商人といえばユダヤ人，19 ～ 20 世紀初頭ロシアでは (38)〔　　〕（大虐殺），そしてナチス＝ドイツによる (39)〔　　〕（ガス室）。

同胞の命の大切さを誰よりも自覚しているユダヤ人が自らの首相を殺した。

しかしラビンの政党の (40)〔　　〕よりも「約束の地」に固執する政党 (41)〔　　〕の (42)〔　　〕首相もパレスチナ人の自治区拡大路線を継承した。

【第 2 次インティファーダ】しかし 2000 年。 選挙キャンペーン目的で野党の党首 (43)〔　　〕が**イスラームの岩のドームがある神殿の丘（ハラム＝アッシャリーフ）を歩いた**ことが，パレスチナ人を刺激し (44)〔　　〕となりパレスチナ問題は泥沼化する。原因は (45)〔　　〕にある。

イスラエルは 2005 年 (46)〔　　〕からの撤退を開始，(47)〔　　〕にもフェンスを築きユダヤ人入植地をパレスチナ人居住地区と隔てることにより撤退・放棄し，ユダヤ人人口が圧倒的に多いイスラエルに変容しようとしている。

その間隙をついてガザ地区を過激な (48)〔　　〕が支配，ヨルダン川西岸を支配する穏健派 (49)〔　　〕とは激しく対立。また，イスラエルを攻撃したので，イスラエルは 2008 ～ 09 年にかけてガザ地区に侵攻，2012 年にもハマスと交戦した。

解答

(35) シナゴーグ　(36) レコンキスタ運動　(37) シェークスピア　(38) ポグロム
(39) ホロコースト　(40) 労働党　(41) リクード　(42) ネタニヤフ　(43) シャロン
(44) 第 2 次インティファーダ　(45) パレスチナ人が自治国家を形成しても東イェルサレムをその首都にはさせないというイスラエル側の一貫した態度　(46) ガザ地区
(47) ヨルダン川西岸　(48) ハマス　(49) ファタハ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4 イラク・イラン・アフガニスタン現代史

メソポタミア史つまりイラク史。

世界最古の農耕の遺跡ジャルモ→シュメール人→アッカド王国→バビロン第１王朝（古バビロニア）→ヒッタイト→カッシート→アッシリア→新バビロニア→アケメネス朝ペルシア→アレクサンドロス大王→セレウコス朝シリア→パルティア→ササン朝ペルシア→正統カリフ→ウマイヤ朝→アッバース朝→ブワイフ朝→セルジューク朝→イル＝ハン国→ティムール帝国→オスマン帝国→イギリス委任統治→イラク王国（1932年）。

【第一次世界大戦後のイラク】イラク王国の国王はフサイン＝マクマホン協定のフサイン（(1)〔　　〕家）の次男ファイサル。フランス軍によりダマスクスを追放されイラク王になった。

(2)〔　　〕年のイラク＝トルコ相互条約を基礎に(3)〔　　〕が結ばれ，反共軍事同盟(4)〔　　〕（(5)〔　　〕）が発足した。加盟国はトルコ・イラク・イラン・パキスタン・イギリスの５ヵ国。(6)〔　　〕年(7)〔　　〕将軍の(8)〔　　〕でファイサルは殺害されイラク共和国となった。その第２代大統領が(9)〔　　〕，(10)〔　　〕党首だ。**バース党は反資本主義・反アメリカ・反イスラエルの政党**だ。**イラク革命でイラクがMETOから脱退すると**1959年には(11)〔　　〕（(12)〔　　〕）が結成されアンカラに本部が置かれた。この同盟は**1979年のイラン革命で崩壊**した。

【イラン近現代史】サファヴィー朝ペルシアは(13)〔　　〕によって滅亡したが,1736年に(14)〔　　〕が首都イスファハーンを奪回して台頭し(15)〔　　〕を建設した。1739年にはインドへ侵攻して一時占領し，中央アジアに進出しブハラ＝ハン国を服属させ1745年には西から侵攻してきたオスマン帝国を撃破した。しかし彼は暗殺され王国は分裂状態，1757年には武将のカリーム＝ハンがザンド朝を建国，首都は当初シラーズのちにテヘランに遷都した。

(16)〔　　〕年にアフシャール朝の武将でトルコ系のアーガー＝ムハンマドがザンド朝を滅ぼし(17)〔　　〕を建国した（～(18)〔　　〕年，首都(19)〔　　〕）。カージャール朝はトルクメンという遊牧民族，つまり(20)〔　　〕系の少数支配という形態をとったので支配は抑圧的だった。

カージャール朝は(21)〔　　〕年にロシアと(22)〔　　〕を結んだ。すでに1813年のグリスターン条約でアゼルバイジャンはロシアに取られていたが，国境紛争が再燃し結局，治外法権を認める不平等条約で決着がつきアルメニアを含むザカフカスがロシア領となった。

解答

（１）ハーシム　（２）1955　（３）バクダード条約　（４）METO　（５）中東条約機構
（６）1958　（７）カセム　（８）イラク革命　（９）サダム＝フセイン　（10）バース
（11）CENTO　（12）中央条約機構　（13）アフガン族　（14）ナーディル＝シャー
（15）アフシャール朝　（16）1796　（17）カージャール朝　（18）1925　（19）テヘラン
（20）トルコ　（21）1828　（22）トルコマンチャーイ条約

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1848～52年の(23)〔　　〕はサイイド＝アリー＝ムハンマドがマフディーを宣言したシーア派の改革運動で男女平等などを主張したが処刑され終結した。バーブとは12イマーム派の12代イマームへの「門」を意味し救世主的思想が強かった。弾圧を逃れたバーブ教徒の多数派が(24)〔　　〕となった。

1891～92年には(25)〔　　〕が起きた。第4代ナッセレディーン＝シャーがタバコの原料買い付けから販売権までをイギリス商人に与えたことへの全国民的抗議運動が起き，シーア派の宗教界による喫煙(きつえん)禁止令を引き起こした。それはパン＝イスラーム主義（反帝国主義）革命家(26)〔　　〕の煽動によるものだった。この民族運動の結果，利権回収には成功したが多額の外国借款を抱え込むことになった。

1905年の日露戦争の日本の勝利とロシアの敗北はイランを覚醒させ，国会開設・憲法制定を要求する(27)〔　　〕（～1911年）を引き起こした。憲法こそが日本の勝利の要因だと考えた。その間の1906年には国会も召集された。

(28)〔　　〕年の(29)〔　　〕では**イラン北部がロシアの南部がイギリスの権益**となった。1908年には議会派と国王派との内戦になり1911年にはそれに乗じたロシアが議会派の拠点タブリーズに軍事介入した。

1914年に勃発した第一次世界大戦では中立だったものの英露両軍が進駐(しんちゅう)した。

アフガニスタンはイランのアフシャール朝のナーディル＝シャーの死を機にアフガン族が統一した。「アフガン」というのはペルシア語の他称で自称は**パシュトゥーン人**でイラン（アーリア）人とセム系の混血だ。アハマッド＝シャー＝ドゥラッニーが部族連合の長に選出された結果できたのが(30)〔　　〕（1747～1842年）で首都(31)〔　　〕。

(32)〔　　〕政権崩壊後に復位した(33)〔　　〕は1963年に(34)〔　　〕を宣言し**脱イスラーム色を鮮明に**した。また議会を停止し**国王独裁による上からの近代化**を試みた。土地革命・婦人解放政策を実施，それに反対するシーア派のイマーム，(35)〔　　〕を国外追放にした。ホメイニ師はイラク南部のナジャフに住んだ。

【イラン革命】パフレヴィー2世の秘密警察体制に不満を持った首都テヘランのバザールの商人たちがホメイニ師を擁立しパフレヴィー朝を打倒したのが，(36)〔　　〕だ。シーア派の宗教国家の誕生である。女性のサッカー観戦は許されない。

革命時には(37)〔　　〕大使館員が444日間も監禁された。それに関与した人物に後の(38)〔　　〕大統領もいる。

解答

（23）バーブ教徒の乱　（24）バハーイー教徒　（25）タバコ＝ボイコット運動
（26）アフガーニー　（27）イラン立憲革命　（28）1907　（29）英露協商
（30）ドゥラッニー朝　（31）カーブル　（32）モサデグ　（33）パフレヴィー2世
（34）白色革命　（35）ホメイニ　（36）イラン革命　（37）アメリカ合衆国
（38）アフマディネジャド

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

アフガニスタンは部族連合的性格が強く国王も部族長の第一人者。交通の要衝ヘラートをめぐりカージャール朝ペルシアと抗争した。ロシアがカージャール朝を支援するとイギリスはアフガニスタンを援助。しかしアフガニスタン国王がロシアに接近する動きを見せるとイギリスは過剰に反応し，1838 ～ 42 年まで第 1 次アフガン戦争，1878 ～ 80 年に (39)〔　　〕となった。(40)〔　　〕年の (41)〔　　〕で**ロシアのエーゲ海方面への南下政策が阻止されたので，ロシアのインド洋への野心が本格化するのを見越して**イギリスは (42)〔　　〕年**アフガニスタン新国王アミール＝アブドゥル＝ラフマーンを保護下におくことに成功**し，親英的緩衝国家とした。ちなみに英領インド帝国の成立は (43)〔　　〕年だ。(44)〔　　〕の結果，(45)〔　　〕年の (46)〔　　〕でイギリスはアフガニスタンの独立を承認した。

【パフレヴィー朝のイラン】ロシア革命の影響はカージャール朝ペルシアの北西部に波及し 1921 年にはホラサーン地方に革命政権ができた。イギリスはカージャール朝政府を事実上支配していたが，それが民衆の反発の原因となっていた。1921 年に成立したコサック（政府）軍の指導者 (47)〔　　〕がクーデターで軍事独裁体制が成立した。ロシアの共産党政権と条約を結び帝政ロシアと結んだトルコマンチャーイ条約以来の不平等条約を撤廃，イギリスも石油の利権と引き換えに新政権を承認した。

(48)〔　　〕年パフレヴィー朝（～ 1979 年）が成立した。1941 年までレザー＝ハーン（レザー＝シャー）の独裁体制，**トルコのケマル型の世俗路線**をしいた。ペルシア語からアラビア語を排除し西欧語の語彙（ごい）を取りいれるよう努めた。1928 年には外国の治外法権を撤廃，1935 年には国名を (49)〔　　〕に改名した。第二次世界大戦では中立。1941 年には英露が進駐，親ナチとみなされたレザー＝シャーは退位，ムハンマド＝レザー＝パフレヴィー２世が即位した。(50)〔　　〕年に (51)〔　　〕を (52)〔　　〕・(53)〔　　〕・(54)〔　　〕が開いた。石油資源豊富なイランで冷戦の両雄が初めて対峙（たいじ）した。

解答

(39) 第２次アフガン戦争　(40) 1878　(41) ベルリン会議　(42) 1880
(43) 1877　(44) 第３次アフガン戦争　(45) 1919　(46) ラワルピンディー条約
(47) レザー＝ハーン　(48) 1925　(49) イラン　(50) 1943　(51) テヘラン会談
(52) チャーチル　(53) F＝ローズベルト　(54) スターリン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 47 講　テスト

1　サマリアを都とするイスラエル王国を滅ぼした国は。

①　フェニキア

②　アラム

③　アッシリア

④　海の民

2　バビロン捕囚が起きた世紀は。

①　紀元前 8

②　紀元前 7

③　紀元前 6

④　紀元前 5

3　イェルサレムをローマの属州にしたローマの将軍は。

①　アントニウス

②　ポンペイウス

③　オクタビアヌス

④　カエサル

4　イェルサレムを支配した民族を順に並べ替えた場合に３番目にくるのは。

①　イラン人

②　トルコ人

③　アラブ人

④　イタリア人

5　ディアスポラという語の意味は。

①　蜂起

②　離散

③　虐殺

④　帰還

6　インティファーダという語の意味は。

①　蜂起

②　離散

③　虐殺

④　帰還

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　イスラエルが東イェルサレムを含むヨルダン川西岸を占領した年は。
① 1960
② 1964
③ 1967
④ 1969

8　2005 年のイスラエル軍撤退後にハマスが支配している地域は次のどこか。
① ゴラン高原
② ガザ地区
③ ヨルダン川西岸地区
④ 東イェルサレム

9　1993 年，ガザとイェリコからのイスラエル軍撤退の合意をしたイスラエル首相は。
① シャロン
② ベギン
③ ベングリオン
④ ラビン

10　９の合意を仲介した国は。
① イギリス
② エジプト
③ ノルウェー
④ アメリカ合衆国

11　約 4500 年前の第４王朝時代の三大ピラミッドがある街は。
① メンフィス
② ギザ
③ テーベ
④ アレクサンドリア

12　テル＝エル＝アマルナに遷都したファラオは。
① ラメス２世
② ツタンカーメン
③ トトメス３世
④ アメンホテプ４世

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

13　エジプトを支配した民族を古い順に並べ替えた場合に３番目にくるのは。
① アルバニア人
② ローマ人
③ トルコ人
④ ギリシア人

14　ロゼッタストーンに刻まれていない文字は。
① 神聖文字
② 神官文字
③ 民用文字
④ ギリシア文字

15　1952 年建国のエジプト共和国に関して，誤りを含む文は。
① 自由将校団による革命により成立した
② 「アラブの春」によりムスリム同胞団の政権になった
③ ナセルがシナイ半島をイスラエルから取り返した
④ 第二次中東戦争でスエズ運河を獲得した

16　イラクを支配した順に並べ替えた場合に３番目にくるのは。
① ブワイフ朝
② アッシリア王国
③ オスマン帝国
④ イル＝ハン国

17　1958 年のイラク革命の中心人物は。
① カセム
② ホメイニ
③ サダム＝フセイン
④ ファイサル

18　1828 年のトルコマンチャーイ条約の当事国は。
① イギリス，オスマン朝
② イギリス，カージャール朝
③ ロシア，オスマン朝
④ ロシア，カージャール朝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

19　イギリスがアフガニスタンを保護国化したのは。
①　1880 年代
②　1890 年代
③　1900 年代
④　1910 年代

20　20 世紀のイラン史を古い順に並べ替えた場合に３番目にくるのは。
①　イラン＝イスラーム革命
②　イラン立憲革命
③　白色革命
④　アングロ＝イラニアン石油会社国有化宣言

21　古い順に並べ替えた場合に３番目にくるのは。
①　イラク戦争
②　イラン＝イラク戦争
③　湾岸戦争
④　9・11 同時テロ

22　エジプトのイスラーム改革思想家でアフガーニーの影響を受け，ウラービーの反乱に参加したのは。
①　ジョルディ＝アルバ
②　ムハンマド＝アブドゥフ
③　セルヒオ＝ブスケツ
④　アンドレス＝イニエスタ

23　1945 年３月アラブ諸国民の主権擁護と相互協力の促進を目的とした組織と 1958 年２月にエジプトとシリアが統合して成立した国家の組み合わせは。
①　アラブ連合共和国，ムスリム同胞団
②　イスラーム救国戦線，アラブ連合共和国
③　イスラーム復興運動，イスラーム救国戦線
④　アラブ諸国連盟，アラブ連合共和国

第 47 講　テスト解答

1　③	2　③	3　②	4　③	5　②	6　①
7　③	8　②	9　④	10　③	11　②	12　④
13　③	14　②	15　③	16　④	17　①	18　④
19　①	20　③	21　④	22　②	23　④	

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第48講
中東現代史・日米開戦までのアメリカ合衆国史

1

【イラン＝イラク戦争】このイラン＝シーア派革命は国内に60％のシーア派をかかえるイラクの(1)〔　　〕，スンニー派政権にとってははなはだ迷惑な革命だった。また王家が打倒された革命の波及はサウード家の(2)〔　　〕，サバハ家の(3)〔　　〕にとっては断固防がねばならないものだ。言うまでもなくアメリカはイランの革命政権は仇敵(きゅうてき)だ。

これら3国の資金と武器の支援を背景はイラクはイランに攻め込んだ。

イラン＝イスラーム革命時にテヘランの大使館員を人質にされたカーター政権の次の(4)〔　　〕大統領は，テヘランの人質解放と交換条件に武器を売却した。こうしてイラン＝イラク戦争はアメリカ製武器の在庫処分の場となった。さらにレーガンは売却代金を中米(5)〔　　〕の(6)〔　　〕社会主義政権に反抗するゲリラ・(7)〔　　〕の活動資金とした。レーガンにすれば一石三鳥だ。

【湾岸戦争】イラン＝イラク戦争終了時にクウェートが融資資金の返済を迫ったので，サダム＝フセインはクウェートに侵攻した。これが(8)〔　　〕年の(9)〔　　〕だ。(10)〔　　〕大統領（父）は(11)〔　　〕を結成し，(12)〔　　〕((13)〔　　〕年）でクウェートから撤退させた。サダム＝フセインの不満はイスラエルが第3・4次中東戦争後の国連決議を無視しゴラン高原・ガザ地区・ヨルダン川西岸を占領し続けお咎(とが)めなしであることだ。

湾岸戦争後もフセイン対策として米軍がアラビア半島に駐留したことは，それを聖地にたいする侮辱だと憤るイスラーム原理主義者(14)〔　　〕が首領であるテロ組織(15)〔　　〕の活動を活発化させることになるが，彼は2011年にパキスタンに潜伏(せんぷく)中にアメリカ殺害にされた。

【イラク戦争】2001年9月11日の同時多発テロの後，ブッシュ大統領（子）はイラク・イラン・北朝鮮を「悪の枢軸」と呼んだ。予防的先制という理屈を駆使し(16)〔　　〕年(17)〔　　〕に踏み切りサダム＝フセインを捕らえ新生イラク政府に引き渡す。イラクが民主化したので多数決の世界になり，多数派であるシーア派政権によりサダム＝フセインは処刑された。

【アラブの春】2011年に(18)〔　　〕の青年の自殺から始まったのが「アラブの春」。エジプトに波及し(19)〔　　〕政権を崩壊させ，リビアの独裁者(20)〔　　〕を死に至らせた。シリアでは(21)〔　　〕政権と反体制派との内戦に突入した。

解答

（1）サダム＝フセイン　（2）サウジアラビア　（3）クウェート　（4）レーガン
（5）ニカラグア　（6）サンディニスタ　（7）コントラ　（8）1990　（9）湾岸危機
(10) ブッシュ　(11) 多国籍軍　(12) 湾岸戦争　(13) 1991
(14) オサマ＝ビン＝ラディン　(15) アル＝カーイダ　(16) 2003　(17) イラク戦争
(18) チュニジア　(19) ムバラク　(20) カダフィ　(21) アサド

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【イスラーム国】９・11事件以後の米国による「対テロ戦争」の結果，アル＝カーイダは組織に大きな打撃を受け行動の自由を失ったが消滅せず再編した。「イスラーム国」の直接の起源がイラクのアル＝カーイダで，名称を５回変更したが１番目の組織の創設者ザルカーウィーは(22)〔　　〕派を異端と断じ，同派に対するテロを聖戦(23)〔　　〕として正当化した。ザルカーウィーが，2006年に(24)〔　　〕軍に殺害されると，バグダーディーが新指導者となり，2020年に世界規模の(25)〔　　〕制国家を再興する構想を打ち出した。2011年にイラクのマーリキー首相が(26)〔　　〕派で政権を固めはじめると，旧フセイン政権の(27)〔　　〕派や(28)〔　　〕党の軍人が「イスラーム国」に流入するようになる。ちなみに，ＩＳＩＬとは，The Islamic State of Iraq and the Levantの略。Levantとは，その昔，ヴェネツィアやジェノヴァが従事した(29)〔　　〕と同じ単語である。

解答

(22) シーア　(23) ジハード　(24) アメリカ　(25) カリフ　(26) シーア
(27) スンニー　(28) バース　(29) レヴァント貿易

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2

【共和党セオドア＝ローズベルト】アメリカ合衆国の(1)〔　　〕大統領は(2)〔　　〕党で(3)〔　　〕（進歩主義）を掲げた。産業の独占化と社会的不平等にたいして中産階級を中心に自由競争復活や政界浄化などの社会改革を推進した。

軍事力による(4)〔　　〕でカリブ海政策を継承，1903年には(5)〔　　〕が(6)〔　　〕から独立するのを支援した。その見返りにアメリカはのちに1914年に完成する(7)〔　　〕の両側の土地をパナマ政府から租借することになる。こうして1904年にはパナマ運河の建設に着工。また1905年には(8)〔　　〕を保護国化した。

東アジア政策としては，ロシアの膨張政策に対抗して日英同盟には好意的。アメリカのユダヤ資本の経済的支援により(9)〔　　〕では日本が勝ち，セオドア＝ローズベルトは(10)〔　　〕で調停する。しかし，日本がロシアから獲得した(11)〔　　〕の共同管理を鉄道王(12)〔　　〕が提案したのにたいし，一度承諾しながらも日本の(13)〔　　〕が拒否したことから日米関係は1906年には深刻なほど悪化した。この年，互いに仮想敵とした建艦(けんかん)競争が開始する。だが1908年の「高平(たかひら)＝ルート協定」ではアジア・太平洋での日米相互の領土の尊重や中国の現状維持が確認された。

【共和党タフト】つぎの(14)〔　　〕党(15)〔　　〕大統領は(16)〔　　〕という銃弾(じゅうだん)に代えるにドルをもって外交する政策を推進。アメリカ製品の輸出と資本投下を奨励した。

【民主党ウィルソン】1913年就任の(17)〔　　〕党(18)〔　　〕大統領は「(19)〔　　〕」を唱え，革新主義を推進，関税を引き下げ米製品の海外市場進出を促進した。1914年には(20)〔　　〕で不法通商行為を禁止した。またこの年(21)〔　　〕が完成。ちなみにこれはフランス人(22)〔　　〕の会社が企画したが失敗したものが建て直されての開通であった。またこの年に(23)〔　　〕が勃発したが(24)〔　　〕により中立宣言。同主義の拡大解釈からハイチやメキシコ革命に干渉する(25)〔　　〕を展開，カリブ海地域をアメリカの勢力範囲とする政策を積極化した。

解答

（1）セオドア＝ローズベルト　（2）共和　（3）革新主義　（4）棍棒(こんぼう)外交
（5）パナマ　（6）コロンビア　（7）パナマ運河　（8）ドミニカ　（9）日露戦争
（10）ポーツマス条約　（11）南満州鉄道　（12）ハリマン　（13）小村寿太郎
（14）共和　（15）タフト　（16）ドル外交　（17）民主　（18）ウィルソン
（19）ニューフリーダム　（20）クレイトン反トラスト法　（21）パナマ運河
（22）レセップス　（23）第一次世界大戦　（24）モンロー主義　（25）宣教師外交

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3

【第一次世界大戦と合衆国】(1)〔　　〕年の(2)〔　　〕事件でアメリカ人が死傷した。(3)〔　　〕年にはドイツが(4)〔　　〕を宣した。1917 年にも実際に連合国側の艦船レスター号がドイツにより撃沈(げきちん)され多数のアメリカ人が死亡。さらには，メキシコ軍をテキサスへ侵攻させようとしていることを知ると，アメリカはドイツに宣戦布告して対戦に突入，ウィルソンはかの“(5)〔　　〕”（1918 年）を発表する。

(6)〔　　〕年(7)〔　　〕が(8)〔　　〕に(9)〔　　〕をつきつけ，ドイツの(10)〔　　〕（(11)〔　　〕）など(12)〔　　〕の権益を承諾させると(13)〔　　〕年アメリカは(14)〔　　〕でしぶしぶ日本の中国における特殊権益を認める。

1918 年には(15)〔　　〕が流行し全世界で 4000 万人の死者（第一次世界大戦全体の戦死者をはるかに凌(しの)ぐ）をだした。

【戦間期】第一次世界大戦の結果債務国から債権国へと転換し，世界経済の中心になる。ロンドンの(16)〔　　〕にかわってニューヨークの(17)〔　　〕街が世界金融(きんゆう)の中心になる。背景には戦争の犠牲(ぎせい)は少なかったこと，復興景気で貿易が拡大したこと，復興資金の海外投資，豊富な国内資源などがある。

経済政策は国内的には(18)〔　　〕（(19)〔　　〕）主義，対外的には高率関税政策。大衆消費社会が出現，1903 年設立の(20)〔　　〕が 1909 年に**量産方式**に成功，これが 20 年代の普及につながる。1920 年には(21)〔　　〕が開始，また，1920 年には(22)〔　　〕，これも大衆社会の一端(いったん)を担う。ウィルソン政権下の「行動の自由の確保」から上院は(23)〔　　〕の批准を拒否，孤立主義が受け継がれた。それで，ウィルソンが提唱した(24)〔　　〕には加盟しなかった。

【共和党ハーディング】1921 ～ 23 年の(25)〔　　〕党(26)〔　　〕大統領は“(27)〔　　〕”を唱え，(28)〔　　〕を提唱，主催。(29)〔　　〕で**日英同盟を破棄させ**(30)〔　　〕で(31)〔　　〕を破棄，**日本の山東半島（青島）などの中国政策は後退**。(32)〔　　〕で(33)〔　　〕の比率が，(34)〔　　〕となった。

解答

（１）1915　（２）ルシタニア号　（３）1917　（４）無制限潜水艦戦(せんすいかん)　（５）14 カ条
（６）1915　（７）大隈重信　（８）袁世凱　（９）21 カ条要求　（10）青島
（11）チンタオ　（12）山東半島　（13）1917　（14）石井＝ランシング協定
（15）スペイン風邪　（16）シティ　（17）ウォール　（18）自由放任
（19）レッセ・フェール　（20）フォード社　（21）ラジオ放送　（22）婦人参政権
（23）ヴェルサイユ条約　（24）国際連盟　（25）共和　（26）ハーディング
（27）常態への復帰　（28）ワシントン会議　（29）太平洋に関する４カ国条約
（30）中国に関する９カ国条約　（31）石井＝ランシング協定　（32）海軍軍備制限条約
（33）主力艦　（34）英米日＝５：５：３

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【共和党クーリッジ】1923～29年の同党の(35)〔　　〕大統領は(36)〔　　〕年ドイツ賠償問題でドーズ案を提出，27年の(37)〔　　〕に基づいて(38)〔　　〕年(39)〔　　〕条約を結ぶ。1929年には(40)〔　　〕が(41)〔　　〕を提出，また，**“永遠の繁栄(はんえい)”**を唱えた。

「黄金の20年代」は同時に保守的な時代でもあった。繁栄の裏側に社会的緊張や排外(はいがい)主義が拡大した。北部の都市に住む白人中産階級(42)〔　　〕（白人・アングロサクソン系・プロテスタント）のエリート主義を背景に，社会主義運動家への迫害，(43)〔　　〕（イタリア系移民の冤罪(えんざい)事件）が1920年に起きた。この事件はロシアのボリシェビキ革命（1917年）の影響や無政府主義思想などが移民を通して持ち込まれることに過敏に警戒する当時の空気を反映していた。1919年の(44)〔　　〕が(45)〔　　〕の暗躍(あんやく)を招き，国民差別問題から結社(46)〔　　〕も復活した（1915年)。

1923年の関東大震災においては復興を支援しつつ日本を視察し，1924年には(47)〔　　〕で反日を明らかにした。中国人排斥(はいせき)法（1882年）と日本人に対しては日米紳士協約（1907年）ですでにほとんど扉は閉ざされていた。ちなみにユダヤ人のアメリカ移民も制限されたので，パレスチナに流入することになる。1929年には世界恐慌が起きると，翌30年には「(48)〔　　〕」で日本の1000品目の輸出品にたいして高関税を課した。

【共和党フーヴァー】(49)〔　　〕年に10月24日(50)〔　　〕曜日，(51)〔　　〕，(52)〔　　〕の株式市場の株価が大暴落，金融恐慌は商工業に波及しさらに農業の不景気と結合して1000万以上の失業者を生んだ。

(53)〔　　〕が独占資本を発達させ，産業の合理化や過剰な設備投資によって生産過剰に陥ったこと。農業の機械化によって農産物の生産過剰になって自作農が没落，購買力も低下したので国内市場が縮小したこと。大戦後のヨーロッパの復興とソ連の社会主義化に伴う市場からの離脱。諸外国の高関税政策などが金融恐慌の原因とされる。

世界各国の経済がアメリカ経済に依存していたので世界恐慌となる。1932年までに世界の工業生産は半減，物価は三分の一に下落，失業者は全世界で3500～5000万人。ロンドン世界経済会議も失敗。

(54)〔　　〕は(55)〔　　〕の基本政策どおりの自由放任を主張したので恐慌は拡大。それで戦債(せんさい)・賠償支払いに関しては(56)〔　　〕を出して一年間延期することにした。

解答

（35）クーリッジ　（36）1924　（37）ケロッグ＝ブリアン協定　（38）1928
（39）パリ不戦　（40）フーヴァー　（41）ヤング案　（42）WASP
（43）サッコ＝ヴァンゼッティ事件　（44）禁酒法　（45）マフィア　（46）K・K・K
（47）排日移民法　（48）スムートホーリー関税法　（49）1929　（50）木
（51）ニューヨーク　（52）ウォール街　（53）自由放任政策　（54）フーヴァー大統領
（55）共和党　（56）フーヴァー＝モラトリアム

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【民主党フランクリン＝ローズベルト】(57)〔　　〕党の(58)〔　　〕が(59)〔　　〕年から大統領に。経済学者(60)〔　　〕的な(61)〔　　〕,(62)〔　　〕を採用。(63)〔　　〕(改革),(64)〔　　〕(回復),(65)〔　　〕(救済）の３R政策がスローガン。

具体的政策内容としては，農業の生産統制や農産物価格の引き上げをもくろむ(66)〔　　〕((67)〔　　〕)。生産統制による需給(じゅきゅう)バランスの回復と有効需要(じゅよう)（購買力）の上昇のための賃金の上昇と労働者の団結権と団体交渉権，最低賃金の保障などをもくろむ(68)〔　　〕((69)〔　　〕)。これらは1935年に連邦最高裁判所で違憲(いけん)判決。ただし労働条項だけを切り離して(70)〔　　〕で労働者の団結権と団体交渉権を承認した。AFL（アメリカ労働総同盟）から脱退し不熟練工を組織した(71)〔　　〕が38年にルイスにより成立した。金融恐慌対策としては34年に管理通貨制に。失業者救済として33年の(72)〔　　〕など。弱者救済として(73)〔　　〕が成立した（1935年）。

対外政策としては，経済進出に重点をおく(74)〔　　〕。1933年に(75)〔　　〕を承認，またウルグアイの首都モンテビデオにおける第７回パン＝アメリカ会議で国務長官(76)〔　　〕が善隣外交を表明。1934年には(77)〔　　〕の独立を承認，(78)〔　　〕独立法で10年後の独立を約束。1935年には中立法。ニューディール政策は1937年の新たな恐慌で失敗。実際，景気回復は第二次世界大戦の開始による。独ソ戦開始の1941年，議会は(79)〔　　〕を可決しアメリカは以後完全に孤立外交を放棄する。

日本はヨーロッパが戦場になっていた(80)〔　　〕の時期，明治以降の太糸厚地(ふといとあつじ)布部門のほかに，新たに細糸薄地(ほそいとうすじ)布部門つまりイギリスが東南アジアに売っていた紡績部門に進出したことにより，日英貿易摩擦(ぼうえきまさつ)がはじまり結果として1922年に日英同盟が破棄された。1929年の「世界恐慌」ののち「(81)〔　　〕」で30年代にアメリカ市場からの締め出しが始まると，日本はイギリス領の東南アジアに本格的に売り込みを開始し，日英貿易摩擦が深刻な問題になる。イギリス首相(82)〔　　〕は，1940年代になると本格的にアメリカの(83)〔　　〕に対日戦を迫るようになる。そのような背景の中で，英米は日本と戦闘状態にある蔣介石援助を(84)〔　　〕でおこなった。(85)〔　　〕の妻は後の1943年の(86)〔　　〕で通訳をした(87)〔　　〕の(88)〔　　〕だ。1939年６月に日本軍が天津のイギリス租界を封鎖するという事件が起きると，７月アメリカは日米通商航海条約の破棄を宣言し，それが1940年１月に失効してしまう。

解答

(57) 民主　(58) フランクリン＝ローズベルト　(59) 1933　(60) ケインズ
(61) 修正資本主義　(62) ニューディール政策　(63) reformation　(64) recovery
(65) relief　(66) 農業調整法　(67) AAA　(68) 全国産業復興法　(69) NIRA
(70) ワグナー法　(71) CIO（＝産業別組織会議）　(72) テネシー川流域開発公社（TVA）
(73) 社会保障法　(74) 善隣(ぜんりん)外交　(75) ソ連　(76) ハル　(77) キューバ
(78) フィリピン　(79) 武器貸与法　(80) 第一次世界大戦　(81) スムートホーリー関税法
(82) チャーチル　(83) フランクリン＝ローズベルト　(84) 援蔣ルート　(85) 蔣介石
(86) カイロ会談　(87) 浙江財閥　(88) 宋美齢

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(89)〔　　〕年９月１日，第二次世界大戦勃発。(90)〔　　〕年９月 23 日に日本が援蔣ルートを遮断(しゃだん)するため (91)〔　　〕に侵攻した４日後の 27 日に (92)〔　　〕が成立した。日本はアメリカの参戦を回避するため，外相松岡洋右(まつおかようすけ)の締結した日独伊三国同盟にソ連を引き込んだ四国同盟を模索(もさく)したが，41 年に (93)〔　　〕つまりドイツがソ連に攻め込んでそれは幻(まぼろし)に終わった。

アメリカは 1940 年７月から 1941 年１月まで相次いで日本製品の輸出を禁止した。７月 26 日には日本との一切の取引を統制下におき日本人の在米資産までも凍結してしまった。また７月 28 日日本が石油地帯で太平洋への軍事拠点である (94)〔　　〕に侵攻したことから，フィリピン防衛のため８月１日アメリカは (95)〔　　〕を発表した。当時の日本は天然(てんねん)資源の 80％をアメリカに依存していた。日本の駐米大使は仏領インドシナ以外には侵攻しないから禁輸を解くよう頼んだ。８月 14 日には (96)〔　　〕がチャーチルとフランクリン＝ローズベルトにより発表された。

1941 年 11 月 26 日に国務長官コーデル＝ハルがいわゆる (97)〔　　〕をつきつけた。その内容は日本に以下のことを要求するものだった。

◇三国同盟破棄◇重慶の蔣介石政権のみを正統とせよ。つまり日本の傀儡(かいらい)政権，**汪兆銘の南京国民政府は無視し，満州から撤退せよ。◇仏領インドシナから撤退せよ。これが石油の禁輸解除の条件**だった。

これは夏以前の交渉でのアメリカの主張に比べ格段に強硬(きょうこう)なものであった。アメリカ側からすれば日米関係を改善するために必要事項を列挙(れっきょ)したのがこの項目である。(98)〔　　〕内閣はこれをアメリカからの最後通牒(つうちょう)と受け止め，12 月１日の御前会議で開戦を決める。そして 1941 年日本時間 (99)〔　　〕月 (100)〔　　〕日午前２時 30 分英領マレー半島に上陸，午前３時 19 分に (101)〔　　〕の (102)〔　　〕攻撃がなされた。戦艦アリゾナなどを撃沈，米兵の死者は 2343 人，不明者は 916 人。日本側の損害は 29 機だった。

解答

(89) 1939　(90) 1940　(91) 北部仏領インドシナ　(92) 日独伊三国同盟　(93) 独ソ戦
(94) 南部仏領インドシナ　(95) 石油の禁輸(きんゆ)　(96) 大西洋憲章　(97) ハル＝ノート
(98) 東条英機(とうじょうひでき)　(99) 12　(100) 8　(101) ハワイ　(102) 真珠湾(しんじゅわん)

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 48 講　テスト

1　以下のうち，1898 年の出来事でないのは。
①　ハワイ併合
②　グアム併合
③　フィリピン併合
④　ドミニカ併合

2　セオドア＝ローズベルト大統領に関する記述のうち誤りは。
①　共和党の政治家である
②　パナマ運河地帯を租借した
③　ポーツマス条約を調停した
④　ドル外交を展開した

3　以下の事象のうち，1920 年代のアメリカ合衆国に該当しないものは。
①　サッコ＝ヴァンゼッティ事件
②　排日移民法
③　ラジオ放送開始
④　フォード社が量産方式を開発

4　以下の記述のうち，フランクリン＝ローズベルト大統領に当てはまらないのは。
①　ソ連を承認した
②　キューバの独立を認めた
③　フィリピンの独立を認めた
④　在任中に世界恐慌が始まった

5　ワシントン会議を開催した大統領は。
①　ウイルソン
②　ハーディング
③　クーリッジ
④　フーバー

6　以下の事象を古い順に並べた場合に３番目にくるものは。
①　日独伊三国同盟締結
②　日本による真珠湾攻撃
③　独ソ戦開始
④　第二次世界大戦勃発

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第48講　テスト解答

1　④　　2　④　　3　④　　4　④　　5　②　　6　③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 49 講
東南アジア＆フランス近現代史・戦後アメリカ合衆国史

1

【シンガポール】シンガポールはイギリス人 (1)〔　　〕が (2)〔　　〕年にジョホール王から買収した島だ。（ラッフルズはボロブドゥールも発見する）18 〜 19 世紀にかけてイギリスはその (3)〔　　〕と (4)〔　　〕と (5)〔　　〕を結び (6)〔　　〕を形成する。香港とならびイギリスの東アジアの二大拠点となった。この海峡植民地を面に広げたのが (7)〔　　〕年の (8)〔　　〕だ。それが現在の (9)〔　　〕と (10)〔　　〕となる。

【マレーシア】マレーシアは第二次世界大戦後にイギリスから独立しマレーシア連邦（1963）になる。シンガポールは (11)〔　　〕年に (12)〔　　〕から独立した。

シンガポールは (13)〔　　〕の島。(14)〔　　〕は (15)〔　　〕の権威主義政府。シンガポールが清潔なのは彼が潔癖（けっぺき）だからだ。

マレーシアはマレー系が多数を占める複合多民族国家。マレー人優遇政策 (16)〔　　〕を採ったのが (17)〔　　〕首相。スローガンは「(18)〔　　〕」で，日本や韓国をモデルとして経済発展を目ざした。

【タイ】タイは (19)〔　　〕王（(20)〔　　〕）が (21)〔　　〕（1855 年）でイギリスに経済開放したが，(22)〔　　〕王（(23)〔　　〕）が近代化に成功，英仏の緩衝（かんしょう）地帯という地理的要因も加わり独立を保持した。

【ミャンマー】ミャンマーは 1930 年代に (24)〔　　〕の (25)〔　　〕が反英運動を展開，戦争中は親日から反日に転じ戦後独立した。1988 年にビルマをミャンマーと改称した。社会主義的な軍事政権にたいし民主化運動を展開しているのが (26)〔　　〕だ。

【ベトナム】ベトナムには (27)〔　　〕年に (28)〔　　〕が成立した。(29)〔　　〕が侵略し (30)〔　　〕の (31)〔　　〕（(32)〔　　〕年）で (33)〔　　〕川河口地域**コーチシナ東部を獲得。後にカンボジア**（1863 年）**もコーチシナ西部**（1867 年）**を獲得**した。(34)〔　　〕は (35)〔　　〕で抵抗した。

第 3 共和政のフランスが帝国主義政策を採り，(36)〔　　〕年の (37)〔　　〕（アルマン条約）で中

解答

（1）ラッフルズ　（2）1819　（3）シンガポール　（4）マラッカ　（5）ペナン島
（6）海峡植民地　（7）1895　（8）英領マレー連合州　（9）マレーシア
（10）シンガポール　（11）1965　（12）マレーシア　（13）華僑　（14）リー＝クアン＝ユー
（15）開発独裁　（16）ブミプトラ政策　（17）マハティール　（18）ルック・イースト
（19）モンクット　（20）ラーマ４世　（21）ボウリング条約　（22）チュラロンコン大
（23）ラーマ５世　（24）タキン党　（25）アウン＝サン　（26）アウンサン・スー・チー
（27）1802　（28）阮朝越南　（29）ナポレオン３世　（30）仏越戦争　（31）サイゴン条約
（32）1862　（33）メコン　（34）劉永福（りゅうえいふく）　（35）黒旗軍（こっきぐん）　（36）1883　（37）ユエ条約

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

部 (38)〔　　〕や北部 (39)〔　　〕の宗主権を認めさせると, (40)〔　　〕((41)〔　　〕年～ (42)〔　　〕年）となる。(43)〔　　〕年の (44)〔　　〕でフランスは清に勝利し, (45)〔　　〕年に (46)〔　　〕･(47)〔　　〕･(48)〔　　〕･(49)〔　　〕から成る (50)〔　　〕が成立した。後に (51)〔　　〕が編入された ((52)〔　　〕年)。

【インドネシア】オランダは (53)〔　　〕建設以降インドネシア支配を深化。ジャワ島の反乱を収拾した (54)〔　　〕年, (55)〔　　〕島で (56)〔　　〕が (57)〔　　〕を始めた。**農民に一定の畑にコーヒー・砂糖・藍などヨーロッパで高く売れる商品作物を栽培させた。**主食を作れず餓死する農民もでた。

オランダ支配に最後まで頑強に抵抗したのが (58)〔　　〕西端の (59)〔　　〕のイスラーム教徒だ。アチェ戦争の最中の (60)〔　　〕年に (61)〔　　〕(現インドネシア）が成立した。

オランダへの抵抗運動として (62)〔　　〕。**アジア初の共産党はインドネシア共産党（1920 年）**だが, 独立運動は (63)〔　　〕の (64)〔　　〕によって成し遂げられた。旧日本兵の協力で (65)〔　　〕に勝利し (66)〔　　〕年の (67)〔　　〕で独立を達成した。スカルノは故郷 (68)〔　　〕で (69)〔　　〕年に初の有色人種の会議, (70)〔　　〕を開き (71)〔　　〕の形成が始まる。(72)〔　　〕(民族･イスラーム・共産主義）をスローガンにしたので共産党が勢力拡大, (73)〔　　〕年の (74)〔　　〕でスカルノは失脚, (75)〔　　〕年からは (76)〔　　〕の開発独裁の時代に入る。スハルトが失脚し大統領選挙で民意を問う時に (77)〔　　〕の帰属も住民投票になり 2002 年に独立した。

【フィリピン】フィリピンはハプスブルク家がスペイン王カルロス 1 世の時に到達し息子の名前から命名された。その (78)〔　　〕の (79)〔　　〕年に (80)〔　　〕により (81)〔　　〕が建設され, (82)〔　　〕による (83)〔　　〕の中継地となる。以後 300 年, 現地語とスペイン語が融合し (84)〔　　〕が形成される。

(85)〔　　〕はスペイン留学中に自由主義思想に接し民族意識に目覚め帰国後「(86)〔　　〕」を結成し独立闘争を主導したが捕らえられ処刑, 遺志(いし)を受け継いだ (87)〔　　〕が結社 (88)〔　　〕をつくる。そのメンバーの (89)〔　　〕が (90)〔　　〕で合衆国を支持し (91)〔　　〕としてスペインからの独立を宣言したが結局, アメリカ合衆国の統治下に入り, アギナルドは流刑となった。

解答

(38) アンナン　(39) トンキン　(40) 清仏戦争　(41) 1884　(42) 1885　(43) 1885
(44) 天津条約　(45) 1887　(46) コーチシナ　(47) カンボジア　(48) アンナン
(49) トンキン　(50) フランス領インドシナ連邦　(51) ラオス　(52) 1899
(53) バタヴィア　(54) 1830　(55) ジャワ　(56) ファン＝デン＝ボス
(57) 強制栽培制度　(58) スマトラ島　(59) アチェ　(60) 1904
(61) オランダ領東インド　(62) サレカット＝イスラーム　(63) インドネシア国民党
(64) スカルノ　(65) ムルデカ（独立）闘争　(66) 1949　(67) ハーグ協定
(68) バンドン　(69) 1955　(70) アジア＝アフリカ（A=A）会議　(71) 第三世界
(72) ナサコム　(73) 1965　(74) 九・三〇事件　(75) 1968　(76) スハルト
(77) 東ティモール　(78) フェリペ２世　(79) 1571　(80) レガスピ　(81) マニラ
(82) ガレオン船　(83) アカプルコ貿易　(84) タガログ語　(85) ホセ・リサール
(86) フィリピン民族同盟　(87) ボニファシオ　(88) カティプナーン　(89) アギナルド
(90) 米西戦争　(91) マロロス共和国

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2

【フランス第３共和政　1870～1940年】プロイセンに(1)〔　　〕と(2)〔　　〕を奪われた。しかも(3)〔　　〕でドイツ帝国の建国式典が開催される屈辱。

この(4)〔　　〕年に武装解除に応じないパリ市民が**初の労働者による政権**である(5)〔　　〕を72日間にわたりつくった。**「石割(いしわり)」で農民を描いた**(6)〔　　〕主義の画家(7)〔　　〕も参加したが，(8)〔　　〕のヴェルサイユ臨時政府とプロイセンに鎮圧された。

第３共和国憲法は1875年に制定された。三権分立・二院制・男子普通選挙。小党分立で政情不安がつづく。敗北主義の第３共和国で起きた対独強硬派の軍人クーデター未遂(みすい)事件が(9)〔　　〕。ユダヤ人冤罪事件が(10)〔　　〕年の(11)〔　　〕。作家(12)〔　　〕は「(13)〔　　〕」という声明文を発表した。この事件は(14)〔　　〕のきっかけになる。

フランス革命100周年の(15)〔　　〕年のパリ万博で(16)〔　　〕が完成。

1901年には(17)〔　　〕など進歩的共和派が大同団結して(18)〔　　〕が結成された。(19)〔　　〕年の(20)〔　　〕で，教育の世俗化・国家と教会の分離が決定した。

社会主義が台頭し1895年にフランス労働総同盟が結成された。議会主義を否定する直接行動による革命を主張する(21)〔　　〕（労働組合主義）の傾向が強かった。

(22)〔　　〕年には(23)〔　　〕を指導者に(24)〔　　〕が結成された。

第一次世界大戦でフランスは列強中最大の損害を被る。ロシア革命でソヴィエト政権が債務破棄宣言をしたので経済苦境に陥り，ドイツにたいしては敵愾心(てきがいしん)がつのる。1917～20年の(25)〔　　〕内閣は(26)〔　　〕**条約で過大な賠償請求を貫徹(かんてつ)**，1922～24年の(27)〔　　〕内閣では(28)〔　　〕を強行した。

(29)〔　　〕年に成立した左翼連合内閣，急進社会党の(30)〔　　〕内閣のもと外相(31)〔　　〕は**対独協調路線に転じ**，アメリカの(32)〔　　〕をうけて**ルールから撤退**した。(33)〔　　〕年の(34)〔　　〕で協調ムードが高まり，アメリカ国務長官(35)〔　　〕との協定をベースに(36)〔　　〕年に(37)〔　　〕が結ばれた。

解答

（１）アルザス　（２）ロレーヌ　（３）ヴェルサイユ宮殿「鏡の間」　（４）1871
（５）パリコミューン　（６）写実　（７）クールベ　（８）ティエール
（９）ブーランジェ事件　（10）1894　（11）ドレフュス事件　（12）エミール＝ゾラ
（13）わたしは弾劾(だんがい)する　（14）シオニズム運動　（15）1889　（16）エッフェル塔
（17）クレマンソー　（18）急進社会党　（19）1905　（20）政教分離法
（21）サンディカリズム　（22）1905　（23）ジャン＝ジョレス　（24）フランス社会党
（25）クレマンソー　（26）ヴェルサイユ　（27）ポワンカレ　（28）ルール占領
（29）1924　（30）エリオ　（31）ブリアン　（32）ドーズ案　（33）1925
（34）ロカルノ条約　（35）ケロッグ　（36）1928　（37）（パリ）不戦条約

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

世界恐慌対策には遅れをとり 1934 年には**植民地経済会議フラン＝ブロックの結成を決定**した。1933 年ドイツにヒトラー政権が誕生，フランスはソ連の国連加盟を仲介，**フランス知識層は反ファシズム**になびく。代表として，『**狭き門**』の (38)〔　　〕，『**ジャン＝クリストフ**』の (39)〔　　〕，**ラジウム**の発見者 (40)〔　　〕など。

(41)〔　　〕で採択された戦術に基づき社会党・急進社会党・共産党で (42)〔　　〕を結成，社会党 (43)〔　　〕首班の人民戦線内閣が成立したが統制経済の失敗と共産党と急進社会党の対立で崩壊，急進社会党の (44)〔　　〕政権になり (45)〔　　〕でヒトラーに (46)〔　　〕政策。

(47)〔　　〕年６月 14 日にパリが陥落。７月にはナチスの傀儡政権 (48)〔　　〕首班の (49)〔　　〕が誕生し (50)〔　　〕が崩壊した。(51)〔　　〕はロンドンに (52)〔　　〕をつくり抗戦を呼びかける。(53)〔　　〕年６月６日連合軍が (54)〔　　〕を総司令官に (55)〔　　〕に上陸し８月にパリが解放される。(56)〔　　〕に参加した共産党も参加した臨時政府から 1946 年の第４共和政成立にかけては共産党や社会党が優位でド＝ゴールははじき出された。

解答

(38) アンドレ＝ジイド　(39) ロマン＝ロラン　(40) キューリー夫妻
(41) 第７回コミンテルン大会　(42) 人民戦線　(43) レオン＝ブルム
(44) ダラディエ　(45) ミュンヘン　(46) 宥和　(47) 1940　(48) ペタン
(49) ヴィシー政府　(50) 第３共和政　(51) ド＝ゴール　(52) 自由フランス政府
(53) 1944　(54) アイゼンハウアー　(55) ノルマンディー　(56) レジスタンス

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3 戦後フランス史

【第４共和政】(1)〔　　〕首相時の(2)〔　　〕年の(3)〔　　〕で(4)〔　　〕が終結。入れ替わり(5)〔　　〕の独立運動が激化した。**フランス人植民者（コロン）が頑強（がんきょう）に抵抗しアルジェリア駐留フランス軍も反乱**を起こしたので，それを収拾するために憲法を改正し大統領権限を強化して(6)〔　　〕が再登場した。

【第５共和政】(7)〔　　〕年成立→(8)〔　　〕年原爆実験→(9)〔　　〕年(10)〔　　〕でアルジェリア独立→(11)〔　　〕年中華人民共和国を承認→(12)〔　　〕年(13)〔　　〕から脱退→(14)〔　　〕年(15)〔　　〕。**反ド＝ゴールの学生・インテリ・労働者の運動**。(16)〔　　〕主義の(17)〔　　〕と連れ合いの(18)〔　　〕が精神的指導者。

ド＝ゴール主義とは反アングロ＝サクソンつまり反英米。イギリスを「アメリカのトロイの木馬」と呼んでイギリスの(19)〔　　〕加盟を拒否した。だからイギリスはEECに対抗するために，1960年に(20)〔　　〕をつくったが1984年から徐々にECとの統合がすすんだ。

1980年代は社会党(21)〔　　〕政権。パリ市長(22)〔　　〕と保革共存（ほかくきょうぞん）政権（コアビタシオン）。1995年からシラクが大統領。ド＝ゴール主義者のシラクは(23)〔　　〕調印直前に(24)〔　　〕のムルロワ環礁（かんしょう）で核実験。タヒチは(25)〔　　〕派の画家(26)〔　　〕が描いた島だ。

2009年(27)〔　　〕大統領はイスラーム教徒の女性のヘジャブ（頭を覆（おお）う布）禁止を政教分離法（1905年）を根拠に宣言し物議をかもした。

シューマンはロレーヌ出身のフランス外相。インナーシックスは(28)〔　　〕・(29)〔　　〕・(30)〔　　〕・(31)〔　　〕・(32)〔　　〕・(33)〔　　〕で(34)〔　　〕（1950年）による(35)〔　　〕，(36)〔　　〕（1957年）による(37)〔　　〕そして(38)〔　　〕年の(39)〔　　〕の原初加盟６カ国だ。拡大ECは(40)〔　　〕年(41)〔　　〕・(42)〔　　〕・(43)〔　　〕，(44)〔　　〕年(45)〔　　〕・(46)〔　　〕年(47)〔　　〕・(48)〔　　〕が加盟。(49)〔　　〕年の(50)〔　　〕が発効し，(51)〔　　〕年に(52)〔　　〕が発足した。

解答

（１）マンデス＝フランス　（２）1954　（３）ジュネーブ協定　（４）インドシナ戦争
（５）アルジェリア　（６）ド＝ゴール　（７）1958　（８）1960　（９）1962
（10）エヴィアン協定　（11）1964　（12）1966　（13）NATOの軍事部門　（14）1968
（15）五月危機　（16）実存　（17）サルトル　（18）ボーヴォワール
（19）EEC（ヨーロッパ経済共同体）　（20）EFTA（ヨーロッパ自由貿易連合）
（21）ミッテラン　（22）シラク　（23）CTBT（包括的核実験停止条約）　（24）タヒチ
（25）後期印象　（26）ゴーガン　（27）サルコジ　（28）西ドイツ　（29）フランス
（30）イタリア　（31）ベルギー　（32）オランダ　（33）ルクセンブルク
（34）シューマン＝プラン　（35）ECSC（石炭鉄鋼共同体）　（36）ローマ条約
（37）EEC（経済共同体），EURATOM（原子力共同体）　（38）1967
（39）EC（ヨーロッパ共同体）　（40）1973　（41）イギリス　（42）アイルランド
（43）デンマーク　（44）1981　（45）ギリシア　（46）1986　（47）スペイン
（48）ポルトガル　（49）1992　（50）マーストリヒト条約　（51）1993
（52）EU（ヨーロッパ連合）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4 ベトナム現代史

【仏領インドシナ連邦】(1)〔　　〕年に (2)〔　　〕が成立した。(3)〔　　〕は明治維新をモデルに (4)〔　　〕をつくり日本に留学，(5)〔　　〕を展開した。1905 年，日露戦争の勝利に沸く東京への遊学だ。(6)〔　　〕はハノイに慶應義塾（けいおうぎじゅく）を範に (7)〔　　〕をつくる。

しかし当の日本は気分は白人, 1907 年の (8)〔　　〕でフランスにベトナム留学生の名を密告する。

辛亥革命に刺激されて 1912 年にファン＝ボイ＝チャウが設立した反仏秘密結社が (9)〔　　〕。

【ホー＝チ＝ミン登場】ホー＝チ＝ミンは 1925 年に (10)〔　　〕を結成, (11)〔　　〕年には (12)〔　　〕（コミンテルンが (13)〔　　〕という広域の政党名に改称するよう指導）を結成した。抗仏組織だ。

だが，日本が 1940 年に仏領インドシナに侵攻してしまう。ホー＝チ＝ミンは抗日に転じ，(14)〔　　〕((15)〔　　〕) を結成する。日本敗退の直後にベトミンが (16)〔　　〕（首都 (17)〔　　〕）になった。

【第二次世界大戦後】フランスとの戦争が (18)〔　　〕(1946 ～ 54)。インドシナの共産化阻止のためアメリカも協力しホー＝チ＝ミン軍と戦うが，(19)〔　　〕でホー＝チ＝ミン軍が勝利する。(20)〔　　〕年の (21)〔　　〕でインドシナ戦争は終結し (22)〔　　〕・(23)〔　　〕・(24)〔　　〕が独立することになったがアメリカは調印しなかった。

【独立後】フランス軍がインドシナ戦争中にサイゴンにつくった傀儡が (25)〔　　〕の (26)〔　　〕政権。フランスが敗退した後，アメリカはサイゴン政府を (27)〔　　〕政権（(28)〔　　〕＝南ベトナム）にすげ替えた。しかし，同カトリック政権は腐敗した政権で仏教を弾圧，僧侶たちは焼身自殺で抗議した。

1960 年ホー＝チ＝ミンは (29)〔　　〕((30)〔　　〕) を結成，ゲリラを南に潜入させた。ベトコンは南ベトナムのゴ政権の独裁から北に逃れてきた南の住民だ。ホー＝チ＝ミンに促され南に戻った住民は共産主義に傾倒する。南北ベトナム共産化の危機に (31)〔　　〕政権のアメリカは (32)〔　　〕を口実に (33)〔　　〕年 (34)〔　　〕を開始し (35)〔　　〕となった。

解答

（1）1887　（2）フランス領インドシナ連邦　（3）ファン＝ボイ＝チャウ　（4）維新会
（5）東遊（ドンズー）運動　（6）ファン＝チュー＝チン　（7）東京義塾　（8）日仏協約
（9）ベトナム光復会　（10）ベトナム青年同志会　（11）1930　（12）ベトナム共産党
（13）インドシナ共産党　（14）ベトナム独立同盟会　（15）ベトミン
（16）ベトナム民主共和国　（17）ハノイ　（18）インドシナ戦争
（19）ディエンビエンフーの戦い　（20）1954　（21）ジュネーブ協定　（22）ベトナム
（23）ラオス　（24）カンボジア　（25）ベトナム国　（26）バオ＝ダイ
（27）ゴ＝ディン＝ジエム　（28）ベトナム共和国　（29）南ベトナム解放民族戦線
（30）ベトコン　（31）ジョンソン　（32）トンキン湾事件　（33）1965　（34）北爆
（35）ベトナム戦争

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ジャングル戦に慣れないアメリカ軍は枯葉剤（かれはざい）を使用する。(36)〔　　〕年ベトナムの旧正月の(37)〔　　〕でベトコンが大勝しアメリカは撤退を模索する。(38)〔　　〕は撤退を公約に米大統領に当選，国務長官(39)〔　　〕の尽力で(40)〔　　〕年の(41)〔　　〕で撤退した。(42)〔　　〕年にはベトコンが(43)〔　　〕を陥落させ終戦。北が南を統一し(44)〔　　〕が誕生した（1976 年）。

【統一ベトナム】共産主義だが，1986 年には**ソ連のペレストロイカを範に市場経済化**を進めた。これを(45)〔　　〕という。
1995 年には米(46)〔　　〕政権との間に国交回復。1995 年には(47)〔　　〕（(48)〔　　〕年発足の東南アジア諸国連合）に加盟した。

解答

（36）1968　（37）テト攻勢　（38）ニクソン　（39）キッシンジャー　（40）1973
（41）パリ和平協定　（42）1975　（43）サイゴン　（44）ベトナム社会主義共和国
（45）ドイモイ（刷新）　（46）クリントン　（47）ASEAN　（48）1967

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

5 戦後アメリカ合衆国史

【民主党トルーマン】1945 年 4 月 12 日，(1)〔　　〕の死で副大統領から昇格したのが (2)〔　　〕党 (3)〔　　〕だ。外交問題では７～８月にポツダム会談に出席し，戦後の 1947 年には (4)〔　　〕政策，いわゆる (5)〔　　〕これは (6)〔　　〕と (7)〔　　〕の共産化を阻止するため。そして国務長官による欧州復興のプランが (8)〔　　〕。労働問題としては 1947 年，大統領の反対をおしきって (9)〔　　〕法が議会により成立し，労働組合幹部(かんぶ)は非共産党員であることを宣誓(せんせい)することになった。1935 年の (10)〔　　〕以後の労働運動の権利にブレーキがかかった。(11)〔　　〕を建国してユダヤ票をとりこみ 1948 年大統領に再選されると，ニューディールの小型版の (12)〔　　〕政策を実施。つまり全体の風潮としては反共，しかし政策的にはニューディール的計画主義の継続。1949 年には低開発諸国技術援助計画（(13)〔　　〕）を発表。冷戦下の反共ヒステリーで，1949 年のソ連の (14)〔　　〕成功を受けて，(15)〔　　〕の赤狩りが吹き荒れ，1950 年原爆設計スパイ容疑でローゼンバーク夫妻が処刑される。『**怒りの葡萄(ぶどう)**』で世界恐慌期の農民を描いた (16)〔　　〕も共産主義者と疑われ不遇(ふぐう)の晩年をおくった。

【共和党アイゼンハウアー】1952 年の選挙で (17)〔　　〕終結を公約に当選したのが (18)〔　　〕党 (19)〔　　〕で，彼は (20)〔　　〕の英雄。ワルシャワ条約機構が成立した (21)〔　　〕年に外交では (22)〔　　〕四巨頭会談，メンバーは (23)〔　　〕，ソ連の (24)〔　　〕，イギリスの (25)〔　　〕，フランスの (26)〔　　〕。(27)〔　　〕年の (28)〔　　〕から“恐怖の均衡(きんこう)の時代”を迎える。国務長官 (29)〔　　〕のもとで (30)〔　　〕を展開した。(31)〔　　〕の活動が活発化した。ソ連に接近し (32)〔　　〕年に (33)〔　　〕をした (34)〔　　〕の (35)〔　　〕政権転覆(てんぷく)は初の CIA によるクーデター工作で親米の (36)〔　　〕を復権させた。

1955 年にはアラバマ州都モンゴメリでの出来事をきっかけに (37)〔　　〕。いよいよ (38)〔　　〕の時代にはいる。(39)〔　　〕が活躍する時代がやってきた。

解答

（1）フランクリン＝ローズベルト　（2）民主　（3）トルーマン　（4）封じ込め
（5）トルーマン＝ドクトリン　（6）ギリシア　（7）トルコ　（8）マーシャル＝プラン
（9）タフト＝ハートレー　（10）ワグナー法　（11）イスラエル　（12）フェアディール
（13）ポイント＝フォア　（14）原爆実験　（15）マッカーシー旋風(せんぷう)　（16）スタインベック
（17）朝鮮戦争　（18）共和　（19）アイゼンハウアー
（20）1944 年 6 月 6 日のノルマンディー上陸作戦　（21）1955　（22）ジュネーヴ
（23）アイゼンハウアー　（24）ブルガーニン　（25）イーデン　（26）フォール
（27）1957　（28）スプートニック＝ショック　（29）ダレス　（30）巻き返し政策
（31）CIA ＝中央情報局　（32）1953　（33）石油国有化宣言　（34）イラン
（35）モサデグ　（36）パフレヴィー２世　（37）バス・ボイコット事件　（38）公民権運動
（39）キング牧師

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(40)〔　　〕年の(41)〔　　〕に即時停戦決議案提出。1959 年ソ連の(42)〔　　〕と(43)〔　　〕会談。しかしながら，アメリカがポラロイド社のカメラで高度 2400 m からソ連を撮影した 1960 年の(44)〔　　〕が(45)〔　　〕ムードに水をさす。

(46)〔　　〕の巨大化に警鐘を鳴らしたのもアイゼンハウアーだ。

【民主党ケネディ】1961 ～ 63 年は(47)〔　　〕アイルランド系の(48)〔　　〕大統領。1960 年の選挙で(49)〔　　〕を掲げてニクソンを破った初の(50)〔　　〕の大統領である。

(51)〔　　〕年にはベルリン問題でソ連の(52)〔　　〕とウィーンで会談。(53)〔　　〕を提唱しラテンアメリカ諸国の開発を援助することを表明。共産主義浸透阻止が目的であるが，ベトナム戦争で余力がなくなる。(54)〔　　〕年に(55)〔　　〕((56)〔　　〕)が結成されたのを機に(57)〔　　〕を根拠に特殊部隊をベトナムに派兵。国内では黒人の(58)〔　　〕が高まる。背景には(59)〔　　〕百周年がある。

(60)〔　　〕年の(61)〔　　〕においてはソ連の(62)〔　　〕と果敢に対決しソ連のミサイル基地を撤去させた。その条件がケネディの「アメリカは将来，キューバに侵攻しない」という譲歩だったので，亡命キューバ人そして右翼に深い怨念を生んだ。1959 年のキューバ革命後，キューバからフロリダ州に亡命してきた反革命勢力を CIA は支援していたのだ。

話を戻そう。(63)〔　　〕年キューバの親米(64)〔　　〕政権は(65)〔　　〕とアルゼンチン人(66)〔　　〕により打倒され，のち**カストロは社会主義宣言しソ連に接近**，その際，**キューバにソ連のミサイル基地設置を許可**する。1961 年にアメリカの CIA（アメリカ中央情報局）とアイゼンハウアー政権を受け継いだケネディ政権は亡命キューバ人をカストロ暗殺のためにキューバのピッグズ湾に上陸させたが作戦は失敗した。1962 年，ケネディ政権はキューバにソ連のミサイル基地があることに気づきソ連に抗議，ソ連船を太平洋で臨検する（キューバ危機）。

【民主党ジョンソン】(67)〔　　〕年 11 月テキサス州(68)〔　　〕でケネディが暗殺され，副大統領のリンドン＝(69)〔　　〕が昇格。1964 年の選挙で再選された。

外交では(70)〔　　〕年の(71)〔　　〕事件をきっかけに(72)〔　　〕年(73)〔　　〕を開始しベトナム戦争に本格介入。(74)〔　　〕年のベトコンによる(75)〔　　〕（テトとはベトナムの旧正月）による大敗北を機に(76)〔　　〕。

解答

（40）1956　（41）第２次中東戦争　（42）フルシチョフ　（43）キャンプ＝デーヴィット
（44）U２型機事件　（45）雪どけ　（46）軍産複合体　（47）民主党　（48）ケネディ
（49）ニューフロンティア　（50）カトリック教徒　（51）1961　（52）フルシチョフ
（53）進歩のための同盟　（54）1960　（55）ベトコン　（56）南ベトナム解放民族戦線
（57）ドミノ理論　（58）公民権運動　（59）奴隷解放宣言　（60）1962
（61）キューバ危機　（62）フルシチョフ　（63）1959　（64）バチスタ　（65）カストロ
（66）チェ＝ゲバラ　（67）1963　（68）ダラス　（69）ジョンソン　（70）1964
（71）トンキン湾　（72）1965　（73）北爆　（74）1968　（75）テト攻勢
（76）パリ和平会談

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

内政では，(77)〔　　〕（計画）をスローガンに極端な平等化政策を展開。(78)〔　　〕年の(79)〔　　〕などケネディ政権が着手した法案が議会を通過。このころベトナム反戦運動や黒人解放運動が急進化。1968年には(80)〔　　〕暗殺事件も起きる。

ちなみに，この1968年にはパリで(81)〔　　〕，チェコでは「(82)〔　　〕」と激動の時期であり，アメリカでも反戦運動，ウーマンリブ，ポルノ解禁とポピュリズム（人民主義）が爆発，ベトナム帰還兵(きかんへい)の麻薬(まやく)中毒などの社会問題も顕在化。日本でも学生運動がピークを迎える。これら「若者たちの叛乱(はんらん)」は，モデルつまり「型」にはめ「大きな物語」で世界を描くモダニズム（近代合理主義）の超克(ちょうこく)，つまり(83)〔　　〕への意識の交替の事例である。

【共和党ニクソン】1968年の選挙はロバート＝ケネディの暗殺などで民主党が分裂，(84)〔　　〕をスローガンに(85)〔　　〕が当選。特別補佐官はハーバード大学の(86)〔　　〕が就任。1973年には国務長官に。1969～70年にはニクソン＝ドクトリンをだして「(87)〔　　〕」つまりベトナム戦争から手を引くことを宣言。1970年には(88)〔　　〕に侵攻して(89)〔　　〕政権を樹立。(90)〔　　〕年の(91)〔　　〕協定でベトナム戦争から手を引く。(92)〔　　〕陥落は(93)〔　　〕年。

70年代には貿易赤字に転じ，(94)〔　　〕年8月(95)〔　　〕の新経済政策を発表。これがニクソンショックでこうして(96)〔　　〕体制は終焉。アメリカへの信頼低下が背景にある。

ブレトン＝ウッズ体制とは何か。

1944年7月，連合国がアメリカで(97)〔　　〕を開き，世界恐慌後のブロック経済を第二次世界大戦の元凶(げんきょう)とし，**ドルを基軸通貨(きじくつうか)とする（金1オンス＝35＄）自由貿易体制**構築を企画した。経済学者(98)〔　　〕が出席。(99)〔　　〕と(100)〔　　〕＝世界銀行）設立を決定。

【ニクソン訪中】国際連合の安全保障理事会の常任理事国を(101)〔　　〕（台湾）から(102)〔　　〕に変更しつつ(103)〔　　〕年には(104)〔　　〕を訪問。これは前年の(105)〔　　〕の根回しの結果だ。キッシンジャーはロックフェラー家の番頭と呼ばれている。つまりニクソン政権は中国を冷戦の敵としてではなく市場や生産拠点としようと思ったのだ。ベトナム戦争の泥沼に「アメリカの自信」を回復させるためのカンフル剤が中華人民共和国という市場の開拓というわけだ。また，ソ連で(106)〔　　〕に調印。

解答

(77) 偉大な社会　(78) 1964　(79) 公民権法　(80) キング牧師
(81) 5月革命　(82) プラハの春　(83) ポスト＝モダン　(84) 法と秩序
(85) 共和党ニクソン　(86) キッシンジャー　(87) ベトナム戦争のベトナム化
(88) カンボジア　(89) ロン＝ノル　(90) 1973　(91) パリ　(92) サイゴン
(93) 1975　(94) 1971　(95) 金＝ドル交換停止　(96) ブレトン＝ウッズ
(97) ブレトン＝ウッズ会議　(98) ケインズ　(99) ＩＭＦ（国際通貨基金）
(100) ＩＢＲＤ（国際復興開発銀行）　(101) 中華民国　(102) 中華人民共和国
(103) 1972　(104) 北京　(105) キッシンジャー　(106) SALT（戦略兵器制限交渉）－Ⅰ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

国内では (107)〔　　〕年には (108)〔　　〕号が月面着陸に成功。1972 年の大統領選挙で，民主党本部に盗聴器を仕掛ける (109)〔　　〕に関与し，結局 1974 年に辞任した。

【共和党フォード】1974 年，ニクソン辞任に伴い副大統領より昇格したのが (110)〔　　〕。1975 年にはヤルタ体制を確認するフィンランドの (111)〔　　〕での宣言は，全欧安保協力首脳会議のときのことだ。

【民主党カーター】1977 〜 81 年は南部出身の (112)〔　　〕大統領。人権侵害のある国にそれの改善を条件に信頼醸成と経済援助をしてゆく (113)〔　　〕を展開。1977 年の (114)〔　　〕との新運河条約，トリホス＝カーター条約で 1999/12/31 の返還を約す。1978 年にはエジプトの (115)〔　　〕とイスラエルの (116)〔　　〕と (117)〔　　〕。結果イスラエルは (118)〔　　〕から撤退。1979 年には (119)〔　　〕と国交正常化。1979 年 SALT －Ⅱ調印。

しかし，(120)〔　　〕年の (121)〔　　〕革命において，(122)〔　　〕のアメリカ大使館員人質救出作戦に失敗。カーターに関しては“アメリカ史上最も無能な大統領”との評価も生まれる。

さらには 79 年 12 月，(123)〔　　〕にてイスラームの脅威を痛感したソ連の (124)〔　　〕政権が共産主義者援助を名目に (125)〔　　〕に侵攻。また中米の (126)〔　　〕には (127)〔　　〕政権誕生を許してしまう。デタントから第 2 次冷戦へ。翌 80 年の (128)〔　　〕を西側がボイコット。84 年の (129)〔　　〕はその逆東側がボイコット。

【共和党レーガン】1981 年からが (130)〔　　〕。レーガンの内政スローガンは (131)〔　　〕であるが，これは，1930 年代のニューディール以来の経済学者 (132)〔　　〕流の大きな政府の介入による面倒見のよい政府路線をやめ，(133)〔　　〕原理の復活により，社会に活力を入れるもので，シカゴ大学の (134)〔　　〕流の (135)〔　　〕に分類される。つまり (136)〔　　〕のサッチャリズムが (137)〔　　〕のモデルである。

また，(138)〔　　〕年の (139)〔　　〕で**ドル安政策**によりアメリカ経済への不信が高まる。貿易，財政の**双子の赤字**の時代である。

解答

(107) 1969　(108) アポロ 11　(109) ウォーターゲート事件　(110) フォード
(111) ヘルシンキ　(112) 民主党カーター　(113) 人権外交　(114) パナマ
(115) サダト　(116) ベギン　(117) キャンプ＝デーヴィット会談　(118) シナイ半島
(119) 中華人民共和国　(120) 1979　(121) イラン　(122) テヘラン　(123) イラン革命
(124) ブレジネフ　(125) アフガニスタン　(126) ニカラグア　(127) サンディニスタ左翼
(128) モスクワ＝オリンピック　(129) ロサンゼルス＝オリンピック　(130) レーガン
(131) 安い政府　(132) ケインズ　(133) 市場　(134) ハイエク　(135) 新自由主義
(136) イギリス　(137) レーガノミクス　(138) 1985　(139) プラザ合意

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

レーガンの外交スローガンは(140)〔　　〕。1983年にはカリブ海の(141)〔　　〕に侵攻し共産化を阻止，SDI（戦略防衛構想）をだす。(142)〔　　〕の右翼ゲリラ“(143)〔　　〕”を援助，これはイラン＝イラク戦争時に，イラン革命の際の人質となった大使館員の解放と引き換えにイランに武器を売却，その資金で援助したからできたことだ。(1986～1987年)

1981年から1989年は(144)〔　　〕といわれる保守回帰（かいき）の時代。(145)〔　　〕・(146)〔　　〕・(147)〔　　〕ら社会に活力を注入する攻撃的保守の時代である。

1985年から，ジュネーブとレイキャビクでの米ソ首脳会談を経て，1987年(148)〔　　〕が訪米，(149)〔　　〕が締結された。

【共和党ブッシュ（父）】副大統領から選挙で当選したのが，(150)〔　　〕であり1989～1993年まで務めた。1989年には環太平洋（かんたいへいよう）18カ国による(151)〔　　〕（アジア太平洋経済協力会議）を開催。同12月(152)〔　　〕で冷戦終結。また(153)〔　　〕へ侵攻し麻薬王ノリエガを逮捕した。

(154)〔　　〕年8月(155)〔　　〕の(156)〔　　〕大統領の(157)〔　　〕侵攻から(158)〔　　〕，翌(159)〔　　〕年(160)〔　　〕に。(161)〔　　〕を結成して，中東においてアメリカの存在感を示す。同時に世界はハイテク戦争の時代に突入した。

1991年(162)〔　　〕調印。1992年には(163)〔　　〕へ派兵。

【民主党クリントン】1993年からは(164)〔　　〕大統領。

1993年(165)〔　　〕でイスラエルの(166)〔　　〕とPLOの(167)〔　　〕との間に(168)〔　　〕が(169)〔　　〕地区と(170)〔　　〕（ウエストバンク）の都市(171)〔　　〕における(172)〔　　〕による(173)〔　　〕を合意。この「(174)〔　　〕」は，平和裏にパレスチナ問題を解決する方法論を表明したものである。

1993～1994年(175)〔　　〕の国連平和執行部隊は大失敗。

1993年(176)〔　　〕，(177)〔　　〕と北米自由貿易協定（(178)〔　　〕）を調印。START Ⅱ調印。1994年(179)〔　　〕（(180)〔　　〕）の枠組により北朝鮮に軽水炉（けいすいろ）や原子力発電所の開発援助と交換条件で核開発を断念させた（はずだった…）。

解答

(140) 強いアメリカ　(141) グレナダ　(142) ニカラグア　(143) コントラ
(144) 新保守主義　(145) サッチャー　(146) レーガン　(147) 中曽根康弘（なかそねやすひろ）
(148) ゴルバチョフ　(149) INF（中距離核戦力）全廃条約　(150) ブッシュ
(151) APEC　(152) マルタ会談　(153) パナマ　(154) 1990　(155) イラク
(156) サダム＝フセイン　(157) クウェート　(158) 湾岸危機（わんがんきき）　(159) 1991
(160) 湾岸戦争　(161) 多国籍軍　(162) START 戦略兵器削減交渉－Ⅰ　(163) ソマリア
(164) 民主党クリントン　(165) ホワイトハウス　(166) ラビン　(167) アラファト
(168) イスラエル　(169) ガザ　(170) ヨルダン川西岸地区　(171) イェリコ
(172) パレスチナ人　(173) 暫定自治　(174) オスロ合意　(175) ソマリア
(176) カナダ　(177) メキシコ　(178) NAFTA　(179) KEDO
(180) 朝鮮半島エネルギー開発機構

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1994年対(181)〔　　〕経済制裁終了し1995年国交回復。ボスニア和平合意。1996年には，(182)〔　　〕。これは潜在的な核開発能力を持つとされた44カ国の署名・批准が発効の要件である。うち採択後の98年に核実験に踏み切ったインドとパキスタンや北朝鮮・中国・米国も未批准である。インドとパキスタンは1999年に再び(183)〔　　〕地方で衝突している。アメリカは両国に経済制裁，しかし，2001年9月に解除した。

【共和党ブッシュ】(184)〔　　〕年(185)〔　　〕月(186)〔　　〕日に(187)〔　　〕政権の(188)〔　　〕世界貿易センターと国防総省ペンタゴンに「同時多発テロ」が起きた。これを受けて(189)〔　　〕が開始し，(190)〔　　〕政権を打倒した。同政権が，テロ実行組織(191)〔　　〕の首領(192)〔　　〕から資金提供されていたからである。

2003年には「先制的予防」から大量破壊兵器開発の疑いをぬぐえないイラクの(193)〔　　〕政権を崩壊させた。（イラク戦争）

2005年にはハリケーン「カトリーナ」に見舞われ，(194)〔　　〕川があふれ(195)〔　　〕が浸水した。

2006年にはイラク戦争の失策により国防長官ラムズフェルドが更迭された。

【民主党(196)〔　　〕】初の黒人大統領。イラク戦争は2011年12月31日に終了した。イラクからの撤退とアフガニスタン政策の強化が課題の政権となった。

解答

(181) ベトナム　(182) CTBT（包括的核実験）停止条約　(183) カシミール
(184) 2001　(185) 9　(186) 11　(187) ブッシュ　(188) ニューヨーク
(189) アフガニスタン戦争　(190) タリバーン　(191) アル＝カーイダ
(192) ウサマ・ビンラディン　(193) サダム＝フセイン　(194) ミシシッピ
(195) ニューオーリンズ　(196) オバマ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 49 講　テスト

1　次のうち，フランス第３共和国の期間中の事象でないものは。

①　ジャン＝ジョレスが社会党を結党

②　ブーランジェ事件

③　第一次世界大戦

④　カンボジアを保護国化

2　次の国を建国順に並べ替えた場合に３番目にくるのは。

①　ベトナム国

②　ベトナム共和国

③　ベトナム民主共和国

④　ベトナム社会主義共和国

3　次の出来事のうち，1960 年代に起きたのではないもの。

①　バス＝ボイコット事件

②　公民権法成立

③　キング牧師暗殺

④　キューバ危機

4　以下の人物のうち，20 世紀のヨーロッパ統合と無関係の人物は。

①　ピエール＝ド＝クーベルタン

②　ジャン＝モネ

③　ロベール＝シューマン

④　クーデンホーフ＝カレルギー

5　以下の事象を古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　9・11 同時多発テロ

②　イラク戦争開戦

③　湾岸戦争開戦

④　ハリケーン・カトリーナ

第 49 講　テスト解答

1　④　　2　②　　3　①　　4　①　　5　②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第50講
朝鮮現代史・中国現代史

1 朝鮮現代史

【日清戦争まで】19世紀後半の朝鮮（李朝）は高宗李太王の父，(1)〔　　〕が摂政となり鎖国政策を取っていた。明治維新後の日本は(2)〔　　〕を契機に(3)〔　　〕年の(4)〔　　〕で(5)〔　　〕，(6)〔　　〕，(7)〔　　〕を開港させた。皇后(8)〔　　〕に政権を奪われた大院君派のクーデターが(9)〔　　〕で，(10)〔　　〕（一族による寡頭政治）を展開した閔氏一族も日本公使も殺害された。親日派(11)〔　　〕で(12)〔　　〕（1884年）というクーデターに失敗し，閔妃の刺客に暗殺されたのが(13)〔　　〕。清を宗主国とする事大主義がいまだ根深かったことを示す事件だ。この事件の(14)〔　　〕の約束にしたがい，(15)〔　　〕の鎮圧を口実に日清両国が出兵し衝突したのが(16)〔　　〕だ。東学とはキリスト教（西学）に対抗し1860年頃に(17)〔　　〕が起こした思想で，(18)〔　　〕が東学党の乱の指導者だった。

【日露戦争まで】1895年の下関条約で日本は遼東半島を獲得したが，李鴻章がロシアに接近，結果ロシアは(19)〔　　〕と(20)〔　　〕し同半島を返還させた。朝鮮ではあせった日本が閔妃を殺害して非難をうけたのを契機に高宗がロシアに接近し，(21)〔　　〕年に親露の(22)〔　　〕ができた。翌(23)〔　　〕年に，ロシアが清から(24)〔　　〕・(25)〔　　〕を租借した。ウラジオストーク港は冬に凍結するからだ。

1900年の義和団の乱後もロシアは満州から退かなかったことが，(26)〔　　〕年の(27)〔　　〕に原因になる。そして1903年にシベリア鉄道が完成し清から租借した(28)〔　　〕とつながる脅威と日露交渉の決裂，さらにはロシアが朝鮮の龍岩浦を租借し，鴨緑江を越えて森林伐採をしたことが(29)〔　　〕年の(30)〔　　〕の原因だ。

解答

（1）大院君　（2）江華島事件　（3）1876　（4）日朝修好条規　（5）釜山
（6）仁川　（7）元山　（8）閔妃　（9）壬午軍乱　（10）勢道政治　（11）開化派
（12）甲申事変　（13）金玉均　（14）天津条約　（15）甲午農民戦争（東学党の乱）
（16）日清戦争　（17）崔済愚　（18）全琫準　（19）独仏　（20）三国干渉　（21）1897
（22）大韓帝国　（23）1898　（24）旅順　（25）大連　（26）1902　（27）日英同盟
（28）東清鉄道　（29）1904　（30）日露戦争

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【韓国併合まで】1905 年の (31)〔　　〕の同年，日米は桂（かつら）= タフト協定で日本の朝鮮，米のフィリピン，英のインド支配を相互承認。1905 年の (32)〔　　〕で (33)〔　　〕((34)〔　　〕) を設置，1907 年の (35)〔　　〕の翌月の (36)〔　　〕で内政権も掌握したので反日 (37)〔　　〕が激化した。この年，日本は日仏協約でフランスのベトナム支配，日露協約でロシアのモンゴル支配を，日本の朝鮮支配承認と交換で承認した。この時期は帝国主義時代まっただ中。ハーグのある (38)〔　　〕ですら 1904 年に (39)〔　　〕（現インドネシア）を成立させている。だからハーグの (40)〔　　〕は高宗の訴えを却下した。1909 年には，義兵の (41)〔　　〕がハルビンで (42)〔　　〕を暗殺。翌 (43)〔　　〕年には (44)〔　　〕がなされ，(45)〔　　〕（寺内正毅（てらうちまさたけ））が設置された。

【独立まで】**韓国併合後，日本は**はじめは**武断政治**ついで**文化政策**を実施した。第一次世界大戦終結時の**パリ講和条約において「民族自決」**が唱えられると，高宗李太王の葬儀に集まった群集による (46)〔　　〕がソウルで起きた。

1930 年代，日本が軍国主義の時代にはいると創氏改名（そうしかいめい）・神社参拝強制などの一連の (47)〔　　〕が実施された。朝鮮共産党は 1925 年に結成されたが, 第二次世界大戦中には (48)〔　　〕が (49)〔　　〕を敢行（かんこう）した。

戦後は，(50)〔　　〕以北をソ連が，以南をアメリカ合衆国が占領し，(51)〔　　〕年に (52)〔　　〕を首都として (53)〔　　〕が (54)〔　　〕を大統領として，(55)〔　　〕を首都として (56)〔　　〕が (57)〔　　〕を首相として発足した。

解答

(31) ポーツマス条約　(32) 第 2 次日韓協約　(33) 韓国統監府（とうかんふ）　(34) 伊藤博文
(35) ハーグ密使事件　(36) 第 3 次日韓協約　(37) 義兵闘争　(38) オランダ
(39) オランダ領東インド　(40) 万国平和会議　(41) 安重根（あんじゅうこん）　(42) 伊藤博文
(43) 1910　(44) 韓国併合　(45) 朝鮮総督府　(46) 三・一運動　(47) 皇民化政策
(48) 金日成（きんにっせい）　(49) 抗日パルチザン　(50) 北緯 38 度　(51) 1948　(52) ソウル
(53) 大韓民国　(54) 李承晩（りしょうばん）　(55) ピョンヤン（平壌）　(56) 朝鮮民主主義人民共和国
(57) 金日成

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【独立後】1949年10月1日に中華人民共和国が成立，1950年に(58)〔　　〕が締結されると，北朝鮮が南進し(59)〔　　〕まで迫り，(60)〔　　〕が勃発した。ソ連がボイコットした国連安保理は北の侵略とみなし(61)〔　　〕を総司令官として国連軍を結成し(62)〔　　〕に上陸し(63)〔　　〕まで押し上げた。スターリンは毛沢東に指令を出し(64)〔　　〕が結成され，人間の盾を作って南進，マッカーサーは原爆使用を主張して解任された。ソ連マリク外相の提唱で，まず開城そして(65)〔　　〕で休戦交渉がはじまり(66)〔　　〕年に休戦となった。

朝鮮戦争の間に(67)〔　　〕で日本は戦勝国と講和，同時に(68)〔　　〕を締結し，(69)〔　　〕(現在の自衛隊) が発足した。また，アメリカ大統領がトルーマンからアイゼンハウアーになった。韓国は(70)〔　　〕が(71)〔　　〕をすすめ北朝鮮を凌駕 ((72)〔　　〕)，また(73)〔　　〕年(74)〔　　〕で日本との国交が回復した。1973年には民主化運動の指導者(75)〔　　〕が東京のホテルから拉致された。(76)〔　　〕は民主化運動を弾圧して大統領に就任（＝(77)〔　　〕）した。(78)〔　　〕の1988年にソウル五輪が開催され，1991年南北が国連に同時加盟した。久々の文民大統領(79)〔　　〕の1994年にアメリカ合衆国とともに(80)〔　　〕(朝鮮半島エネルギー開発機構) の枠組みが開始し，北朝鮮が核開発をしないことと交換条件に軽水炉や原子力発電所開発を援助することになったが，アメリカも韓国も日本も見事に金正日に騙された。1998年からは(81)〔　　〕が大統領になり韓国が本格的に民主化した。2000年には(82)〔　　〕との南北首脳会談，そして北朝鮮宥和政策である(83)〔　　〕を展開した。

解答

(58) 中ソ友好同盟相互援助条約　(59) 釜山　(60) 朝鮮戦争　(61) マッカーサー

(62) 仁川　(63) 鴨緑江　(64) 中国義勇軍　(65) 板門店　(66) 1953

(67) サンフランシスコ講和条約　(68) 日米安全保障条約　(69) 警察予備隊

(70) 朴正熙　(71) 開発独裁　(72) 漢江の奇跡　(73) 1965　(74) 日韓基本条約

(75) 金大中　(76) 全斗煥　(77) 光州事件　(78) 盧泰愚　(79) 金泳三

(80) KEDO　(81) 金大中　(82) 金正日　(83) 太陽政策

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2 中国革命史

【辛亥革命→中華民国】1911年清朝が，北京議定書における莫大な賠償金を支払うために外国から借金をする際の担保とするため，(1)〔　　〕宣言を出し鉄道経営を列強に委ねようとすると，(2)〔　　〕が起き，それを鎮圧するため湖北（こほく）新軍が派遣されたが，(3)〔　　〕年(4)〔　　〕月(5)〔　　〕日に中国同盟会員が画策した(6)〔　　〕の新軍が(7)〔　　〕した。これが(8)〔　　〕（第一革命）で，14省が独立を宣言し，(9)〔　　〕年１月１日に(10)〔　　〕が建国され(11)〔　　〕が(12)〔　　〕で(13)〔　　〕になった。（辛亥革命の当日，孫文はアメリカ・コロラド州に滞在中でホテルの英字新聞で革命を知った。）清朝は袁世凱に全権を委任し革命政府討伐軍の司令官としたが，(14)〔　　〕は革命派と取引し２月に宣統帝溥儀を退位させた。３月に袁世凱は孫文との約束を破り南京ではなく(15)〔　　〕で臨時大総統に就任した。憲法制定までの暫定（ざんてい）基本法が(16)〔　　〕だ。

(17)〔　　〕は1912年に中国同盟会を中心に反袁世凱の議会内野党，国民党を結成したが，彼は袁世凱に殺された。孫文らは13年に第２革命，しかし失敗，14年には東京で秘密結社，(18)〔　　〕を結成した。袁世凱は(19)〔　　〕復活運動を展開，これに対して15年，第３革命となり，袁は16年帝政取り消しを宣言した。

この間，1914年は第一次世界大戦が勃発，日英同盟を根拠にドイツに宣戦布告した日本は(20)〔　　〕を攻撃し，(21)〔　　〕が(22)〔　　〕に，ドイツの勢力圏であった(23)〔　　〕における権益を認めさせる(24)〔　　〕をつきつけ中国政府はそれを受諾した。（国恥（こくち）記念日）

袁世凱は1916年に病死，以後1928年まで中国は，袁世凱の後継者で北京を支配した(25)〔　　〕や張作霖（ちょうさくりん）ら(26)〔　　〕の抗争の場と化し，各軍閥は資本主義列強の支援をとりつけ中国の分裂を助長した。

【文学革命】(27)〔　　〕をスローガンとした(28)〔　　〕は1917年に(29)〔　　〕を中心として展開した。(30)〔　　〕が1915年に上海で発刊した『青年雑誌』が1916年に『(31)〔　　〕』となり，白話運動（口語運動）や(32)〔　　〕を強力に支えた。アメリカ留学でプラグマティズム（実用主義）の影響で儒教（じゅきょう）思想を批判し白話文学を提唱したのが(33)〔　　〕（『文学改良芻議（ぶんがくかいりょうすうぎ）』）。早稲田大学に留学後，北京大学で教授になったマルクス主義者で五・四運動（ご・しうんどう）の理論的指導者になり，1924年の第一次国共合作にも貢献したが1927年に張作霖に処刑されたのが(34)〔　　〕。初の白話文学『(35)〔　　〕』で伝統と儒教を批判し，『(36)〔　　〕』で悲惨な現実をみきわめようとしない中国民衆の意識を徹底的に批判したのが(37)〔　　〕。

解答

（1）幹線鉄道国有化　（2）四川（しせん）暴動　（3）1911　（4）10　（5）10　（6）湖北省
（7）武昌（ぶしょう）で蜂起　（8）辛亥革命　（9）1912　（10）中華民国　（11）孫文　（12）南京
（13）中華民国臨時大総統　（14）袁世凱　（15）北京　（16）臨時約法（りんじやくほう）　（17）宋教仁（そうきょうじん）
（18）中華革命党　（19）帝政　（20）チンタオ（青島）　（21）大隈重信（おおくましげのぶ）　（22）袁世凱
（23）山東半島　（24）21か条要求　（25）段祺瑞（だんきずい）　（26）軍閥
（27）デモクラシー（民主）とサイエンス（科学）　（28）文学革命　（29）白話運動（はくわうんどう）
（30）陳独秀（ちんどくしゅう）　（31）新青年　（32）新文化運動　（33）胡適（こせき）　（34）李大釗（りたいしょう）
（35）狂人日記（きょうじんにっき）　（36）阿Q正伝（あきゅうせいでん）　（37）魯迅（ろじん）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【五・四運動】５度目の国恥記念日を数日後に控えた(38)〔　　〕年５月４日に(39)〔　　〕で大学生が中心に(40)〔　　〕が起こった。これは第一次世界大戦のパリ講和会議で21か条要求廃棄要求が拒否されたから起きた。**中国政府はヴェルサイユ条約調印を拒否**した。反帝国主義・反封建主義・軍閥打倒・排日の愛国運動に発展し，中国民主主義革命の発端となった。

【第一次国共合作】(41)〔　　〕年に(42)〔　　〕は大衆政党となる。同年，ソヴィエト政権の外務人民委員代理のカラハンが(43)〔　　〕で帝政ロシアが結んだ不平等条約を破棄すると宣言した。(44)〔　　〕年に(45)〔　　〕を委員長として(46)〔　　〕で結成されたのが(47)〔　　〕だ。この時期，ロシアの(48)〔　　〕らボリシェビキによるソヴィエト政権はネップ（新経済政策）で資本主義をいくらか許容しており，歩調を合わせた中国共産党もブルジョワと妥協，(49)〔　　〕つまり第３インターナショナルは国民党（孫文はロシア共産党のボロジンを顧問として受け入れた）にも接近し，1923年の(50)〔　　〕を受けて，(51)〔　　〕年に(52)〔　　〕を共通の敵として(53)〔　　〕が成立，国民党は三民主義を発展させて(54)〔　　〕をスローガンとした。毛沢東も国民党に入党した。同年，打倒軍閥のため(55)〔　　〕に(56)〔　　〕が設立され(57)〔　　〕が初代校長に就任した（周恩来が副校長)。

(58)〔　　〕年３月孫文は病死，(59)〔　　〕の日本人経営の紡績工場で中国人労働者が暴動，殺傷事件に発展した(60)〔　　〕という反帝国主義運動が起きた。結果として資本家の労働者にたいする態度は冷淡になる。７月１日には(61)〔　　〕，正式には中華民国国民政府（今日の台湾のもと）が広州に成立した。

【北伐】この頃，国民党の蒋介石は北の軍閥を掃討する軍事行動(62)〔　　〕を主張，ソ連のアドバイスでそれを時期尚早とする(63)〔　　〕と対立しはじめる。蒋介石の最初の反共的行動は，1926年の中山艦事件（艦長が共産党員の艦船の行動にたいして抗議し共産党員を逮捕，ソ連顧問団の住宅を包囲した事件）だ。第１次国共合作の結果1927年１月に(64)〔　　〕と共産党でつくったのが(65)〔　　〕の(66)〔　　〕。共産主義嫌いの蒋介石ら国民党右派が４月につくったのが(67)〔　　〕。蒋介石は(68)〔　　〕の娘**宋美齢**の夫として，帝国主義諸国と浙江財閥の求めに応じ，共産党員と労働者を多数虐殺した。これが(69)〔　　〕年(70)〔　　〕だ。結局，汪兆銘の武漢政府は同年９月これに合流，第１次国共合作は破綻した。

解答

(38) 1919　(39) 北京　(40) 五・四運動　(41) 1919　(42) 中国国民党
(43) カラハン宣言　(44) 1921　(45) 陳独秀　(46) 上海　(47) 中国共産党
(48) レーニン　(49) コミンテルン　(50) 孫文＝ヨッフェ会談　(51) 1924　(52) 軍閥
(53) 第一次国共合作　(54) 連ソ・容共・扶助工農　(55) 広州　(56) 黄埔軍官学校
(57) 蒋介石　(58) 1925　(59) 上海　(60) ５・30運動　(61) 広東国民政府
(62) 北伐　(63) 汪兆銘　(64) 国民党左派　(65) 汪兆銘　(66) 武漢国民政府
(67) 南京国民政府　(68) 浙江財閥　(69) 1927　(70) ４・12クーデター＝上海クーデター

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【山東出兵】1922年のワシントン会議における中国に関する(71)〔　　〕において，日本の中国における特殊権益を認めた第一次世界大戦中の1917年の(72)〔　　〕が破棄されたので，**日本軍は山東省から撤兵**していた。が，1926年に(73)〔　　〕が開始し，1927年の南京事件で外国人が襲撃されると田中義一(たなかぎいち)内閣は邦人(ほうじん)保護を名目に1927年の第一次,1928年の第二次(74)〔　　〕を敢行,その際,日本軍が市民数千人を虐殺する事件(75)〔　　〕が起きた。これで中国人の対日感情は悪化した。

北伐軍はそれを迂回して北京にはいり，(76)〔　　〕(現在の**遼寧(りょうねい)省・吉林(きつりん)省・黒竜江省**＝３つまとめていわゆる**満州**）を拠点とした(77)〔　　〕の総帥(そうすい)で日本の支援を受けていた(78)〔　　〕を北京から追放し(79)〔　　〕年６月に北伐が完成，中国国民革命は一応完成した。

【奉天事件】張作霖は(80)〔　　〕へ帰る途中に爆死，これは日本が中国東北部の直接支配をねらった結果の可能性がある。息子の(81)〔　　〕は国民政府に忠誠を誓い，青天白日満地紅旗(せいてんはくじつまんちこうき)（国民党の旗）を掲げた。こうして南京の蔣介石の支配が満州にもおよぶことになった。

【中華ソヴィエト共和国臨時政府】1927年に中国共産党の軍隊(82)〔　　〕が誕生，**海豊(かいほう)・陸豊(りくほう)**に中国初のソヴィエトができ，1928年には湖南(こなん)･江西省境の(83)〔　　〕を革命根拠地とした。(84)〔　　〕年には(85)〔　　〕省(86)〔　　〕に毛沢東を主席として(87)〔　　〕ができた。紙幣や公債の発行や徴税も行われ，憲法大綱もつくられた。現在の中華人民共和国の原型である。

【満州事変(まんしゅうじへん)】(88)〔　　〕年９月18日に(89)〔　　〕は奉天郊外の(90)〔　　〕事件＝満州事変を起こした。国際連盟の調査委員会である(91)〔　　〕は日本の侵略であるとしつつ中国東北部の日本の権益を大幅に認めた。それで(92)〔　　〕年に(93)〔　　〕を擁立し(94)〔　　〕を建国，首都(95)〔　　〕(現，(96)〔　　〕)。1932年日本人殺害事件を口実に日本海軍が戦闘を開始した(97)〔　　〕を起こし，英米仏伊の調停で停戦した。(98)〔　　〕年には(99)〔　　〕がリットン調査団の報告に基づいて満州からの撤兵勧告案が採択されたので，それを不満として国際連盟から脱退した。中国政府は，**塘沽(タンクー)停戦協定**で事実上，満州国を認めた。両政府の間には郵便・関税協定があった。当時の世界の60カ国中20ヵ国が満州国を承認。ちなみにモンゴル人民共和国（1924）を承認していたのはソ連１国のみであった。

蔣介石は，黄埔軍官学校以来の直系の軍事力と蔡元培ら国民党の元老の支持や浙江財閥の豊富な資金力で中央集権化を推進した。

解答

(71) 九ヵ国条約　(72) 石井＝ランシング協定　(73) 北伐　(74) 山東出兵
(75) 済南事件(せいなんじけん)　(76) 東３省　(77) 奉天軍閥　(78) 張作霖　(79) 1928　(80) 奉天
(81) 張学良(ちょうがくりょう)　(82) 紅軍(こうぐん)　(83) 井崗山(せいこうざん)　(84) 1931　(85) 江西　(86) 瑞金(ずいきん)
(87) 中華ソヴィエト共和国臨時政府　(88) 1931　(89) 関東軍　(90) 柳条湖(りゅうじょうこ)
(91) リットン調査団　(92) 1932　(93) 溥儀　(94) 満州国　(95) 新京　(96) 長春(ちょうしゅん)
(97) 上海事変　(98) 1933　(99) 国際連盟

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【長征（ちょうせい）（大西遷（だいせいせん））】(100)〔　　〕年 10 月から(101)〔　　〕年 10 月まで，中国共産党の(102)〔　　〕が国民党の圧迫を受けて，(103)〔　　〕省(104)〔　　〕から(105)〔　　〕省(106)〔　　〕まで大移動したのが(107)〔　　〕（大西遷）。その間の(108)〔　　〕でモスクワ留学組の(109)〔　　〕から毛沢東に主導権が移行した。(110)〔　　〕年８月１日，(111)〔　　〕結成とそれを阻む蔣介石政権の打倒を呼びかけた(112)〔　　〕を出した。同年，日本は**冀東（きとう）防共自治政府**を河北（かほく）省東北（とうほく）部（北京と万里の長城の間）につくり，日本商品の密輸の拠点として中国経済に打撃を与えていた。

【西安事件】1936 年，(113)〔　　〕と**楊虎城（ようこじょう）**は蔣介石を(114)〔　　〕に幽閉，共産党の(115)〔　　〕の説得で蔣介石は抗日に同意した（西安事件）。張学良としては自分の兵力を，ボスである蔣介石の共産主義者との内戦に使うのではなく，父の仇討ち対日戦に兵力を温存しておきたかったと考えられる。

【盧溝橋（ろこうきょう）事件】(116)〔　　〕年７月７日，北京郊外の(117)〔　　〕事件から日中戦争突入，９月には(118)〔　　〕が成立，12 月の日本軍の南京占領時に(119)〔　　〕が起きた。1938 年から 1946 年まで蔣介石の政府は(120)〔　　〕に遷都した。蔣介石のライバル(121)〔　　〕は(122)〔　　〕を 1940 年につくったが，日本の傀儡（かいらい）政府であり，汪兆銘は(123)〔　　〕に出席した。（第二次世界大戦の日本は(124)〔　　〕構想）

解答

(100) 1934　(101) 1936　(102) 紅軍　(103) 江西　(104) 瑞金　(105) 陝西
(106) 延安（えんあん）　(107) 長征　(108) 遵義（じゅんぎ）会議　(109) 王明（おうめい）　(110) 1935
(111) 抗日民族統一戦線　(112) 八・一宣言　(113) 張学良　(114) 西安　(115) 周恩来（しゅうおんらい）
(116) 1937　(117) 盧溝橋　(118) 第二次国共合作　(119) 南京虐殺事件　(120) 重慶（じゅうけい）
(121) 汪兆銘（おうちょうめい）　(122) 南京国民政府　(123) 大東亜（だいとうあ）会議　(124) 大東亜共栄圏

3 中華人民共和国史

「鉄砲から政権が生まれる」

毛沢東はこのように述べ(1)〔　　〕を展開した。1919 年の五・四運動からを革命の第一段階，社会主義国家建設を新しい段階と見なした。

日本がポツダム宣言を受諾し第二次世界大戦が終わった。ソ連は共産党ではなく国民党を正統な政権と見なした。中国を「生産様式が遅れているので革命を担える労働者階級は存在しない」というマルクスの分類に当てはめたからだ。

【国共内戦】再発した国共内戦は(2)〔　　〕で停戦が模索されるも(3)〔　　〕が拒否した。(4)〔　　〕（華北・旧紅軍）と(5)〔　　〕（江南）が(6)〔　　〕として改編された(7)〔　　〕の軍隊になると，ソ連は日本軍から接収した武器を提供した。そのうえ共産党が(8)〔　　〕を出し地主制廃止を宣言したので，農民は共産党支持し，共産党の支配地域は(9)〔　　〕になった。

【中華人民共和国】蔣介石と国民党は台湾に逃れ，(10)〔　　〕をへて，(11)〔　　〕年(12)〔　　〕月(13)〔　　〕日北京に(14)〔　　〕が成立した。国家首席(15)〔　　〕，首相(16)〔　　〕，共産党の一党独裁だ。アメリカ合衆国は中国白書で不介入を宣した。

(17)〔　　〕をだし大地主から土地を没収した(18)〔　　〕年，(19)〔　　〕が結ばれた。それゆえ朝鮮戦争では(20)〔　　〕を派遣した。

毛沢東は**三反五反運動**で浪費や汚職を引き締めた。(21)〔　　〕年に始まる(22)〔　　〕（スローガンは「(23)〔　　〕」）で鉄鋼増産と農業の集団化（(24)〔　　〕化）を進めたが失敗し 4000 万人の餓死者を出した。毛沢東は国家首席を退き(25)〔　　〕が就任した。

核兵器保有問題や(26)〔　　〕年のフルシチョフの(27)〔　　〕（独裁）(28)〔　　〕の影響で(29)〔　　〕が始まる。北京政府と対立する(30)〔　　〕仏教の指導者(31)〔　　〕がインドに亡命，そのインドとソ連が友好関係にあることも論争に拍車をかけた。極めつけは，(32)〔　　〕後の(33)〔　　〕をソ連が英米と調印したことで中ソは公開論争となった。そして(34)〔　　〕が失脚した(35)〔　　〕年嘲笑うかの如く中国が原爆実験に成功した。とうとう(36)〔　　〕年ウスリー江の(37)〔　　〕における武力衝突になった。

解答

（1）新民主主義革命論　（2）政治協商会議　（3）国民党　（4）八路軍　（5）新四軍
（6）人民解放軍　（7）共産党　（8）中国土地大綱　（9）解放区
（10）人民政治協商会議　（11）1949　（12）10　（13）1　（14）中華人民共和国
（15）毛沢東　（16）周恩来　（17）土地改革法　（18）1950
（19）中ソ友好同盟相互援助条約　（20）中国人民義勇軍　（21）1958
（22）第２次五ヵ年計画　（23）大躍進　（24）人民公社　（25）劉少奇　（26）1956
（27）スターリン　（28）批判　（29）中ソ論争　（30）チベット　（31）ダライ＝ラマ 14 世
（32）キューバ危機　（33）部分的核実験停止条約　（34）フルシチョフ　（35）1964
（36）1969　（37）ダマンスキー島（珍宝島）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1966～76年の(38)〔　　〕とは何か。

大躍進の失敗で第一線を退いた**毛沢東の奪権闘争，そのための大衆動員**だ。上海で組織された学生の(39)〔　　〕が(40)〔　　〕をスローガンに北京に攻めのぼり，明代の王朝劇の上演を容認した劉少奇（りゅうしょうき）・鄧小平は(41)〔　　〕として糾弾（きゅうだん）された。毛沢東の後継者と目された(42)〔　　〕はクーデターに失敗しモンゴルで墜落死した（1971年）。この時期台頭したのが毛沢東の妻(43)〔　　〕ら(44)〔　　〕。

(45)〔　　〕年北京政府は国連代表権を獲得，(46)〔　　〕から北京に乗り換えた米(47)〔　　〕大統領の訪中は(48)〔　　〕年。(49)〔　　〕首相も訪中し日中国交正常化が実現。(50)〔　　〕は(51)〔　　〕年。米中国交正常化は(52)〔　　〕大統領の(53)〔　　〕年。

(54)〔　　〕年，(55)〔　　〕が死去。群衆が追悼に集まり(56)〔　　〕が引責（いんせき）失脚（(57)〔　　〕）。さらに毛沢東も死去。後継者は(58)〔　　〕。彼が**四人組を逮捕し文化大革命は終結**した。

その華国鋒を自己批判に追い込み失脚させ三度目の復活を果たしたのが「白い猫でも黒い猫でもネズミをとるのが良い猫だ」と述べた(59)〔　　〕だ。1977年，(60)〔　　〕路線（(61)〔　　〕）が確認され，彼は(62)〔　　〕年から(63)〔　　〕に着手した。(64)〔　　〕を廃止し(65)〔　　〕を採用した。沿岸部には(66)〔　　〕を置いた。

(67)〔　　〕年６月。改革開放路線を進めた(68)〔　　〕の死を悼み学生らが北京天安門に集まった。群衆のトーンは次第に反政府となり，共産党政府は人民解放軍の戦車で学生を圧殺した。(69)〔　　〕だ。(70)〔　　〕が引責失脚となる。

1990年代の中国は(71)〔　　〕の時代。(72)〔　　〕を推し進める。

(73)〔　　〕年には鄧小平が死去。(74)〔　　〕がイギリスから返還され(75)〔　　〕となる。

(76)〔　　〕年には(77)〔　　〕が(78)〔　　〕から返還された。

(79)〔　　〕年，中国と台湾が(80)〔　　〕に加盟した。2003年からは(81)〔　　〕が国家主席。(82)〔　　〕年に北京オリンピック，2009年には新疆ウイグル自治区で暴動が起きた。

解答

（38）文化大革命　（39）紅衛兵（こうえいへい）　（40）造反有理（ぞうはんゆうり）　（41）走資派（そうしは）　（42）林彪（りんぴょう）　（43）江青（こうせい）
（44）四人組　（45）1971　（46）台湾　（47）ニクソン　（48）1972　（49）田中角栄
（50）日中平和友好条約　（51）1978　（52）カーター　（53）1979　（54）1976
（55）周恩来　（56）鄧小平　（57）第一次天安門（てんあんもん）事件　（58）華国鋒（かこくほう）　（59）鄧小平
（60）四つの現代化　（61）農業・工業・国防・科学技術　（62）1978　（63）改革開放
（64）人民公社　（65）生産請負制　（66）経済特区　（67）1989　（68）胡耀邦（こようほう）
（69）第二次天安門事件　（70）趙紫陽（ちょうしよう）　（71）江沢民（こうたくみん）　（72）社会主義市場経済
（73）1997　（74）香港　（75）一国２制度　（76）1999　（77）マカオ　（78）ポルトガル
（79）2001　（80）WTO（世界貿易機構）　（81）胡錦濤（こきんとう）　（82）2008

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【台湾】もともとの住民の本省人を蔣介石ら国民党と入ってきた外省人が殺害する(83)〔　　〕(1947年) が起こる。以後も対立が続く。

1958年には厦門沖の台湾領(84)〔　　〕を中国が砲撃し緊張が高まった。

(85)〔　　〕→(86)〔　　〕→(87)〔　　〕と(88)〔　　〕政権が続いたが，次の(89)〔　　〕は(90)〔　　〕，(91)〔　　〕でまた国民党に戻った。

国民党の主張は，中国は中華民国一つ，台湾はその一部で首都は南京。

民進党の主張は，台湾は独立国で首都は台北。

共産党の主張は，中国は中華人民共和国の一つ，台湾はその一部で首都は北京。

【チベット】4～7世紀にチベット系住民を支配したのが鮮卑系の(92)〔　　〕だ。7世紀に(93)〔　　〕が(94)〔　　〕を建国，都は(95)〔　　〕で後に(96)〔　　〕が建立される。(97)〔　　〕を生み出し，(98)〔　　〕つまり(99)〔　　〕が成立した。

13世紀にラマ僧(100)〔　　〕を元の(101)〔　　〕は帝師と仰ぎ(102)〔　　〕を作らせた。14世紀に(103)〔　　〕が戒律の厳しい(104)〔　　〕を開く。モンゴル人の(105)〔　　〕の(106)〔　　〕(フビライの転生者とみなされた) が黄帽派の指導者に与えた称号が(107)〔　　〕だ。意味は「知恵の海」。ダライ＝ラマとパンチェン＝ラマの二大(108)〔　　〕が支配するのがチベットだ。

やがて**満州人（清朝）とモンゴル人（ジュンガル部）がラマ教への影響力を争った**。ゆえに清の(109)〔　　〕がモンゴル系の(110)〔　　〕を平定した。(111)〔　　〕つまりチベットも平定し，**清がダライ＝ラマとパンチェン＝ラマの転生決定を監督**した。だから，現在パンチェン＝ラマの転生決定監督にこだわる21世紀の中華人民共和国の北京政府は実質，清と同じことにこだわっているということになる。

チベットは1907年の(112)〔　　〕では相互不干渉とされた。中華民国成立の翌年の1913年に独立宣言したが，1959年に中華人民共和国（中国共産党）の人民解放軍が侵攻し，抵抗したラマ僧に多数の犠牲者をだした。

解答

(83) 2・28事件　(84) 金門島　(85) 蔣介石　(86) 蔣経国　(87) 李登輝
(88) 国民党　(89) 陳水扁　(90) 民進党　(91) 馬英九　(92) 吐谷渾
(93) ソンツェン＝ガンポ　(94) 吐蕃　(95) ラサ　(96) ポタラ宮　(97) チベット文字
(98) チベット仏教　(99) ラマ教　(100) パスパ　(101) フビライ　(102) パスパ文字
(103) ツォン＝カパ　(104) 黄帽派　(105) タタール部　(106) アルタン＝ハン
(107) ダライ＝ラマ　(108) 活仏　(109) 乾隆帝　(110) ジュンガル部　(111) 西蔵
(112) 英露協商

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 50 講　テスト

1　以下の事項のうち，1905 年設立の中国同盟会と無関係のものは。

①　興中会

②　華興会

③　安徽派

④　民報

2　1935 年に中国国民党がおこなった通貨制度の改革と統一通貨は。

①　大躍進，人民元

②　大躍進，法幣

③　幣制改革，人民元

④　幣制改革，法幣

3　1910 年の韓国併合後の日本の朝鮮総督府による統治策を何というか。

①　武断政治

②　愛国啓蒙

③　文化政策

④　土地調査事業

4　2007 年 12 月に調印され，2009 年に発効したＥＵ統合を進めた条約は。

①　マーストリヒト条約

②　リスボン条約

③　MERCOSUR

④　TPP

5　アメリカの海洋生物学者レイチェル＝カーソンとの関連事項は。

①　『沈黙の春』

②　緑の党

③　「持続可能な発展」

④　国連人間環境会議

6　オゾン層の保護を国際的に進めることを内容として 1987 年に採択された議定書は何か。

①　モントリオール議定書

②　京都議定書

③　北京議定書

④　コペンハーゲン議定書

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　1992 年の「環境と開発に関する国連会議」で採択された宣言は。

①　緑の革命

②　解放の神学

③　リオ宣言

④　フェミニズム

第 50 講　テスト解答

1　③　　2　④　　3　①　　4　②　　5　①　　6　①　　7　③

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⓒ RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。